資料１

令和２年度
施策・事務事業評価表
（案）

〔第七期帯広市総合計画〕

令和３年　月

帯　広　市

目　次

１．第七期帯広市総合計画について　・・・・・・・・・・・ 1
２．総合計画推進の考え方について　・・・・・・・・・・・ 1
（１）第七期総合計画のＰＤＣＡサイクル　・・・・・・・・ 1
（２）施策・事務事業評価　・・・・・・・・・・・・・・・ 1
３．第七期帯広市総合計画の体系図　・・・・・・・・・・・ 2
４．評価年度　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
５．評価表の見方　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
（１）施策評価表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
（２）事務事業評価表　・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
６．施策評価結果の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

■ 施策評価表

施策１　健康なからだとこころをつくる　・・　・・・　9
施策２　笑顔でつなぐ、みんなの子育て　・・・・・・　13
施策３　たくさんの小さなおせっかいがある暮らし　・　17
施策４　ずーっと生き活きと暮らす　・・・・・・・・　21
施策５　個性はみんなのたからもの　・・・・・・・・　25
施策６　医療を身近に安心な暮らしをつくる　・・・・　29
施策７　誰もが安心できる暮らしの支えになる　・・・　33
施策８　世界に冠たる十勝農業を創る　・・・・・・・　37
施策９　「とかちのかち」を創り続ける　・・・・・・　41
施策１０　アウトドアの聖地にする　・・・・・・・・・　45
施策１１　つなげて拡げるビジネスチャンス　・・・・・　49
施策１２　未来を拓くこどもをともに育む　・・・・・・　53
施策１３　いつまでも学ぶって面白い　・・・・・・・・　57
施策１４　潤いのある暮らしと地域をつくる　・・・・・　61
施策１５　スポーツで楽しく、ハツラツ、健康に　・・・　65
施策１６　地球のために今、行動する　・・・・・・・・　69
施策１７　「まさか」に備え今、行動する　・・・・・・　73
施策１８　とかちで守るみんなの安心　・・・・・・・・　77
施策１９　みんなでつくる笑顔と安全　・・・・・・・・　81
施策２０　未来につなぐ、おいしい水　・・・・・・・・　85
施策２１　未来につなぐ、住みよいまち　・・・・・・・　89
施策２２　認め合い、つながり、暮らす　・・・・・・・　93
施策２３　未来に夢をつなぐ　・・・・・・・・・・・・　97

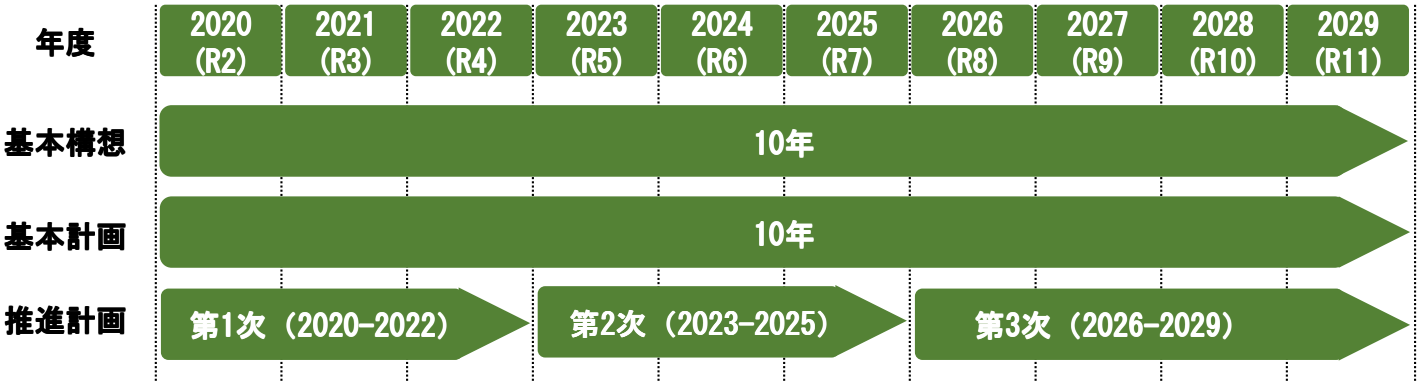
■ 事務事業評価表

施策１～施策２３　・・・・・・・・・・・・・・・・・・101

１．第七期帯広市総合計画について

第七期帯広市総合計画は、市民と市が共有するビジョンとして将来のまちの姿やまちづくりの目標などを示す「基本構想」、基本構想の実現に向けた市の施策を示す「基本計画」、施策の目指す姿の実現に向け市が実施する事務事業を示す「推進計画」により構成しており、期間は「基本構想」10年、「基本計画」10年、「推進計画」3年（第3次のみ4年）としています。

第七期帯広市総合計画の構成



２．総合計画推進の考え方について

（１）第七期総合計画のＰＤＣＡサイクル

第七期帯広市総合計画は、施策や事務事業の進捗状況等を評価検証し、改善等につなげていくＰＤＣＡサイクルのもと推進します。

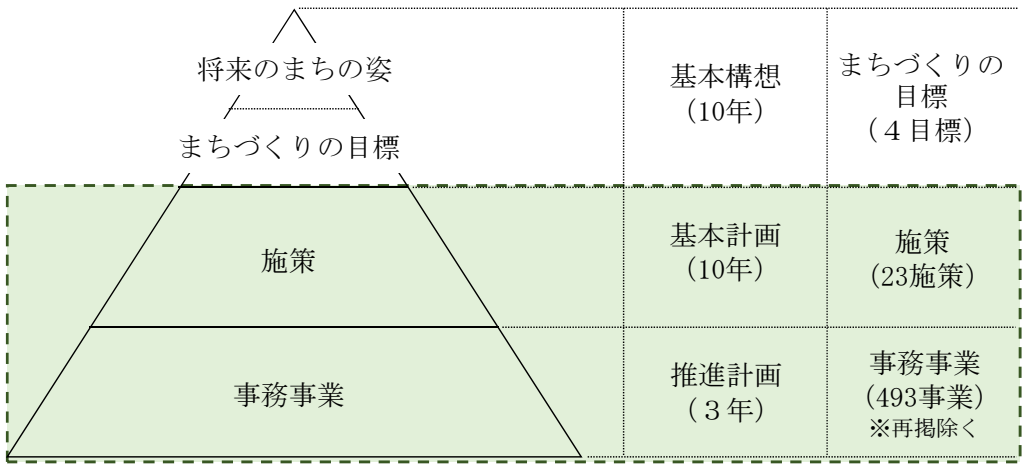
（２）施策・事務事業評価

施策は、「事務事業の進捗状況」「市民と一緒に目指す取り組みの状況」「地域社会の状況」という３つの視点から、目指す姿の実現に向けた進捗状況を評価検証します。また、客観性を確保するため、それぞれの状況を点数化し合計点に応じて進捗状況の判定を行います。

事務事業は、事業ごとに掲げる目標の達成に向け、毎年度取り組みを評価し、内容の妥当性や未達成の要因等を検証します。

施策・事務事業の評価結果は、予算編成や推進計画の改訂・次期推進計画の策定に活用するとともに、市民等へ公表します。

総合計画と施策・事務事業評価



３．第七期帯広市総合計画の体系図

将来のまちの姿	まちづくりの目標	施策名		
あおあお　ひろびろ　いきいき　未来を信じる　帯広	1　ともに支え合い、子どもも大人も健やかに暮らせるまち	施策１　健康なからだとこころをつくる	- 健康づくりの推進 -	施策22　認め合い、つながり、暮らす　- 多様な主体が活躍する地域社会の形成 -
		施策２　笑顔でつなぐ、みんなの子育て	- 子育て支援の充実 -	
		施策３　たくさんの小さなおせっかいがある暮らし	- 地域福祉の推進 -	
		施策４　ずーっと生き活きと暮らす	- 高齢者福祉の推進 -	
		施策５　個性はみんなのたからもの	- 障害者福祉の推進 -	
		施策６　医療を身近に安心な暮らしをつくる	- 医療体制の安定的確保 -	
		施策７　誰もが安心できる暮らしの支えになる	- 社会保障制度の持続性の確保 -	
	2　活力とにぎわいと挑戦があるまち	施策８　世界に冠たる十勝農業を創る	- 農林業の振興 -	
		施策９　「とかちのかち」を創り続ける	- 地域産業の活性化 -	
		施策10　アウトドアの聖地にする	- 観光の振興 -	
		施策11　つなげて拡げるビジネスチャンス	- 広域交通ネットワークの充実 -	
	3　ともに学び、輝く人を育むまち	施策12　未来を拓くこどもをともに育む	- 学校教育の推進 -	
		施策13　いつまでも学ぶって面白い	- 学習活動の推進 -	
		施策14　潤いのある暮らしと地域をつくる	- 文化芸術の振興 -	
		施策15　スポーツで楽しく、ハツラツ、健康に	- スポーツの振興 -	
	4　安全・安心で快適に暮らせるまち	施策16　地球のために今、行動する	- 環境の保全と循環型社会の形成 -	施策23　未来に夢をつなぐ　- 自治体経営の推進 -
		施策17　「まさか」に備え今、行動する	- 防災・減災の推進 -	
		施策18　とかちで守るみんなの安心	- 消防・救急体制の確保 -	
		施策19　みんなでつくる笑顔と安全	- 安全な生活環境の確保 -	
		施策20　未来につなぐ、おいしい水	- 上下水道の基盤強化 -	
		施策21　未来につなぐ、住みよいまち	- 都市基盤の整備と住環境の充実 -	

４．評価年度

本評価表は、令和2年度の施策・事務事業に対する評価結果を取りまとめたものです。

５．評価表の見方

（１）施策評価表

施策評価表には、目指す姿、市が実施した事務事業の取り組みを示す「Ⅰ事務事業の進捗状況」、市民と市が一緒に目指す目指そう指標の実績と要因分析を示す「Ⅱ目指そう指標の進捗状況」、地域社会の状況を示す「Ⅲ関連データの状況」と、これらに基づく施策評価の結果を記載しています。

施策評価は、「Ⅰ事務事業の進捗状況」「Ⅱ目指そう指標の進捗状況」「Ⅲ関連データの状況」の進捗率等を点数化し、その合計点に応じて、「順調」「概ね順調」「さらなる進捗が必要」の３区分で判定します。

①「Ⅰ事務事業の進捗状況」

事務事業の主な取り組み内容を記載しています。

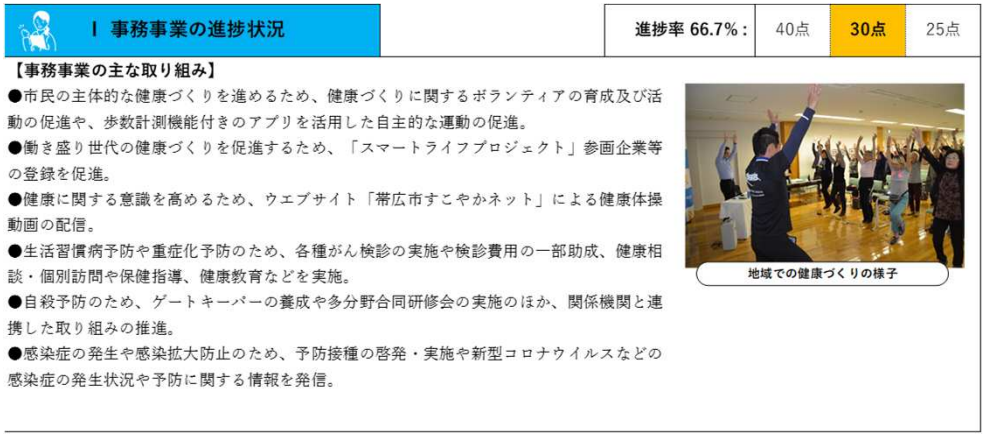
〇進捗率の算出・点数化の方法

施策の事務事業数(再掲除く）に占める、目標を達成した事務事業数と予定していた事業を実施することができた事務事業数（目標設定をしていない事務事業）の割合で進捗率を算出し、これに応じて下表のとおり点数化を行います。

A≧80%	80%>A≧60%	60%>A
40点	**30点**	**25点**

例）〔3(目標を達成できた事務事業数)+
3(事業を実施した事務事業数）〕
/9（施策の事務事業数）×100＝**66.7%＝30点**

施策評価表
（Ⅰ事務事業の進捗状況）



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 66.7%：　40点　**30点**　25点

【事務事業の主な取り組み】

●市民の主体的な健康づくりを進めるため、健康づくりに関するボランティアの育成及び活動の促進や、歩数計測機能付きのアプリを活用した自主的な運動の促進。
●働き盛り世代の健康づくりを促進するため、「スマートライフプロジェクト」参画企業等の登録を促進。
●健康に関する意識を高めるため、ウエブサイト「帯広市すこやかネット」による健康体操動画の配信。
●生活習慣病予防や重症化予防のため、各種がん検診の実施や検診費用の一部助成、健康相談・個別訪問や保健指導、健康教育などを実施。
●自殺予防のため、ゲートキーパーの養成や多分野合同研修会の実施のほか、関係機関と連携した取り組みの推進。
●感染症の発生や感染拡大防止のため、予防接種の啓発・実施や新型コロナウイルスなどの感染症の発生状況や予防に関する情報を発信。

地域での健康づくりの様子

②「Ⅱ目指そう指標の進捗状況」

目指そう指標の動向や結果に対する要因分析を記載しています。なお、進捗率の把握に用いる実績値は、評価年度において把握可能な最新年度のデータを使用します。

〇進捗率の算出・点数化の方法

目標値に対する実績値の割合で進捗率を算出し、これに応じて評価年度毎に下表のとおり点数化を行います。

※1	A≧50%	50%>A≧45%	45%>A
※2	A≧75%	75%>A≧67.5%	67.5%>A
※3	A≧100%	100%>A≧90%	90%>A
	40点	**30点**	**25点**

※1　令和2年度評価の基準

※2　令和3年度評価の基準

※3　令和4年度評価の基準
（施策4高齢者福祉の推進は、推進計画最終年度まで同じ目標値のため、毎年度この基準を使用）

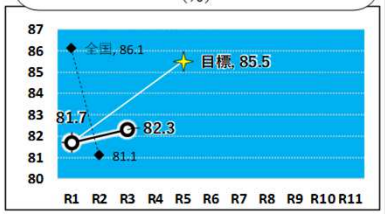
例）〔82.3%（評価年度の実績値）-81.7%（基準値）〕/〔85.5%（目標値）－81.7%（基準値）〕×100＝**15.8%＝25点**

施策評価表
（Ⅱ目指そう指標の進捗状況）

Ⅱ 目指そう指標の進捗状況　　進捗率 15.8%：　40点　30点　**25点**

目指そう指標名			方向性
健康と思っている市民の割合			↗
指標の考え方	市民による生活習慣病の予防など健康に対する正しい知識の習得・実践や、市による健康教育や各種検診の実施などにより、上昇を目指します。	基準値（R1）	81.7%
		実績値（R3）	82.3%
		目標値（R5）	85.5%

【図1-1】健康と思っている市民の割合（%）



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

「健康と思っている市民の割合」は82.3%であり、基準値を上回っていますが、目標達成に向けて進捗していません。

市では、アプリの活用などによる自主的な運動の促進やスマートライフプロジェクト登録企業・団体への働きかけなどを行っていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、生活習慣の改善や病気の予防など健康づくりをテーマとした健康講座が十分に実施でなかったほか、市民の外出や活動の自粛も重なり、健康に関する正しい知識の習得や主体的な運動の実践につなげることができなかったことが要因であると考えます。

少しでも体を動かすことが健康状態の改善につながることから、高齢者はもとより運動習慣が低調となりやすい働き世代が運動を実践できるよう、医療機関や企業等とも連携し取り組みの工夫を図りながら、市民一人ひとりの健康増進につなげていく必要があります。

※　各指標で定めた基準年から4年後の年を目指そう指標の目標年度としています。

※　全国・全道等のデータは、要因分析を行う際の参考資料として掲載しています。なお、全国等の数値がなく比較ができない指標もあります。

※　グラフの基準値と目標値を結ぶ白線は各年度の目標水準を表しています。

③「Ⅲ関連データの状況」

施策に関する地域社会の状況を示すデータの推移を示しています。また、下表のとおり、データ毎に推移に応じた得点を付しています。

得点	増加が望ましいデータ	基準以上が望ましいデータ
5	策定時より増加・前年より増加	―
3	策定時(H30又はR1)より増加	基準以上
2	前年より増加	基準未満だが前年より改善
0	いずれも該当なし	基準未満で前年以下

○得点率の算出・点数化の方法

全データの最高得点に占める、合計得点の割合で得点率を算出し、これに応じて下表のとおり点数化を行います。

A≧80%	80%>A≧60%	60%>A
20点	**15点**	**10点**

例）〔5(5点×1つ)＋(0点×2つ)〕/
15（データ数3つ×最高得点5点）×100＝**33.3%＝10点**

④「Ⅳ施策評価」

①から③を踏まえ、施策の目指す姿の実現に向けて実施した主な取り組みや課題などを記載しています。

○施策評価の判定

「Ⅰ事務事業の進捗状況」「Ⅱ目指そう指標の進捗状況」「Ⅲ関連データの状況」の点数の合計点に応じて下表のとおり判定します。

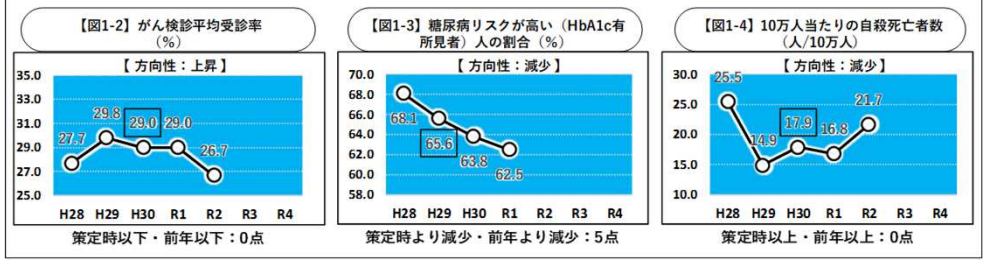
例）①30点＋②25点＋③10点＝**65点**

施策評価の判定結果は**さらなる進捗が必要**

100点	95点	90点	85点	80点	75点	70点	65点	60点
順調に進んでいる			**概ね順調に進んでいる**			**さらなる進捗が必要**		

施策評価表
（Ⅲ関連データの状況）

Ⅲ 関連データの状況		得点率 33.3%：	20点	15点	**10点**



※　統計によって、公表時期が異なるため、基準となる策定時の年度に違いがあります。

※　施策によって、データの設定数に違いがあります。

施策評価表
（Ⅳ施策評価）

Ⅳ 施策評価	さらなる進捗が必要	〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 65点 ／100点〕

市民の主体的な健康づくりに向け、すこやかネットを通じた健康体操動画を配信したほか、歩行計測機能付きアプリを活用した自主的な運動の促進や、スマートライフプロジェクト登録企業・団体の加入促進などに取り組みましたが、「健康と思っている市民の割合【図1-1】」は、前回調査より増加したものの、目標達成に向かってあまり進んでおりません。少しでも体を動かすことが健康状態の改善につながることから、高齢者はもとより運動習慣が低調となりやすい働き世代が運動を実践できるよう、医療機関や企業等とも連携し取り組みの工夫を図りながら、市民一人ひとりの健康増進につなげていく必要があります。

生活習慣の予防など健康に対する正しい知識の習得や実践に向け、健康的な食生活、運動習慣に関する周知啓発や保健指導、受診が必要な方への勧奨等に取り組み、「HbA1c有所見者の割合【図1-3】」の減少につながりました。一方、がん予防のパネル展示や医療機関でのポスター掲示、ピンクリボン運動、がん検診の周知啓発などに取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため受診人数に上限を設けたことや受診控えなどにより、「がん検診平均受診率【図1-2】」は減少しています。引き続き、感染対策を講じながら、がんに対する正しい知識の周知啓発や忙しい働き世代が受診しやすい環境づくり、アプリを介した通知などの効果的ながん検診の周知啓発など、受診率向上に向けた取り組みを進めていく必要があります。

また、「10万人当たりの自殺者数【図1-4】」は前年より大きく増加しています。新型コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛に伴う運動不足や人との交流の減少に起因して心身に不調が現れる方がいるほか、経済的・家庭的にも様々な問題が生じていると考えられます。複数の悩みや問題が複雑に絡み合うことで自殺のリスクが高まることから、様々な関係機関が連携して自殺予防につなげていくことが必要です。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。

（２）事務事業評価表

事務事業評価表には、事務事業の名称、目的、担当課のほか、当該年度の事業実施状況や決算額などを記載しています。

市に一定の裁量がある事務事業には、推進計画策定時から３年後に到達すべき目標を設定しています。評価検証欄には、評価年度の目標に対する達成状況のほか、取り組みの妥当性や未達成の要因等を記載しています。

事務事業評価表

施策 2	取組 1	番号 3	事務事業 **子育て支援事業**		
目的	子育て世代包括支援センターにおいて、子育て相談など多様な子育て支援事業を実施します。			担当課	子育て支援課
目標	地域で子育てを支援するファミリーサポートセンター事業によるサポート件数について1,804件を目指します。				

事業実施状況

・すこやかネット事業の実施（登録者数20人、アクセス数42,851件）
・絵本との出会い事業の実施（配布児童数1,158人）
・ファミリーサポートセンター事業の実施（会員数695人、援助活動件数1,195件）
・子育て応援事業所登録事業の実施（登録事業所数296事業所）
・利用者支援事業（基本型）の実施（セルフプラン作成数2件、支援プラン作成数116件）

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	11,422		
特定財源	21,423		
一般財源	△10,001		

指標名	ファミリーサポートセンター事業の利用件数	単位	件

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値
1,096	1,450	1,195	1,627		1,804	

評価検証

R2年度のファミリーサポートセンター事業の利用件数は1,195人であり、目標を達成しませんでした。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、特に4～5月の利用件数が前年と比べて大きく減少したことが影響していると考えます。利用件数は目標を下回りましたが、積極的な周知により利用会員数は増加しており、子育て世帯への支援の必要性がうかがえることから、今後も感染症対策を徹底しながら事業を継続していくことが必要と考えます。

※　「目標」は推進計画最終年度（R4年度）の目標です。なお、法律で義務付けされている事業、国等の財源の影響を受けやすい整備事業、施設の維持管理事業、内部管理事業には、目標を設定していません。

※　目標を設定している事務事業のうち、定量的な指標の設定が難しい事業については、事業の実施状況などに基づき定性的な評価を行っています（指標名“―”としています）。

※　事業実施状況には主に事業量（人数・回数等）を示しています。

※　事業費には会計年度任用職員費用を含めているため、決算書等の合計額と一致しない場合があります。

６．施策評価結果の概要

まちづくりの目標と施策番号		Ⅰ事務事業の進捗状況採点結果			Ⅱ目指そう指標の進捗状況採点結果			Ⅲ関連データの状況採点結果			Ⅳ施策評価の判定	
1 ともに支え合い、子どもも大人も健やかに暮らせるまち	施策１	40点	**30点**	25点	40点	30点	**25点**	20点	15点	**10点**	65点	さらなる進捗が必要
	施策２	**40点**	30点	25点	40点	30点	**25点**	**20点**	15点	10点	85点	概ね順調に進んでいる
	施策３	**40点**	30点	25点	40点	30点	**25点**	20点	15点	**10点**	75点	概ね順調に進んでいる
	施策４	40点	**30点**	25点	**40点**	30点	25点	20点	15点	**10点**	80点	概ね順調に進んでいる
	施策５	**40点**	30点	25点	**40点**	30点	25点	20点	15点	**10点**	90点	順調に進んでいる
	施策６	**40点**	30点	25点	40点	30点	**25点**	**20点**	15点	10点	85点	概ね順調に進んでいる
	施策７	**40点**	30点	25点	**40点**	30点	25点	20点	15点	**10点**	90点	順調に進んでいる
2 活力とにぎわいと挑戦があるまち	施策８	**40点**	30点	25点	40点	30点	**25点**	20点	15点	**10点**	75点	概ね順調に進んでいる
	施策９	40点	**30点**	25点	40点	30点	**25点**	20点	**15点**	10点	70点	さらなる進捗が必要
	施策10	40点	30点	**25点**	40点	30点	**25点**	20点	15点	**10点**	60点	さらなる進捗が必要
	施策11	**40点**	30点	25点	40点	30点	**25点**	20点	15点	**10点**	75点	概ね順調に進んでいる
3 ともに学び、輝く人を育むまち	施策12	40点	**30点**	25点	40点	30点	**25点**	20点	15点	**10点**	65点	さらなる進捗が必要
	施策13	40点	**30点**	25点	40点	30点	**25点**	20点	15点	**10点**	65点	さらなる進捗が必要
	施策14	40点	30点	**25点**	40点	30点	**25点**	20点	15点	**10点**	60点	さらなる進捗が必要
	施策15	40点	30点	**25点**	40点	30点	**25点**	20点	15点	**10点**	60点	さらなる進捗が必要

まちづくりの目標と施策番号		Ⅰ事務事業の進捗状況採点結果			Ⅱ目指そう指標の進捗状況採点結果			Ⅲ関連データの状況採点結果			Ⅳ施策評価の判定	
4 安全・安心で快適に暮らせるまち	施策16	**40点**	30点	25点	**40点**	30点	25点	**20点**	15点	10点	100点	順調に進んでいる
	施策17	40点	30点	**25点**	40点	30点	**25点**	**20点**	15点	10点	70点	さらなる進捗が必要
	施策18	**40点**	30点	25点	40点	30点	**25点**	**20点**	15点	10点	85点	概ね順調に進んでいる
	施策19	40点	**30点**	25点	**40点**	30点	25点	20点	15点	**10点**	80点	概ね順調に進んでいる
	施策20	**40点**	30点	25点	**40点**	30点	25点	**20点**	15点	10点	100点	順調に進んでいる
	施策21	**40点**	30点	25点	**40点**	30点	25点	20点	15点	**10点**	90点	順調に進んでいる
施策22		40点	30点	**25点**	40点	30点	**25点**	20点	15点	**10点**	60点	さらなる進捗が必要
施策23		**40点**	30点	25点	40点	30点	**25点**	20点	15点	**10点**	75点	概ね順調に進んでいる

施策の進捗状況

	1 ともに支え合い、子どもも大人も健やかに暮らせるまち	2 活力とにぎわいと挑戦があるまち	3 ともに学び、輝く人を育むまち	4 安全・安心で快適に暮らせるまち	合計
順調に進んでいる	2施策	0施策	0施策	3施策	5施策
概ね順調に進んでいる	4施策	2施策	0施策	2施策	9施策
さらなる進捗が必要	1施策	2施策	4施策	1施策	9施策

※施策22及び施策23は、各まちづくりの目標に含めていないため、合計と合いません。

施策１　健康なからだとこころをつくる　－健康づくりの推進－

目指す姿

誰もが自分の健康は自分でつくるという意識を持ち、健康管理に取り組み、心身ともに健やかに暮らしています。

Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 66.7％：	40点	**30点**	25点

【事務事業の主な取り組み】

●市民の主体的な健康づくりを進めるため、健康づくりに関するボランティアの育成及び活動の促進や、歩数計測機能付きのアプリを活用した自主的な運動を促進。

●働き盛り世代の健康づくりを促進するため、「スマートライフプロジェクト」参画企業等の登録を促進。

●健康に関する意識を高めるため、ウェブサイト「帯広市すこやかネット」による健康体操動画を配信。

●生活習慣病予防や重症化予防のため、各種がん検診の実施や検診費用の一部助成、健康相談・個別訪問や保健指導、健康教育などを実施。

●自殺予防のため、ゲートキーパーの養成や多分野合同研修会の実施のほか、関係機関と連携した取り組みを推進。

●感染症の発生や感染拡大防止のため、予防接種の啓発・実施や新型コロナウイルスなどの感染症の発生状況や予防に関する情報を発信。

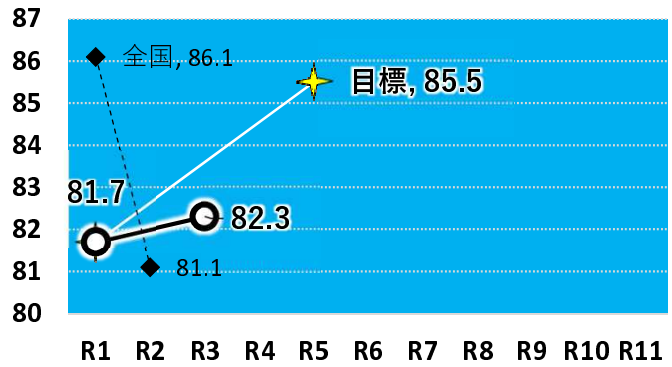
地域での健康づくりの様子

Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 15.8%：	40点	30点	**25点**

目指そう指標名			方向性
健康と思っている市民の割合			↗
指標の考え方	市民による生活習慣病の予防など健康に対する正しい知識の習得・実践や、市による健康教育や各種検診の実施などにより、上昇を目指します。	基準値（R1）	81.7%
		実績値（R3）	82.3%
		目標値（R5）	85.5%

【図1-1】健康と思っている市民の割合（%）



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

「健康と思っている市民の割合」は82.3%であり、基準値を上回っていますが、目標達成に向けて進捗していません。

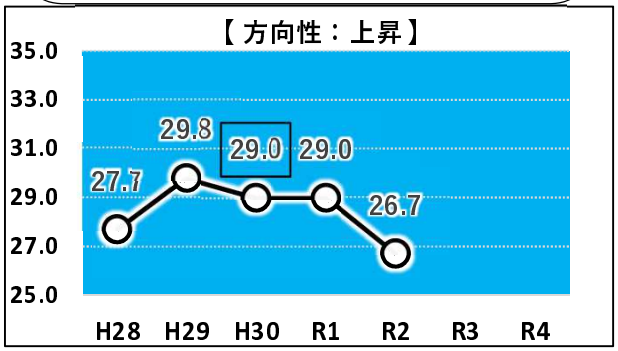
市では、アプリの活用などによる自主的な運動の促進やスマートライフプロジェクト登録企業・団体への働きかけなどを行っていますが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、生活習慣の改善や病気の予防など健康づくりをテーマとした健康講座が十分に実施でなかったほか、市民の外出や活動の自粛も重なり、健康に関する正しい知識の習得や主体的な運動の実践につなげることができなかったことが要因であると考えます。

少しでも体を動かすことが健康状態の改善につながることから、高齢者はもとより運動習慣が低調となりやすい働き世代が運動を実践できるよう、医療機関や企業等とも連携し取り組みの工夫を図りながら、市民一人ひとりの健康増進につなげていく必要があります。

Ⅲ 関連データの状況

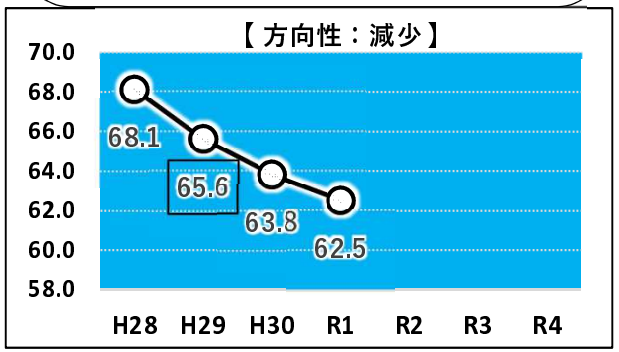
得点率 33.3%：	20点	15点	**10点**

【図1-2】がん検診平均受診率（%）



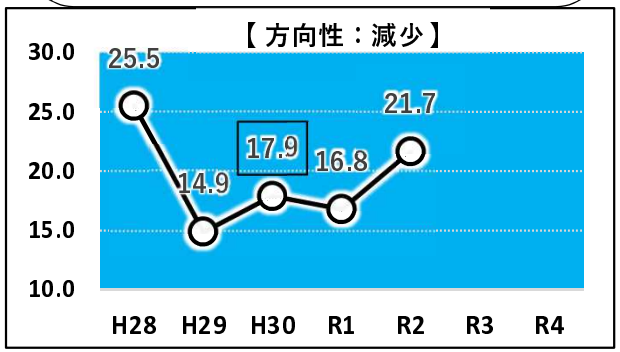
策定時以下・前年以下：0点

【図1-3】糖尿病リスクが高い（HbA1c有所見者）人の割合（%）



策定時より減少・前年より減少：5点

【図1-4】10万人当たりの自殺死亡者数（人/10万人）



策定時以上・前年以上：0点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。

Ⅳ 施策評価

さらなる進捗が必要　〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝　**65点**／100点〕

市民の主体的な健康づくりに向け、すこやかネットを通じた健康体操動画を配信したほか、歩行計測機能付きアプリを活用した自主的な運動の促進や、スマートライフプロジェクト登録企業・団体の加入促進などに取り組みましたが、「健康と思っている市民の割合【図1-1】」は、前回調査より増加したものの、目標達成に向かって進んでいません。少しでも体を動かすことが健康状態の改善につながることから、高齢者はもとより運動習慣が低調となりやすい働き世代が運動を実践できるよう、医療機関や企業等とも連携し取り組みの工夫を図りながら、市民一人ひとりの健康増進につなげていく必要があります。

生活習慣の予防など健康に対する正しい知識の習得や実践に向け、健康的な食生活、運動習慣に関する周知啓発や保健指導、受診が必要な方への勧奨等に取り組み、「HbA1c有所見者の割合【図1-3】」の減少につながりました。一方、がん予防のパネル展示や医療機関でのポスター掲示、ピンクリボン運動、がん検診の周知啓発などに取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため受診人数に上限を設けたことや受診控えなどにより、「がん検診平均受診率【図1-2】」は減少しています。引き続き、感染対策を講じながら、がんに対する正しい知識の周知啓発や忙しい働き世代が受診しやすい環境づくり、アプリを介した通知などの効果的ながん検診の周知啓発など、受診率向上に向けた取り組みを進めていく必要があります。

また、「10万人当たりの自殺者数【図1-4】」は前年より大きく増加しています。新型コロナウイルス感染症の拡大により、外出自粛に伴う運動不足や人との交流の減少に起因して心身に不調が現れる方がいるほか、経済的・家庭的にも様々な問題が生じていると考えられます。複数の悩みや問題が複雑に絡み合うことで自殺のリスクが高まることから、様々な関係機関が連携して自殺予防につなげていくことが必要です。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。

施策２　笑顔でつなぐ、みんなの子育て　－子育て支援の充実－

目指す姿

地域全体で子育てを支え、安心して子どもを産み育て、子どもたちが健やかに成長しています。

Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 80.0%：	40点	30点	25点

【事務事業の主な取り組み】

●子育て世帯の多様なニーズに対応し、地域で子育てを支えるため、ファミリーサポートセンター事業や子育て応援事業所登録制度の周知などを実施。

●妊娠や出産、育児に関する精神的・経済的不安の軽減を図るため、特定不妊治療費の支援や妊娠出産サポート事業を実施。

●母子の健康増進と健康意識の向上を図るため、妊婦・乳幼児健康診査による異常の早期発見のほか、出産・育児に関する情報提供や助言などを実施。

●発達の遅れや障害のある児童とその家庭を支援するため、発達支援センターやこども発達相談室の運営などを実施。

●保護者の多様化するニーズに対応するため、延長保育や休日保育、特別支援保育などの特別保育を実施。

●子どもたちの様々な体験活動や、地域ぐるみでの子育てを推進するため、帯広市青少年育成者連絡協議会への支援を実施。

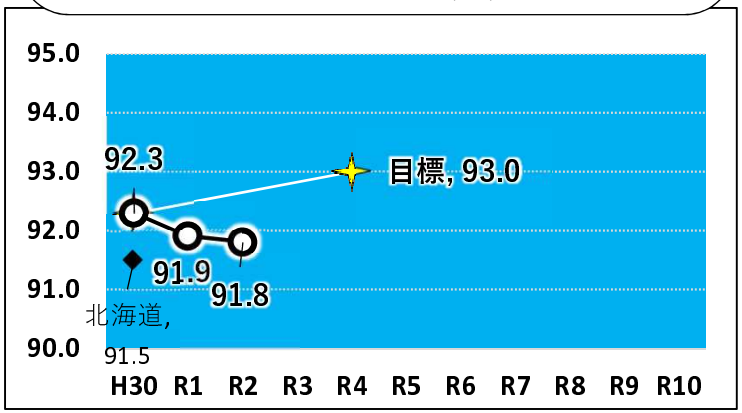
ママと赤ちゃんの相談会の様子

Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲71.4%：	40点	30点	25点

目指そう指標名			方向性
この地域で子育てをしたいと思う親の割合			↗
指標の考え方	市民による子育てボランティア活動や、企業等による子育てしやすい職場環境づくり、市による総合的な子育て支援などにより、上昇を目指します。	基準値（H30）	92.3%
		実績値（R2）	91.8%
		目標値（R4）	93.0%

【図1-1】この地域で子育てをしたいと思う親の割合（%）



【指標の動向・要因分析】

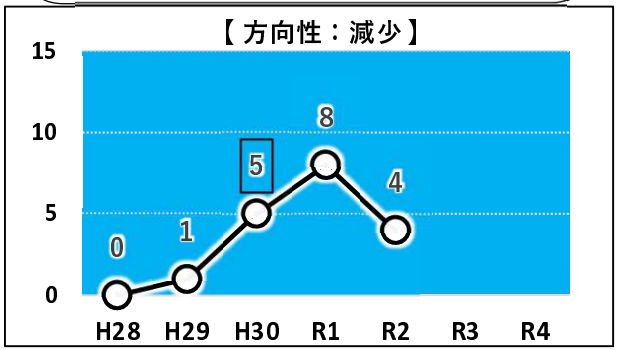
「この地域で子育てをしたいと思う親の割合」は91.8%であり、目標達成に向けて進捗していません。

市では、妊娠や出産、子育てに対する悩みなどへの相談対応を行っているほか、企業における育児休業の推進や、ファミリーサポートセンター事業など地域全体で子育てを支える取り組みを進めていますが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、市民による子育てボランティア活動や公共施設の休止による各種講座や親子の交流事業の中止・縮小、感染症対策の長期化による先行きの見えない不安感などが影響していると考えます。子育て世帯をとりまく環境の変化などを注視しながら、妊娠初期から子育て期に至るまでの切れ目のない相談体制の整備などを通し、個々の世帯に必要な支援につながるよう取り組む必要があります。

Ⅲ 関連データの状況

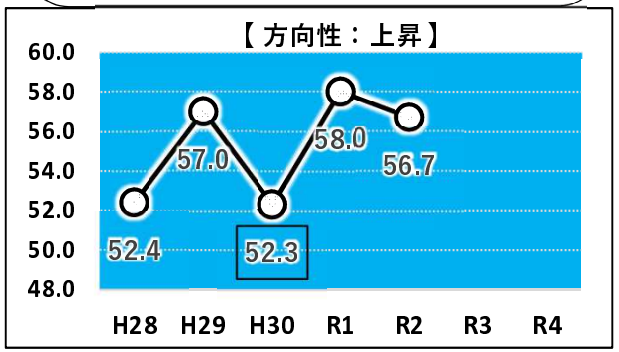
得点率 80.0%：	20点	15点	10点

【図1-2】4月1日時点の保育所等の待機児童数（人）



策定時より減少・前年より減少：5点

【図1-3】育児休業制を規定している事業所の割合（%）



策定時より増加・前年以下：3点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。

Ⅳ 施策評価

概ね順調に進んでいる　〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝　**85点**／100点〕

市民や企業など地域全体で子育てを支える環境づくりに向け、妊娠や出産、子育てに対する悩みなどへの相談対応や、地域で子育て家庭を支えるファミリーサポートセンター事業などに取り組んでおり、同センターの会員数が増加するなど子育てを支える環境の充実が図られています。

感染症対策を講じた事業の実施や母子健康手帳交付時の個別相談による課題共有を踏まえたセルフプランの作成を行うなど、これまでの取り組みを効果的に進め、妊娠初期から子育て期に至るまでの切れ目のない相談体制の整備などを通して、地域で子育てを支える環境づくりを進めます。

幼児教育・保育サービスの安定的な提供を図るため、私学助成幼稚園から認定こども園への移行や認定こども園の分園開設に対する支援など、低年齢児の保育ニーズに対応した受入枠の拡大を進めたことなどにより、「4月1日時点の保育所等の待機児童数【図1-2】」は前年より減少しました。今後も共働き世帯の増加などに伴い保育ニーズは高い状況が続くと見込んでいることから、引き続き、受入体制の確保に努めながら、多様な保育ニーズに適切に対応していく必要があります。

子育てをしながら働き続けることができる環境づくりを促進するため、市ホームページや事業所雇用実態調査を通じて子育て応援事業所の登録制度や促進奨励金制度の周知などに取り組んでいます。事業規模が小さい事業所ほど「育児休業制を規定している事業所の割合【図1-3】」は低い傾向にありますが、計画策定時より増加しており、今後も企業などと連携し、子育てしやすい環境づくりの周知啓発を行っていきます。

青少年の健全育成を図るための取り組みは、新型コロナウイルス感染症の拡大による外出制限や公共施設の休止などにより、多くが中止となりました。今後は感染症対策を講じた実施手法の見直しや事業内容の改善により、魅力ある体験活動機会を提供し青少年の健全育成を図る必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。

施策３　たくさんの小さなおせっかいがある暮らし　－地域福祉の推進－

目指す姿

介護を必要とする高齢者や障害のある人など、日常生活において支援を必要とする人が、身近な人とのつながりや支え合いによって、社会から孤立せず、住み慣れた地域で安心して暮らしています。

Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 83.3％：	40点	30点	25点

【事務事業の主な取り組み】

●生活上様々な問題を抱えている地域住民への相談対応や関係機関等との連絡調整などを行うため、民生委員・児童委員の配置及び活動を支援。

●住民相互の交流や親睦を図るため、地域交流サロンの活動を支援。

●判断能力が十分でない人に代わり契約や財産管理を行う成年後見制度の利用促進を図るため、成年後見支援センターの運営や市民後見人の養成を実施。

●高齢者の健康保持や生活に関する相談など、日常生活を送る上で生じている課題を包括的に支援するため、地域包括支援センターを運営。

●高齢者や障害のある人への地域の見守り体制の強化のため、民間事業所や医療機関など多様な団体等の連携による、きづきネットワーク事業を推進。

●複合的な困りごとや世帯全体の困りごとなど分野をまたぐ課題に対応するため、地域福祉にかかる関係団体等との連携等による包括的な相談・調整を推進。

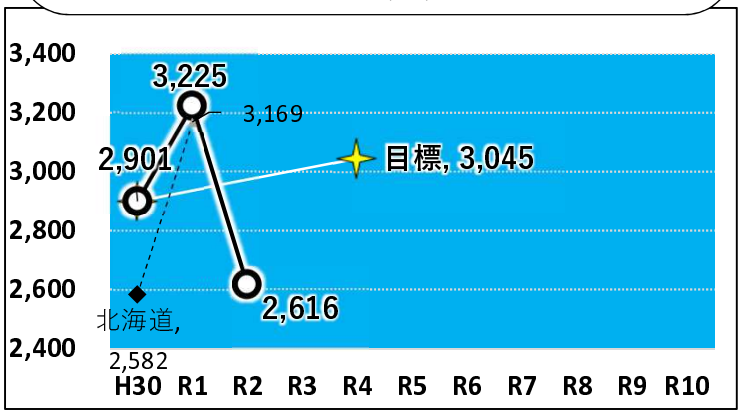
成年後見フォーラムの様子

Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲197.9%：	40点	30点	25点

目指そう指標名			方向性
10万人あたりのボランティア登録者数			↗
指標の考え方	市民によるボランティア活動への参加や、市による福祉団体等への活動支援などにより、増加を目指します。	基準値（H30）	2,901人
		実績値（R2）	2,616人
		目標値（R4）	3,045人

【図1-1】10万人あたりのボランティア登録者数（人）



【指標の動向・要因分析】

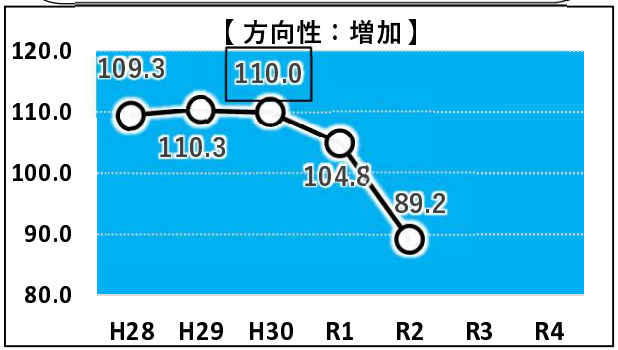
「10万人あたりのボランティア登録者数」は2,616人であり、目標達成に向けて進捗していません。

市では、福祉活動団体への支援などを行っており、社会福祉協議会においてもコーディネーターを配置したボランティアセンターの運営、ボランティア養成講座など人材の育成・確保に向けた取り組みを行っていますが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、外出自粛による活動機会の制限を余儀なくされたことによりボランティア登録者数が減少したものと考えます。今後は、地域の社会資源を充実していくため、感染症対策を講じた養成講座の開催手法の検討や、ボランティア活動にかかる普及啓発、参加の呼びかけなどを通し、登録者数の増加につながるよう取り組んでいく必要があります。

Ⅲ 関連データの状況

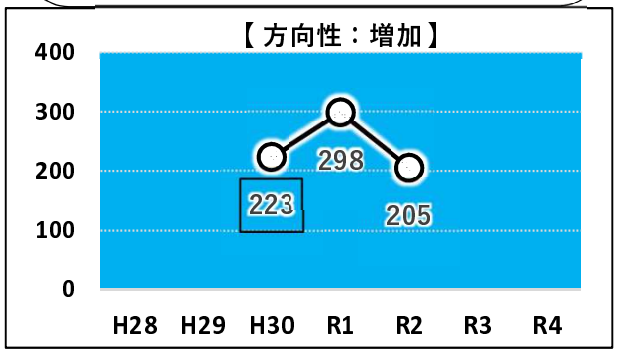
得点率 33.3%：	20点	15点	**10点**

【図1-2】民生委員・児童委員１人当たりの活動日数（日）



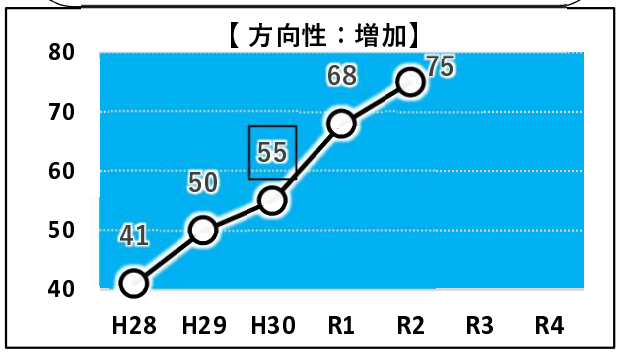
策定時以下・前年以下：0点

【図1-3】地域包括支援センターへ近隣住民等からの相談件数（件）



策定時以下・前年以下：0点

【図1-4】法人後見支援員の登録者数（人）



策定時より増加・前年より増加：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。

Ⅳ 施策評価

概ね順調に進んでいる　〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝　**75点**／100点〕

市民相互の支え合いの意識を高め、地域で様々な問題を抱えている人への相談対応や見守り体制の強化などを行うため、民生委員・児童委員による相談支援や多様な団体と連携した「きづきネットワーク事業」の推進を図ったほか、高齢者の健康保持や生活に関する相談など、日常生活を送る上で生じている課題を包括的に支援するため、「地域包括支援センター」の運営に取り組みました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出自粛による活動機会の制限・縮小などを背景に、「10万人あたりのボランティア登録者数【図1-1】」、「民生委員・児童委員一人当たりの活動日数【図1-2】」及び「地域包括支援センターへの近隣住民等からの相談件数【図1-3】」は減少しています。

高齢化の進行により、支援を必要とする人は今後も増加していくことが見込まれることから、引き続き地域での見守り合い・支え合いの重要性にかかる啓発や、身近にある相談窓口の周知を図り、生活様式の変化に対応した相談支援体制の強化を推進する必要があります。

福祉団体などと連携した福祉活動の担い手の育成・確保のため、成年後見支援センターの運営や市民後見人の養成などを進めたことにより、判断能力が不十分な市民の生活を支える「法人後見支援員の登録者数【図1-4】」は増加しており、市民相互の支え合いの意識が高まってきていると考えられます。今後も成年後見人制度利用者の増加を見据えた持続的な権利擁護を図っていくため、市民後見制度の啓発などに取り組んでいきます。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。

施策４　ずーっと生き活きと暮らす　－高齢者福祉の推進－

目指す姿

高齢者が、仕事や地域活動などを通して社会と関わりながら、必要な福祉サービスを安心して受けられ、住み慣れた地域で自分らしく生き活きと暮らしています。

Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 71.4%：	40点	**30点**	25点

【事務事業の主な取り組み】

介護予防教室

●高齢者及び介護する家族の不安解消などのため、ひとり暮らし高齢者、寝たきり・認知症高齢者登録による生活支援を実施。

●高齢者の権利擁護のため、被虐待高齢者の保護と養護者に対する支援を実施。

●高齢者が安心して生活できる環境整備のため、認知症共同生活介護施設（グループホーム）等を整備。

●高齢者の社会参加の促進のため、高齢者バス無料乗車証を発行。

●高齢者の社会活動や生きがいづくり促進のため、老人クラブへの支援を実施。

●高齢者の健康保持・増進や生活の安定のため、地域包括支援センターによる相談支援や権利擁護を実施。

●認知症に関する理解促進のため、認知症サポーターを養成。

●生きがいや役割を持ちながら地域で元気に過ごすことができるよう、趣味活動や簡単な運動などを通じた介護予防を実施。

●在宅医療と介護の連携を推進するため、医療機関やケアマネジャーとの体制づくりを支援。

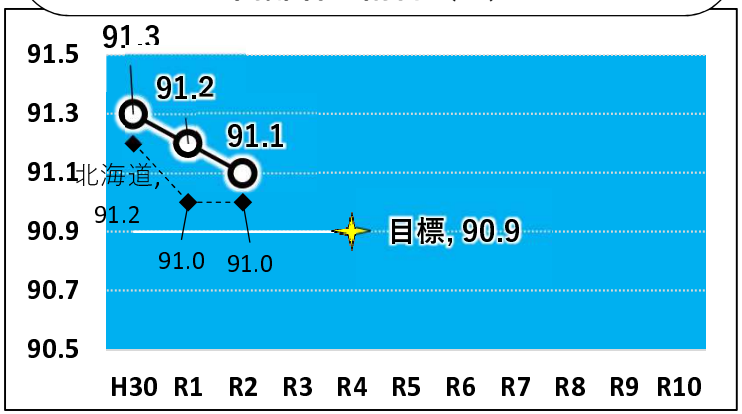
●ひとり暮らし高齢者などの生活上のちょっとした困りごとを地域で助け合い支えていくため、掃除や買い物などを手助けする生活援助員や、支え合いを日常生活の中で実践できる人を養成。

Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 100.2%：	40点	30点	25点

目指そう指標名			方向性
要介護度が「要介護１」までの高齢者の割合			→
指標の考え方	高齢者による適度な運動やバランスのとれた食生活の実践などの健康増進の取り組みや、市による介護予防の取り組みの推進などにより、維持を目指します。	基準値（H30）	91.3%
		実績値（R2）	91.1%
		目標値（R4）	90.9%

【図1-1】要介護度が「要介護１」までの高齢者の割合（%）



【指標の動向・要因分析】

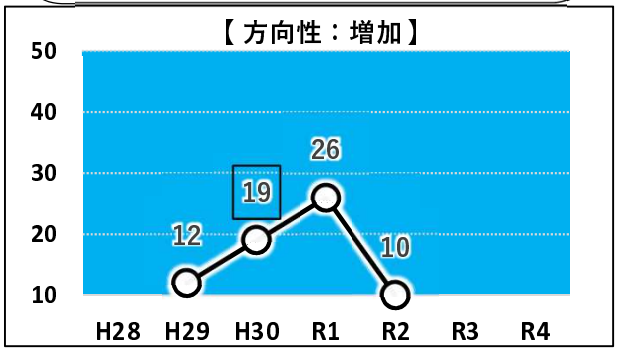
「要介護度が「要介護１」までの高齢者の割合」は91.1%であり、目標達成に向けて順調に進捗しています。

市による自立支援に向けた介護サービスの提供や、地域包括支援センター・介護事業所による介護予防の取り組みの実施や、市民による介護予防教室への参加や自主的な軽運動の実践などが、介護の重度化の抑制につながっているものと考えます。今後、新型コロナウイルス感染症の拡大による外出や活動の自粛が、心身の機能に影響を及ぼすことも懸念されることから、関係機関等と連携し、支援が必要な人を早期に把握しながら、介護予防の実践や社会参加の促進などに取り組む必要があります。

Ⅲ 関連データの状況

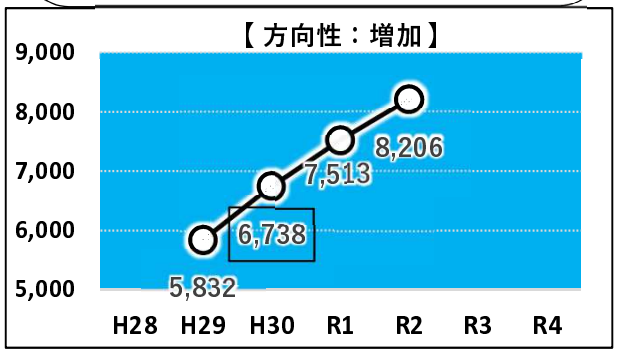
得点率 50.0%：	20点	15点	**10点**

【図1-2】地域支え合いを推進する協議体の実施回数（回）



策定時以下・前年以下：0点

【図1-3】雇用保険の高年齢被保険者の年平均数（人）



策定時より増加・前年より増加：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。

Ⅳ 施策評価

概ね順調に進んでいる　〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝　**80点**／100点〕

高齢者の生活支援に向け、ひとり暮らし高齢者などへの生活支援やグループホームの整備、介護予防サービスの提供のほか、地域包括支援センターでの個別ケア会議の開催などに取り組み、地域での支援ネットワークの強化や、生活支援が必要な人に対する適切なサービス提供につながっています。一方で、ちょっとした支え合いサポーターを中心に生活支援の課題を地域住民で共有し、実践につなげる「地域支え合いを推進する協議体の実施回数【図1-2】」は新型コロナウイルス感染症の拡大により減少し、地域の課題解決に向けた新たな活動団体の創出等にはつながりませんでした。今後は、出席人数の抑制など感染対策を講じた開催のほか、課題解決への地域の自主的な活動に向け、市や関係機関が連携しながら最適な運営方法を検討していく必要があります。

高齢者の社会参加の促進に向け、「高齢者おでかけサポートバス事業」による外出支援、老人クラブ活動等への支援、簡単な運動などを通じた介護予防事業、掃除や買い物などを手助けする生活援助員の養成などに取り組んだほか、関係機関と連携した企業とのマッチングによる就労機会の確保などにより、「高齢者の雇用保険被保険者数【図1-3】」の増加につながっています。今後も、高齢者の地域活動への参加促進や就労促進に向け取り組みを進めていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。

施策５　個性はみんなのたからもの　－障害者福祉の推進－

目指す姿

障害に対する市民理解が深まり、障害のある人が地域社会の一員として、安心して暮らしています。

Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 86.7%：	40点	30点	25点

【事務事業の主な取り組み】

●障害や障害のある人への理解が深まるよう、市民活動プラザ六中での地域住民との交流など各種事業を通じた交流や普及啓発を促進。

●権利擁護や虐待・差別防止のため、関係機関の連携による早期対応の取り組みと周知啓発を実施。

●支援に携わる関係者間の情報共有や連携強化、人材の育成のため、地域自立支援協議会の開催及び研修等を実施。

●障害のある人やその家族が安心して暮らせるよう、相談支援や意思疎通を円滑化するためのコミュニケーション支援事業を実施。

●地域における自立生活の促進のため、障害福祉サービスの提供や自立支援医療等を給付。

●希望や特性に応じて働ける環境を整備し就労を促進するため、企業や福祉事業所への研修等を実施。

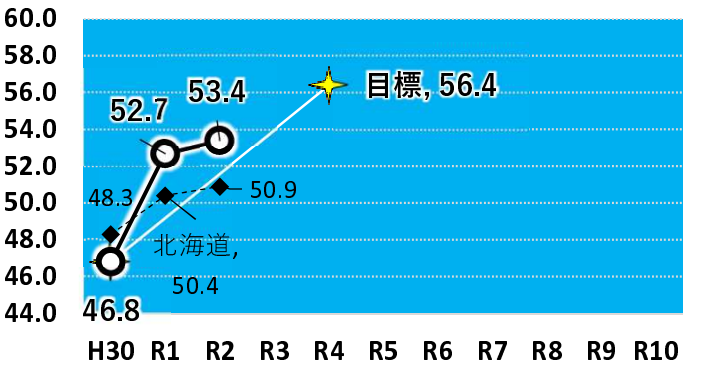
手話奉仕員養成講座の様子

Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 68.8%：	40点	30点	25点

目指そう指標名			方向性
障害者雇用率を達成した企業の割合			↗
指標の考え方	民間企業等による障害のある人が能力を発揮しやすい雇用・職場環境づくりなどの取り組みや、市による就労支援などにより、上昇を目指します。	基準値（H30）	46.8%
		実績値（R2）	53.4%
		目標値（R4）	56.4%

【図1-1】障害者雇用率を達成した企業の割合（%）



【指標の動向・要因分析】

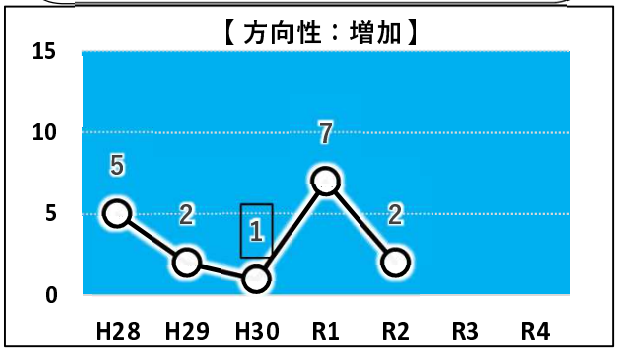
「障害者雇用率を達成した企業の割合」は53.4%であり、目標達成に向けて順調に進捗しています。

市や福祉事業所による障害のある人の自立に向けた相談対応や就労移行・継続支援事業などを通じた社会参加の促進、企業の職業体験の受入などにより、障害のある人の就労意欲の向上や企業理解が進んだものと考えます。今後も、障害者の法定雇用率の引き上げに伴い、民間企業等による一層の雇用促進が求められることから、受入に対する課題等を企業と共有しながら、障害のある人が働きやすい環境づくりにつなげていく必要があります。

Ⅲ 関連データの状況

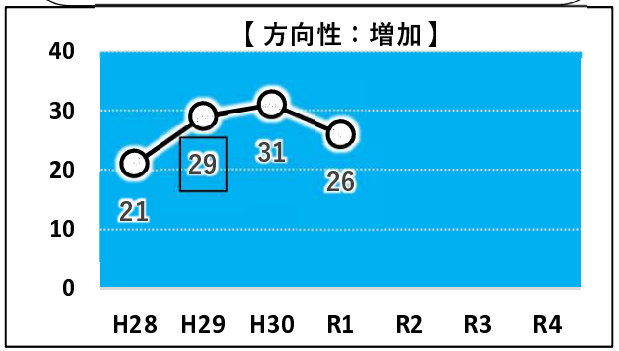
得点率 30.0%：	20点	15点	**10点**

【図1-2】施設入所者の地域生活移行者数（人）



策定時より増加・前年以下：3点

【図1-3】福祉施設から一般就労への移行者数（人）



策定時以下・前年以下：0点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。

Ⅳ 施策評価

順調に進んでいる　〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝　**90点**／100点〕

障害のある人が安心して暮らせる地域社会の構築に向け、相談支援や生活介護・短期入所など障害福祉サービスの提供を行いました。また、「施設入所者の地域移行者数【図1-2】」は前年度より減少しているものの、毎年度障害のある人の地域移行は一定数いるほか、住み慣れた地域で生活するための居住の場であるグループホームを提供する事業所は増加しています。今後も、障害のある人の自立した生活に向け、関係機関と連携しながら取り組みを進めて行く必要があります。

障害に対する理解促進や障害のある人の就労促進に向け、障害に関する出前講座を実施したほか、地域自立支援協議会などの関係機関と連携した、障害のある人の職場体験や社会活動への参加支援、企業に対する理解促進の取り組みなどにより「企業等の法定雇用率達成割合【図1-1】」の増加につながっています。一方で、福祉サービス利用者においては、発達障害や強度の行動障害を有し、直ちに一般就労に結びつくのが困難な人が増えていることや新型コロナウイルス感染症の拡大で事業所での訓練・作業時間が減少したことなどにより、「福祉施設からの一般就労移行者数【図1-3】」は減少しており、福祉事業所における一般就労の促進に向けて、様々な障害特性に対応できる職員等の育成に取り組んでいくことが必要となっています。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「順調に進んでいる」と評価します。

施策６　医療を身近に安心な暮らしをつくる　－医療体制の安定的確保－

目指す姿

十勝圏全体で連携し、安心して医療を受けることのできる医療体制が確保され、市民の健康が守られています。

Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 100.0%：	40点	30点	25点

【事務事業の主な取り組み】

●地域医療体制の安定化を図るため、看護師等の養成機関への支援により、医療に従事する人材を確保。

●新型コロナウイルス感染症の影響で、経済的理由により修学の継続が困難になった看護学生等に対し給付金を支給。

●帯広市休日夜間急病センターの運営により、夜間、休日でも受診可能な医療体制を確保。

●医療機関や関係機関と連携し、帯広厚生病院への運営費を支援。

●新型コロナウイルス感染症予防・拡大防止のため、患者等の受入医療機関において使用する衛生管理用品の備蓄を支援。

●医療体制維持のため、救急告示医療機関に勤務する医療従事者が安心して就労できるようメンタルヘルスサポート体制を構築するなどの環境整備等の取り組みを支援。

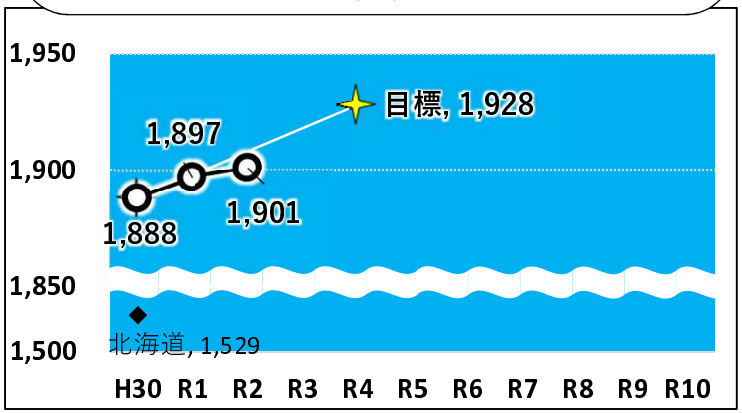
帯広市休日夜間急病センター

Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 32.5%：	40点	30点	25点

目指そう指標名			方向性
10万人あたりの看護師就業者数			↗
指標の考え方	医療機関等による看護師等の雇用・職場環境づくりの取り組みや、市による看護師養成機関への支援などにより、増加を目指します。	基準値（H30）	1,888人
		実績値（R2）	1,901人
		目標値（R4）	1,928人

【図1-1】10万人あたりの看護師就業者数（人）



【指標の動向・要因分析】

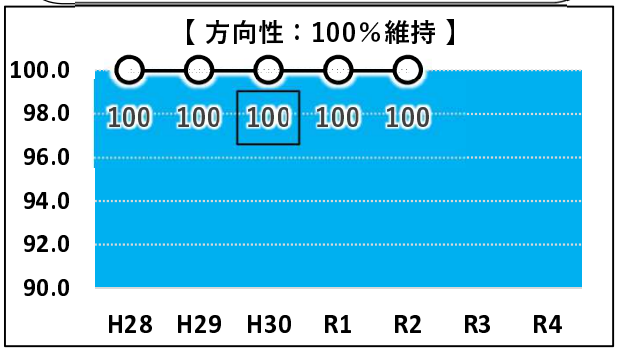
「10万人あたりの看護師就業者数」は1,901人であり、基準値を上回っていますが、目標達成に向けて進捗していません。

市内看護学校による看護師の養成のほか、市による看護学生に対する地域内の就労先に関する情報提供や看護師の復職支援などに取り組んだことにより、市内看護学校卒業生の十勝管内定着率は増加してきていますが、依然として卒業生の一部は進学等により管外へ転出している状況にあります。今後も、高齢化の進行に伴う医療需要の増加に伴い、看護師など医療に従事する人材の不足が見込まれることから、引き続き関係機関と連携しながら看護師養成・確保に努めていく必要があります。

Ⅲ 関連データの状況

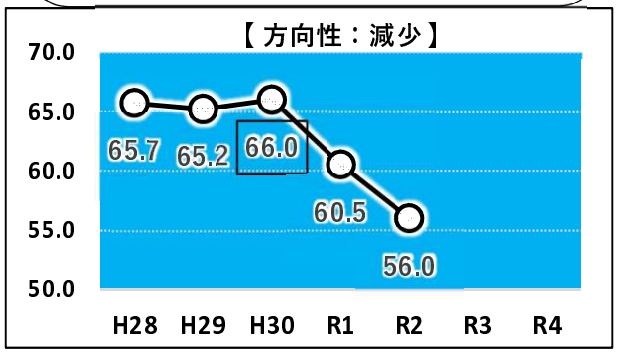
得点率 100.0%：	20点	15点	10点

【図1-2】初期救急医療の対応可能日数の割合（%）



基準以上：3点

【図1-3】救命救急センターにおける一次救急患者の利用割合（%）



策定時より減少・前年より減少：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。

Ⅳ 施策評価

概ね順調に進んでいる　〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝　**85点**／100点〕

看護師の確保に向け、市内看護学校による看護師養成や管内就労先の情報提供に取り組み、看護師等の管内定着率は65.1%と前年より増加していますが、「10万人あたりの看護師就業者数【図1-1】」については微増にとどまっています。今後は、医療機関はもとより、介護施設など看護を必要とする就労先についての効果的な情報提供の検討などを通し、地域における看護師確保につなげていく必要があります。

十勝圏域全体の救急医療体制を確保するため、休日夜間急病センターの運営をはじめ、町村や関係機関と連携した在宅当番医制など夜間・休日の救急体制を整備し、「初期救急医療の対応可能日数の割合【図1-2】」は、100%を維持しています。また、広報紙やホームページにおける適切な救急医療の利用についての周知や、帯広市急病テレホンセンターによる救急医療情報の提供などにより、三次救急の適切な利用が図られたほか、インフルエンザの感染者が激減したことなどにより、「救命救急センターにおける一次救急患者の利用割合【図1-3】」は減少しました。今後も、医療機関や関係機関と連携しながら、救急医療体制を確保していく必要があります。

施策全体としては、事務事業の推進状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。

施策７　誰もが安心できる暮らしの支えになる－社会保障制度の持続性の確保－

目指す姿

国民健康保険や介護保険、生活保護などの社会保障制度の持続性が確保され、市民が安心して暮らしています。

Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 90.9%：	40点	30点	25点

【事務事業の主な取り組み】

●国民健康保険の医療費の適正化を図るため、医療費通知の実施やジェネリック医薬品の使用促進、重複・頻回受診者への指導を実施。

●疾病の早期発見・重症化予防や生活習慣改善に関する市民の理解促進のため、ドック事業や特定健康診査・特定保健指導を実施。

●介護保険制度の安定的な運営と介護サービス利用者へのサービス向上のため、要介護認定や介護報酬請求の適正化のほか、低所得の介護保険加入者への利用料負担を軽減。

●徴収業務の効率的な執行体制を構築するため、国民健康保険料、後期高齢者医療保険料、介護保険料の料金徴収と市税との徴収一元化に向けた検討を実施。

●保護を必要とする人の早期把握や、被保護者に対する制度の適切な運用、就労支援などを通じた自立支援を実施。

●保護に至る前の生活困窮者対策として、自立相談支援や子供の学習支援、住居確保給付金の支給など、生活全般にわたる包括的な支援を実施。

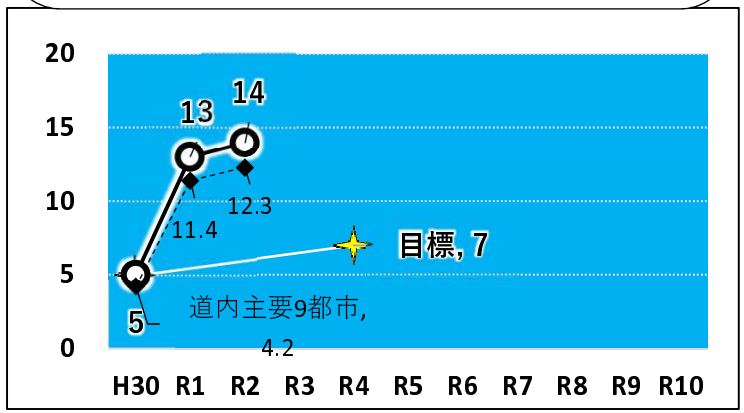
特定保健指導の様子

Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 450.0%：	40点	30点	25点

目指そう指標名			方向性
介護保険運営の安定化に資する取組項目数			↗
指標の考え方	市民が介護保険制度に対する理解を深め、市によるケアプランの点検や介護人材の確保に関する取り組みなどにより、増加を目指します。	基準値（H30）	5項目
		実績値（R2）	14項目
		目標値（R4）	7項目

【図1-1】介護保険運営の安定化に資する取組項目数（項目）



※道内主要9都市：札幌市、旭川市、函館市、苫小牧市、釧路市、江別市、江別市、小樽市、帯広市

【指標の動向・要因分析】

「介護保険運営の安定化に資する取組項目数」は14項目であり、目標達成に向けて順調に進捗しています。

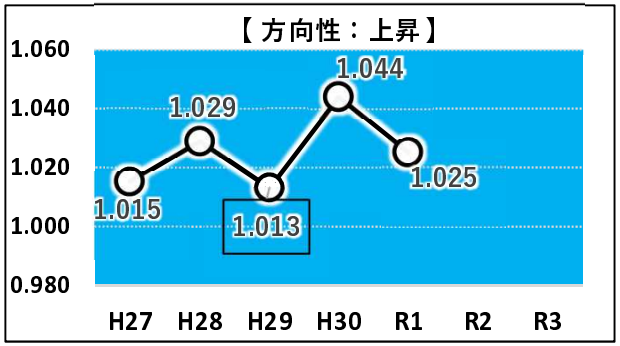
市によるケアプランの点検や、ケアマネジャーの給付適正化に資する研修会の実施、新任介護職員研修会の開催などによる介護人材確保・育成を図ったことで、取組項目数の増加につながりました。

また、道内10万人以上の９市の平均取組項目数を上回っており、介護給付の適正化や介護人材の確保に向けた取り組みが進んでいるものと考えます。

Ⅲ 関連データの状況

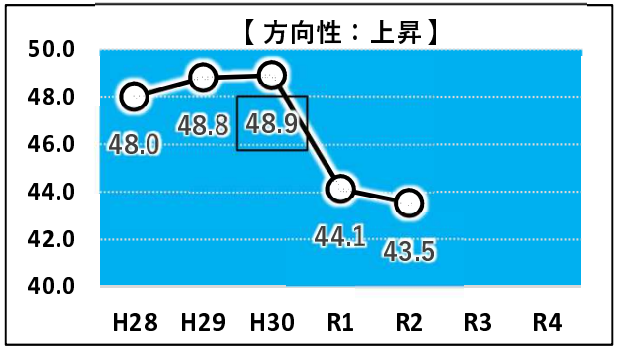
得点率 20.0%：	20点	15点	**10点**

【図1-2】医療費の地域差指数
（全国平均＝1.000）



策定時以上・前年より減少：2点

【図1-3】稼働可能な被保護者に対する就労者の占める割合（%）



策定時以下・前年以下：0点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。

Ⅳ 施策評価

順調に進んでいる　〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝　**90点**／100点〕

国民健康保険制度については、医療費通知の実施やジェネリック医薬品の使用促進、重複・頻回受診者への指導などのほか、ドック事業や特定健康診査・特定保健指導などを行っていますが、全国的に見ると外来・入院共に一人当たり医療費が高い傾向となっており、「医療費の地域差指数【図1-2】」は前年より減少しているものの、計画策定時を上回る状況となっています。今後も、医療費の適正化や疾病の早期発見・重症化予防に向けた取り組みを進め、制度の健全な運営につなげていく必要があります。

介護保険制度については、給付費の適正化に向けた、ケアプランの点検や、ケアマネジャーを対象とした研修会の実施のほか、新任介護職員研修会の開催などによる介護人材確保・育成に取り組んだことで、「介護保険運営の安定化に資する取組項目数【図1-1】」は増加しており、引き続き、制度の安定的な運営に向け取り組みを進めて行く必要があります。

生活保護制度については、生活保護に至る前の生活困窮者の相談支援や自立支援プログラムの実施、関係機関と連携した被保護者への就労支援など、被保護者の自立の助長に向けた取り組みを進めましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、希望する求人が減少するなど、「稼働可能な被保護者に対する就労者の占める割合【図1-3】」の増加につながりませんでした。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「順調に進んでいる」と評価します。

施策８　世界に冠たる十勝農業を創る　－農林業の振興－

目指す姿

農業者や関係機関等による生産性や収益性向上に向けたチャレンジが続けられ、競争力の高い農業が展開されています。

Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 88.9%：	40点	30点	25点

【事務事業の主な取り組み】

●農業経営の高度化・安定化の実現や、優れた経営能力を持つ担い手の育成・確保を図るため、農業者向け研修会や農林業育成資金の貸付などを実施。

●環境負荷を低減するため、クリーン農業技術の情報提供や環境保全に取り組む農業者への支援を実施。

●経営規模の拡大や農業従事者の不足、労働負担軽減等に対応するため、先進技術の導入を支援。

●農畜産物の販路拡大や信頼性確保のため、GAP研修会の周知等、食の安全安心に係る取り組みを支援。

●畜産経営の安定化や和牛生産の普及を図るため、とかち帯広和牛生産改良組合の活動を支援。

●十勝農業の魅力向上や理解促進を図るため、ホームページでの情報発信のほか、「おびひろ市民学」と連携した食育推進サポーターによる食育講座や農業体験機会の提供などを実施。

農業者が農林業育成資金を活用して導入したGPSガイダンス搭載トラクター

●農業生産体制の強化を図るため、かんがい排水施設の整備のほか、土層改良などの生産基盤整備や保全管理を実施。

●農村地域の活性化に向けた農業センターの維持管理や、農道の草刈り・補修等を通じた地域資源の保全に係る共同活動への支援を実施。

●森林の多面的機能の維持増進を図るため、市有林の適切な維持・管理のほか、森林経営計画作成支援などによる私有林所有者の森林整備の促進や担い手の育成等を実施。

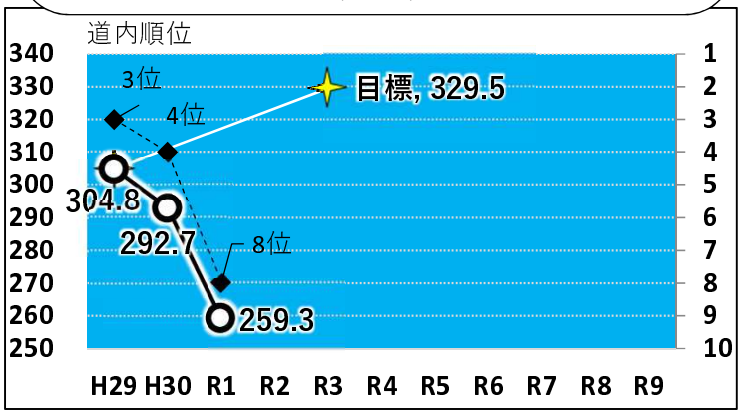
●ばんえい競馬を安定的に開催するため、生産者への奨励金の支給や、全国の公営競技ファンに向けた情報発信、勝ち馬投票券の発売日数や発売所の増加のほか、ばん馬との触れ合い機会を通じたPR活動、競馬の公正確保の取り組みを実施。

Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲184.2%：	40点	30点	25点

目指そう指標名			方向性
農業産出額（農林水産省推計値）			↗
指標の考え方	市と農業者・農業団体などが連携しながら、収益性向上や担い手育成の取り組みなどを進めることにより、増加を目指します。	基準値（H29）	304.8億円
		実績値（R1）	259.3億円
		目標値（R3）	329.5億円

【図1-1】農業産出額（農林水産省推計値）（億円）



【指標の動向・要因分析】

「農業産出額（農林水産省推計値）」は259.3億円であり、目標達成に向けて進捗していません。

市では、先進技術及び農業機械の導入支援や、農業団体との連携による黒毛和牛の生産振興、農業者向け研修会の開催、環境保全型農業の推進などに取り組んでおり、農業産出額は道内全自治体中８番目、全国でも39番目と一定の競争力を維持しています。

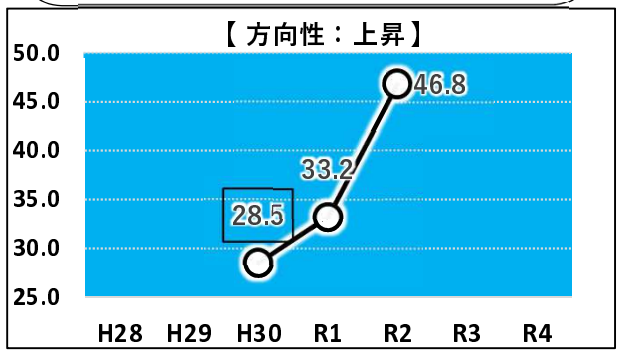
国による農業産出額は、生産者からの報告をもとに推計されており、肉用牛飼養頭数の報告値が大幅に減少したことなどにより前年から減少していますが、市の推計による農業産出額は微増となっています。

今後も、農業団体・農業者との連携のもと、畜産部門の生産振興はもとより、先進技術のさらなる導入促進、長いもをはじめとした高収益作物の品質向上などを通し、効率的で収益性の高い農業振興に取り組んでいく必要があります。

Ⅲ 関連データの状況

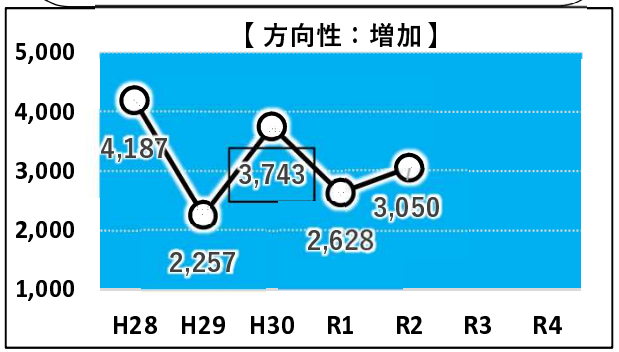
得点率 46.7%：	20点	15点	**10点**

【図1-2】スマート農業普及率
（%）



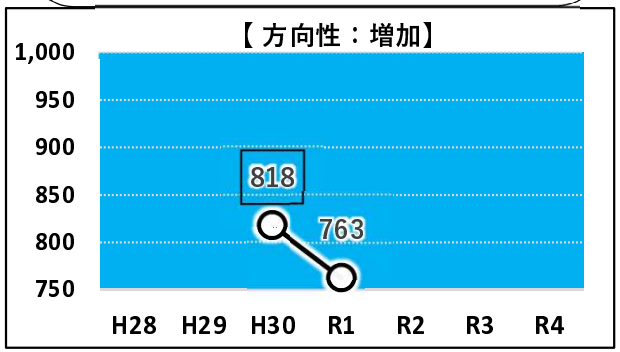
策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-3】農畜産物輸出量
（ｔ）



策定時以下・前年より増加：2点

【図1-4】直近５年間の森林整備面積
（ha）



策定時以下・前年以下：0点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。

Ⅳ 施策評価

概ね順調に進んでいる　〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝　**75点**／100点〕

生産性や収益性の向上に向け、農業基盤の整備のほか、資金貸付等を通じた先進技術の導入支援や担い手の育成などに取り組んでおり、「スマート農業普及率【図1-2】」の上昇や、国際水準GAPの研修受講者数の増加などの動きがみられます。

「農畜産物輸出量【図1-3】」は、輸出量の大部分を占める長いもについて、凍害による品質劣化や海上コンテナ不足の影響などにより、前年比では増加したものの、基準年を下回っています。今後も、関係団体との協力のもと、主力品である長いもにおいて生産体制の強化や品質向上はもとより、海外ニーズに照らした収穫時期の一部変更などをはかることで、輸出量の増加につなげていくことが必要です。

農業への理解促進に向け、市管理施設における農業体験機会の提供や学校教育と連携した食育の推進などに取り組み、農業体験・学習に参加した市民の数が増加したほか、食育に関心を持っている市民の割合は、前年から微減となったものの、９割程度の高い水準を維持しており、農業への高い関心につながっています。

森林の適正な管理・保全に向け、森林経営計画作成支援などによる私有林所有者の森林整備の促進や、造林や間伐など、市有林の適切な維持・管理に取り組んできたことで、森林所有者の負担軽減や作業員の雇用確保のほか、森林資源の有効活用が進みました。一方で、北海道による補助金配分の減少等に伴い「森林整備面積【図1-4】」が減少していることから、今後も私有林所有者に対する森林環境譲与税を活用した施業支援などを進め、整備の促進につなげていく必要があります。

ばんえい競馬の安定運営を図るため、生産者への支援や魅力の発信、勝馬投票券の発売額増加に向けた取り組みなどを進めてきたことにより、来場者数は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い減少したものの、インターネット投票が伸長し、売上額の増加につながっています。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。

施策９　「とかちのかち」を創り続ける　－地域産業の活性化－

目指す姿

地域資源や人材等を活かし、市場ニーズを捉えた商品やサービス等が創出・提供され、産業の活性化や雇用の拡大につながっています。

Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 61.1%：	40点	**30点**	25点

【事務事業の主な取り組み】

●地場産品の付加価値向上を図るため、包括連携企業と地元企業の協業による商品開発支援や、農業団体・研究機関や域外事業者へのニーズ調査など、６次産業化の推進に向けた取り組みを実施。

●地元企業の製品開発や販路拡大を促進するため、知的財産や技術に関する相談のほか、資金面での支援から指導・助言に至るまでの総合的なものづくり支援、展示会等への出展支援を実施。

●地元企業の経営基盤強化のため、感染症の影響も視野に入れた経営相談や制度融資を実施。

●商店街の活性化を図るため、商店街が主体となって取り組む提案事業への支援を実施。

●地域の経済発展に貢献する人材の育成に向け、帯広畜産大学などと連携し、フードバレーとかち人材育成事業等を実施。

新たな事業構想を生み出す
「とかち・イノベーション・プログラム」

●持続的に新事業の創発を促すため、産学官連携による、人材育成、事業構想づくり、事業化までの伴走型支援等、総合的に事業創発を支援。

●企業立地の促進に向け、工業団地の造成や販売促進、立地企業の設備投資への支援を実施。

●勤労者が安心して働ける環境づくりのため、事業所雇用実態調査や労働相談のほか、子育て応援事業所への奨励金の給付、とかち勤労者共済センターの運営支援を実施。

●求職者の状況に応じた多様な就職機会の確保のため、域外人材と地元企業のマッチングや就労開拓アドバイザーを通じた高齢者の就労支援、通年雇用化に向けた能力開発支援を実施。

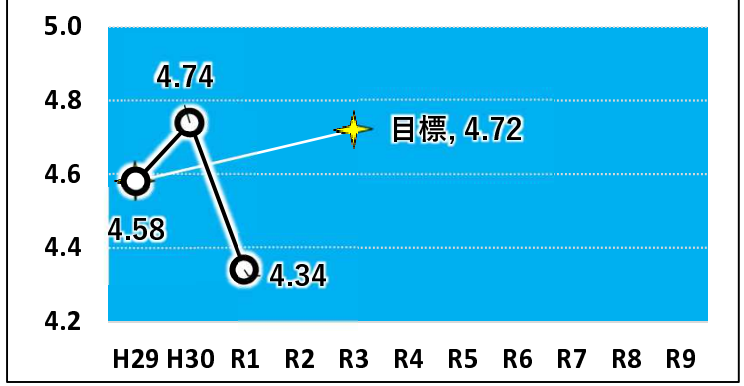
Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲171.4%：	40点	30点	25点

目指そう指標名			方向性
北海道内主要都市※に占める帯広市の法人市民税賦課金額の割合			↗
指標の考え方	市や関係団体等による経営基盤の強化や、事業者等による商品・サービスの開発・提供など地域の価値を高める取り組みにより、上昇を目指します。	基準値（H29）	4.58%
		実績値（R1）	4.34%
		目標値（R3）	4.72%

※2018年時点における人口10万人以上の都市

【図1-1】北海道内主要都市に占める帯広市の法人市民税賦課金額の割合（%）



【指標の動向・要因分析】

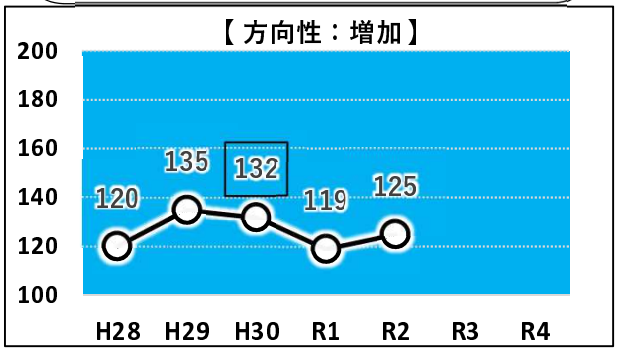
「北海道内主要都市に占める帯広市の法人市民税賦課金額の割合」は4.34%であり、目標達成に向けて進捗していません。

小樽市及び北見市以外の主要都市が前年と同額以上となる中、帯広市においては大手企業の市外移転などの影響により、前年を下回ったものと考えます。今後も、設備投資に対する助成などを通じた企業立地に取り組むほか、関係機関と連携しながら、域外人材との協業などを通じた顧客ニーズの高い商品の開発、販路の拡大を支援することにより、地元企業の経営基盤の強化につなげていく必要があります。

Ⅲ 関連データの状況

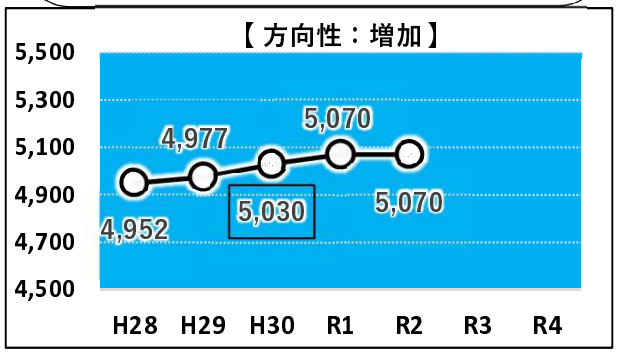
得点率 66.7%：	20点	**15点**	10点

【図1-2】創業・起業件数
（件）



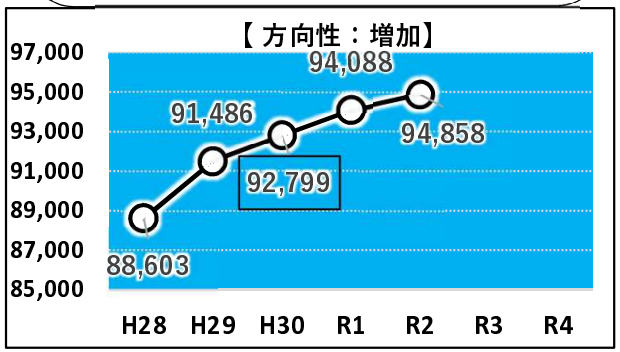
策定時以下・前年より増加：2点

【図1-3】法人市民税賦課法人数
（件）



策定時より増加・前年以下：3点

【図1-4】雇用保険被保険者数
（人）



策定時より増加・前年より増加：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。

Ⅳ 施策評価

さらなる進捗が必要　〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝　**70点**／100点〕

地域の農林水産物の付加価値向上に向け、包括連携企業と連携した商品開発支援に取り組み、複数企業における新たな乳製品の開発を後押ししたほか、６次産業化推進の方向性を検討するため、関係団体等への意向調査などを行いました。今後は、調査結果から得られたニーズを地元事業者に還元し、付加価値の高い商品開発につなげていく必要があります。

創業・起業の促進に向け、関係機関と連携し、総合的な事業創発支援などを進めてきたことにより、新たな法人の設立や事業の創出につながっているほか、新しい事業にチャレンジする人たちのコミュニティが生まれており、創業・起業の機運が醸成されつつあります。一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う業況悪化の影響も受け、「創業・起業件数【図1-2】」は基準値を下回っています。今後も、事業創発のさらなる加速に向け、事業の周知を強化することにより、起業候補者の裾野拡大につなげていく必要があります。

中小企業の経営基盤の強化に向け、経営に関する相談対応や制度融資などに取り組んだことにより、感染症の影響下においても、「法人市民税賦課法人数【図1-3】」は過去5年の最高値を維持しており、地元企業の経営状況を下支えしているものと考えます。

企業立地の促進に向け、企業の設備投資に対する支援や新たな工業団地の造成・販売促進に取り組み、西19条北工業団地の分譲は順調に進んでいるものの、実際の立地には一定の時間を要することが考えられます。企業の需要はあるものと考えられるため、今後も企業訪問などを通し情報収集に努め、支援制度の情報提供を進めていく必要があります。

生き生きと安心して働ける雇用環境の確保に向け、多様な人材と地元企業とのマッチングや通年雇用化の促進、働きやすい職場環境づくりを進めてきたことで、移住者・高齢者の地元企業への就職、子育て応援事業所数やとかち勤労者共済センター会員数の増加、「雇用保険被保険者数【図1-4】」の増加につながるなど雇用の定着も図られてきています。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が15点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。

施策10　アウトドアの聖地にする　－観光の振興－

目指す姿

食や農業、自然などの地域資源を活かした、この地域ならではのアクティビティやイベントなどを求め、国内外から多くの人が訪れ、滞在することで、にぎわいが生まれています。

Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 33.3%：	40点	30点	**25点**

【事務事業の主な取り組み】

●地域資源を活かした体験・滞在型観光を推進するため、㈱デスティネーション十勝（DMO）への運営支援や新たな観光コンテンツの開発などを実施。

●にぎわい創出や交流人口の拡大を図るため、三大まつり等各種イベントの開催支援を実施。

●市内観光入込客数を増加させるため、地域の魅力を活かした観光誘致活動、大会・合宿・コンベンションの誘致活動のほか、新型コロナウイルス感染症の影響下における経済対策として、宿泊料や旅行商品の割引事業を実施。

●広域観光の推進に向け、道内他地域と連携し、都市間周遊を促すスタンプラリーを実施。

●観光客の利便性向上や受け入れ環境の充実を図るため、観光施設等の適切な管理運営や観光関連団体への支援のほか、中心市街地へのWiFiスポットの維持管理支援などを実施。

●観光景観等の維持に向け、シーニックバイウェイ北海道の「トカプチ雄大空間ルート」運営への支援、財源確保に向けた関係者会議などを実施。

●とかち帯広空港の利用促進を図るため、関係機関と連携した航空会社等への要請活動やプロモーション活動等を実施。<再掲：施策11>

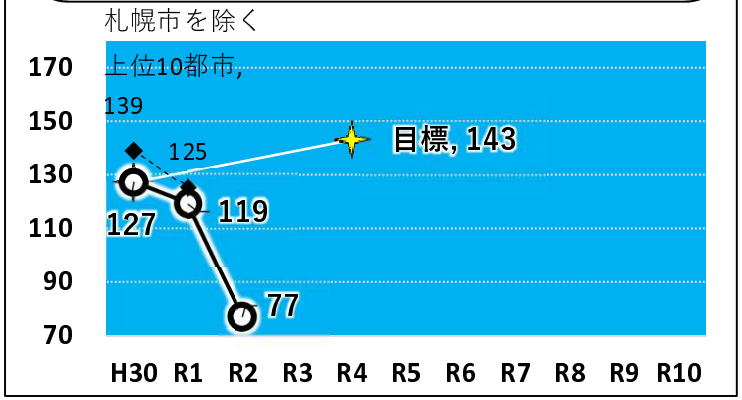
ポロシリ自然公園キャンプ場

Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲312.5%：	40点	30点	25点

目指そう指標名			方向性
宿泊客延べ数			↗
指標の考え方	市や関係団体等による魅力ある観光情報の発信や、観光コンテンツの開発・提供などにより、増加を目指します。	基準値（H30）	127万人泊
		実績値（R2）	77万人泊
		目標値（R4）	143万人泊

【図1-1】宿泊客延べ数（万人泊）



【指標の動向・要因分析】

「宿泊客延べ数」は77万人泊であり、目標達成に向けて進捗していません。

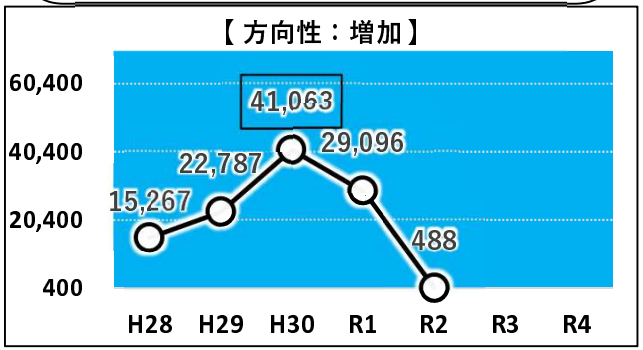
市や関係団体による連続テレビ小説「なつぞら」を活用した誘致宣伝活動や、地域の魅力を活かしたアウトドアコンテンツの開発などを実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、年間を通じ地域間の移動に制限が生じたことにより、宿泊客延べ数は前年を下回る結果となりました。

感染症収束の見通しは不透明なことから、今後も、関係機関とともに、密にならない地域性や都会にはない自然環境を活かしたコンテンツの開発や効果的な魅力発信に取り組むことにより、観光・ビジネス目的の国内需要を取り込むとともに、ＳＮＳ等を活用した国外向けのプロモーションを通じ、域外における潜在的な十勝・帯広ファンの掘り起こしを進めていく必要があります。

Ⅲ 関連データの状況

得点率 0.0%：	20点	15点	10点

【図1-2】訪日外国人宿泊客延数
（人）



策定時以下・前年以下：0点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。

Ⅳ 施策評価

さらなる進捗が必要　〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝　**60点**／100点〕

地域資源を活かした魅力ある観光コンテンツの開発・提供に向け、関係機関への支援を通じ、体験・滞在型観光の推進に取り組んだほか、道内他地域と連携した広域観光の取り組みを進めてきたものの、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、地域間の移動制限や帯広三大まつり等のイベントの中止または規模縮小などにより、観光入込み客数は減少しました。ポロシリ自然公園キャンプ場も一時的に休業したことから、利用者数が伸びておらず、アウトドア観光消費額についても減少しました。

今後は、感染症の拡大を契機とした価値観やライフスタイルの変化を捉え、地域の魅力を効果的に発信しながら、観光・ビジネスをはじめ多様な目的での来街の促進につなげていく必要があります。

観光プロモーションによる誘客に向け、地域の魅力を活かしたコンベンションの誘致活動などに取り組みましたが、感染症の拡大により、大会・合宿をはじめコンベンションの誘致件数は減少しています。また、経済対策として、市内宿泊割引・旅行商品割引による観光客の誘致を行ったものの、外出・往来自粛の影響に伴い宿泊客延べ数は減少しています。今後も感染症の収束状況を注視しながら、とかち観光誘致空港利用推進協議会などによる、首都圏やアジアなどを中心とした国内外向けの観光客誘致事業を進め、潜在的なファンの掘り起しや観光誘致につなげていく必要があります。

訪日外国人旅行者をはじめとした観光客の受入環境の充実に向け、中心市街地等のWiFiスポットの維持管理や「トカプチ雄大空間ルート」運営への支援のほか、観光関連団体との連携体制の確保に努めましたが、感染症の拡大に伴う渡航制限により、「訪日外国人宿泊客延べ数【図1-2】」は前年より減少しています。引き続き、DMOや観光協会等との連携や観光の担い手の育成による受入体制の充実を図るとともに、地域の情報を効果的に発信していく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が25点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。

施策11　つなげて拡げるビジネスチャンス　－広域交通ネットワークの充実－

目指す姿

広域交通ネットワークの充実が図られ、人やモノなどが活発に行き交い、にぎわいと活力にあふれています。

Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 85.7%：	40点	30点	25点

【事務事業の主な取り組み】

●とかち帯広空港の利用促進を図るため、関係機関と連携した航空会社等への要請活動やプロモーション活動等を実施。

●航空機の安全で安定的な運航を確保するため、滑走路・誘導路の改良工事や施設の維持補修などを実施。

●効率的な空港運営を図るため、北海道エアポート㈱による空港運営へ移行（令和3年3月1日～）。

●広域的な交通ネットワークの形成を図るため、高規格幹線道路帯広・広尾自動車道早期建設促進期成会等を通じた高規格幹線道路の整備に関する要望活動を実施。

●鉄道輸送の利便性の向上を図るため、北海道高速鉄道開発株式会社を通じたＪＲ石勝線・根室本線の高速化等の促進のほか、十勝圏活性化推進期成会を通じた国や北海道に対する鉄道網の維持等に関する要望活動を実施。

●十勝港の港湾機能の整備や利活用を促進するため、十勝圏活性化推進期成会を通じた国や北海道等に対する要望活動を実施。

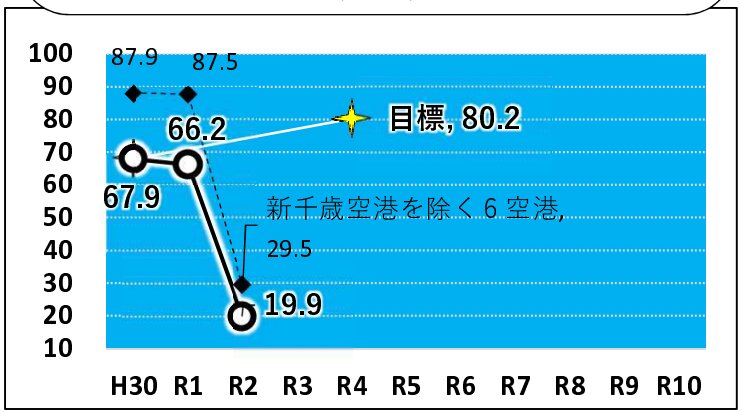
とかち帯広空港

Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲390.2%：	40点	30点	25点

目指そう指標名			方向性
空港旅客数			↗
指標の考え方	市や民間事業者等による空港利用促進に向けた取り組みなどにより、増加を目指します。	基準値（H30）	67.9万人
		実績値（R2）	19.9万人
		目標値（R4）	80.2万人

【図1-1】空港旅客数（万人）



※ 6空港：稚内、釧路、函館、旭川、女満別、帯広

【指標の動向・要因分析】

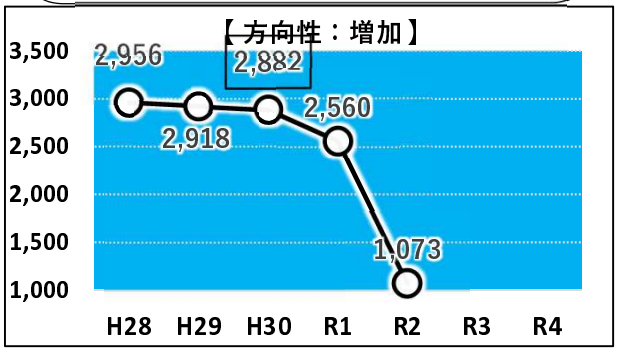
「空港旅客数」は19.9万人であり、目標達成に向けて進捗していません。

航空会社等への要請活動やプロモーション活動のほか、北海道エアポート㈱への運営委託などを進めましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、人の移動が抑制されたことで、前年比約70%の減少となっており、新千歳空港を除く6空港と同程度の推移となっています。今後は、感染症の収束状況を見極めつつ、空港運営者による空港運営や戦略的な路線誘致などと歩調を合わせ、航空事業者・観光関連団体等との連携のもと、地域の魅力を効果的に発信しながら、利用回復に向けた取り組みを進めていく必要があります。

Ⅲ 関連データの状況

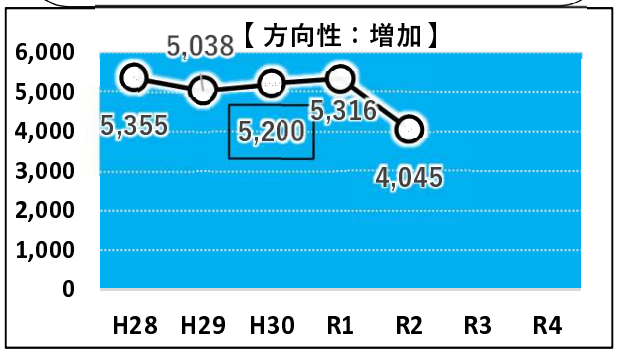
得点率 20.0%：	20点	15点	**10点**

【図1-2】航空貨物取扱量
（ｔ）



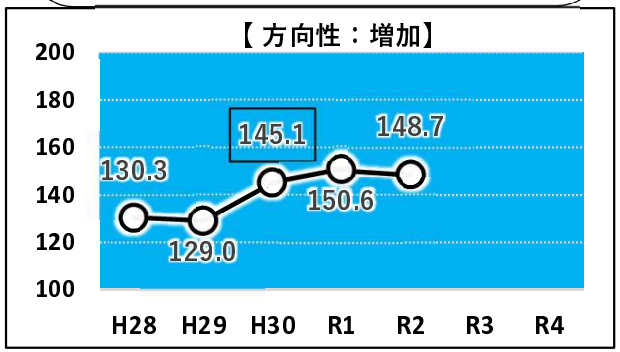
策定時以下・前年以下：0点

【図1-3】道東自動車道の１日あたり
利用台数（台）



策定時以下・前年以下：0点

【図1-4】十勝港取扱貨物量
（万ｔ）



策定時より増加・前年以下：3点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。

Ⅳ 施策評価

概ね順調に進んでいる　〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝　**75点**／100点〕

十勝圏と他都市を結ぶ交通ネットワークの充実に向け、国や北海道等に対して、高規格幹線道路の整備促進や鉄道網の維持、十勝港の港湾機能の整備・利活用促進等に関する要望活動などに継続的に取り組んできたことで、道東自動車道の占冠-十勝清水間の4車線化の実現や、「十勝港取扱貨物量【図1-4】」の堅調な推移などにもつながっているものと考えます。一方で、「道東自動車道の１日あたり利用台数【図1-3】」は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、都市間の移動を自粛する動きがみられたことなどから、前年比24%の減少となりました。今後も、さらなる交通網の充実や利用促進に向け、管内町村や関係機関と連携した要望活動等に取り組んでいく必要があります。

空港施設・設備の整備のほか、関係機関に対する要請・プロモーション活動や、北海道エアポート㈱への運営委託など、空港の利用促進につながる取り組みを進めてきたものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大地域への移動自粛などにより、「空港旅客数【図1-1】」は大きく減少したほか、便数の減少・航空機の小型化を背景に、「航空貨物取扱量【図1-2】」も前年比58%の減少となりました。今後は、空港運営者・航空事業者・観光関連団体等との連携のもと、地域の魅力を効果的に発信しながら、利用回復に向けた取り組みを進めていく必要があると考えます。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。

施策12　未来を拓くこどもをともに育む　－学校教育の推進－

目指す姿

学校・家庭・地域が連携し、子どもの学びや育ちを支援することにより、地域への誇り・愛着を持ち、新たな時代を切り拓く力を身に付けた子どもたちが育っています。

Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 71.4%：	40点	**30点**	25点

【事務事業の主な取り組み】

●ふるさと教育を拡充するため、全小・中学校での「おびひろ市民学」の実施や地域の特徴・特性・歴史などをまとめた社会科副読本「おびひろ」を発刊。

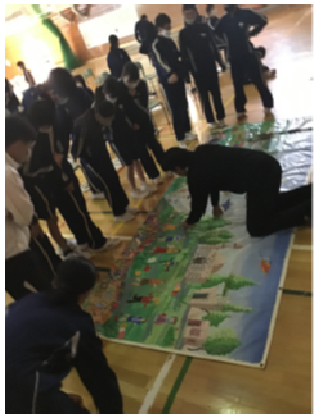
●南商業高校において、就職や進学など生徒が希望する進路の実現を支援するため、進路説明会、ビジネスマナーや各資格試験の講習、面接指導など人材育成を推進。

●教員の指導力向上を図るため、長期休業中における「夏季・冬季教職員研修講座」や管理職を対象とした「管理職マネジメント研修」を実施。

●学校・家庭・地域が連携し、社会総がかりでの教育を実現するため、コミュニティ・スクール導入校を拡大したほか、学校支援地域本部事業や子どもの居場所づくり事業等の活動を推進。

●「帯広市学校施設長寿命化計画」を推進するため、学校施設の個別改修や大空学園義務教育学校施設整備に係る増築・長寿命化改修（１期工事）を実施。

●ICTを活用した教育を推進するため、児童生徒１人に１台タブレット端末を導入。



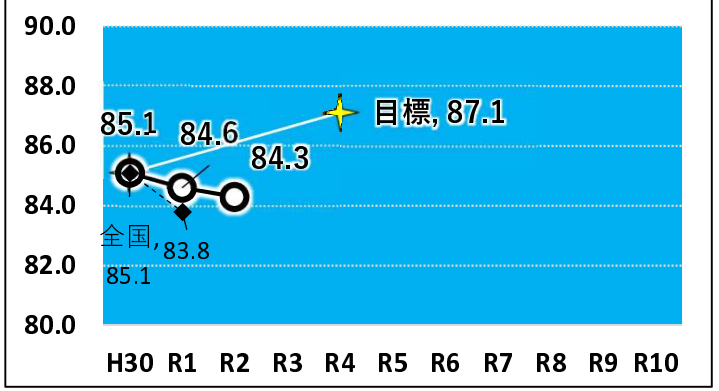
おびひろ市民学の様子

Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

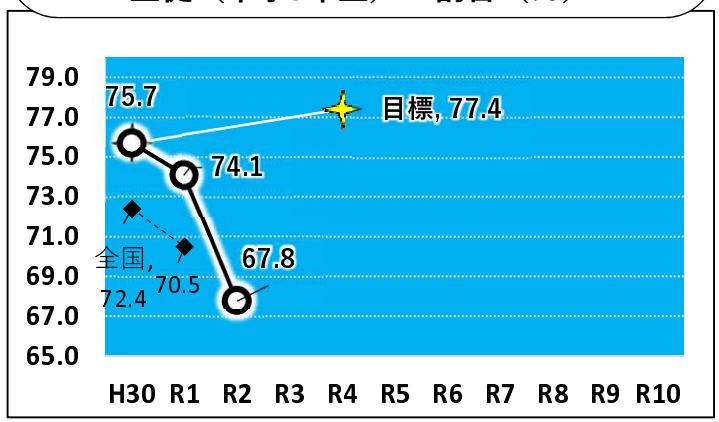
小学6年	進捗率 ▲40.0%：	20点	15点	12.5点
中学3年	進捗率 ▲464.7%：	20点	15点	12.5点

目指そう指標名			方向性	
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合			↗	
指標の考え方	学校・家庭・地域が連携し、子どもたちに社会の一員としての意識を醸成するとともに、主体的な学びや、自ら問題を発見し、解決できる力の育成などを進めることにより、上昇を目指します。		小学６年	中学３年
		基準値（H30）	85.1%	75.7%
		実績値（R2）	84.3%	67.8%
		目標値（R4）	87.1%	77.4%

【図1-1】将来の夢や目標を持っている児童（小学6年生）の割合（%）



【図1-2】将来の夢や目標を持っている生徒（中学3年生）の割合（%）



【指標の動向・要因分析】

「将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合」は、小学６年生84.3%、中学３年生67.8%であり、目標達成に向けて進捗していません。

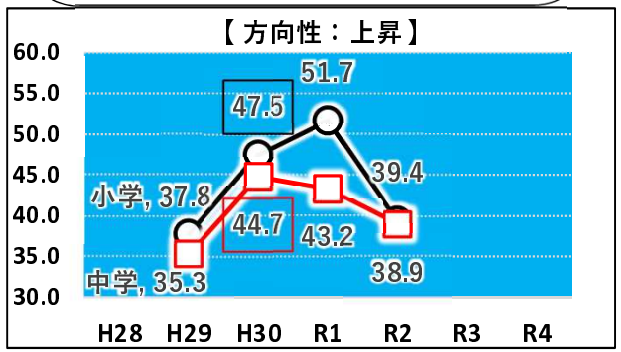
市では、自然体験学習やキャリア教育などを通し、地域の自然や文化、産業などへの理解を深め、地域社会の形成に参画しようとする児童生徒の意識醸成に努めたほか、教師の指導力向上などに取り組んできています。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、臨時休業や行事の中止・縮小をはじめ学校生活が制限されたことなどが影響したものと考えます。

今後、ICTを活用した学びの継続性の確保を図りながら、情報活用能力の習熟などを通し、児童生徒が主体的に学び、自ら問題を発見し、解決できる力を育成する必要があります。

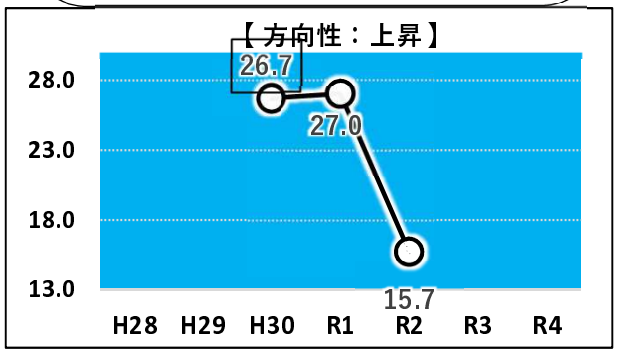
III 関連データの状況		得点率 32.0%：	20点	15点	**10点**

【図1-3】地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある子どもの割合（%）



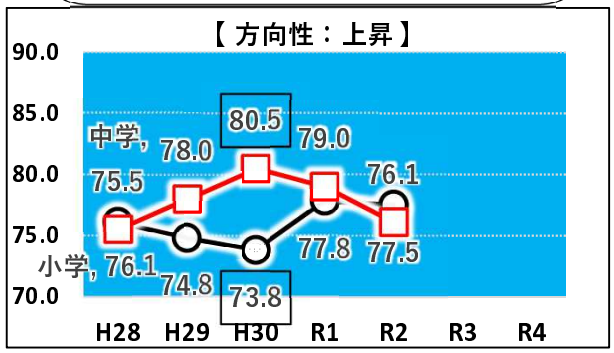
小学生：策定時以下・前年以下：0点
中学生：策定時以下・前年以下：0点

【図1-4】地域貢献活動に主体的に取り組んでいる生徒の割合（南商業高等学校）（%）



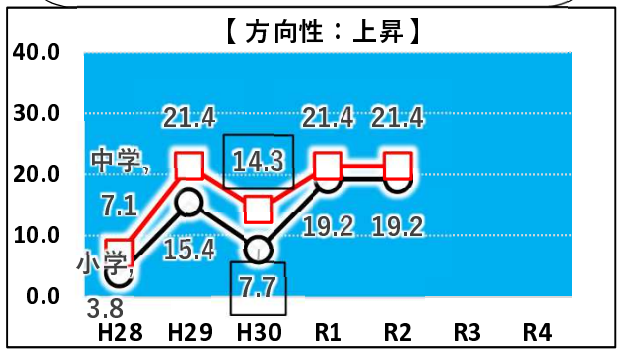
策定時以下・前年以下：0点

【図1-5】授業において、課題の解決に向けて自ら考え取り組んでいると思う子どもの割合（%）



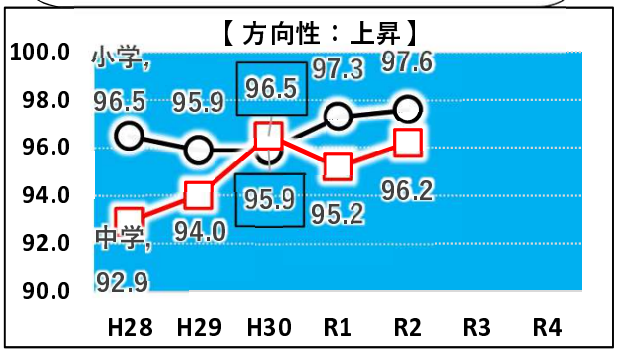
小学生：策定時より増加・前年以下：1.5点
中学生：策定時以下・前年以下：0点

【図1-6】小・中学校９年間を見通した授業を行っている学校の割合（%）



小学生：策定時より増加・前年以下：1.5点
中学生：策定時より増加・前年以下：1.5点

【図1-7】「いじめは絶対に許されない」と考える児童生徒の割合（%）



小学生：策定時より増加・前年より増加：2.5点
中学生：策定時以下・前年より増加：1点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。

Ⅳ 施策評価

さらなる進捗が必要　〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝　**65点**／100点〕

地域社会の一員としての自覚を持ち、地域の課題解決に主体的に取り組む人材の育成に向け、小・中学校における「おびひろ市民学」の実施や、小学校社会科副読本「おびひろ」を通じた地域への理解促進など、ふるさと教育の推進や問題解決力の育成に取り組みましたが、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある子どもの割合【図1-3】」及び「授業において、課題の解決に向けて自ら考え取り組んでいると思う子どもの割合【図1-5】」は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い地域との交流機会や体験学習が制限されたことなどにより、小・中学校ともに減少しています。今後も、外部人材と連携・協働した教育活動の充実やICTを効果的に活用した授業の展開などにより、児童生徒の主体的な学びを促進していく必要があります。

帯広南商業高等学校においては、専門的な知識・技術を身に付け、地域で活躍する人材の育成に向け、外部講師を活用したビジネスマナー講座などの専門教育を実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い部活動をはじめとする課外活動の中止など地域ボランティア活動の機会が減ったことにより、「地域貢献活動に主体的に取り組んでいる生徒の割合【図1-4】」は前年を下回っています。今後も、活動時間や人数の削減など感染対策に配慮しながら課外活動を行う必要があります。

学校・家庭・地域の連携による教育の推進に向け、中学校区を単位とするエリア・ファミリー構想の取り組みを基盤とした幼保小中の連携やコミュニティ・スクール導入校の拡大などに取り組みましたが、、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い小学校高学年による乗り入れ授業など児童生徒が主体となる取り組みを中止したことにより、「小・中学校９年間を見通した授業を行っている学校の割合【図1-6】」は、小・中学校ともに前年から増加しませんでした。今後も、エリア・ファミリー構想に基づく児童生徒による小・中学校の交流活動の取り組みなどを通し、子どもたちの９年間の学びや育ちを、地域全体で支える仕組みづくりを進める必要があります。

子どもたちが安心して充実した学校生活を送ることができるよう、道徳などの教科を通じて、いじめや人権について考え、議論する取り組みを実施したほか、相談員による指導などを行っており、「いじめは絶対に許されないと考える児童生徒の割合【図1-7】」は小・中学校では前年より増加しています。全国的にはネット上のいじめも問題視されていることから、今後も、生徒指導や相談体制の充実を図っていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。

施策13　いつまでも学ぶって面白い　－学習活動の推進－

目指す姿

誰もが生涯にわたり、それぞれの目的やライフステージに応じた学びを続けています。

Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 70.0%：	40点	**30点**	25点

【事務事業の主な取り組み】

●誰もが生涯にわたり学習を続けることができるよう、市民大学講座や博物館の講座・企画展示、動物園の飼育体験など多様な学習機会を提供。

●学習への意欲や関心を高めるため、生涯学習情報誌の発行、ホームページやSNSを活用した学習情報を発信。

●学習を通じて得られた知識等をまちづくりにつなげていくため、図書館ボランティアによる子ども向けのおはなし会の実施など、各社会教育施設でのボランティア活動を支援したほか、生涯学習推進委員会などの社会教育関係団体が立案・企画する地域での講座開催を支援。

●高等教育機関の整備・充実や帯広畜産大学の整備・拡充のため、情報収集や国等への要望活動を実施。

●若者の地元定着や地域課題の解決促進のため、帯広畜産大学と連携し、学生自らが考える地域課題の解決に向けた取り組みを支援。

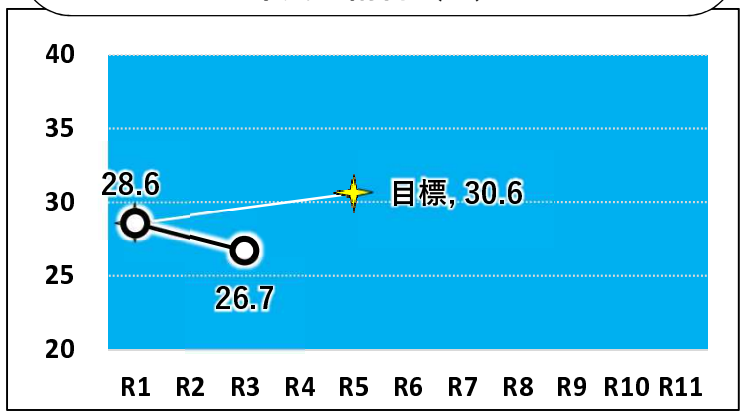
図書館ボランティアによる
おはなし会の様子

Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲95.0%：	40点	30点	25点

目指そう指標名			方向性
直近1年間に生涯学習を行った市民の割合			↗
指標の考え方	市民による主体的な学習活動や、市による学習機会の提供などにより、上昇を目指します。	基準値（R1）	28.6%
		実績値（R3）	26.7%
		目標値（R5）	30.6%

【図1-1】直近1年間に生涯学習を行った市民の割合（%）



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

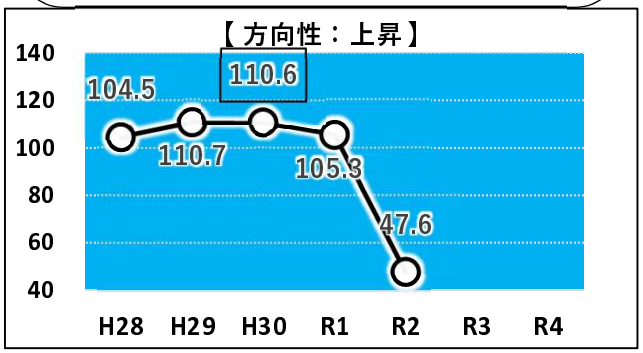
「直近1年間に生涯学習を行った市民の割合」は26.7%であり、目標達成に向けて進捗していません。

市の各社会教育施設では、市民大学講座の開催や学習情報の提供のほか、学生やボランティア団体が主体となった講座などを実施していますが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、事業の中止や開催規模を縮小したことにより、参加者数は減少しました。また、市民まちづくりアンケートでは、「生涯学習を行わなかった理由」として、「きっかけがないから」、「仕事が忙しくて時間がないから」との回答が多くありました。今後は、感染状況を踏まえ、オンラインによる講座開催や開催時間の工夫などを行い、より効果的な周知をはかりながら、市民が参加しやすい学習機会の提供に努めていく必要があります。

Ⅲ 関連データの状況

得点率 0.0%：	20点	15点	**10点**

【図1-2】社会教育施設の利用者数
（万人）



策定時以下・前年以下：0点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。

Ⅳ 施策評価

さらなる進捗が必要　〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝　**65点**／100点〕

市民の主体的な学習活動の推進に向け、各社会教育施設における講座の開催や学習情報の発信、ボランティアが行う講座の支援などを進めてきましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う市民の活動自粛などにより、「社会教育施設の利用者数【図1-2】」や講座の参加者数は減少しました。今後は、感染状況を見極めながら、市民ニーズを踏まえ、市民が参加しやすい学習機会を提供していくことが必要と考えます。

学習や仕事等を通じて得られた知識や技能をまちづくりに活かすため、生涯学習推進委員会等への活動支援や、学習活動指導者の登録・紹介、ボランティアへの活動支援、大学と連携し地域課題の解決に取り組む学生への活動支援などを進めてきたことで、活動に参加するボランティア団体数や学生の参加件数は増加傾向にあります。また、帯広市教育基本計画の成果指標である「学習活動をまちづくり、地域づくりに生かしたいと思う市民の割合」も令和元年度の26.3％から28.0％に増加しており、今後も継続して市民が活躍できる場の提供や環境づくりを進めていくことが必要です。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。

施策14　潤いのある暮らしと地域をつくる　－文化芸術の振興－

目指す姿

創作活動や鑑賞の機会があり、豊かな感性や想像力が育まれ、文化芸術活動を通した人のつながりが生まれています。

Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 45.5%：	40点	30点	**25点**

【事務事業の主な取り組み】

●文化芸術活動を支える人材や団体を育成するため、文化団体や指導者についての情報発信、優秀な文化活動を行う個人・団体への顕彰を実施。

●市民主体の文化芸術活動を促進するため、複数ジャンルの地元作家による展覧会の開催や、市民文藝・とかちジュニア文芸の発刊などを通じた発表機会を提供。

●市民の文化芸術への関心を高めるとともに子どもたちの感性や創造力を育むため、幼児向けのミニコンサートなど文化芸術にふれる機会を提供。

●ふるさとの歴史、伝統、文化に対する理解促進や誇りと愛着を育むため、市史資料の収集・調査、文化財の保護・保存、調査研究を行い、重要文化財の普及事業などを実施。

●アイヌ文化の保存、伝承、発展を図り、アイヌ民族の歴史・文化への理解を促進するため、調査・研究活動のほか、伝承活動への支援や普及啓発を実施。

幼児向けのミニコンサート

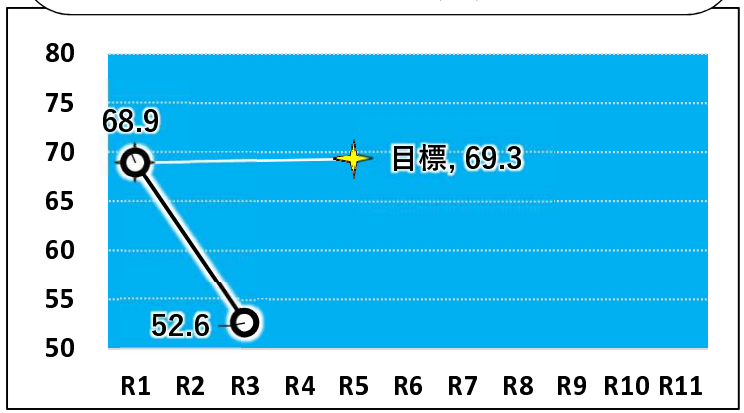
Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲4,075.0% :	40点	30点	25点

目指そう指標名	方向性
直近1年間に文化芸術活動を行った市民の割合	↗

指標の考え方	市民による主体的な文化芸術活動や、市による鑑賞機会や発表の場の提供など文化に触れるきっかけづくりにより、上昇を目指します。	基準値（R1）	68.9%
		実績値（R3）	52.6%
		目標値（R5）	69.3%

【図1-1】直近1年間に文化芸術活動を行った市民の割合（%）



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

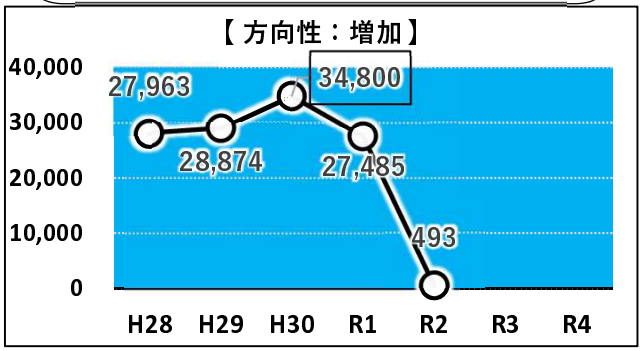
「直近1年間に文化芸術活動を行った市民の割合」は52.6%であり、目標達成に向けて進捗していません。

市では、市民芸術祭や子ども向けの鑑賞事業など、文化芸術の鑑賞・発表の機会の提供に取り組んできましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、事業の中止や開催規模を縮小したことにより、参加者数は減少しました。また、市民まちづくりアンケートでは、「この1年間に文化芸術を直接鑑賞しなかった理由」として、「テレビ、DVD、インターネットによる鑑賞」、「その他（新型コロナウイルス感染症予防のための自粛）」の回答が多くなっており、活動が自宅中心になったことや活動自体を自粛していたことが影響したものと考えられます。今後は、感染状況を踏まえつつ、文化団体、企業など地域の多様な主体と連携しながら、直接市民が鑑賞・発表できる機会の提供を進めていくことが必要です。

Ⅲ 関連データの状況

得点率 0.0%：	20点	15点	**10点**

【図1-2】鑑賞事業の入場者数
（人）



策定時以下・前年以下：0点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。

Ⅳ 施策評価

さらなる進捗が必要　〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝　**60点**／100点〕

市民の主体的な文化芸術活動の推進に向け、文化活動の鑑賞・発表機会の提供や活動、団体への支援などに取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、市民が活動を自粛したことなどから、文化活動への参加者数は大きく減少しました。市民が文化芸術活動を、直接鑑賞・発表することは、自己表現や自己実現、人との交流の機会として大切であることから、今後も感染状況を踏まえつつ、個人・団体、企業など、地域の多様な主体と連携しながら、活動の環境づくりを進めていくことが必要です。

ふるさとの歴史、伝統、文化の理解促進に向け、重要文化財の活用やアイヌ文化情報センターによる普及啓発を進めてきましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、利用者数は減少しました。今後は、人との接触機会を減らすことで市民が安心して利用し、主体的に学べる工夫としてデジタルモバイルコンテンツを活用するなど、多様な方法による学習機会の提供を進めていくことが必要です。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が25点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。

施策15　スポーツで楽しく、ハツラツ、健康に　－スポーツの振興－

目指す姿

誰もが年齢や目的などに応じ、生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツが市民の健康づくりや心身の育成、にぎわいづくりにつながっています。

Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 37.5%：	40点	30点	**25点**

【事務事業の主な取り組み】

●市民が気軽にスポーツに親しむ機会を提供するため、スポーツフェスティバルの開催のほか、小中学校の体育館等の地域への開放などを実施。

●新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、フードバレーとかちマラソンをオンライン方式に変更し実施。

●スポーツ施設利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図るため、施設の適切な管理運営や修繕等を実施。

●地域に根差したスポーツであるスケートの裾野拡大等を図るため、ほっとドリームプロジェクト（スケート教室、指導者講習など）を実施。

●地域におけるスポーツ活動の活性化に向け、スポーツ少年団や帯広市スポーツ協会の活動を支援。

●スポーツを通じたまちのにぎわいづくりを進めるため、関係団体等と連携し、全道・全国大会のほか、プロスポーツや合宿の誘致活動を実施。

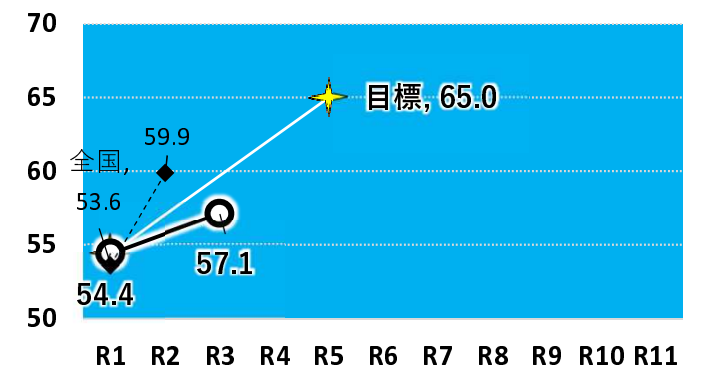
令和２年度　スポーツフェスティバル

Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 25.5%：	40点	30点	**25点**

目指そう指標名			方向性
週1日以上運動・スポーツをする市民の割合			↗
指標の考え方	市民による主体的な運動・スポーツの実践や、市による運動・スポーツの機会の提供などにより、上昇を目指します。	基準値（R1）	54.4%
		実績値（R3）	57.1%
		目標値（R5）	65.0%

【図1-1】週1日以上運動・スポーツをする市民の割合（%）



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

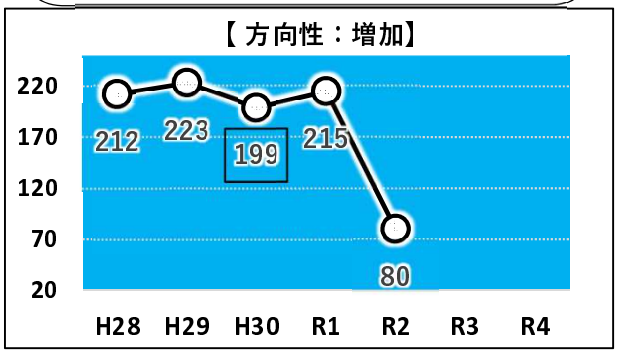
「週1日以上運動・スポーツをする市民の割合」は57.1%であり、基準値を上回っていますが、目標達成に向けて進捗していません。

市では、市民がスポーツに親しめるよう学校施設の開放や総合型地域スポーツクラブの支援などを実施しており、民間事業者においてもスポーツ教室の開催など、気軽にスポーツに取り組むことができる環境が整備されてきています。新型コロナウイルス感染症の拡大によりスポーツ大会やイベントの開催を見合わせる動きもありましたが、市民まちづくりアンケートでは「週1日以上運動・スポーツをする市民の割合」は増加しており、その要因としては、地域間の往来自粛や外出自粛に伴い、市民が旅行や買い物などに費やしていた時間を、一人でも実施可能なランニングなどの運動に振り替えたことが影響したものと考えます。一方で、「運動・スポーツを行わなかった理由」としては、「仕事や家事が忙しいから」、「生活や仕事で体を動かしているから」との回答が多くあったことから、フードバレーとかちマラソンのオンライン開催やスマートフォンアプリによる健康マイレージ事業などを通し、市民が日常生活の中でスポーツに取り組むためのきっかけづくりを進めていくことが必要です。

Ⅲ 関連データの状況

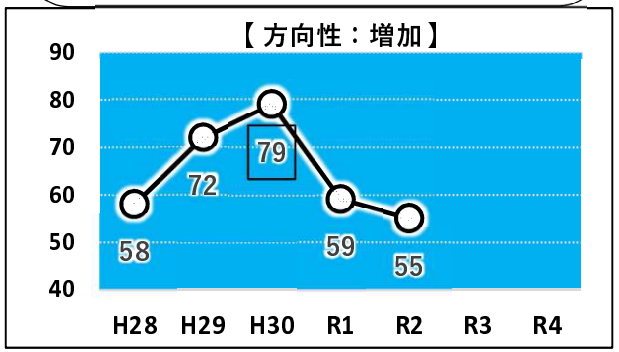
得点率 0.0%：	20点	15点	**10点**

【図1-2】全国・全道大会等出場者数
（人）



策定時以下・前年以下：0点

【図1-3】帯広市内で開催されるスポーツ
国際・全国・全道大会数（大会）



策定時以下・前年以下：0点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。

Ⅳ 施策評価

さらなる進捗が必要　〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝　**60点**／100点〕

市民がスポーツに親しむことができる環境づくりに向け、体育施設や学校施設の開放による活動の場の提供のほか、各種スポーツ教室や大会の開催等の取り組みを進めています。新型コロナウイルス感染症拡大への懸念からスポーツイベントや大会などを見合わせる動きもみられましたが、市民まちづくりアンケートの結果では「週1日以上運動・スポーツをする市民の割合【図1-1】」が増加しており、地域間の往来自粛や外出自粛から、市民が旅行や買い物などに費やしていた時間を、一人で実施可能な運動に振り替えたことが影響したものと考えます。今後も感染状況を踏まえながら、オンラインを活用した事業実施などにより、市民が生活の中で運動・スポーツを実施するためのきっかけづくりを進めていくことが必要です。

競技スポーツの振興に向けては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う試合や大会等の開催中止に伴い「全国・全道大会等出場者数【図1-2】」が減少しているほか、スポーツを通じたまちのにぎわいづくりにつなげる「国際・全国・全道規模の大会やプロスポーツ、合宿の誘致」についても、大会等の開催中止の影響を受け、「市内で開催されるスポーツ国際・全国・全道大会数【図1-3】」が減少しています。大会需要の回復の状況などを踏まえ、市のスポーツ施設の有する充実した施設環境や大会運営能力などをPRしながら、効果的な誘致に取り組んでいく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が25点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。

施策16　地球のために今、行動する　－環境の保全と循環型社会の形成－

目指す姿

環境保全の意識が高まり、誰もが環境に配慮した行動をし、豊かな自然環境や生活環境が守られています。

Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 87.5%：	40点	30点	25点

【事務事業の主な取り組み】

●エネルギーの有効活用を図るため、一般住宅への新エネルギー機器の導入費補助を実施したほか、公共施設や家庭における省エネ化の促進、家庭からの廃食用油の回収とB5燃料の利用促進などを実施。

●市民の環境に対する意識の向上を図るため、環境にやさしい活動実践校への支援、出前環境教室の実施のほか、省エネ啓発チラシの全戸配布などを実施。

●市民のごみの適正排出推進のため、清掃指導員による巡回パトロール、ごみ排出が困難な世帯への戸別収集（サポート収集）などを実施。

●ごみの再資源化や減量化を図るため、資源集団回収実施団体に対する奨励金及び回収事業者に対する協力金の支給、使用済小型家電の回収などを実施。

●生活環境を保全するため、大気や河川水質、自動車騒音などの測定調査を実施したほか、公害パトロールなどを実施。

●自然環境を保全するため、特定外来生物であるアライグマの防除対策などを実施。

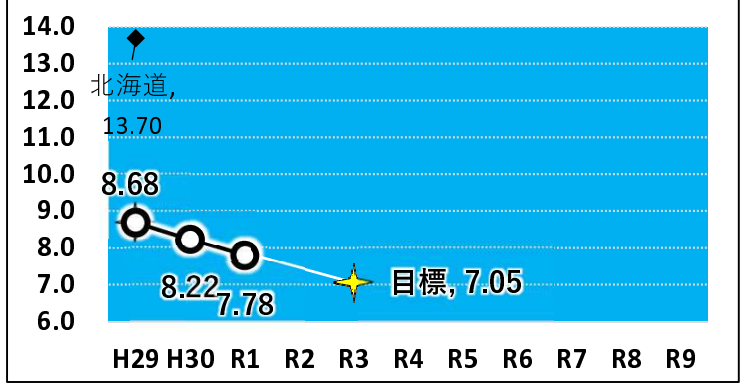
小学校での出前環境教室

Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 55.2%：	40点	30点	25点

目指そう指標名			方向性
1人あたりの温室効果ガス排出量			↘
指標の考え方	市民、企業、市による省エネルギーの推進やエネルギー資源の利活用、３Ｒ（リデュース・リユース・リサイクル）の推進などにより、減少を目指します。	基準値（H29）	8.68 t-CO_2
		実績値（R1）	7.78t-CO_2
		目標値（R3）	7.05 t-CO_2

【図1-1】1人あたりの温室効果ガス排出量（t-CO_2）



【指標の動向・要因分析】

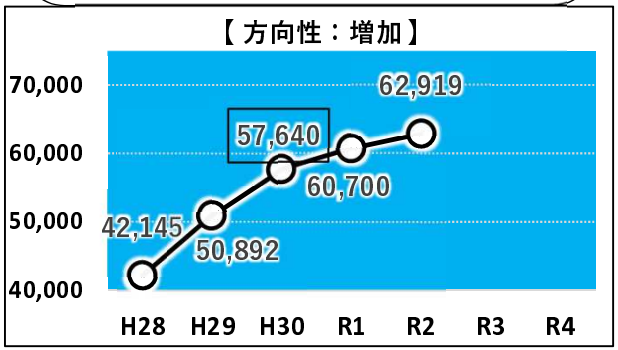
「1人あたりの温室効果ガス排出量」は7.78t-CO_2であり、目標達成に向けて順調に進捗しています。

市による出前環境教室やCOOL CHOICE（クールチョイス）などの取り組みのほか、家庭や企業における再エネ、省エネ機器の導入等により、市民への省エネ意識の浸透やエネルギー消費量の減少などにつながり、家庭部門と業務部門において温室効果ガス排出量が減少したことによるものと考えます。

Ⅲ 関連データの状況

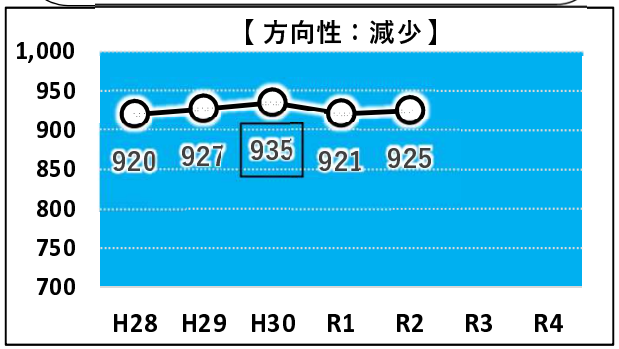
得点率 80.0%：	20点	15点	10点

【図1-2】再生可能エネルギー等の導入によるCO_2排出削減量（t-CO_2）



策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-3】1人1日あたりのごみ排出量（g）



策定時より減少・前年以上：3点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。

Ⅳ 施策評価

順調に進んでいる　〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝　**100点**／100点〕

温室効果ガス排出量の抑制や3Rの推進に向け、新エネルギー機器の導入支援や出前環境教室の開催、廃棄物の適正排出に対する意識啓発などに取り組んだことにより、一般住宅への新エネ機器の導入が進み、「再生可能エネルギー等の導入によるCO_2排出削減量【図1-2】」が前年より増加したほか、市民の環境意識が向上し、リサイクル率の上昇や「1人あたりの温室効果ガス排出量【図1-1】」の減少にもつながったと考えます。「1人1日あたりのごみ排出量【図1-3】」は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う「巣ごもり需要」などを背景に、策定時からは減少しているものの、前年度に比べて微増しました。今後も引き続き、温室効果ガス排出量の抑制に取り組むほか、ごみの減量・再資源化の促進に向け、広報紙やごみ懇談会等の活用による市民への啓発を行う必要があります。

自然環境や生活環境の保全については、大気や河川水質、騒音などの測定調査や公害パトロールの実施、自然環境保全地区の監視や清掃ボランティアへの支援などを行っており、環境基準の達成状況などから良好な環境が維持されているほか、清掃活動への参加者が増加しています。今後も、豊かな自然環境と良好な生活環境の維持に向け、取り組みを進めていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「順調に進んでいる」と評価します。

施策17　「まさか」に備え今、行動する　－防災・減災の推進－

目指す姿

市民一人ひとりが、高い防災意識のもと、自ら備え地域で支え合う体制が整えられ、自助・共助・公助により、災害に対する対応力が高まっています。

Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 55.6%：	40点	30点	**25点**

【事務事業の主な取り組み】

●災害時の体制強化のため、市職員を対象とした防災訓練等を実施。

●災害時要援護者に対する支援体制を整備するため、「おびひろ避難支援プラン」に基づく、個別支援計画策定を推進。

●自助・共助による防災力向上のため、町内会などに対する研修会の実施や助成などによる自主防災組織の結成、育成などを支援。

●公助としての避難体制の強化のため、備蓄基準に基づく、備蓄品の更新・整備を実施。

●建築物の耐震化の促進のため、無料耐震簡易診断や相談体制の整備などを実施。

●洪水の被害防止や河川の適切な管理のため、河川のパトロールや河川敷地の草刈りを実施。

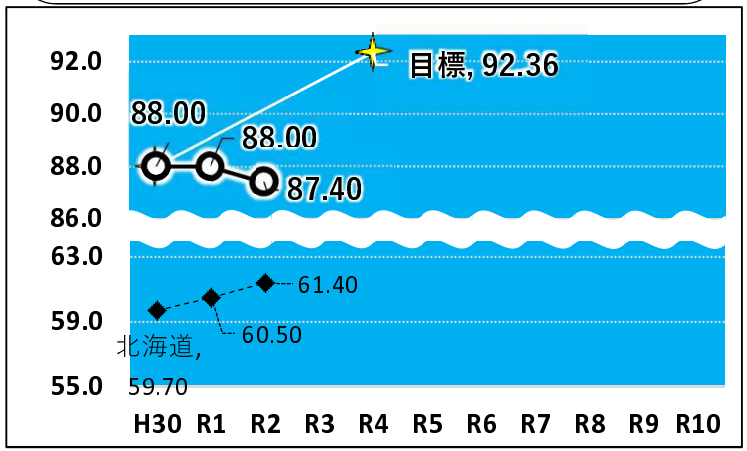
職員向けの防災訓練の様子

Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲13.8%：	40点	30点	25点

目指そう指標名			方向性
自主防災組織活動カバー率			↗
指標の考え方	市民が防災に対する関心や、地域で支え合う共助の意識を高め、市による防災意識の啓発や自主防災組織の設立支援などにより、上昇を目指します。	基準値（H30）	88.00%
		実績値（R2）	87.40%
		目標値（R4）	92.36%

【図1-1】自主防災組織活動カバー率（%）



【指標の動向・要因分析】

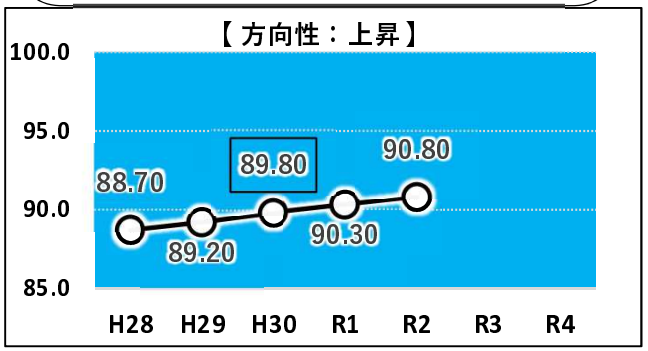
「自主防災組織活動カバー率」は87.4%であり、目標達成に向けて進捗していません。

市による防災出前講座や防災リーダー育成などの取り組みのほか、市民の防災訓練への参加などにより、個々の世帯における防災に関する意識向上は図られてきていますが、地域によっては担い手不足などを背景に共に支え合う共助の意識醸成にまでにはつながっていないことなどから、自主防災組織への加入や自主防災組織の新規設立には至っていないものと考えます。北海道平均より高い水準を維持しており、今後も共助による防災対策への意識啓発はもとより、未設立の地域への積極的な働きかけを図っていく必要があります。

Ⅲ 関連データの状況

得点率 100.0%：	20点	15点	10点

【図1-2】住宅の耐震化率
（%）



策定時より増加・前年より増加：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。

Ⅳ 施策評価

さらなる進捗が必要　〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝　**70点**／100点〕

市民一人ひとりの防災意識の向上を図るため、平時から災害に備える重要性など防災に関する情報について、防災ガイドや広報、ホームページなどでの啓発を行いました。災害発生時は市民自ら適切に行動できることが必要であることから、今後も情報発信や、防災訓練等の実施はもとより、家庭での備蓄を促しながら、自助の重要性についての理解促進を図っていく必要があります。

災害時における地域での支えあいの促進に向け、災害時要援護者の把握や、避難に関する個別計画の策定、自主防災組織の育成などを進めています。個別計画の策定率は増加していますが、地域による共助の意識醸成までにはつながっていない状況もあるため、「自主防災組織活動カバー率【図1-1】」の増加にはつながっていません。今後は、未設立の地域に対して防災出前講座の開催等を働きかけるなど、自主防災組織の重要性についての理解促進を図り、共助による防災力向上につなげていく必要があります。

建築物の耐震化促進のため、耐震診断・改修・建替えへの支援や相談対応、無料耐震簡易診断などを実施していますが、耐震化には、高額な経費が掛かることなどから、「住宅の耐震化率【図1-2】」は微増となっています。今後も効果的な周知を図りながら、各事業の推進を通し、耐震化に対する理解促進を図っていく必要があります。また、災害時の様々な事態に的確に対応するため、緊急情報一斉伝達システムの導入や感染症にも対応した備蓄品の整備などに取り組んでおり、今後も情報収集や把握に努め、関係機関と連携しながら公助の強化を図る必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が25点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。

施策18　とかちで守るみんなの安心　－消防・救急体制の確保－

目指す姿

管内町村や関係機関等との連携により、安心して暮らせる消防・救急体制が維持・確保されています。

Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 100.0%：	40点	30点	25点

【事務事業の主な取り組み】

●効率的な消防体制の維持・確保を図るため、消防庁舎の維持管理や、 柏林台出張所の整備、水槽付消防ポンプ自動車の更新、梯子付消防ポンプ自動車の更新などを実施(実施主体：とかち広域消防事務組合）。

●消防水利の確保のため、消火栓の更新、移設、修繕等を実施。

●消防体制維持のため、消防団詰所の維持管理や消防団に係る消防車両・装備の維持管理を実施。

●地域防災力の強化のため、消防団員確保に向けた普及啓発、消防団員に対する教育訓練・研修機会の充実及び安全装備品の整備を推進。

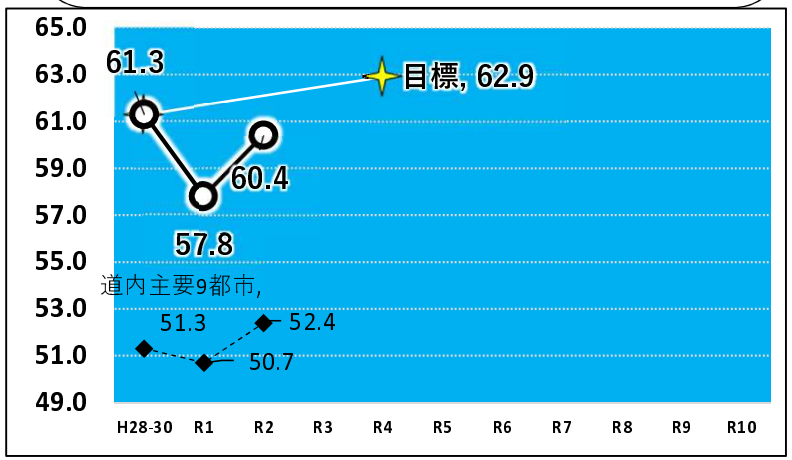
柏林台出張所

Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲56.2%：	40点	30点	25点

目指そう指標名			方向性
応急手当実施率			↗
指標の考え方	市による救命・救急講習の実施や、市民の心肺蘇生やAEDを用いた応急手当の習熟により、上昇を目指します。	基準値（H28-30平均）	61.3%
		実績値（R2）	60.4%
		目標値（R4）	62.9%

【図1-1】応急手当実施率（%）



※道内主要9都市：札幌市、旭川市、函館市、苫小牧市、釧路市、江別市、北見市、小樽市、帯広市

【指標の動向・要因分析】

「応急手当実施率」は60.4%であり、目標達成に向けて進捗していません。

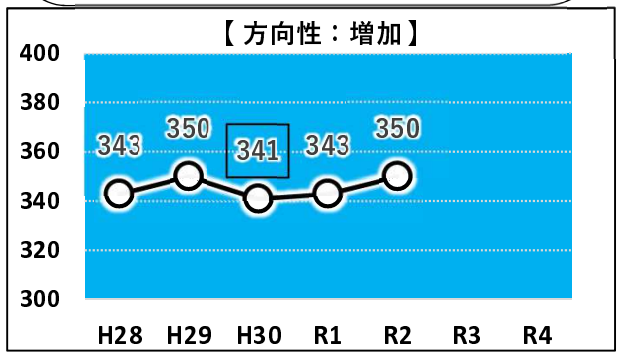
市では、バイスタンダー（救急現場に居合わせて応急手当を実施できる人）の養成やおびひろ救命アシスト事業の推進などを通し、迅速に応急手当を行える環境づくりを進めていますが、自宅以外での緊急搬送件数が減っていることや、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、市民の外出等が控えられ、現場にバイスタンダーが居合わす機会が減っていることが要因と考えます。

応急手当実施率は道内主要8都市より高い割合となっており、今後も引き続き、市民への救命・救急講習を感染対策を行ったうえで実施し、バイスタンダーなどの養成を進めていく必要があります。

Ⅲ 関連データの状況

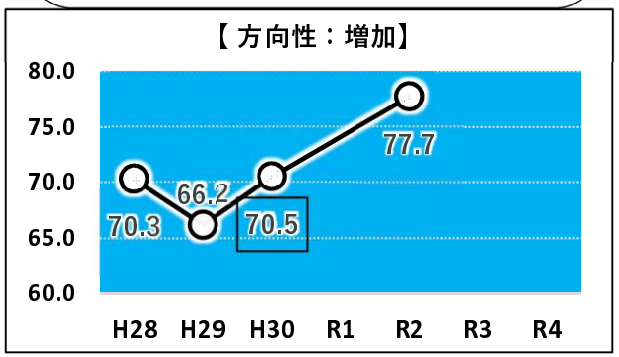
得点率 100.0%：	20点	15点	10点

【図1-2】消防団員数
（人）



策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-3】住宅用火災警報器設置率
（%）



策定時より増加・前年より増加：5点

※R1は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で調査未実施

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。

Ⅳ 施策評価

概ね順調に進んでいる　〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝　**85点**／100点〕

消防・救急体制の維持・確保に向け、柏林台出張所をはじめとした消防施設等の整備や、広域化に伴う情報ネットワーク等の構築を進めてきたほか、応急手当に係る普及啓発などに取り組み、救命・救急講習等の受講者が累計で8万１千人を超えるなど、応急手当ができる市民は増加しています。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い「応急手当実施率【図1-1】」は、市民の外出機会が減り、バイスタンダーが現場に居合わせることが少なくなったことなどにより、目標達成に向けて進捗していません。 しかしながら、応急手当ができる市民を増やすことが、人命を救える機会を増やすことにつながるため、今後も、救急・救命講習の実施を通し普及啓発などに取り組む必要があります。また、「住宅用火災警報器設置率【図1-3】」は増加しており、今後も火災事故の未然防止に向けた広報などに取り組むなど、火災予防意識の啓発を図る必要があります。

消防団員の確保に向け、消防職員及び団員による勧誘、ホームページや広報おびひろでのPR等を実施してきたほか、消防団活動に関心を示す企業に対し説明の機会を設けるなど、消防団員への加入促進や消防団活動への参加しやすい環境づくりをしている事業所を認定する消防団協力事業所表示制度の周知を図ったことで、「消防団員数【図1-2】」の増加につながっています。しかしながら、本市の消防団員数は依然として定員を満たしていない状況であることから、引き続き消防団員が活動しやすい環境づくりとともに、消防団活動への理解を促進する取り組みを進めていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。

施策19　みんなでつくる笑顔と安全　－安全な生活環境の確保－

目指す姿

交通安全や防犯、消費生活に対する意識が高まり、地域で支え合い、被害が生じにくい安全な生活環境が確保されています。

Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 63.6%：	40点	**30点**	25点

【事務事業の主な取り組み】

●交通ルールの遵守や交通マナーの向上のため、高齢者や子どもなどを対象にした各種交通安全教室等の開催や、関係機関や団体との連携による地域ぐるみの交通安全運動を展開。

●安全な交通環境を確保するため、幹線道路や生活道路における歩道の整備や区画線、視線誘導標、照明灯を設置。

●防犯意識の向上のため、青色回転灯を装備した公用車等による防犯パトロール等を実施。

●消費生活に関する正しい知識の普及や、消費者被害の未然防止、合理的な消費生活の促進を図るため、各種講座や講演会を開催。

●市民の安全で合理的な消費生活を支援するため、ホームページ等による消費生活に関する情報を提供。

●夜間における交通安全、防犯等を図るため、町内会等の防犯灯管理への支援。

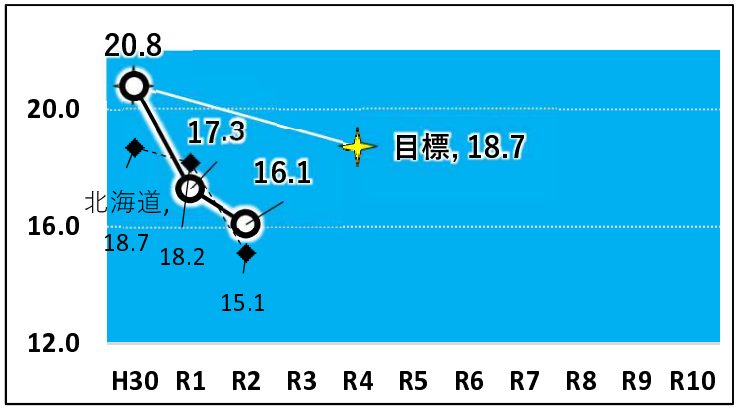
交通安全教室の様子

Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 223.8%：	40点	30点	25点

目指そう指標名			方向性
1万人あたりの交通事故発生件数			↘
指標の考え方	市民による交通ルール・マナーの遵守や、市による意識啓発などにより、減少を目指します。	基準値（H30）	20.8件
		実績値（R2）	16.1件
		目標値（R4）	18.7件

【図1-1】1万人あたりの交通事故発生件数（件）



【指標の動向・要因分析】

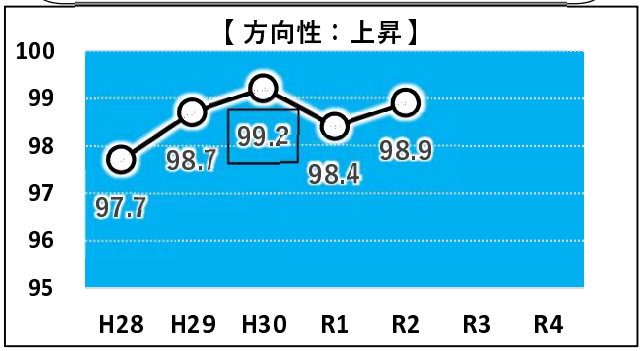
「1万人あたりの交通事故発生件数」は16.1件であり、目標達成に向けて順調に進捗しています。

市による高齢者や子どもなどの交通弱者に対する交通安全教室の実施や道路の環境整備などのほか、市民の交通ルールの遵守に対する意識の向上などにより、交通事故発生件数の減少につながったものと考えます。

Ⅲ 関連データの状況

得点率 40.0%：	20点	15点	**10点**

【図1-2】消費生活相談の解決率
（%）



策定時以下・前年より増加：2点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。

Ⅳ 施策評価

概ね順調に進んでいる　〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝　**80点**／100点〕

交通事故や交通違反の防止に向け、交通安全教室の開催など、市民の交通安全意識の向上を図ってきたほか、注意喚起看板の設置や歩道の整備などに取り組んだことで、「1万人あたりの交通事故発生件数【図1-1】」の減少につながっています。また、犯罪の発生抑制に向け、防犯パトロールや街頭啓発の実施のほか、防犯関係団体の活動や町内会による防犯灯の設置などを支援し、刑法犯の認知件数は、減少傾向にあります。今後も、交通安全・防犯意識の向上や交通事故・犯罪の防止に向けた環境づくりを進めていく必要があります。

消費生活に関するトラブル防止に向け、消費生活に係る情報提供や相談対応などを行っており、「消費生活相談解決率【図1-2】」は、高い水準を維持しています。今後も意識啓発や相談対応に取り組み、消費者意識の醸成を図る必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。

施策20　未来につなぐ、おいしい水　－上下水道の基盤強化－

目指す姿

いつでも安全で安心して利用できる強靭な上下水道が確保されています。

Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 91.3%：	40点	30点	25点

【事務事業の主な取り組み】

●今後の水需要の減少などの環境の変化を踏まえ、水道料金体系を見直し、水道料金の引き下げを実施。

●水道水の安定供給を図るため、配水管整備や浄水場等の機器設備更新、配水池の耐震診断などを実施。

●快適な生活環境づくりのため、雨水管や汚水管、個別排水処理施設を整備。

●下水道サービスの安定供給と広域化による効率的な事業運営を図るため、終末処理場設備改修や汚水処理施設統合に向けた取り組みを実施。

●災害時の体制強化を図るため、災害対策備蓄資器材の充実や災害訓練を実施。

カラーマンホール

●上下水道に関する理解促進のため、「水を見る週間」などのイベントを通したPRや、おびひろ極上水の製造・販売、カラーマンホール蓋の設置、マンホールカードの制作・配布を実施。

●利用者サービス向上のため、メーター更新時に掘削を要しないメーターボックスへ更新。

●安全な水道水供給のため、河川表流水調査や水源水質調査、水質基準検査などを実施。

●環境負荷を軽減するため、下水汚泥の耕地還元や発生ガスの有効活用を実施。

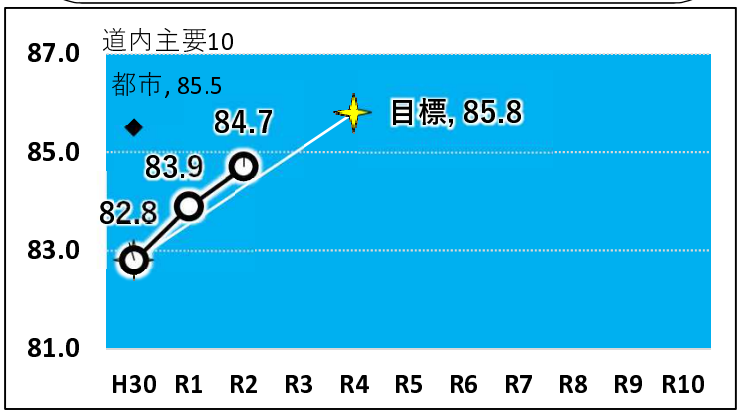
●下水道の利用促進のため、下水道への接続の普及啓発を実施。

Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 63.3% :	40点	30点	25点

目指そう指標名			方向性
水道管路の耐震適合率			↗
指標の考え方	上下水道の事業内容等への市民の理解を得ながら、市による強度や耐震性に優れた水道管への更新を進めることにより、上昇を目指します。	基準値（H30）	82.8%
		実績値（R2）	84.7%
		目標値（R4）	85.8%

【図1-1】水道管路の耐震適合率（%）



※道内主要10都市：札幌市、旭川市、函館市、苫小牧市、釧路市、江別市、北見市、小樽市、室蘭市、帯広市

【指標の動向・要因分析】

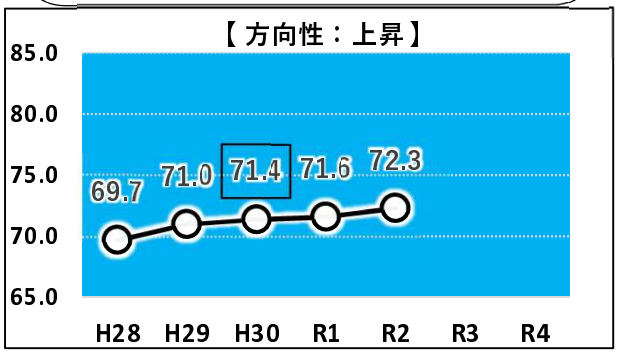
「水道管路の耐震適合率」は84.7%であり、目標達成に向けて順調に進捗しています。

市の配水管整備事業により、耐用年数を迎える耐震管や耐震適合管に該当しない塩化ビニール管を計画的に更新し、国の耐震基準に適合した管種による水道管路の整備を進めてきたことによるもの考えます。

Ⅲ 関連データの状況

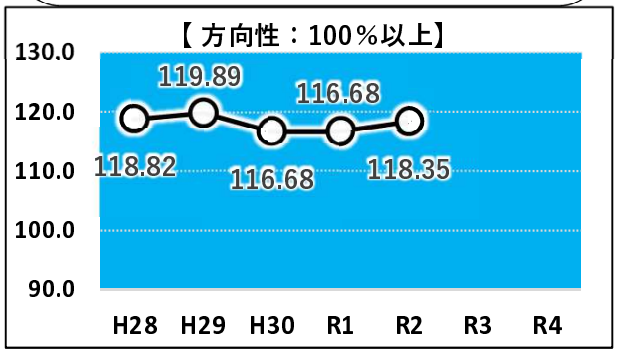
得点率 100.0%：	20点	15点	10点

【図1-2】雨水整備率
（%）



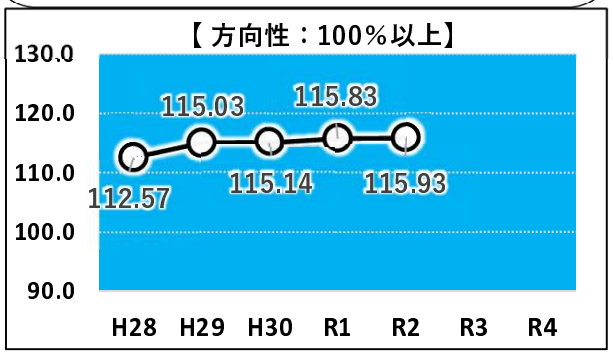
策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-3】経常収支比率（水道事業会計）
（%）



基準以上：3点

【図1-4】経常収支比率（下水道事業会計）
（%）



基準以上：3点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。

Ⅳ 施策評価

順調に進んでいる　〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝　**100点**／100点〕

上下水道の基盤強化に向け、計画的な施設の長寿命化や耐震化を進めているほか、浸水対策などを着実に進めており、「水道管路の耐震適合率【図1-1】」や「雨水整備率【図1-2】」が着実に上昇しています。

上下水道施設の老朽化が進む中、中長期的な視点に立った計画的・効率的な維持管理や更新事業を実施しており、水道料金・下水道使用料等によって維持管理等に必要な費用が賄われ、「経常収支比率【図1-3】【図1-4】」が100%以上となっているなど、健全な経営が確保されています。今後は、人口減少の進行に伴う収入の減少や施設の老朽化に伴うコストの増加などが見込まれていることから、上下水道の経営状況や事業内容の周知などを通じ、上下水道事業への理解促進につながる取り組みを進めていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「順調に進んでいる」と評価します。

施策21　未来につなぐ、住みよいまち　－都市基盤の整備と住環境の充実－

目指す姿

都市機能の配置やインフラ施設等の管理が適切に行われ、コンパクトで誰もが住みやすいまちが形成されています。

Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 85.7%：	40点	30点	25点

【事務事業の主な取り組み】

●都市内の主要な交通網を形成するため、都市計画マスタープランに基づき、未整備となっている都市計画道路の整備を実施。

●緑地の保全や緑化の推進に取り組むため、みどりの基本計画に基づき、公園緑地の整備や維持管理のほか、緑化協議、慶事記念樹の贈呈、桜並木の整備等を実施。

●居住の安定に特に配慮が必要な高齢者及び子育て世帯に対し、良好な住環境の提供を促進するため、地域優良賃貸住宅等への整備費補助及び家賃補助を実施。

●中心市街地の活性化のため、西3・9周辺地区再開発事業のほか、イルミネーションプロジェクトなどのまちなか活性化に向けたイベントの実施など、中心市街地活性化基本計画に掲げた事業を実施。

●地域公共交通の維持確保のため、地域公共交通網形成計画に基づき、公共交通の利用促進活動や小学生等への交通環境学習などを実施したほか、バス運行維持に対する支援を実施。

●地域住民の生活環境の保全を図るため、空き家等の利活用や適正な管理に向けた情報発信や相談対応、改修補助などを実施。

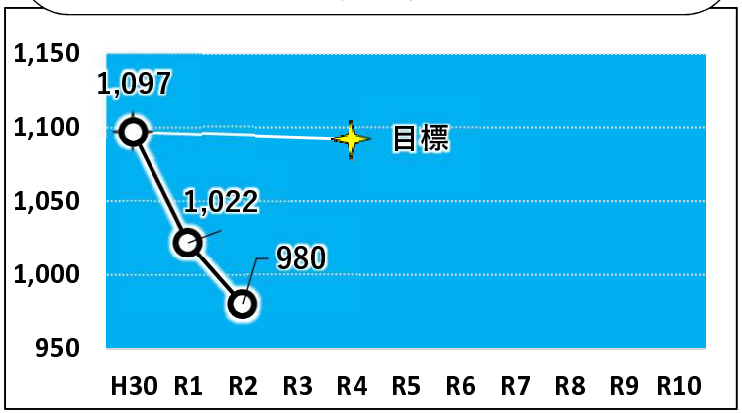
青柳通の整備後

Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 2,340.0%：	40点	30点	25点

目指そう指標名			方向性
空き家数			↘
指標の考え方	所有者による空き家等の適切な管理・活用や、市による意識啓発などにより、減少を目指します。	基準値（H30）	1,097箇所
		実績値（R2）	980箇所
		目標値（R4）	1,092箇所

【図1-1】空き家数（箇所）



【指標の動向・要因分析】

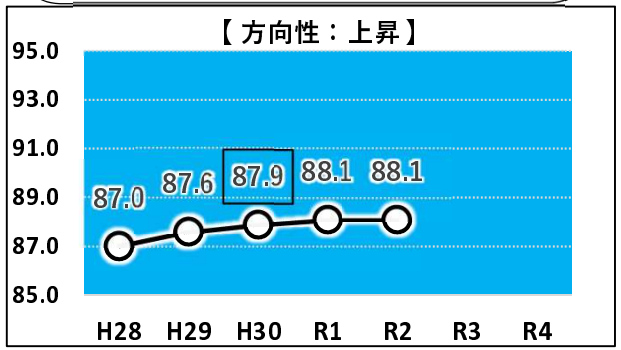
「空き家数」は980箇所であり、目標達成に向けて順調に進捗しています。

市による空き家に関する情報発信や相談対応、改修補助などの取り組みのほか、北海道空き家情報バンクによる空き家の周知や利活用、所有者による適切な管理や除却が進められたことにより、空き家数が減少したものと考えます。

Ⅲ 関連データの状況

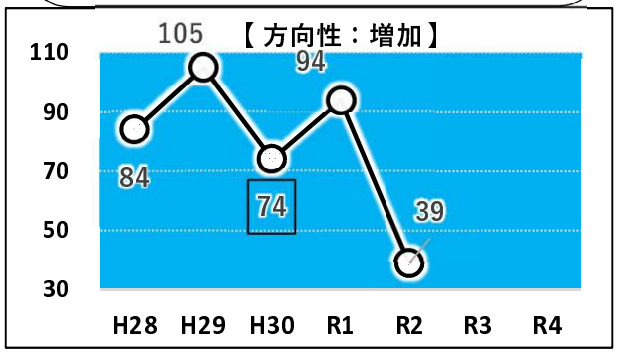
得点率 32.0%：	20点	15点	**10点**

【図1-2】都市計画道路の整備率（%）



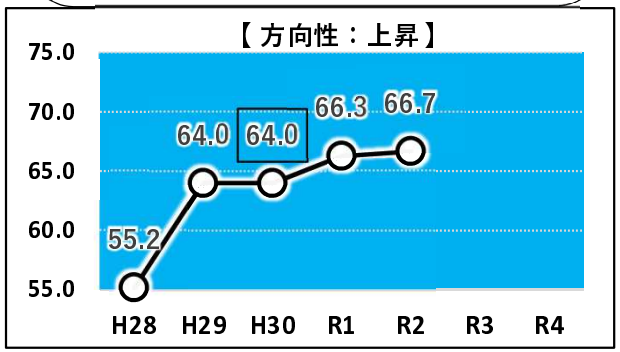
策定時より増加・前年以下：3点

【図1-3】公園行為許可件数（件）



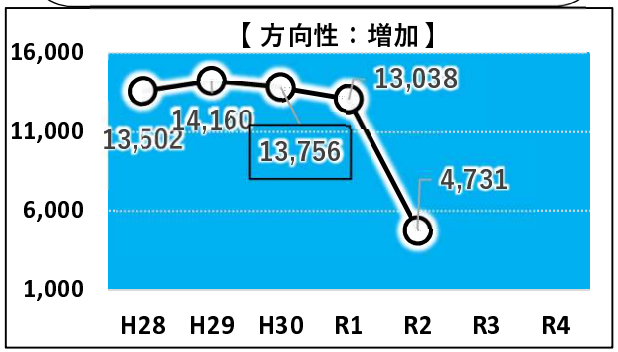
策定時以下・前年以下：0点

【図1-4】高齢者及び身障者に対応した市営住宅等の割合（%）



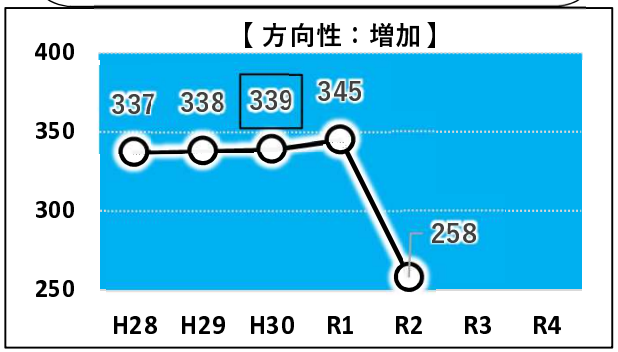
策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-5】中心市街地の平日昼間9～17時の歩行者通行量（人）



策定時以下・前年以下：0点

【図1-6】市内運行路線における路線バス年間利用者数（万人）



策定時以下・前年以下：0点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。

Ⅳ 施策評価

順調に進んでいる　〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝　**90点**／100点〕

中心市街地の活性化に向け、中心街に人を呼び込むイベントの開催支援や商店街での新規開業支援、西3・9周辺地区市街地再開発事業への支援などに取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出の抑制等により「中心市街地歩行者通行量【図1-5】」は減少しています。今後は、感染状況などを踏まえながら、事業者等と連携し、にぎわいの創出に向けた取り組みを促進していく必要があります。

公園の適正管理や利活用促進に向け、公園緑地の整備や維持管理のほか、市民協働による帯広の森の育成・利活用などを進めましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大でイベント利用等が減少したことなどから「公園許可行為件数【図1-3】」は減少しています。今後も、感染対策を徹底するとともに、公園緑地の利活用方法や利用例の情報発信などにより、健康や福祉、観光、地域活性などの分野でのみどりの利活用を促進し、公園の魅力を向上していく必要があります。

人口構成の変化に対応した市営住宅等の整備に向け、子育て・高齢者向けの家賃補助や市営住宅の建て替えを進めており、「高齢者及び身障者に対応した市営住宅の割合【図1-4】」は前年より増加しています。また、住まいに係るワンストップ窓口での相談対応や危険な空き家の除却支援などにより「空き家数【図1-1】」は減少していますが、少子高齢化の進行や既存住宅の老朽化等に伴い、空き家の増加が見込まれることから、今後も、民間業者と連携しながら空き家の利活用などを進めていく必要があります。

道路の整備・維持管理については、計画的な道路整備、橋梁や横断歩道の定期的な点検・修繕、街路樹の維持管理、除雪体制の確保や除雪方法の情報発信などに取り組んでおり、都市計画道路の整備【図1-2】が進んでいるほか、除雪に関する問い合わせ件数も減少傾向にあります。今後も、計画的、定期的な維持管理を行うほか、除雪方法の情報発信などの取り組みを継続していく必要があります。

地域公共交通の確保に向けては、バス路線維持に対する支援や農村地区における交通手段の確保、公共交通の利用促進などの取り組みを進めていますが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う休校や外出自粛等の影響を受け、「市内運行路線における路線バス利用者数【図1-6】」は前年より大幅に減少しました。今後は、公共交通機関における感染防止対策の徹底とその取り組みの周知を継続するとともに、交通事業者をはじめとする関係機関と連携しながら、利用者のニーズに即した交通サービスの提供の確保に向けた取り組みを進めていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「順調に進んでいる」と評価します。

施策22　認め合い、つながり、暮らす　－多様な主体が活躍する地域社会の形成－

目指す姿

誰もが互いに尊重し合い、つながりながら、住みよいまちをつくるために主体的に行動し活躍しています。

Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 50.0%：	40点	30点	**25点**

【事務事業の主な取り組み】

●市民団体等のまちづくり活動を支援するため、市民提案型協働のまちづくり支援事業を実施したほか、交付金補助による町内会の活動支援や、町内会活動の周知、町内会への加入啓発等を実施。また、市民相互の交流促進のため、コミュニティ施設を維持管理。

●国際姉妹・友好都市、国内姉妹都市との交流活動を支援するため、高校生をはじめとする相互交流事業を実施。

●移住促進を図るため、移住希望者に対する相談支援やホームページ等を活用した情報提供を実施。

●男女がともに仕事と家庭生活を両立できる環境づくりや女性への暴力の根絶を図るため、男女共同参画に関する講座の実施や、啓発パンフレットを配布。

●アイヌ民族の歴史・文化に関する理解促進のため、講演会の実施や、アイヌ民族文化情報センター（リウカ）を活用した周知啓発を実施。

●アイヌ子弟の教育環境の充実を図るため、教育扶助を支給。

●平和意識の啓発を図るため、平和カレンダーの作成、配布やパネル展を実施。

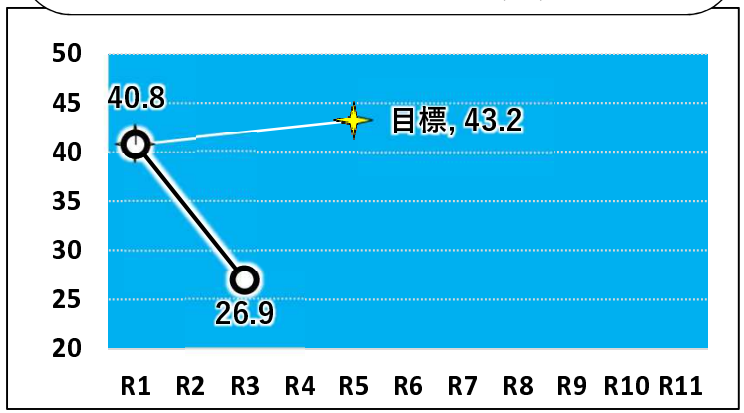
市民提案型協働のまちづくり支援事業
公開プレゼンテーションの様子

Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲579.2%：	40点	30点	25点

目指そう指標名			方向性
直近1年間で地域社会活動に参加した市民の割合			↗
指標の考え方	市民による主体的なボランティア活動・地域行事等への参加や、市による多様な活動への支援などにより、上昇を目指します。	基準値（R1）	40.8%
		実績値（R3）	26.9%
		目標値（R5）	43.2%

【図1-1】直近1年間で地域社会活動に参加した市民の割合（%）



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

「直近1年間で地域社会活動に参加した市民の割合」は26.9%であり、目標達成に向けて進捗していません。

市では、市民主体のまちづくり活動の促進やコミュニティ施設の維持管理などに取り組んでいるほか、市民団体や民間企業等による新たな社会貢献活動が展開されるなど、まちづくりに参画する主体の広がりが見られています。

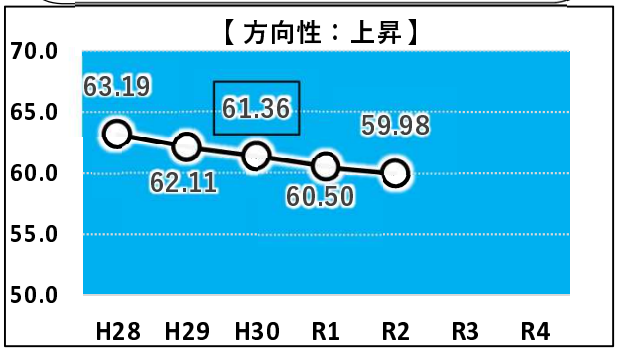
しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、公共施設の閉館をはじめ、様々なまちづくり活動の自粛、中止、縮小が相次いだほか、人々の外出抑制などが影響したものと考えます。

今後も、町内会、市民団体や民間企業、NPOなど、まちづくりに参加する多様な主体の活動支援などを通し、市民の地域社会活動への参加を促進していく必要があります。

Ⅲ 関連データの状況

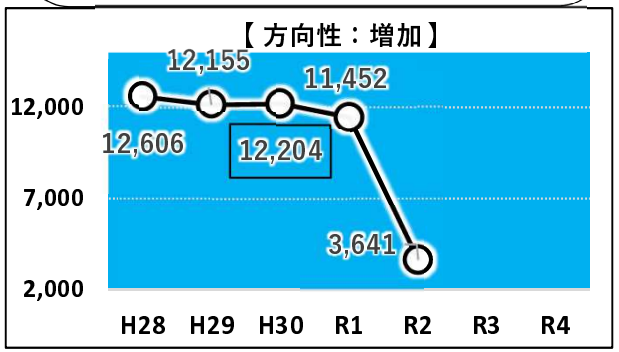
得点率 33.3%：	20点	15点	**10点**

【図1-2】町内会加入率（%）



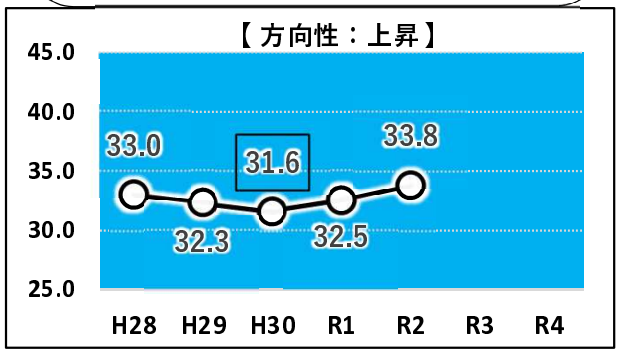
策定時以下・前年以下：0点

【図1-3】国際理解推進事業・国際交流事業参加者数（人）



策定時以下・前年以下：0点

【図1-4】審議会等への女性の参画率（%）



策定時より増加・前年より増加：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。

Ⅳ 施策評価

さらなる進捗が必要　〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝　**60点**／100点〕

コミュニティ活動の活性化に向け、市民提案型協働のまちづくり支援事業や、こども学校応援地域交付金のほか、市民団体等の活動情報の発信など市民団体やNPO等によるまちづくり活動への支援等により、新たに社会貢献活動を実施する団体・企業が見られており、まちづくりに参加する主体は広がりつつあります。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、様々な活動が中止、自粛、縮小が相次いだことや人々の外出抑制により「直近1年間で地域社会活動に参加した市民の割合【図1-1】」は減少しており、引き続き、市民団体やNPOなど、まちづくりに参加する多様な主体の活動を支援するなど、コミュニティ活動を促進していく必要があります。また、「町内会加入率【図1-2】」は依然として減少傾向にあるため、町内会の活動内容や役割の周知啓発、役員の負担軽減などに取り組み、持続可能な町内会活動を支援していく必要があります。

姉妹都市をはじめとした他地域との交流に向け、各種交流イベントの実施や国際交流ボランティアの育成、在住外国人への情報提供などの取り組みを通して、国際交流ボランティア登録者が増加しているものの、「国際理解推進事業・国際交流事業参加者数【図1-3】」は、感染症拡大の影響で一部の事業が中止・延期となったほか、外国人が来日できず、日本文化を紹介する機会が持てなかったことから、大きく減少しました。今後は多様な文化への理解促進を図りながら、安全に交流できる時期を見定めつつ、市民主体の交流を促進していく必要があります。

女性活躍の促進や一人ひとりの人権が尊重される社会の実現に向けては、「審議会等への女性の参画率【図1-4】」が上昇傾向にあるほか、女性活躍や男女共同参画、デートDV予防にかかる講座など、女性に対する暴力の根絶などの意識向上をはかる取り組みを進めていますが、感染症拡大に伴い、事業が中止や縮小となったことにより、参加者数は減少となりました。また、障害者、高齢者、子どもなどへの虐待等は依然として存在しています。引き続き、多様性を認め合いながら、誰もが活躍できる環境づくりに向けた取り組みを進めていくことが必要と考えます。

アイヌの人たちの誇りが尊重される社会の実現に向け、アイヌ民族に関する生活文化展や講習会等の開催、アイヌ教育相談員の配置や教育扶助の支給を通じたアイヌ子弟の進学機会の確保などに取り組んでいますが、感染症拡大による事業の中止や縮小、人々の外出抑制により、アイヌ協会主催イベント等への参加者数やリウカの利用者数は減少しました。感染症対策を徹底するほか様々な情報発信の手法を検討し、アイヌ民族の歴史・文化への理解促進に向けた取り組みを進めていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が25点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。

施策23　未来に夢をつなぐ　－自治体経営の推進－

目指す姿

市民ニーズや行政を取り巻く環境の変化を的確に捉えた、市民に信頼される持続可能な自治体経営が行われています。

Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 98.0%：	40点	30点	25点

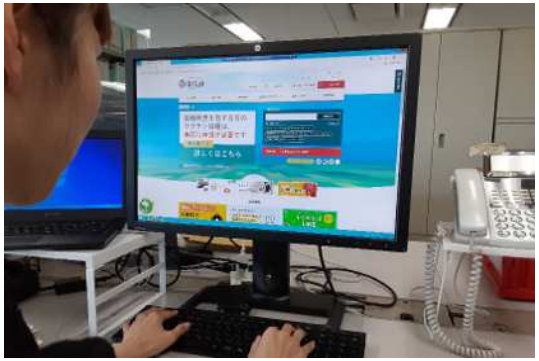
【事務事業の主な取り組み】

●市民に行政情報を分かりやすく提供するため、広報紙やマスメディア、SNSなど様々な媒体を活用した情報発信を行ったほか、市ホームページをリニューアルし、閲覧性や検索機能を改善。

●効率的な自治体運営に向け、保育所の民間移管やごみ収集業務の民間委託拡充などの取り組みを推進。

●業務効率化のため、定型的な業務へのRPAやAI-OCRの試行導入を実施。

●自主財源の確保・拡大を図るため、帯広市発達支援ガイドブックへの広告掲載やふるさと納税に係る申込サイトの拡充・返礼品の充実、未利用地・低利用地の活用推進などを実施。



市ホームページをリニューアル

●市が発注する工事等において公平性や適切な労働条件を確保するため、設計等委託業務の一般競争入札対象範囲の拡大や建設業者の社会保険加入義務化等を実施。

●公共施設等の施設総量の適正化などを図るため、消防施設の統廃合を実施したほか、文化スポーツ施設の個別施設計画を策定。

●職員の意欲向上や能力発揮を促すため、評価結果の管理職員への処遇反映や評価対象範囲拡大などの見直しを行った上で、人事評価を実施。

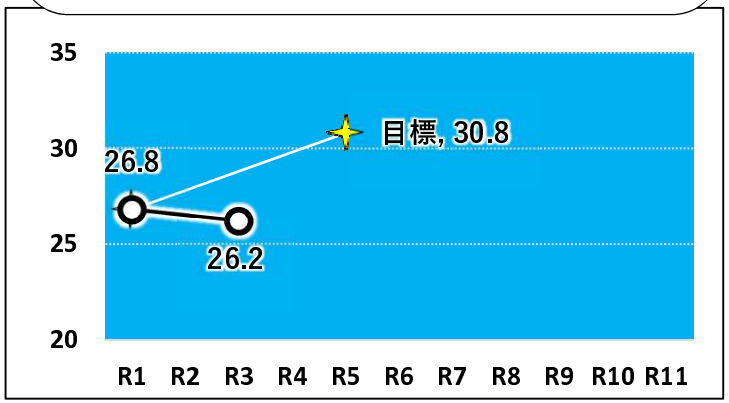
●徴収業務の効率的な執行体制を構築するため、市税や国民健康保険料、介護保険料等の収納関連業務集約に向けた準備を実施。

Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲15.0%：	40点	30点	25点

目指そう指標名			方向性
まちづくりのために、有効に税金が使われていると思う市民の割合			↗
指標の考え方	わかりやすい情報発信に努めながら、効果的・効率的な自治体経営を進め、市民の理解や共感を得ることにより、上昇を目指します。	基準値（R1）	26.8%
		実績値（R3）	26.2%
		目標値（R5）	30.8%

【図1-1】まちづくりのために、有効に税金が使われていると思う市民の割合（%）



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

「まちづくりのために、有効に税金が使われていると思う市民の割合」は26.2%であり、目標達成に向けて進捗していません。

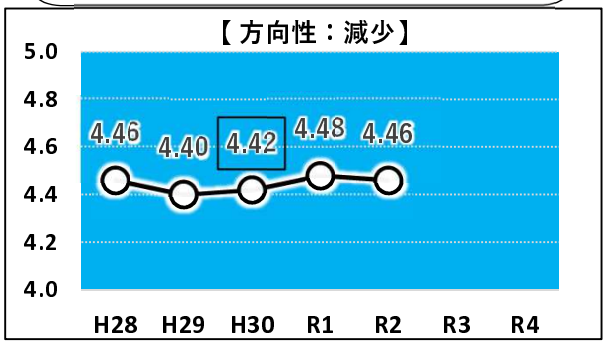
市では、保育所の民間移管やごみ収集業務の民間委託拡充、ふるさと納税を通じた自主財源の確保など、効果的・効率的な行財政運営に向けた取り組みを進めているほか、広報紙をはじめ、SNSや市民との対話事業の実施など多様な手法により情報発信に取り組んでいますが、割合の上昇にはつながっていません。

「有効に税金が使われていない」と回答した方の理由では「どのように税金が使われているか分からない・分かりにくい」を選択した割合が70.9%と最も高くなっていることから、社会経済情勢等を踏まえた行政サービスの提供・見直しはもとより、様々な機会・媒体を通じて、まちづくりに関する考え方や取組内容の分かりやすい周知に努め、市民の納得感を高めながら自治体経営を行っていく必要があります。

Ⅲ 関連データの状況

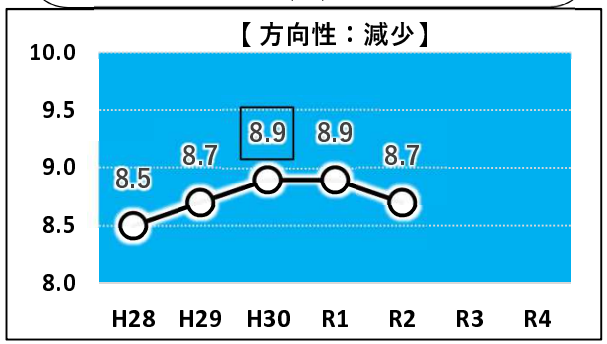
得点率 68.0%：	20点	**15点**	10点

【図1-2】市が管理する市民一人あたりの施設延床面積（㎡）



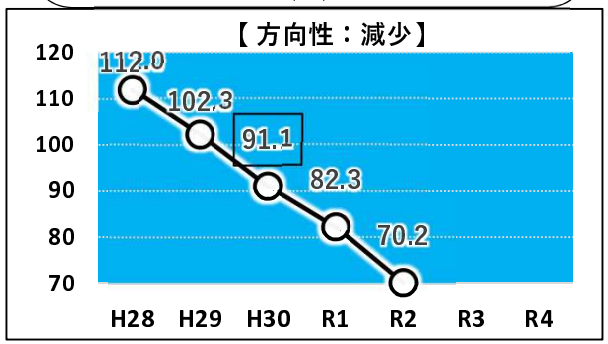
策定時以上・前年より減少：2点

【図1-3】実質公債費比率（%）



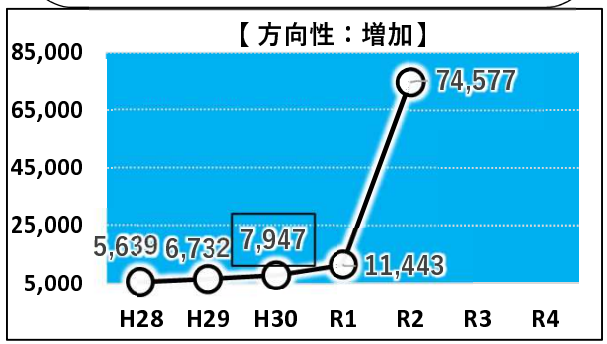
策定時より減少・前年より減少：5点

【図1-4】将来負担比率（%）



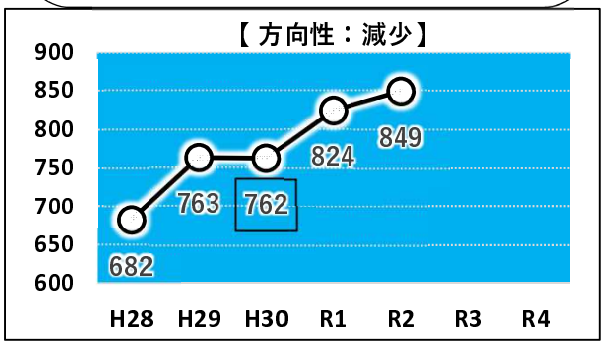
策定時より減少・前年より減少：5点

【図1-5】SNS等登録者数（件）



策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-6】月間の時間外勤務が45時間を超えた職員の数（人）



策定時以上・前年以上：0点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。

Ⅳ 施策評価

概ね順調に進んでいる　〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝　**80点** ／100点〕

まちづくりの考え方や取り組みに対する理解促進に向け、市ホームページのリニューアルのほか、LINEをはじめとした各種ツールや市長記者会見等を通じた積極的な情報発信に取り組んでおり、HPアクセス数や「SNS等登録者数【図1-5】」が大幅に増加していますが、「まちづくりのために、有効に税金が使われていると思う市民の割合【図1-1】」は基準年と同程度の水準で推移しています。「有効に税金が使われていない」と回答した方の理由では「どのように税金が使われているか分からない・分かりにくい」を選択した割合が70.9%と最も高くなっていることから、様々な機会・媒体を通じて、まちづくりの考え方などについて分かりやすい情報の発信に努めていく必要があります。

効果的・効率的な自治体経営を進めるため、計画的な市債発行など中長期を見据えた財政運営に努めてきたことにより、「実質公債費比率【図1-3】」、「将来負担比率【図1-4】」ともに減少しています。また、市民サービスの向上や業務の効率化に向け、民間委託の拡充やICTの活用などに取り組んでおり、電子申請システムの利用件数が前年と比べ約8倍になるなど一定の成果に結びついてきている一方、新型コロナウイルス感染症対策業務の増加の影響などにより「月間の時間外勤務時間数が45時間を超えた職員の数【図1-6】」は増加しており、業務の平準化やICTの更なる活用促進による職員の労働環境の改善などが必要となっています。

適正な業務執行の確保に向けては、定期監査の実施のほか、透明性・公平性の高い入札・契約手法への見直しなどに取り組んでおり、一般競争入札実施率は高水準を維持しています。今後も、公平性や透明性の確保に努めます。

公共施設等の長寿命化や施設総量の適正化に向けては、公共施設マネジメント計画に基づき、各施設の個別施設計画の策定や施設の統廃合、長寿命化などの取り組みを進めており、「市民一人あたりの施設延床面積【図1-2】」は前年と比較して減少しています。今後、老朽化が進行する一方、財政面での制約から改修や更新にあてられる財源が一層限られてくると見込まれることから、各施設の状況を的確に捉え、こうした公共施設を取り巻く課題等を市民と共有し理解・協力を得ながら、公共施設マネジメントの更なる推進を図っていく必要があります。

職員の育成については、各種職員研修の実施や国等への職員派遣のほか、人材評価制度による管理職員への処遇反映の実施などに取り組んでいます。また、他自治体との連携については、水道や消防、廃棄物処理などの共同実施のほか、創業・起業の促進やアウトドアのブランド化等定住自立圏協定に基づく取り組みなどを推進しており、連携による事務の効率化や地域の生活機能の確保、魅力向上などが図られています。今後も、他自治体などとの連携・協力し、効率的な運営や地域の活性化につなげていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。

事務事業評価表

施策 1	取組 1	番号 1	事務事業 **健康づくり推進事業**

目的	健康意識の向上に関する取り組みや、生活習慣病予防に関する知識を普及する人材の育成などを通し、市民の健康づくりを推進します。	担当課	健康推進課
目標	スマートフォン用アプリを活用し、運動習慣の定着を促す健康マイレージ事業の参加者数について4,500人を目指します。		

事業実施状況

・健康づくり推進サポーターの育成と活動の推進(77人・2団体)
・健康マイレージの推進(参加者2,230人)
・スマートライフプロジェクトおびひろの推進(90企業・団体)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,723		
特定財源	200		
一般財源	1,523		

指標名	健康マイレージ事業参加者数	単位	人

基準値	R2	R3	R4
	目標値	目標値	目標値
	実績値	実績値	実績値
－	1,500	3,000	4,500
	2,230		

評価検証

R2年度の健康マイレージ参加者数は2,230人であり、目標を達成しました。
市ホームページや企業訪問、健康講座などを通じた周知により認知度が向上したほか、歩数や健診（検診）受診に応じて各種特典と交換可能なポイントが付与されるなど、楽しみながら健康づくりの習慣化に取り組める仕組みが効果的であったと考えます。

施策 1	取組 1	番号 2	事務事業 **保健衛生普及啓発事業**

目的	保健衛生に関する情報提供や関係団体との連携などにより、市民の健康づくりを推進します。	担当課	健康推進課
目標	子育てや健康づくりに役立つ情報を提供するすこやかネットの利用者数の増加を目指します。		

事業実施状況

・献血の普及啓発
・臓器等提供の普及啓発
・北海道難病連十勝支部への支援
・健康づくりガイドの作成
・地元食材の活用促進の啓発
・帯広市すこやかネット事業の実施(利用件数43,345件)
・公衆浴場の利用促進(延べ21,669人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	25,555		
特定財源	0		
一般財源	25,555		

指標名	－	単位	

基準値	R2	R3	R4
	目標値	目標値	目標値
	実績値	実績値	実績値

評価検証

R2年度は、子育てや生活に役立つ情報を動画などを用いてわかりやすく作成し、関係機関と連携して周知したことで、すこやかネットの利用件数は前年を上回り、目標達成に向け進捗しています。

施策 1	取組 2	番号 1	事務事業 **疾病対策事業**

目的	各種検診や保健指導、受診勧奨の実施により、疾病の予防や早期発見・早期治療と重症化予防を推進します。	担当課	健康推進課
目標	大腸がんの検診における精密検査の受診率について75.5%を目指します。		

事業実施状況

・がん対策の実施
・市民健康診査等の実施
・肝炎ウイルス検診の実施
・骨粗しょう症検診の実施
・結核検診の実施
・各種健診の受診勧奨・事後指導
・糖尿病対策の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	134,016		
特定財源	3,172		
一般財源	130,844		

指標名	大腸がん検診の精密検査受診率	単位	%

基準値	R2	R3	R4
	目標値	目標値	目標値
	実績値	実績値	実績値
68.9	72.1	73.8	75.5
	66.6		

評価検証

R2年度の大腸がん検診の精密検査受診率は66.6%であり、目標を達成しませんでした。
精密検査には一定の費用がかかることや、検診結果を重視していない方が多いことが要因であると考えます。大腸がんの多くは早期治療により重症化になりにくい病気であるため、精密検査対象者に早期発見・早期治療の重要性が伝わる効果的な周知等が必要と考えます。

施策 1	取組 2	番号 2	事務事業 **健康教育事業**

目的	健康教育の実施により、生活習慣病の予防やこころの健康づくりの普及・啓発を図ります。	担当課	健康推進課
目標	生活習慣の改善や病気の予防など健康づくりをテーマとした健康講座の受講者数について5,215人を目指します。		

事業実施状況

・集団健康教育の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	3,339		
特定財源	613		
一般財源	2,726		

指標名	健康講座受講者数	単位	人

基準値	R2	R3	R4
	目標値	目標値	目標値
	実績値	実績値	実績値
4,800	5,003	5,108	5,215
	927		

評価検証

R2年度の健康講座受講者数は927人であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症の拡大で、市による講座の中止のほか、感染症対策を講じた講座においても、市民や団体が講座参加を自粛したことが要因であると考えます。今後も、感染症の対策を行いながら講座を開催するほか、健康相談等を通じ市民の健康づくりを促進していくことが必要と考えます。

施策 1	取組 2	番号 3	事務事業 **健康相談・訪問支援事業**

目的	健康相談や訪問による保健指導などにより、市民の健康づくりを促進します。	担当課	健康推進課
目標	市民の健康に関する不安に対して電話や面談により対応する健康相談・訪問の件数について773件を目指します。		

事業実施状況

・健康相談の実施
・保健指導・受診勧奨の実施
・保健福祉サービスに関する情報提供

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	3,016		
特定財源	461		
一般財源	2,555		

指標名	健康相談・訪問件数	単位	件

基準値	R2	R3	R4
	目標値	目標値	目標値
	実績値	実績値	実績値
668	773	773	773
	2,083		

評価検証

R2年度の健康相談・訪問件数は2083件であり、目標を達成しました。
新型コロナウイルス感染症の影響により健康に関する相談が大きく増加したことや、広報誌での周知などにより健康相談の認知が高まったものと考えます。

施策 1	取組 2	番号 4	事務事業 **自殺対策事業**

目的	自殺対策に関わる人材の育成や地域での支え合いの強化、こころの健康づくりの普及啓発などを通し自殺予防を図ります。	担当課	健康推進課
目標	自殺の背景となる悩みの解決に向け、対応する様々な機関の連携や情報共有を促進する多分野合同研修会の参加者数について200人を目指します。		

事業実施状況

・帯広市生きるを支える連携会議の開催(1回開催)
・ゲートキーパーの養成(2回75人)
・多分野合同研修会の実施(1回24人)
・こころの健康づくりの普及啓発(年間アクセス数30,533件)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	444		
特定財源	380		
一般財源	64		

指標名	多分野合同研修会参加者数	単位	人

基準値	R2	R3	R4
	目標値	目標値	目標値
	実績値	実績値	実績値
63	100	150	200
	48		

評価検証

R2年度の多分野合同研修会参加者数は48件であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症の拡大により、計画していた研修会の実施を見合わせたことが要因であると考えます。コロナ禍では相談内容が多岐に渡ることから、研修会の実施方法等も工夫しながら関係機関と連携した支援体制の構築を図っていくことが必要と考えます。

施策 1	取組 2	番号 5	事務事業 **感染症予防事業**

目的	予防接種や日常の感染予防対策の実施により、感染症の発生及びまん延を予防します。	担当課	健康推進課
目標	子どもの麻しん・風しん混合ワクチン（2期）の接種率について95.0%を目指します。		

事業実施状況

・予防接種の周知啓発
・定期接種の実施(接種者延べ65,257人)
・中学3年生・高校3年生のインフルエンザ予防接種費用助成の実施(接種者延べ869人)
・風しん抗体検査の実施(受検者延べ1,722人)
・新型インフルエンザ対策行動計画の推進
・感染症発生状況の把握、情報発信
・エキノコックス症血清検査の実施(受診者延べ50人)
・新型コロナウイルスワクチン接種に向けた体制整備

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	466,286		
特定財源	38,481		
一般財源	427,805		

指標名	麻しん・風しん混合ワクチン接種の接種率	単位	%

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値
92.4	95.0	97.9	95.0		95.0	

評価検証

R2年度の麻しん・風しん混合ワクチン（2期）の接種率は97.9%であり、目標を達成しました。
広報紙での周知のほか、対象者への個別通知による接種勧奨が効果的であったと考えます。

施策 1	取組 2	番号 6	事務事業 **健康増進計画（けんこう帯広２１）推進事業**

目的	健康増進計画を推進し、健康増進に関する施策を総合的に進めます。	担当課	健康推進課
目標	–		

事業実施状況

・健康生活支援審議会健康づくり支援部会の開催
・「けんこう帯広21」の推進

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	0		
特定財源	0		
一般財源	0		

指標名	–	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

–

施策 1	取組 2	番号 7	事務事業 **保健福祉センター等管理運営事業**

目的	保健福祉センター等の管理運営を通して、健康づくりや子育て支援など、各種福祉サービスを提供します。	担当課	健康推進課
目標	–		

事業実施状況

・保健福祉センターの管理運営(利用者数23,643人)
・大正健康増進センターの管理運営(利用者数1,213人)
・川西健康増進センターの管理運営(利用者数2,671人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	45,020		
特定財源	1,337		
一般財源	43,683		

指標名	–	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

–

施策 2	取組 1	番号 1	事務事業 **のびのび子育て応援事業**

目的	地域担当保育士による乳児家庭訪問や保育所を活用した取り組み等により、家庭での子育てを支援します。	担当課	こども課
目標	高校生や短大生などを対象とした、子どもの人権に対する理解促進を図る出前講座の参加者数について600人を目指します。		

事業実施状況

・こんにちは赤ちゃん訪問事業の実施(498回)
・あそびの広場事業の実施(61回252組573人)
・保育所地域支援事業の実施(親子で保育参加(65組137人)、サンデーファミリー(5回27組75人)ほか)
・「子どもの権利条約」に係る出前講座の実施(1回78人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,927		
特定財源	2,138		
一般財源	△211		

指標名	出前講座の参加者数	単位	人

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値
600	600	78	600		600	

評価検証

R2年度の出前講座の参加者数は78人であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、多くの講座が実施できなかったことが要因であると考えます。子どもの人権に対する理解促進をはかるため、オンライン開催などを含め様々な手法を検討しながら実施していくことが必要と考えます。

施策 2	取組 1	番号 2	事務事業 **食育推進事業(保育所)**

目的	保育所での行事等を通して、児童の食に対する関心を高めるとともに、食と健康についての意識啓発を図ります。	担当課	こども課
目標	食を通じた健康づくりを促進する食育講座（市主催）の1所あたりの平均参加人数について19人を目指します。		

事業実施状況

・行事での祝事食の提供(3回)
・ふるさと給食の提供(4回)
・保護者、児童向け食育講座の実施(2回、20人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	854		
特定財源	0		
一般財源	854		

指標名	1所あたりの食育講座参加人数	単位	人

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値
17	19	3	19		19	

評価検証

R2年度の1所あたりの食育講座参加人数は3人であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、一部の講座しか実施できなかったことが要因であると考えます。食を通じた健康づくりを促進するため、オンライン開催など様々な手法を検討しながら実施していくことが必要と考えます。

施策 2	取組 1	番号 3	事務事業 **子育て支援事業**

目的	子育て世代包括支援センターにおいて、子育て相談など多様な子育て支援事業を実施します。	担当課	子育て支援課
目標	地域で子育てを支援するファミリーサポートセンター事業によるサポート件数について1,804件を目指します。		

事業実施状況

・すこやかネット事業の実施(登録者数20人、アクセス数42,851件)
・絵本との出会い事業の実施(配布児童数1,158人)
・ファミリーサポートセンター事業の実施(会員数695人、援助活動件数1,195件)
・子育て応援事業所登録事業の実施(登録事業所数296事業所)
・利用者支援事業(基本型)の実施(セルフプラン作成数2件、支援プラン作成数116件)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	11,422		
特定財源	21,423		
一般財源	△10,001		

指標名	ファミリーサポートセンター事業の利用件数	単位	件

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
1,096		1,450		1,627		1,804
		1,195				

評価検証

R2年度のファミリーサポートセンター事業の利用件数は1,195人であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、特に4～5月の利用件数が前年と比べて大きく減少したことが影響していると考えます。利用件数は目標を下回りましたが、積極的な周知により利用会員数は増加しており、子育て世帯への支援の必要性がうかがえることから、今後も感染症対策を徹底しながら事業を継続していくことが必要と考えます。

施策 2	取組 1	番号 4	事務事業 **歯科保健事業**

目的	幼児期の継続的な歯科健診等を通して、口腔の健康管理のための正しい知識の普及を図ります。	担当課	健康推進課
目標	乳幼児の虫歯保有率の低下を目指します。		

事業実施状況

・集団歯科健診の実施
・歯科医院での歯科健診、フッ化物塗布の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	11,540		
特定財源	0		
一般財源	11,540		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

R2年度は、1歳6か月児以後における定期的な歯科健診やフッ化物塗布の促進などにより、3歳から5歳6か月児の虫歯保有率が0.7ポイント減少し、目標達成に向け進捗しています。

施策 2	取組 1	番号 5	事務事業 **食育推進事業（一般家庭）**

目的	料理教室などを通して、食と健康についての意識啓発や乳幼児期の栄養指導を行い、親子の健康の保持増進を図ります。	担当課	健康推進課
目標	食と健康に関する理解を促進する料理教室の参加者数について42人を目指します。		

事業実施状況

・親子料理教室及びパパと子の料理教室の中止
・離乳食教室の開催(参加者延べ94組)
・乳幼児栄養相談の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	825		
特定財源	0		
一般財源	825		

指標名	親子料理教室、パパと子の料理教室の参加者数	単位	人

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
42		42		42		42
		0				

評価検証

R2年度の親子料理教室、パパと子の料理教室の参加者数は0人であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症の拡大により、料理教室の実施を見合わせたことが要因であると考えます。
今後は、感染状況に合わせた手法の検討が必要と考えます。

施策 2	取組 1	番号 6	事務事業 **地域子育て支援センター事業**

目的	地域子育て支援センターにおいて、育児相談や地域と親子の交流の場の提供を行い、地域での子育てを支援します。	担当課	子育て支援課
目標	地域子育て支援センターが実施する子育てに関する講座等への参加組数の増加を目指します。		

事業実施状況

・地域子育て支援センターの運営(施設数6箇所、利用件数20,615件)
・地域子育て支援センター支援事業(参加組数2,189組)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	42,421		
特定財源	39,509		
一般財源	2,912		

指標名	子育て支援センター支援事業参加組数	単位	組

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
3,896		4,458		4,458		4,458
		2,189				

評価検証

R2年度の子育て支援センター支援事業参加組数は2,189組であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルスの感染拡大により、4月から5月にかけて相談対応以外の事業を中止したほか、再開後も感染症対策として講座等の参加組数を制限したことが要因であると考えます。「ママと赤ちゃんの相談会」など、講座等によっては定員を超える申し込みがあったほか、育児に関する様々な相談が多く寄せられるなど、子育て世帯の相談支援ニーズは一定程度あることから、今後も感染症対策を徹底しながら、事業を継続していくことが必要と考えます。

施策	2	取組	1	番号	7	事務事業	**子ども発達支援事業**

目的	発達相談や早期療育の機会の提供により、発達の遅れや障害のある児童と家庭への支援を行います。	担当課	子育て支援課
目標	子どもの発達に関する相談体制を維持します。		

事業実施状況

・発達支援センターの運営(延相談人数117人)
・こども発達相談室の運営(発達相談　相談件数521件、2・3・4歳児相談 相談件数201件)
・ことばの教室の運営(延相談人数192人)
・肢体不自由児機能訓練事業の実施(参加組数 親子197組)
・こども地域生活支援会議の開催(開催回数 10回)
・難聴児の補聴器購入への支援
(助成件数 2件)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	16,598		
特定財源	630		
一般財源	15,968		

指標名	発達に心配のある子や障害児に関する相談件数	単位	件

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
484		484		484		484
		521				

評価検証

R2年度におけるこども発達相談室の相談件数は521件となりました。
こどもの発達に関する相談体制を維持し、広報やホームページでも周知したことにより、発達に心配のある子や障害児への相談に応じることができたものと考えます。

施策	2	取組	1	番号	8	事務事業	**母子保健サービス提供事業**

目的	妊娠・出産・育児に関する相談や支援を進め、精神的・経済的不安の軽減を図ります。	担当課	健康推進課
目標	子育てに関する相談体制を維持します。		

事業実施状況

・母性相談の実施(相談件数延2,123件)
・訪問指導の実施(訪問件数延2,327件)
・特定不妊治療費の支援(延167件)
・不育症治療費の支援(0件)
・妊娠中、産後早期の妊産婦への支援
(産後ケア事業延23件、産前産後サポート事業281件)
・利用者支援事業(母子保健型)の実施(1179件)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	19,864		
特定財源	10,519		
一般財源	9,345		

指標名	妊娠、出産及び育児に関する相談件数	単位	件

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
1,883		1,883		1,883		1,883
		2,123				

評価検証

R2年度における母性相談室での相談件数は2,123件となりました。
子育てに関する相談体制を維持し、各事業での相談窓口の周知により、妊娠、出産及び育児不安への相談に応じることができたものと考えます。

施策	2	取組	1	番号	9	事務事業	**妊婦・乳幼児健康診査等事業**

目的	妊婦・乳幼児の健康診査等を通し、異常の早期発見や出産・育児に関する情報の提供・助言などを行い、母子の健康の保持増進を図ります。	担当課	健康推進課
目標	乳幼児健康診査の受診体制を維持します。		

事業実施状況

・妊婦健康診査の実施(受診者延13,801人)
・乳幼児健康診査の実施(受診者延4,257人)
・両親教室の開催(参加者延166組)
・育児教室の開催(参加者延235組)
・すこやか親子教室の開催(参加者延762組)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	117,837		
特定財源	0		
一般財源	117,837		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

R2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、乳幼児健康診査を一時中止したことなどから受診月に遅れが生じていましたが、受診時間の分散や定員の調整などの工夫をしたほか、個別に相談支援などを行いながら母子の健康状態の把握に努めており、目標達成に向け進捗しています。

施策	2	取組	1	番号	10	事務事業	**児童虐待予防・防止対策推進事業**

目的	虐待や育児に関する相談活動を行うとともに、関係機関との連携を進め、児童虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。	担当課	子育て支援課
目標	児童虐待等に関する相談体制を維持します。		

事業実施状況

・家庭児童相談室の運営(相談件数 791件)
・帯広市要保護児童対策地域協議会の開催
(代表者会議 1回、個別ケース検討会議 74回)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	5,659		
特定財源	4,536		
一般財源	1,123		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

R2年度は、要保護児童対策地域協議会の「個別ケース検討会議」において決定した支援方針に基づき、関係機関と連携して児童虐待の未然防止や早期発見、早期対応につなげており、適切な相談支援ができたものと考えます。

施策	2	取組	1	番号	11	事務事業	**児童手当支給事業**

目的	児童手当の支給により、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。	担当課	こども課
目標	-		

事業実施状況

・児童手当の支給(204,823件)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	2,231,247		
特定財源	1,885,752		
一般財源	345,495		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

-

施策	2	取組	1	番号	12	事務事業	**児童扶養手当支給事業**

目的	児童扶養手当の支給により、父子・母子家庭等の経済的負担の軽減を図ります。	担当課	こども課
目標	-		

事業実施状況

・児童扶養手当の支給(2,103人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	959,518		
特定財源	321,629		
一般財源	637,889		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

-

施策 2	取組 1	番号 13	事務事業 **乳幼児等医療費給付事業**

目的	乳幼児等医療費の給付により、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。	担当課	こども課
目標	–		

事業実施状況

・乳幼児等医療費の給付(108,524件)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	232,460		
特定財源	84,333		
一般財源	148,127		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 2	取組 1	番号 14	事務事業 **ひとり親家庭等医療費給付事業**

目的	ひとり親家庭等への医療費の給付により、経済的負担の軽減を図ります。	担当課	こども課
目標	–		

事業実施状況

・ひとり親家庭等医療費の給付(49,336件)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	124,980		
特定財源	30,294		
一般財源	94,686		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 2	取組 1	番号 15	事務事業 **未熟児養育医療給付事業**

目的	入院を必要とする未熟児に対して、養育に必要な医療の給付を行い、乳児の健康の保持および健やかな育成を図ります。	担当課	こども課
目標	–		

事業実施状況

・未熟児養育医療の給付(57人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	37,206		
特定財源	16,961		
一般財源	20,245		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 2	取組 1	番号 16	事務事業 **助産施設入所費援助事業**

目的	経済的理由により、入院助産を受けられない妊産婦への分娩費用を援助し、経済的負担の軽減を図ります。	担当課	こども課
目標	–		

事業実施状況

・助産施設入所費の援助(19人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	8,842		
特定財源	7,355		
一般財源	1,487		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 2	取組 1	番号 17	事務事業 **母子家庭等日常生活支援事業**

目的	一時的な生活援助や保育サービスを必要とするひとり親家庭等に家庭生活支援員を派遣し、日常生活を支援します。	担当課	こども課
目標	–		

事業実施状況

・家庭生活支援員による家事、育児の支援(2件)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	178		
特定財源	128		
一般財源	50		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 2	取組 1	番号 18	事務事業 **子育て短期支援事業**

目的	家庭における養育が一時的に困難となった児童を、児童養護施設において受け入れます。	担当課	子育て支援課
目標	–		

事業実施状況

・児童養護施設における一時的養育の実施(延利用児童数10人、延利用日数24日)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	653		
特定財源	709		
一般財源	△56		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 2	取組 1	番号 19	事務事業 **介護給付・地域生活支援事業**

目的	心身障害児へデイサービスの提供などにより、心身機能の維持向上や家庭の負担軽減を図ります。	担当課	子育て支援課
目標	–		

事業実施状況

・自立支援給付の実施(受給児童数56人)
・地域生活支援事業の提供(受給児童数362人)
・障害児通所給付の実施(受給児童数1,191人)
・相談支援給付の実施(受給児童数482人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,076,118		
特定財源	597,402		
一般財源	478,716		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策 2	取組 1	番号 20	事務事業 **特別児童扶養手当事業**

目的	20歳未満の身体又は精神に障害のある児童を養育する父母又は養育者に対する特別児童扶養手当の支給に関する事務を行います。	担当課	子育て支援課
目標	–		

事業実施状況

・特別児童扶養手当の支給事務(受給資格者数506人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	105		
特定財源	942		
一般財源	△837		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策 2	取組 2	番号 1	事務事業 **保育士等資質向上事業**

目的	研修会の開催などにより、保育士等の資質向上を図ります。	担当課	こども課
目標	保育士研修会や保育士向けゼミ講習会、保育実践交流会の参加者数について1,338人を目指します。		

事業実施状況

・保育士等研修会の開催(4回141人)
・私立保育所で構成する研修団体(子どもランド・おびひろ)への支援
・保育士の研修会参加に係る支援

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	344		
特定財源	0		
一般財源	344		

指標名	保育士等の資質向上にむけた研修会の参加者数	単位	人
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値
1,227	1,338 / 141	1,338	1,338

評価検証: R2年度の保育士等の資質向上にむけた研修会の参加者数は141人であり、目標を達成しませんでした。新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、一部研修会が中止となったこと、実施した研修会で人数制限を設けたことなどが影響しているものと考えます。オンライン開催など様々な手法を検討しながら実施していくことが必要と考えます。

施策 2	取組 2	番号 2	事務事業 **病後児保育事業**

目的	多様な保育ニーズに対応するため、病気の回復期にある児童の受け入れを行います。	担当課	こども課
目標	病気の回復期にある児童の受入体制を維持します。		

事業実施状況

・病後児保育の実施(延利用児童数88人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	6,483		
特定財源	4,285		
一般財源	2,198		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: R2年度は、子育て家庭における多様な保育ニーズに対応し、病気の回復期にある児童を対象とした病後児保育を実施するなど、病後児童に対する適切な保育支援ができたものと考えます。

施策 2	取組 2	番号 3	事務事業 **公立保育所管理運営事業**

目的	公立保育所の管理運営により、安定した保育サービスを提供します。	担当課	こども課
目標	–		

事業実施状況

・公立保育所の管理運営(8所)
・乳児保育(5所)、延長保育(8所)、一時保育(2所)、休日保育(1所)、特別支援保育(8所)の実施
・保育料、副食費の賦課・徴収
・収納率向上対策の推進

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	943,868		
特定財源	638,976		
一般財源	304,892		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策 2	取組 2	番号 4	事務事業 **私立保育所運営事業**

目的	社会福祉法人等に保育業務を委託し、保育需要を踏まえた保育サービスを提供します。	担当課	こども課
目標	–		

事業実施状況

・私立保育所への保育業務委託(21所)
・乳児保育(20所)、延長保育(21所)、一時保育(1所)、特別支援保育(21所)の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	2,515,654		
特定財源	1,818,437		
一般財源	697,217		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策 2	取組 2	番号 5	事務事業 **地域型保育事業運営事業**
目的	小規模保育事業などの地域型保育事業を実施することにより、保育需要を踏まえた保育サービスを提供します。	担当課	こども課
目標	–		
事業実施状況	・地域型保育事業給付の実施（小規模保育事業所4所、事業所内保育所1所）		

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	196,373		
特定財源	126,952		
一般財源	69,421		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証	–

施策 2	取組 2	番号 6	事務事業 **認定こども園等施設給付事業**
目的	施設給付の実施により、認定こども園等が行う教育・保育サービスの提供を支援します。	担当課	こども課
目標	–		
事業実施状況	・認定こども園（10園）や施設型給付を受ける幼稚園（7園）への施設給付の実施		

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,116,743		
特定財源	779,255		
一般財源	337,488		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証	–

施策 2	取組 2	番号 7	事務事業 **児童保育センター管理運営事業**
目的	児童保育センターの管理運営により、就学児童の安心な居場所の確保や健全育成を図ります。	担当課	こども課
目標	–		
事業実施状況	・児童保育センターの管理運営		

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	814,995		
特定財源	465,216		
一般財源	349,779		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証	–

施策 2	取組 2	番号 8	事務事業 **幼稚園教育環境整備支援事業**
目的	幼稚園の特色ある教育等の支援を通して、児童の教育環境の整備を促進します。	担当課	こども課
目標	–		
事業実施状況	・幼稚園の教育環境整備（教員研修、スケートリンク造成、特別支援教育等）への支援（14園）		

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	14,353		
特定財源	0		
一般財源	14,353		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証	–

施策 2	取組 2	番号 9	事務事業 **公立保育所整備事業**
目的	公立保育所の施設整備を実施し、保育環境を整備します。	担当課	こども課
目標	–		
事業実施状況	・公立保育所の施設整備（0件）		

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	0		
特定財源	0		
一般財源	0		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証	–

施策 2	取組 2	番号 10	事務事業 **私立保育所整備事業**
目的	私立保育所の施設整備を支援し、保育環境を整備します。	担当課	こども課
目標	–		
事業実施状況	・私立保育所建設費、施設整備費償還への支援（8施設）		

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	66,704		
特定財源	0		
一般財源	66,704		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証	–

施策 2	取組 2	番号 11	事務事業 **認定こども園整備事業**

目的	私立認定こども園の施設整備を支援し、保育環境を整備します。	担当課	こども課
目標	–		

事業実施状況

・認定こども園建設費への支援

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	0		
特定財源	0		
一般財源	0		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策 2	取組 2	番号 12	事務事業 **児童保育センター整備事業**

目的	児童保育センターの施設整備を実施し、就学児童の保育環境を整備します。	担当課	こども課
目標	–		

事業実施状況

・児童保育センターの施設整備

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	37,012		
特定財源	37,011		
一般財源	1		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策 2	取組 2	番号 13	事務事業 **子育てのための施設等利用給付事業**

目的	認可外保育施設等の利用料の給付により、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。	担当課	こども課
目標	–		

事業実施状況

・認可外保育施設等の利用者負担の支援(認可外保育施設、幼稚園、預かり事業ほか)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	175,249		
特定財源	129,839		
一般財源	45,410		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策 2	取組 3	番号 1	事務事業 **待機児童対策事業**

目的	認可保育所(地域型保育事業含む)に入所できない児童を、認可外保育施設で受け入れることにより、待機児童対策を進めます。	担当課	こども課
目標	認可外保育施設における保育受入体制を確保します。		

事業実施状況

・待機児童対策事業の実施(利用児童数20人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	3,090		
特定財源	0		
一般財源	3,090		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: R2年度は、認可外保育施設において認可保育所に入所できない児童の受入をはじめ、多様な保育ニーズに対応した取り組みを実施し、待機児童に対する適切な受入支援ができたものと考えます。

施策 2	取組 3	番号 2	事務事業 **母子家庭等就業・自立支援事業**

目的	母子・父子自立支援員等による相談や母子家庭等就業・自立支援センター事業による就労支援を行い、ひとり親家庭等の自立を促進します。	担当課	こども課
目標	ひとり親家庭等に対する相談体制や母子家庭等就業・自立支援センターによる就労支援体制を維持します。		

事業実施状況

・母子・父子自立支援員及び就業支援専門員の配置
・母子家庭等就業・自立支援センター事業の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	7,664		
特定財源	1,000		
一般財源	6,664		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: R2年度は、支援員による相談対応や、母子家庭等就業・自立支援センターによる就労支援を実施するなど、ひとり親家庭等の自立に向けた相談支援ができたものと考えます。

施策 2	取組 3	番号 3	事務事業 **母子家庭等自立支援事業**

目的	就職のための教育訓練、職業訓練への支援により、ひとり親家庭の自立を促進します。	担当課	こども課
目標	–		

事業実施状況

・自立支援教育訓練給付金の支給(5件)
・高等職業訓練促進給付金等の支給(9件)
・高等学校卒業程度認定試験合格支援費の支給(0件)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	13,972		
特定財源	10,896		
一般財源	3,076		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策	2	取組	3	番号	再	事務事業	**労働環境整備促進事業<再掲9-4-2>**

目的	労働相談の実施や子どもを生み育てやすい職場環境づくりなど、勤労者が安心して働くことができる環境整備を促進します。	担当課	商業労働課
目標	–		

事業実施状況

・子育て応援事業所促進事業の実施(子育応援事業所促進奨励金交付50人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策	2	取組	3	番号	再	事務事業	**女性活躍推進事業<再掲22-3-1>**

目的	育児・介護休業制度等の周知や意識啓発などにより、男女がともに仕事と家庭生活が両立できる環境づくりを進めます。	担当課	市民活動課
目標	–		

事業実施状況

・各種審議会等への女性の登用促進(33.8%)
・女性活躍に関する講座の開催(2回36人)
・ワーク・ライフ・バランス啓発資料等の作成・配布(2,106事業所)
・帯広市役所版イクボス宣言の試行実施
・男女共同参画専門員の配置

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策	2	取組	4	番号	1	事務事業	**子ども・若者支援地域協議会事業**

目的	円滑な社会生活を送る上で不安や困難を抱える子ども・若者を支援します。	担当課	地域福祉課
目標	不安や困難を抱える子どもや若者等の心の不安や悩み、困り事に関する相談体制を維持します。		

事業実施状況

・子ども・若者支援地域協議会の開催
・ヤングテレホン相談の実施(195件)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	3,209		
特定財源	0		
一般財源	3,209		

指標名	ヤングテレホン相談件数	単位	件

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
103		103		103		103
		195				

評価検証 R2年度におけるヤングテレホン相談件数は195件となりました。
心の不安や悩み・困り ごとに関する相談体制を維持し、相談窓口の周知などにより、不安や困難を抱える子どもや若者への相談に応じることができたものと考えます。

施策	2	取組	4	番号	2	事務事業	**青少年センター事業**

目的	街頭巡回活動などを通じて、青少年非行の防止と社会環境の改善を推進します。	担当課	学校地域連携課
目標	青少年の非行などに対する巡回指導の1回当たりの指導数について0.58人を目指します。		

事業実施状況

・子ども110番の家の設置(1,017箇所)
・街頭巡回指導の実施
・非行防止啓発事業の実施
・出前講座の実施(0回)
・社会環境改善活動の実施
・有害情報防止対策啓発事業
・青少年団体活動への支援

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	10,900		
特定財源	0		
一般財源	10,900		

指標名	巡回指導による声かけ指導数	単位	人

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
0.92		0.73		0.65		0.58
		1.67				

評価検証 R2年度の街頭巡回による指導数は1.67人であり、目標を達成しませんでした。
巡回時の声かけや啓発チラシを通して、自転車のながらスマホ走行などに対する注意喚起を促しているものの、走行中の画面操作や音楽視聴などが増加していることから、今後も、警察署や生徒指導機関と連携しながら、走行ルールの徹底を図っていく必要があると考えます。

施策	2	取組	4	番号	3	事務事業	**青少年健全育成事業**

目的	家庭、地域、学校、関係機関等との連携により、青少年健全育成活動を推進します。	担当課	学校地域連携課
目標	ジュニアリーダー養成事業や、子どもたちの豊かな人間性、社会性を養う体験活動の参加者数を維持します。		

事業実施状況

・帯広市青少年問題協議会の開催(1回)
・帯広市青少年育成者連絡協議会への支援(各種事業中止により、補助金交付なし)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	9,269		
特定財源	0		
一般財源	9,269		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 R2年度は、新型コロナウイルス感染症対策により帯広市青少年育成者連絡協議会の事業が中止となったため、目標達成に向けあまり進捗していません。今後は、事業実施手法の見直しを図りながら、子どもたちの興味関心を引く事業内容への改善などを通し、青少年健全育成を促進していく必要があると考えます。

施策	2	取組	4	番号	再	事務事業	**体験活動機会提供事業（学校地域連携課）<再掲12-1-2>**

目的	体験機会の提供などにより、青少年の社会性を育みます。	担当課	学校地域連携課
目標	–		

事業実施状況

・中学生からのメッセージ事業の実施(発表者12人、来場者107人)
・十勝子ども雪合戦(中止)
・おびひろキッズタウン(中止)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 2	取組 4	番号 再	事務事業 **青少年活動支援事業（学校地域連携課）〈再掲12-1-3〉**

目的	青少年育成団体などと連携し、体験活動や宿泊研修を通して、積極的に地域や学校での活動に取り組む青少年のリーダー養成を進めます。	担当課	学校地域連携課
目標	–		

事業実施状況

・ジュニアリーダーの養成（北海道地域子ども会リーダー研修会への派遣（中止）、ジュニアリーダーの育成支援）

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 2	取組 0	番号 1	事務事業 **おびひろこども未来プラン推進事業**

目的	審議会等の運営を通して、おびひろこども未来プランを推進し、子どもに関する施策を総合的に進めます。	担当課	こども課
目標	–		

事業実施状況

・おびひろこども未来プランの推進
・健康生活支援審議会児童育成部会の開催（3回）
・こども未来基金の管理

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	13,491		
特定財源	13,318		
一般財源	173		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 2	取組 0	番号 2	事務事業 **子育て世帯臨時特別給付事業**

目的	給付金の支給により、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯への生活支援を行います。	担当課	こども課
目標	–		

事業実施状況

・子育て世帯臨時特別給付金（11,830世帯）

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	207,477		
特定財源	209,477		
一般財源	△2,000		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 2	取組 0	番号 3	事務事業 **ひとり親世帯臨時特別給付事業**

目的	給付金の支給により、新型コロナウイルス感染症の影響を受けているひとり親世帯への生活支援を行います。	担当課	こども課
目標	–		

事業実施状況

・ひとり親世帯臨時特別給付金（延5,398世帯）

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	343,305		
特定財源	445,144		
一般財源	△101,839		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 3	取組 1	番号 1	事務事業 **成年後見制度利用支援事業**

目的	本人に代わり契約や財産管理を行う成年後見制度の利用支援により、高齢者等の権利擁護を図ります。	担当課	地域福祉課
目標	成年後見支援センターにおける法人後見支援員の登録者数について81人を目指します。		

事業実施状況

・成年後見制度の利用支援(登録者75人)
・市民後見制度の啓発
・市民後見人養成研修の開催(15人)
・成年後見支援センターの運営

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	21,501		
特定財源	1,791		
一般財源	19,710		

指標名	市民後見人養成人数	単位	人

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値
55	67	75	73		81	

評価検証

R2年度の市民後見支援員の登録者数は75人であり、目標を達成しました。
市民後見制度の啓発が効果的であったと考えます。持続的な権利擁護を図っていくためには、成年後見人制度利用者の増加を見据え、法人後見支援員の育成も必要となっています。

施策 3	取組 1	番号 2	事務事業 **地域福祉推進事業**

目的	市民や関係団体等との連携により、高齢者や障害者等をともに支え合う地域福祉の環境づくりを進めます。	担当課	地域福祉課
目標	地域において高齢者や障がいのある人等を支える環境づくりを進めるため、ボランティア養成講座の参加者数の増加を目指します。		

事業実施状況

・地域交流サロンの活動促進
・戦没者追悼式の実施
・福祉基金の管理
・社会福祉法人の指導監査(4件)
・グリーンプラザの管理運営
・帯広市社会福祉協議会への支援
・ボランティア養成講座(2回41人)
・介護サービス事業所等の指定・監査(指導53件)
・社会福祉施設等への衛生用品の支援(1施設)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	107,181		
特定財源	20,240		
一般財源	86,941		

指標名	-	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

R2年度における社会福祉協議会によるボランティア養成講座の参加者数は、前年度と比べ減少しており、目標達成に向けあまり進捗していません。新型コロナウイルス感染症の拡大により講座の開催回数が減少したことが要因であると考えます。地域福祉の環境づくりを進めるため、今後も感染症対策を徹底し、内容や手法の改善を図りながら事業を継続していくことが必要と考えます。

施策 3	取組 2	番号 1	事務事業 **民生委員・児童委員活動推進事業**

目的	民生委員・児童委員の配置や支援により、地域における相談活動を推進します。	担当課	地域福祉課
目標	民生委員・児童委員による相談・支援体制を維持します。		

事業実施状況

・民生委員・児童委員の配置
・民生委員・児童委員への活動支援 (相談件数10,847件)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	26,759		
特定財源	23,399		
一般財源	3,360		

指標名	民生委員・児童委員の相談・支援件数	単位	件

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値
10,908	10,908	10,847	10,908		10,908	

評価検証

R2年度における民生委員・児童委員の相談件数は10,847件となりました。
目標値はわずかに達成できませんでしたが地域住民の困りごとへの相談に応じることができたものと考えます。引き続き各地区の民生委員・児童委員による相談体制を維持し、地域福祉の環境づくりを進めます。

施策 3	取組 2	番号 2	事務事業 **地域福祉包括支援事業**

目的	地域福祉にかかる関係団体等との連携等により、複合的な課題を抱える人や世帯に対し、包括的な支援を進めます。	担当課	地域福祉課
目標	複合的な課題を抱える人や世帯に対して包括的な支援を行う体制づくりを進めます。		

事業実施状況

・高齢者、障害者福祉等関係機関によるコーディネーター連携会議の開催(課題別検討会議1回)
・きづきネットワーク事業の推進
・包括的な相談、調整の推進

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	0		
特定財源	0		
一般財源	0		

指標名	-	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

R2年度は、包括的な相談体制推進に向け、庁内関係各課が連携し複合的な相談事例の検討や窓口職員等の研修を実施したほか、きづきネットワーク事業により地域の見守り体制の強化が図られ、目標達成に向け進捗しています。

施策 3	取組 2	番号 再	事務事業 **地域包括支援センター運営事業<再掲4-1-1>**

目的	高齢者の健康の保持や生活の安定のために必要な支援を行うなど、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援します。	担当課	地域福祉課
目標	-		

事業実施状況

・総合相談支援の実施(相談件数11,900件)
・権利擁護の支援
・包括的・継続的ケアマネジメントの支援
・介護予防ケアマネジメントの実施
・地域ケア会議の開催(51回355人)
・ひとり暮らし高齢者等の支援
・家族介護者リフレッシュ事業の実施(4回43人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	-		
特定財源	-		
一般財源	-		

指標名	-	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

-

施策 3	取組 2	番号 再	事務事業 **生活困窮者自立促進支援事業<再掲7-3-2>**

目的	生活困窮者の状態に応じた相談支援等を実施し、困窮状態からの早期自立を促進します。	担当課	生活支援第1課・第2課
目標	-		

事業実施状況

・生活困窮者の自立相談支援(新規相談件数816件(実人数))
・生活困窮者の就労準備支援(2件(実人数))
・住居確保給付金の支給(給付世帯数174世帯、給付額27,657,730円)
・生活困窮世帯(被保護世帯含む)の子どもの学習支援(小学生〈参加者8人、延べ144人〉、中学生(高校生含む)〈参加者16人、延べ436人〉)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	-		
特定財源	-		
一般財源	-		

指標名	-	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

-

施策	3	取組	0	番号	1	事務事業	**地域福祉計画推進事業**

目的	健康生活支援審議会の運営を通して、地域福祉計画に基づき、保健・福祉・医療に関する施策を総合的に推進します。	担当課	地域福祉課
目標	–		

事業実施状況

・健康生活支援審議会の開催(3回)
・地域福祉計画の推進

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,547		
特定財源	0		
一般財源	1,547		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策	3	取組	0	番号	2	事務事業	**特別定額給付金給付事業**

目的	給付金の支給により、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている世帯への支援を行います。	担当課	地域福祉課
目標	–		

事業実施状況

・特別定額給付金(165,300人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	16,660,521		
特定財源	16,660,521		
一般財源	0		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策	4	取組	1	番号	1	事務事業	**地域包括支援センター運営事業**

目的	高齢者の健康の保持や生活の安定のために必要な支援を行うなど、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援します。	担当課	地域福祉課
目標	高齢者等の生活に関わる課題等の解決に向けて話し合う地域ケア会議への参加者数について455人を目指します。		

事業実施状況

・総合相談支援の実施(相談件数11,900件)
・権利擁護の支援
・包括的・継続的ケアマネジメントの支援
・介護予防ケアマネジメントの実施
・地域ケア会議の開催(51回355人)
・ひとり暮らし高齢者等の支援
・家族介護者リフレッシュ事業の実施(4回43人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	163,382		
特定財源	131,931		
一般財源	31,451		

指標名	地域ケア会議参加者数	単位	人

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
395		425		440		455
		355				

評価検証 R2年度の地域ケア会議参加者数は355人であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、地域住民の参加が困難であったことや、最小限の人数で実施していたことが要因であると考えます。課題等の解決に向け、ケアマネや医療職など多様な関係機関との連携体制構築をはかるため、感染対策を継続しながら、書面やオンライン開催など感染状況に合わせ実施していきます。

施策	4	取組	1	番号	2	事務事業	**認知症高齢者見守り事業**

目的	認知症に関する理解を促進し、認知症の人やその家族を地域で支える環境づくりを進めます。	担当課	地域福祉課
目標	認知症の人やその家族に対して手助けをする認知症サポーターの養成を図る講座の受講者数について2,114人を目指します。		

事業実施状況

・認知症サポーター養成講座の開催(60回3,134人)
・認知症高齢者等SOSネットワークの運用
・認知症地域支援推進員の配置
・認知症初期集中支援推進事業
・認知症カフェの開催
・認知症ケアパス(認知症ガイドブック)の作成

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	24,292		
特定財源	19,369		
一般財源	4,923		

指標名	認知症サポーター養成講座受講者数	単位	人

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
1,856		2,114		2,114		2,114
		3,134				

評価検証 R2年度の認知症サポーター養成講座受講者数は3,134人であり、目標を達成しました。
おびひろ市民学における取り組みの一つとして市内の小中学校でも講座を開催したことから、児童生徒を中心にサポーターが増えたことが要因であると考えます。今後も認知症の人やその家族を地域で支える環境づくりを進めます。

施策 4	取組 1	番号 3	事務事業 **介護予防日常生活支援総合事業**

目的	社会参加を促す介護予防事業や、訪問型及び通所型サービスなどの多様なサービスを提供し、介護予防及び重症化の防止を図ります。	担当課	地域福祉課
目標	高齢者等の住み慣れた地域での生活を支援するボランティア団体等の数について8団体を目指します。		

事業実施状況

・介護予防生活支援サービスの提供
・一般介護予防事業
(介護予防普及啓発事業、介護予防活動継続支援事業、地域リハビリテーション活動支援事業ほか)
・生活支援コーディネーターの配置(9人)
・生活支援サービスに関わる協議体の設置

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	559,552		
特定財源	483,845		
一般財源	75,707		

指標名	地域住民主体の生活支援を行う団体等の数	単位	団体

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値
1	4	1	6		8	

評価検証

R2年度の地域住民主体の生活支援を行う団体等の数は1団体であり、目標を達成しませんでした。
団体の創設に向けて協議を進めているものの、新たな団体の創出には至りませんでした。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、コーディネーターや住民の方々の活動に制約があったことが要因であると考えます。活動と感染症対策との両立を図るとともに、各団体の課題に応じたコーディネートに取り組み、引き続き団体の結成を支援していきます。

施策 4	取組 1	番号 4	事務事業 **高齢者在宅生活支援事業**

目的	高齢者やその家族の相談に応じ、必要なサービスを提供するなど在宅高齢者の生活を支援します。	担当課	介護高齢福祉課
目標	在宅高齢者の生活を支援するため、民間サービスも含めた様々なサービスを活用できる体制づくりを進めます。		

事業実施状況

・高齢者等の相談支援(相談件数1,231件)
・ひとり暮らし高齢者登録による生活支援の実施(登録者2,060人)
・ねたきり・認知症高齢者登録による生活支援の実施(登録者126人)
・理美容・クリーニング等サービスの実施(延利用件数　理美容275件、ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ110件)
・家族介護用品の支給(延利用件数　932件)
・緊急通報システム事業の実施(設置台数590台)
・宅配事業者等による訪問活動の実施(延利用件数58,544件)
・配食サービスの実施(配食数78,930食)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	73,775		
特定財源	32,166		
一般財源	41,609		

指標名	-	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

R2年度は、在宅高齢者の生活を支えるため、引き続き公的サービスの周知等により利用促進を図りました。また、高齢者の増加に伴い、民間事業者における同様のサービスも充実してきている状況を踏まえ、新たな民間サービスの活用に向けた情報収集や、配食サービスの民間移行に向けた検討を行っており、目標達成に向け進捗しています。

施策 4	取組 1	番号 5	事務事業 **高齢者虐待防止事業**

目的	地域包括支援センターや関係機関との連携により、高齢者虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。	担当課	介護高齢福祉課
目標	高齢者等に対する虐待防止への理解を促進する研修会の参加者数の増加を目指します。		

事業実施状況

・高齢者虐待防止ネットワーク会議の開催(書面開催)
・高齢者虐待防止研修会の開催中止
・被虐待高齢者の保護、支援(通報件数60件、認定件数11件)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	46		
特定財源	37		
一般財源	9		

指標名	-	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

R2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、高齢者虐待防止研修会の開催中止や、高齢者虐待防止ネットワーク会議が書面開催となり、高齢者等に対する虐待防止への理解醸成をはかることができず、目標達成に向けあまり進捗していません。今後は研修会だけではなく、ＨＰや広報等も活用した周知をはかりながら高齢者の虐待防止を促進していく必要があります。

施策 4	取組 1	番号 6	事務事業 **在宅医療・介護連携推進事業**

目的	在宅医療と介護の連携を推進し、高齢者が住み慣れた地域で暮らすための支援体制づくりを進めます。	担当課	地域福祉課
目標	医療と介護の関係者が連携できる体制づくりを進めます。		

事業実施状況

・在宅医療・介護ネットワーク会議の開催(1回)
・医療と介護の連携体制構築
・在宅医療に関する地域住民への普及啓発

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	3,125		
特定財源	2,524		
一般財源	601		

指標名	-	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

R2年度は、在宅医療・介護ネットワーク会議の開催や、平時から連携体制構築に向けた協議などを行いました。市内医療機関及びケアマネジャー向けの調査結果においても、ケアマネジャーの医療機関に対する意識が改善されたほか、相談窓口や対応時間を明示する医療機関が増加するなど、医療と介護の関係者間の連携が進んでおり、目標達成に向け進捗しています。

施策 4	取組 1	番号 7	事務事業 **生活支援ハウス運営事業**

目的	生活支援ハウスの運営支援を通して、介護支援、居住、交流などの機能を総合的に提供し、高齢者の自立した生活を支援します。	担当課	介護高齢福祉課
目標	-		

事業実施状況

・生活支援ハウスへの運営支援(月平均入居者29人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	42,402		
特定財源	7,658		
一般財源	34,744		

指標名	-	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

-

施策	4	取組	1	番号	8	事務事業	**地域介護・福祉空間整備事業**

目的	地域密着型の小規模介護施設の整備などを支援し、日常生活圏域内で高齢者が安心して生活できる環境整備を進めます。	担当課	介護高齢福祉課
目標	–		

事業実施状況

・認知症高齢者グループホーム、小規模特別養護老人ホーム、看護小規模多機能型居宅介護事業所の整備への支援(18施設整備)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	128,876		
特定財源	128,876		
一般財源	0		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策	4	取組	1	番号	9	事務事業	**老人福祉施設等整備補助事業**

目的	民間事業者との連携により、各種老人福祉施設の整備を促進し、在宅生活が困難な高齢者を支援します。	担当課	介護高齢福祉課
目標	–		

事業実施状況

・特別養護老人ホーム建設費償還への支援(6施設)
・生活支援ハウス建設費償還への支援(1施設)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	52,041		
特定財源	0		
一般財源	52,041		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策	4	取組	1	番号	10	事務事業	**老人保護措置事業**

目的	養護老人ホームへの入所措置により、在宅での生活が困難な高齢者の生活の安定を図ります。	担当課	介護高齢福祉課
目標	–		

事業実施状況

・養護老人ホームへの入所措置(月平均入居者172名)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	326,929		
特定財源	84,704		
一般財源	242,225		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策	4	取組	2	番号	1	事務事業	**高齢者おでかけサポートバス事業**

目的	バスの無料乗車証の交付により、高齢者の外出・移動を支援し、社会参加の促進や健康の維持増進などを図ります。	担当課	介護高齢福祉課
目標	高齢者の社会参加を促進するバス無料乗車証の交付率について67.6%を目指します。		

事業実施状況

・高齢者バス無料乗車証の交付(交付人数23,759人)
・高齢者の社会参加などを促進する「いきいき元気事業」の実施(「まちなか」利用者数7,596人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	170,098		
特定財源	803		
一般財源	169,295		

指標名	バス無料乗車証の交付率	単位	%

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
63.2		65.4		66.5		67.6
		63.5				

評価検証 R2年度のバス無料乗車証の交付率は63.5%であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症の拡大で、バスの運休や高齢者自身も外出を自粛するなど、バスを利用する機会が減り、例年より無料乗車証を求める人が少なかったものと考えます。今後も事業の啓発を行い、利用促進に努めます。

施策	4	取組	2	番号	2	事務事業	**老人クラブ等活動支援事業**

目的	老人クラブへの支援などにより、高齢者の知識・経験を活かした社会活動や生きがいづくりを促進します。	担当課	市民活動課
目標	高齢者の生きがい創出などにつながる老人クラブの活動の継続を目指します。		

事業実施状況

・老人クラブ等への支援(117団体5,266人)
・市公用バスの貸出(17件272人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	29,421		
特定財源	5,355		
一般財源	24,066		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 趣味の活動や交流の場の多様化、高齢者就業の増加などを背景に、老人クラブの団体数や会員数は減少傾向にあり、役員の負担感や活動の継続性など、様々な面で課題が生じています。こうした状況を踏まえ、R2年度は今後の老人クラブ活動への支援のあり方などについて、関係団体と検討委員会の設置に向けた協議を行いました。また、新型コロナウイルス感染症により、様々な老人クラブ活動の自粛や中止が相次ぎましたが、それぞれの活動の実情に合わせた対応方法の周知をはかるなど、目標達成に向けて進捗しています。

施策	4	取組	2	番号	3	事務事業	**敬老祝金支給事業**

目的	敬老祝金の贈呈を通して、高齢者の生きがいづくりや市民の敬老意識の向上につなげます。	担当課	介護高齢福祉課
目標	–		

事業実施状況

・敬老祝金の贈呈(88歳927人、100歳66人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	28,678		
特定財源	0		
一般財源	28,678		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策	4	取組	2	番号	再	事務事業	**雇用拡大・機会確保促進事業<再掲9-4-1>**

目的	高齢者、移住者、女性等を含む多様な人材と企業のマッチング事業等の実施により、求職者の状況に応じた多様な就業機会の確保を図ります。	担当課	商業労働課
目標	–		

事業実施状況

・高齢者の就業機会の拡大(37人)
・シルバー人材センターへの運営支援(会員数528人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策	4	取組	2	番号	再	事務事業	**学習機会提供事業（生涯学習文化課）<再掲13-1-1>**

目的	学習情報のほか、生涯にわたって学ぶ様々な機会を提供します。	担当課	生涯学習文化課
目標	–		

事業実施状況

・市民大学講座の実施(20講座612人)
・高齢者学級の中止
・プラザエンジョイスクールの実施(前期中止、後期481人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策	4	取組	0	番号	1	事務事業	**高齢者保健福祉計画推進事業**

目的	高齢者保健福祉計画を推進し、高齢者福祉に関する施策を総合的に進めます。	担当課	介護高齢福祉課
目標	–		

事業実施状況

・高齢者保健福祉計画の推進
・健康生活支援審議会高齢者支援部会の開催(高齢者支援部会3回、高齢者支援部会・健康づくり支援部会合同部会3回)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	0		
特定財源	0		
一般財源	0		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策	5	取組	1	番号	1	事務事業	**障害者理解促進事業**

目的	障害者団体、ノーマライゼーションに関する地域住民活動への支援や地域住民の交流を通して、障害や障害のある人に対する理解を促進します。	担当課	障害福祉課
目標	地域住民との交流を通じ、障害や障害のある人に対する理解を促進する市民活動プラザ六中の利用者数の増加を目指します。		

事業実施状況

・福祉のひろばへの支援
・帯広心身障害者(児)育成会への支援
・ノーマライゼーション推進活動への支援
・障害者週間記念事業の実施
・手話言語条例の施行に伴う周知・啓発等の実施
・市民活動プラザ六中での地域支え合い体制づくり事業の実施(利用者数　42,060人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	47,082		
特定財源	32,100		
一般財源	14,982		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 R2年度は、NPO法人と連携・協力し、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら高齢者・障害者を含む市民が参加可能な講演等を実施したことに加え、障害者雇用促進法や障害者差別解消法の施行により意識向上が進み、市民や事業所等の市民活動プラザ六中の利用者は、前年と比べ増加しており、目標達成に向け進捗しています。

施策	5	取組	1	番号	2	事務事業	**障害者虐待防止事業**

目的	虐待に関する相談活動を行うとともに、関係機関との連携により、障害者虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。	担当課	障害福祉課
目標	関係機関と障害者虐待事例等の共有や虐待に関する相談体制を維持します。		

事業実施状況

・障害者虐待防止センターの運営(通報件数29件)
・虐待に関する啓発活動の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	16		
特定財源	22		
一般財源	△6		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 R2年度は、関係機関と連携した障害者虐待に関する情報共有や、虐待の相談に24時間体制で対応するなど、適切な相談支援ができたものと考えます。

施策	5	取組	2	番号	1	事務事業	**地域生活支援拠点等整備推進事業**

目的	地域での相談体制の充実などにより、障害のある人の日常生活を支援します。	担当課	障害福祉課
目標	障害のある人の自立した生活に向けた相談体制を維持します。		

事業実施状況

・各種相談員の配置(相談員12人)
・指定相談支援事業所の運営(5か所)
・基幹相談支援センターの運営(1か所)
・帯広市地域自立支援協議会の開催(地域生活支援会議11回の他、各会議、専門部会を実施)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	39,354		
特定財源	239,803		
一般財源	△200,449		

指標名	一般相談支援事業所における相談件数	単位	件

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
4,181		4,610		4,841		5,083
		5,248				

評価検証 R2年度の一般相談支援事業所における相談件数は5,248件となりました。
指定相談支援事業での相談体制を維持し、障害のある人の自立した生活に向けた相談に応じることができたものと考えます。

施策 5	取組 2	番号 2	事務事業 **障害者コミュニケーション支援事業**

目的	手話・要約筆記通訳者や支援者などの派遣により、障害のある人の自立や日常生活を支援します。	担当課	障害福祉課、介護高齢福祉課
目標	聴覚障害者の社会参加を後押しする手話通訳者の派遣件数について547件を目指します。		

事業実施状況

・聴覚障害者等への手話・要約筆記通訳者などの派遣（手話　558件、要約筆記18件）
・入院中の筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者への支援者の派遣（0件）
・手話・要約筆記奉仕員養成講座等の実施（受講者数　手話14名、要約筆記講座開催中止）

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	8,266		
特定財源	261		
一般財源	8,005		

指標名	手話通訳者派遣件数	単位	件

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値
467	547	558	547		547	

評価検証

R2年度の手話通訳者派遣件数は558件であり、目標を達成しました。
新型コロナウイルス感染症の拡大により、講演等の派遣は減少しましたが、おびひろ市民学での講座等、手話の普及啓発のための派遣が増加したことが要因であると考えます。

施策 5	取組 2	番号 3	事務事業 **障害者日常生活支援事業**

目的	クリーニング・理美容サービスの各種在宅サービスの提供や日常生活用具の給付などにより、日常生活の支援や経済的負担の軽減を図ります。	担当課	障害福祉課
目標	障害のある人の日常生活を支援する各種サービスの利用率の向上を目指します。		

事業実施状況

・日常生活用具の給付・貸付（支給決定件数979件）
・理美容・クリーニング等サービスの実施（理美容・クリーニング対象者95人、緊急通報システム対象者30人）

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	57,741		
特定財源	1,515		
一般財源	56,226		

指標名	－	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

R2年度は、障害のある人の日常生活を支援するため、様々な公的サービスを提供してきていますが、特に理美容・クリーニング等サービスの利用率が低水準で推移しており、目標達成に向けあまり進捗していません。今後も、必要な人に支援が行き届くよう、福祉ガイドへの掲載や窓口への案内等を通じて、制度に効果的な周知をはかっていく必要があると考えます。

施策 5	取組 2	番号 4	事務事業 **障害者施設整備補助事業**

目的	民間事業者との連携により、各種障害者施設の整備を促進し、障害者が安心して生活できる環境整備を進めます。	担当課	障害福祉課
目標	－		

事業実施状況

・障害者施設建設費償還への支援（2施設）

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	6,405		
特定財源	0		
一般財源	6,405		

指標名	－	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

－

施策 5	取組 2	番号 5	事務事業 **障害者自立支援給付事業**

目的	介護給付費や障害者自立支援訓練等給付費の支給などにより、障害のある人の日常生活や自立した生活を支援します。	担当課	障害福祉課
目標	－		

事業実施状況

・障害者介護給付費の支給
・自立支援訓練等給付費の支給

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	4,519,198		
特定財源	3,425,231		
一般財源	1,093,967		

指標名	－	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

－

施策 5	取組 2	番号 6	事務事業 **障害者医療給付事業**

目的	障害者医療給付費の支給により、障害の除去・軽減を支援するとともに、経済的負担の軽減を図ります。	担当課	障害福祉課
目標	－		

事業実施状況

・障害者医療給付費の支給（自立支援医療（更生医療）給付件数586件）

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	683,382		
特定財源	458,374		
一般財源	225,008		

指標名	－	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

－

施策 5	取組 2	番号 7	事務事業 **障害者補装具給付事業**

目的	障害者補装具給付費の支給により、身体機能の補完を支援するとともに、経済的負担の軽減を図ります。	担当課	障害福祉課
目標	－		

事業実施状況

・障害者補装具給付費の支給（493件）

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	49,699		
特定財源	52,163		
一般財源	△2,464		

指標名	－	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

－

施策 5	取組 2	番号 8	事務事業 **特別障害者手当等支給事業**

目的	特別な介護を必要とする最重度の障害者に手当を支給し、経済的負担の軽減を図ります。	担当課	障害福祉課
目標	–		

事業実施状況

・特別障害者手当等の支給(特別障害者手当91件、障害児福祉手当89件、福祉手当5件)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	46,455		
特定財源	34,712		
一般財源	11,743		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 5	取組 2	番号 9	事務事業 **障害者福祉サービス管理運営事業**

目的	障害者自立支援審査会の開催などにより、障害支援区分の判定を行い、公平・公正な障害者施策の推進を図ります。	担当課	障害福祉課
目標	–		

事業実施状況

・障害認定調査の実施
・障害者自立支援審査会の開催

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	23,626		
特定財源	0		
一般財源	23,626		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 5	取組 2	番号 10	事務事業 **地域生活支援給付事業**

目的	日中一時支援などの提供により、障害のある人の地域における自立した生活を支援します。	担当課	障害福祉課
目標	–		

事業実施状況

・地域生活支援事業(移動支援、日中一時支援、訪問入浴)の提供

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	99,066		
特定財源	3,650		
一般財源	95,416		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 5	取組 3	番号 1	事務事業 **障害者就労促進事業**

目的	障害のある人の一般就労や、就労後の職場定着の支援などにより、障害のある人の自立や就労を促進します。	担当課	障害福祉課
目標	企業に一般就労している障害者数について930人を目指します。		

事業実施状況

・障害者施設からの物品優先調達
・障害者就労・生活支援事業
・障害者の職場体験実習の実施
・障害者の就労環境づくり
・農福連携の推進等による障害者の就労機会の拡大

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	2,614		
特定財源	0		
一般財源	2,614		

指標名	企業に一般就労している障害者数	単位	人

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値
726		821		874		930
		843				

評価検証 R2年度の企業に一般就労している障害者数は843人であり、目標を達成しました。
就労継続支援事業の利用者の増加や障害者雇用に関する啓発等により企業における理解が進んだことが要因であると考えます。

施策 5	取組 3	番号 2	事務事業 **障害者社会参加促進事業**

目的	地域活動支援センターの運営や障害のある人の各種活動への支援などにより、障害のある人の自立や社会参加を促進します。	担当課	障害福祉課
目標	障害のある人の社会参加等を促進する障害者生活支援センターの利用率向上を目指します。		

事業実施状況

・視覚障害者リハビリテーション事業(61件)、音声障害者発声研修事業(19回)聴覚障害者スマホ教室の開催(参加者20人)などの社会活動、余暇活動への支援
・地域活動支援センターへの運営支援(8か所)
・障害者生活支援センターの運営(事業利用者延べ2,205人)
・重度障害者等タクシー料金、通所施設等交通費の助成(重度障害者等タクシー利用者数2,195人)
・医療的ケア事業の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	125,724		
特定財源	6,129		
一般財源	119,595		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証 R2年度は、障害者生活支援センターにおいて、創作的活動など社会参加を促進するための事業を実施しましたが、新規利用者は少なく、目標達成に向けあまり進捗していません。新型コロナウイルス感染症対策のために定員を縮小するなど、現利用者への安全なサービス提供を重視したことが要因であると考えます。今後は定員を縮小した中でも多くの人が利用できるよう事業内容を検討する必要があります。

施策 5	取組 0	番号 1	事務事業 **障害者計画推進事業**

目的	障害者計画を推進し、障害者福祉に関する施策を総合的に進めます。	担当課	障害福祉課
目標	–		

事業実施状況

・障害者計画の推進
・健康生活支援審議会障害者支援部会の開催(障害者支援部会3回、障害者支援部会・児童育成部会合同部会3回開催)
・次期障害福祉計画の策定

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,636		
特定財源	0		
一般財源	1,636		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 6	取組 1	番号 1	事務事業 **看護師等人材確保事業**

目的	看護師等の養成機関への支援等により、医療に従事する人材の確保を図ります。	担当課	健康推進課
目標	看護師等の管内定着率について65.1%を目指します。		

事業実施状況

・看護師等養成機関等への運営支援
・帯広高等看護学院の運営支援
・就学継続困難になった看護学生への給付金支給

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	81,509		
特定財源	1,100		
一般財源	80,409		

指標名	看護師等の管内定着率	単位	%

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値
62.5	65.1	65.1	65.1		65.1	

評価検証

R2年度の看護師等の管内定着率は65.1%であり、目標を達成しました。
卒業予定者に対する管内公立病院等の情報提供が効果的であったと考えます。

施策 6	取組 2	番号 1	事務事業 **救急医療対策事業**

目的	医療機関や関係機関との連携により、救急医療体制を維持し、夜間、休日等でも安心して医療を受けられる環境づくりを進めます。	担当課	健康推進課
目標	夜間・休日でも受診可能な医療体制を維持します。		

事業実施状況

・休日夜間急病センターの運営
・二次救急医療体制の維持
・在宅当番医制の維持
・休日歯科診療体制の維持
・帯広市急病テレホンセンターによる救急医療情報の提供
・公共施設へのAEDの設置
・道東ドクターヘリ運航調整委員会との連携

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	241,782		
特定財源	92,156		
一般財源	149,626		

指標名	-	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

R2年度は、各市町村において、適切な救急医療の利用について周知されたことにより、救命救急センターにおける、一次救急医療患者の割合は減少するなど、目標達成に向け進捗しています。

施策 6	取組 2	番号 2	事務事業 **地域医療体制整備支援事業**

目的	医療機関や関係機関と連携し、地域医療体制を整備します。	担当課	健康推進課
目標	救命救急センター、小児救急医療、周産期医療、小児医療などの体制を維持します。		

事業実施状況

・健康生活支援審議会地域医療推進部会の開催
・地域医療の確保に関する要望活動
・帯広厚生病院への運営支援
・心身障害者歯科治療事業の支援
・訪問看護ステーションへの運営支援
・医療機関感染症対策の衛生管理用品の備蓄、環境整備等の取り組みを支援

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	267,210		
特定財源	63,501		
一般財源	203,709		

指標名	-	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

R2年度は、医療機関や関係機関との連携により、地域医療体制の確保や、救命救急センター、小児救急医療、周産期医療、小児医療などの体制を維持できたものと考えます。

施策 7	取組 1	番号 1	事務事業 **国民健康保険制度運営事業**

目的	北海道の運営方針を踏まえ、事務の標準化・広域化をすすめるとともに、医療費の適正化などにより、国民健康保険の安定的な運営を図ります。	担当課	国保課
目標	-		

事業実施状況

・国民健康保険運営協議会の運営
・国民健康保険事業費納付金の支出
・国民健康保険料の独自減免
・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う国民健康保険料の減免
・レセプト点検の実施
・医療費通知の実施
・ジェネリック医薬品の使用促進
・重複・多受診者への指導
・健康教室及び個別家庭訪問の実施
・保険者努力支援制度への対応
・市町村事務処理標準システム(北海道クラウド)の導入

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	4,929,728		
特定財源	3,689,340		
一般財源	1,240,388		

指標名	-	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

-

施策 7	取組 1	番号 2	事務事業 **国民健康保険料賦課・徴収事業**

目的	保険料の適正な賦課・徴収や収納率向上対策などにより、国民健康保険の健全な運営を図ります。	担当課	国保課
目標	-		

事業実施状況

・保険料の賦課、徴収事務
・収納率向上対策の推進
・保険料の納付相談の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	93,570		
特定財源	30,539		
一般財源	63,031		

指標名	-	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

-

施策 7	取組 1	番号 3	事務事業 **療養給付費等支給事業**

目的	被保険者の医療費に関する保険者負担分、出産育児一時金及び葬祭費の支給を行います。	担当課	国保課
目標	-		

事業実施状況

・療養給付費の支給
・療養費の支給
・高額療養費の支給
・出産育児一時金の支給
・葬祭費の支給
・傷病手当金の支給

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	10,421,265		
特定財源	10,418,040		
一般財源	3,225		

指標名	-	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

-

施策 7	取組 1	番号 4	事務事業 **検診事業**

目的	被保険者を対象とした各種検診を実施し、疾病の早期発見・早期治療により、健康維持や疾病の重症化予防を図ります。	担当課	国保課
目標	–		

事業実施状況

・各種がん検診等の実施(受診者数8,380人)
・人間ドックの実施(受診者数440人)
・脳ドックの実施(受診者数647人)
・歯科ドックの実施(受診者数419人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	31,082		
特定財源	31,082		
一般財源	0		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 7	取組 1	番号 5	事務事業 **特定健康診査及び特定保健指導事業**

目的	被保険者を対象とした健康診査・保健指導を実施し、健康の維持・増進により、生活習慣病の予防を図ります。	担当課	国保課、健康推進課
目標	–		

事業実施状況

・特定健康診査の実施(受診者数7,836人)
・特定保健指導の実施(終了者数180人)
・特定健康診査未受診者、特定保健指導未利用者対策事業の実施
・国保データベースを活用した特定保健指導の推進

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	89,865		
特定財源	60,506		
一般財源	29,359		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 7	取組 1	番号 6	事務事業 **後期高齢者医療制度運営事業**

目的	後期高齢者医療制度に関する事務を適切に執行し、制度の安定的な運営を図ります。	担当課	国保課
目標	–		

事業実施状況

・後期高齢者医療制度の運営に関する市町村事務

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	6,860		
特定財源	680		
一般財源	6,180		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 7	取組 1	番号 7	事務事業 **後期高齢者医療保険料徴収事業**

目的	後期高齢者医療保険料の徴収や制度周知などを進め、制度の安定的な運営を図ります。	担当課	国保課
目標	–		

事業実施状況

・後期高齢者医療保険料の徴収
・後期高齢者医療制度の周知

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	27,591		
特定財源	1,978		
一般財源	25,613		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 7	取組 1	番号 8	事務事業 **後期高齢者医療広域連合市町村負担金納付事業**

目的	後期高齢者医療制度の運営主体である北海道後期高齢者医療広域連合の運営に必要な経費を負担します。	担当課	国保課
目標	–		

事業実施状況

・市町村負担金(事務費、療養給付費、保険料等)の納付

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	4,216,108		
特定財源	1,897,040		
一般財源	2,319,068		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 7	取組 1	番号 9	事務事業 **後期高齢者健康診査事業**

目的	被保険者を対象とした各種健診を実施し、疾病の早期発見・早期治療により、健康維持や疾病の重症化予防を図ります。	担当課	国保課
目標	–		

事業実施状況

・健康診査の実施(受診者数4,313人)
・人間ドックの実施(受診者数48人)
・脳ドックの実施(受診者数103人)
・歯科ドックの実施(受診者数345人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	40,988		
特定財源	37,304		
一般財源	3,684		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 7	取組 2	番号 1	事務事業 **介護給付等費用適正化事業**

目的	要介護認定や介護報酬請求の適正化などを進め、介護保険制度の安定的な運営を図ります。	担当課	介護高齢福祉課
目標	介護保険サービスの適切な利用につなげるため、ケアプランの点検件数について94件を目指します。		

事業実施状況

・給付費の適正化(ケアプラン点検件数35件)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	7,554		
特定財源	6,100		
一般財源	1,454		

指標名	ケアプランの点検件数	単位	件

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値
75	87	35	91		94	

評価検証

R2年度のケアプランの点検件数は35件であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症の拡大により、７月開催分のケアプラン点検作業を中止したほか、ケアプランの点検作業開始以降も、他者との接触を避ける観点から、ケアプラン点検を欠席し、点検結果のフィードバックができなかった事業所があったことが要因です。今後は、オンラインでの実施などを含め様々な手法を検討していく必要があります。

施策 7	取組 2	番号 2	事務事業 **介護保険制度運営事業**

目的	介護認定審査会の運営や賦課・徴収などの事務を行い、介護保険制度の適切な運営を図ります。	担当課	介護高齢福祉課
目標	–		

事業実施状況

・介護認定審査会の運営(審査件数5,529件、審査回数117回、
　認定調査件数4,255件)
・介護保険制度の周知
・介護保険料の賦課、徴収
・介護保険被保険者の資格管理
・介護資格所有者の職場復帰の支援
・ペイジー口座振替受付サービスの推進
・地域密着型サービス運営委員会の運営

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	166,129		
特定財源	5,831		
一般財源	160,298		

指標名	–	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

–

施策 7	取組 2	番号 3	事務事業 **介護保険制度運営安定化事業**

目的	介護保険制度の財政安定化に係る貸付制度や基金の積立等を行い、制度の安定的な運営を図ります。	担当課	介護高齢福祉課
目標	–		

事業実施状況

・介護給付費準備基金の管理

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	312,272		
特定財源	312,272		
一般財源	0		

指標名	–	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

–

施策 7	取組 2	番号 4	事務事業 **介護保険利用者負担軽減対策事業**

目的	低所得の介護保険利用者が介護サービスを利用する際の負担軽減を図ります。	担当課	介護高齢福祉課
目標	–		

事業実施状況

・低所得者に対する介護保険利用者負担軽減
(5,991件)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	64,858		
特定財源	21,496		
一般財源	43,362		

指標名	–	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

–

施策 7	取組 2	番号 5	事務事業 **介護保険料減免制度事業**

目的	災害などにより一時的に保険料の納付が困難となった低所得の被保険者に対し、保険料の負担軽減を図ります。	担当課	介護高齢福祉課
目標	–		

事業実施状況

・介護保険料の法定減免(2件)
・介護保険料の独自減免(297件)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	0		
特定財源	0		
一般財源	0		

指標名	–	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

–

施策 7	取組 2	番号 6	事務事業 **介護保険給付事業**

目的	要介護者が利用した介護サービスに要する保険者負担分の支出を行い、制度の適正な運用を図ります。	担当課	介護高齢福祉課
目標	–		

事業実施状況

・介護サービス給付費の支給

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	13,783,947		
特定財源	11,826,292		
一般財源	1,957,655		

指標名	–	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

–

施策 7	取組 2	番号 7	事務事業 **介護保険事業計画推進事業**

目的	介護保険事業計画を推進し、介護保険サービスの確保と制度の持続的な運営を図ります。	担当課	介護高齢福祉課
目標	–		

事業実施状況

・介護保険事業計画の推進(第八期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	8,036		
特定財源	0		
一般財源	8,036		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 7	取組 3	番号 1	事務事業 **早期把握・自立支援事業**

目的	民生委員等と連携を図り、要保護者の早期把握に努めるとともに、公共職業安定所と連携した就労支援を実施し、被保護者の自立を促進します。	担当課	生活支援第1課
目標	自立支援プログラムを利用した被保護者の就労率について50.0%を目指します。		

事業実施状況

・要保護者・被保護者との面談相談の実施(新規相談772件、申請322件)
・被保護者への就労支援(就労自立促進事業〈参加者34人、就労者16人〉、被保護者就労支援事業〈参加者43人、就労者11人〉、被保護者就労準備支援事業〈4事業、参加者23人、就労者5人〉)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	12,442		
特定財源	6,361		
一般財源	6,081		

指標名	自立支援プログラム利用者の就労率	単位	%

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
44.4		50.0		50.0		50.0
		32.0				

評価検証

R2年度の自立支援プログラム利用者の就労率32.0%であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症の拡大により、希望する求人が減少したことなどが要因であると考えます。
就労率は昨年を下回りましたが、自立支援プログラムの参加者数は前年度より増加し100人となっており、ケースワーカーやハローワーク帯広などの関係機関との連携が効果的であったと考えており、今後も、関係機関と連携し被保護者の就労につながるよう支援していきます。

施策 7	取組 3	番号 2	事務事業 **生活困窮者自立促進支援事業**

目的	生活困窮者の状態に応じた相談支援等を実施し、困窮状態からの早期自立を促進します。	担当課	生活支援第1課
目標	生活困窮者の生活や就労に関する相談体制を維持します。		

事業実施状況

・生活困窮者の自立相談支援(新規相談件数816件(実人数))
・生活困窮者の就労準備支援(2件(実人数))
・住居確保給付金の支給(給付世帯数174世帯、給付額27,657,730円)
・生活困窮世帯(被保護世帯含む)の子どもの学習支援(小学生〈参加者8人、延べ144人〉、中学生(高校生含む)〈参加者16人、延べ436人〉)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	54,380		
特定財源	43,078		
一般財源	11,302		

指標名	人口10万人あたりの自立相談件数	単位	件

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
7.3		9.1		9.1		9.1
		41.2				

評価検証

R2年度における人口10万人あたりの自立相談件数は41.2人となりました。
自立相談件数は前年比220件増の816件で、新型コロナウイルス感染症の拡大により生活困窮世帯が増えたため、住居確保給付金や生活福祉資金の貸付相談が増えたことによるものです。また、自立相談支援センターと連携した生活困窮者の自立に向けた相談体制の構築に取り組んだことで、自立相談への相談に応じることができたものと考えます。

施策 7	取組 3	番号 3	事務事業 **救護施設東明寮整備補助事業**

目的	救護施設東明寮の移転改築に伴う借入金の償還を支援し、障害を持つ要保護者の生活や自立を支援します。	担当課	地域福祉課
目標	–		

事業実施状況

・救護施設東明寮の移転改築費償還への支援

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	9,043		
特定財源	0		
一般財源	9,043		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 7	取組 3	番号 4	事務事業 **生活保護事業**

目的	被保護者の生活実態を把握し、的確な助言・指導を行います。	担当課	生活支援第1課・第2課
目標	–		

事業実施状況

・要保護者・被保護者との面談相談の実施(新規相談772件、申請322件)
・被保護者の家庭訪問の実施(被保護者 3,839世帯/月平均、ケースワーカー33名、家庭訪問8,924件)
・被保護者への助言、指導(文書指導 11件)
・被保護者に対する健康管理支援(特定健診受診勧奨 2,259世帯)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	77,042		
特定財源	1,949		
一般財源	75,093		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 7	取組 3	番号 5	事務事業 **生活保護等支給事業**

目的	生活に困窮する被保護者等に対し、保護費等による支援により、生活の安定を図ります。	担当課	生活支援第1課・第2課
目標	–		

事業実施状況

・生活保護受給者への扶助費の支給
・中国残留邦人等への支援給付費等の支給

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	7,861,175		
特定財源	6,214,240		
一般財源	1,646,935		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 7	取組 0	番号 1	事務事業 **国民年金事業**

目的	市民が適正に年金を受給できるよう、制度周知や各種受付事務などを進めます。	担当課	戸籍住民課
目標	–		

事業実施状況

・広報紙やパンフレットによる制度周知
・被保険者の各種受付事務の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	9,678		
特定財源	42,977		
一般財源	△33,299		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 8	取組 1	番号 1	事務事業 **制度融資事業（農政課）**

目的	長期・低利等の資金の貸付により、農業経営の高度化・安定化を図ります。	担当課	農政課
目標	農業者の経営の高度化・安定化を図る農林業育成資金の新規貸付件数について99件を目指します。		

事業実施状況

・農林業育成資金の貸付(新規貸付82件)
・農地保有合理化事業資金の貸付(新規貸付0件)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	2,172,092		
特定財源	2,167,757		
一般財源	4,335		

指標名	制度資金利用件数	単位	件

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
55		99		99		99
		82				

評価検証 R2年度の新規貸付件数は82件であり、目標を達成しませんでした。
R元年度の実績に比べると貸付件数では4件、ICT農業等推進事業に限ると17件増加していますが、国の補助事業等の影響により資金需要が減少したことが要因であると考えます。今後も引き続き農協を通じ、農業者に貸付制度を効果的に周知していくことが必要であると考えます。

施策 8	取組 1	番号 2	事務事業 **農業経営体育成・強化事業**

目的	経営研修や新規就農者の支援などを進め、優れた経営能力と生産技術を持った担い手の育成・確保を図ります。	担当課	農政課
目標	担い手の育成・確保を図る研修会（市主催又は共催）への参加者数について90人を目指します。		

事業実施状況

・担い手の強化、育成支援(十勝地域農業者合同研修会83名(会場10名、オンライン73名)、アグリカレッジ12名(新規就農者コース(通信講座)))
・農業振興基金の管理(寄附件数1,591件、寄附金額35,343,000円)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	24,258		
特定財源	23,051		
一般財源	1,207		

指標名	各種研修への参加者数	単位	人

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
63		75		82		90
		95				

評価検証 R2年度の各種研修への参加者数は95人であり、目標を達成しました。
新型コロナウイルス感染症の拡大で研修会の回数が減少したものの、新たな取組みとして動画配信サイトを通じて研修会をライブ配信したことや、その動画をオンライン上で一定期間視聴可能とし、農業者が視聴しやすい環境を整えたことが要因であると考えます。

施策 8	取組 1	番号 3	事務事業 **クリーン農業推進事業**

目的	生産者・関係団体との連携によるクリーン農業技術の普及などにより、安全で良質な農産物の生産を進めます。	担当課	農政課
目標	持続的な生産活動を推進するとともに環境負荷の低減を図る環境保全型農業の実践者数について66人を目指します。		

事業実施状況

・クリーン農業技術等の普及促進(土づくり・減肥減農の取組み事例集作成及び配布)
・環境保全型農業直接支援対策事業の実施(実施面積58,410a)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	32,826		
特定財源	24,815		
一般財源	8,011		

指標名	環境保全型農業実践者数	単位	人

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
59		62		64		66
		62				

評価検証 R2年度の環境保全型農業実践者数は62人であり、目標を達成しました。
年2回行っている事業周知やクリーン農業技術の取組事例集の配布による情報提供が効果的であったと考えます。

施策 8	取組 1	番号 4	事務事業 **営農技術向上対策事業**

目的	営農技術情報の提供や試験研究などを進め、生産性の向上や環境負荷の低減を図ります。	担当課	農政課
目標	地域農業における生産性の向上や環境負荷の低減などに関する営農技術の試験研究数について14件を目指します。		

事業実施状況

・営農技術試験、調査、情報提供(営農技術情報の提供11回)
・土壌、堆肥分析などへの支援(検査点数1,813点)
・新技術の導入や研究などへの支援(実施主体3団体)
・新規作物の栽培実証事業の実施及び普及への支援(新規作物試験栽培12a)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	15,577		
特定財源	6		
一般財源	15,571		

指標名	営農技術試験研究数	単位	件

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値
12	14	14	14		14	

評価検証

R2年度の営農技術試験研究数は14件であり、目標を達成しました。
農業団体や農業者等とともに、試験研究課題や当地での技術普及について協議を行ったほか、当センターの試験研究等の機能が民間企業間で認知されるようになったことで当地に適した試験依頼が増加したことが要因であると考えます。

施策 8	取組 1	番号 5	事務事業 **多面的機能支払推進事業**

目的	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進します。	担当課	農村振興課
目標	水源の涵養や自然環境の保全など農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮に取り組む農事組合数について16団体を目指します。		

事業実施状況

・農業・農村の有する多面的機能の維持、発揮を図るための地域の共同活動(水路の泥上げ、草刈、農道の補修など)に係る支援
(取組面積12,875.90ha)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	183,760		
特定財源	137,920		
一般財源	45,840		

指標名	農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮に取り組む農事組合数	単位	団体

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値
14	15	16	16		16	

評価検証

R2年度の多面的機能の維持・発揮に取り組む農事組合数は16団体であり、目標を達成しました。
事業説明会などの開催を通じて、地域活動の重要性を周知してきたことなどが効果的であったと考えます。

施策 8	取組 1	番号 6	事務事業 **有害鳥獣駆除事業**

目的	有害鳥獣の駆除により、農林業被害を防止します。	担当課	農村振興課
目標	鳥獣害による農業被害額を2,849万円にまで抑制します。		

事業実施状況

・有害鳥獣の駆除
・帯広市鳥獣被害対策実施隊による被害対策の実施
(出動回数250回)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	5,315		
特定財源	965		
一般財源	4,350		

指標名	鳥獣害による農業被害額	単位	万円

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値
5,530	2,849	3,511	2,849		2,849	

評価検証

R2年度の鳥獣害による農業被害額は3,511万円であり、目標を達成しませんでした。
実施隊などによる有害鳥獣の捕獲を実施したものの、降雪時期が例年に比べ遅く、降雪量も減ったことから、エサを求め、農村部へ出没する個体が増えたことによるものと考えます。今後は猟友会等と連携し、捕獲許可期間延長の検討など被害削減に向けた取り組みを進めていく必要があると考えます。

施策 8	取組 1	番号 7	事務事業 **家畜衛生対策事業**

目的	防疫体制の充実や予防接種など家畜衛生対策を進め、畜産経営の安定化を図ります。	担当課	農政課
目標	予防接種の実施などにより家畜伝染病の発生防止を目指します。		

事業実施状況

・予防接種への支援(ワクチン接種延べ頭数13,510頭)
・家畜伝染病発生予防の啓発、推進
・情報収集や危機管理体制の整備(防疫マニュアルの改訂)
・防疫資材の備蓄更新

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,415		
特定財源	240		
一般財源	1,175		

指標名	-	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

R2年度は、自衛防疫組合員に予防接種の支援を行ったほか、伝染病発生予防の啓発活動などに取り組んだことにより、家畜伝染病の発生が防止されており、目標達成に向け進捗しています。

施策 8	取組 1	番号 8	事務事業 **生乳生産安定対策事業**

目的	乳質改善や牛群の資質向上などを進め、酪農経営の安定化と安全・安心な生乳の生産を促進します。	担当課	農政課
目標	生乳の安定的な出荷を維持します。		

事業実施状況

・生乳検査、乳質改善への支援(生乳検査18,017検体)
・牛群の改良、飼養管理改善への支援(乳牛検定 延べ頭数44,351頭)
・酪農家の負担軽減への支援(酪農ヘルパー利用延べ回数2,073回)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	2,568		
特定財源	500		
一般財源	2,068		

指標名	-	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

R2年度は、酪農家に対する各種支援などにより、生産基盤が安定し、生乳出荷量が増加しており、目標達成に向け進捗しています。

施策 8	取組 1	番号 9	事務事業 **農業技術センター管理運営事業**

目的	農業者及び農業生産活動の支援拠点である農業技術センターを管理運営し、農業振興施策を総合的に展開します。	担当課	農政課
目標	-		

事業実施状況

・農業技術センターの維持管理
・農業行政に関する事務
・農業・農村基本計画の推進

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	9,825		
特定財源	33		
一般財源	9,792		

指標名	-	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

-

施策 8	取組 1	番号 10	事務事業 **八千代公共育成牧場管理運営事業**

目的	八千代公共育成牧場の管理運営や利用促進を通して、畜産経営の安定化を図ります。	担当課	農政課
目標	–		

事業実施状況

・八千代公共育成牧場の管理運営
・八千代公共育成牧場の利用促進

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	180,792		
特定財源	123,640		
一般財源	57,152		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 8	取組 1	番号 11	事務事業 **畜産研修センター管理運営事業**

目的	畜産研修センターの管理運営により、畜産や農業に関する研修機会を提供し、農業理解の促進を図ります。	担当課	農政課
目標	–		

事業実施状況

・畜産研修センターの管理運営(利用者数2,022名)
・研修機会の提供(羊毛加工の指導業務補助)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	22,836		
特定財源	804		
一般財源	22,032		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 8	取組 1	番号 12	事務事業 **畜産振興事業**

目的	飼養管理技術の普及や畜産関連情報の収集・提供などを通じ、畜産の振興を図ります。	担当課	農政課
目標	–		

事業実施状況

・飼養管理技術の普及促進
・畜産関連情報の収集、提供
・バイオガス事業の導入推進

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,035		
特定財源	0		
一般財源	1,035		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 8	取組 1	番号 13	事務事業 **農業生産体制強化事業**

目的	農業用機械や施設整備の支援などを進め、生産性の向上を図ります。	担当課	農政課
目標	–		

事業実施状況

・農業用機械等の整備支援(7経営体(トラクター、GPSガイダンス、馬鈴薯選別機など))
・農業用集出荷施設等の整備支援(ソフト事業6実施主体(病害虫抵抗性品種の導入など))

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	305,819		
特定財源	305,819		
一般財源	0		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 8	取組 1	番号 14	事務事業 **農業経営基盤強化資金利子補給事業**

目的	農業者の借入資金に対する金利負担を軽減し、経営改善の促進、担い手の育成・確保を図ります。	担当課	農政課
目標	–		

事業実施状況

・農業経営基盤強化資金利子補給(新規案件数0件)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	3,114		
特定財源	1,557		
一般財源	1,557		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 8	取組 1	番号 15	事務事業 **農業基盤施設維持補修事業**

目的	農業用用排水施設、畑地かんがい施設の適切な維持管理を促進し、生産性の維持を図ります。	担当課	農村振興課
目標	–		

事業実施状況

・明渠の維持管理や明渠周辺の環境保全への支援(国営造成施設管理体制整備促進事業補助、明渠排水維持管理事業補助)
・畑地かんがい施設の維持管理への支援
・明渠橋の健全度調査の実施(8橋)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	11,924		
特定財源	6,246		
一般財源	5,678		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 8	取組 1	番号 16	事務事業 **道営水利施設等保全高度化事業**

目的	農業用用排水施設の整備や土層改良などの生産基盤整備を総合的に進め、生産性・収益性の向上を図ります。	担当課	農村振興課
目標	–		

事業実施状況

・畑地かんがい・区画整理・暗渠排水、土層改良の整備
・整備費の償還

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	215,329		
特定財源	100,905		
一般財源	114,424		

指標名	–				単位	
基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 8	取組 1	番号 17	事務事業 **国営土地改良事業**

目的	農業用水の確保など農業生産基盤の整備を促進し、生産性・収益性の向上を図ります。	担当課	農村振興課
目標	–		

事業実施状況

・国営かんがい排水事業による農業生産基盤整備費の償還

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	17,314		
特定財源	0		
一般財源	17,314		

指標名	–				単位	
基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 8	取組 1	番号 18	事務事業 **土地改良促進事業**

目的	土地改良事業を円滑に推進するため、事業実施に伴う事務を行います。	担当課	農村振興課
目標	–		

事業実施状況

・土地改良事業に関する事務

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	4,960		
特定財源	1,801		
一般財源	3,159		

指標名	–				単位	
基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 8	取組 1	番号 19	事務事業 **農業委員会運営事業**

目的	農業生産力の向上や農業経営の合理化を図るため、農地に関する権利移動や転用、利用集積などの業務を行います。	担当課	農業委員会事務局
目標	–		

事業実施状況

・農地法に基づく法令業務
・農業経営基盤強化促進法に基づく農地の利用集積等に関する業務
・農地中間管理事業の推進に関する法律に基づく農地の集積・集約化等に関する業務
・農業者年金業務
・法人化その他の農業経営の合理化に関する業務
・農業に関する調査及び情報提供
・農業後継者結婚対策業務
・農地等証明発行

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	20,122		
特定財源	18,142		
一般財源	1,980		

指標名	–				単位	
基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 8	取組 2	番号 1	事務事業 **フードバレーとかち食・農活性化事業**

目的	地域の農畜産物などの情報発信を通じ、十勝農業の魅力向上を図ります。	担当課	農政課
目標	十勝の農畜産物など地域資源の情報を掲載したホームページ「十勝の食卓」のアクセス数を維持します。		

事業実施状況

・地域資源に係る情報の収集・発信
(「地域資源」の紹介ページの追加・更新104件、地域の食材を使用した「おいしいレシピ」の追加・更新21件、十勝の食卓HPアクセス数75,783回)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	264		
特定財源	0		
一般財源	264		

指標名	–				単位	
基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 R2年度は、「地域資源」の紹介ページや「おいしいレシピ」の追加・更新をするなど、内容の充実に取り組んだことによりアクセス数を維持しており、目標達成に向け進捗しています。

施策 8	取組 2	番号 2	事務事業 **農畜産物安全安心推進事業**

目的	食の安全・安心に向けた取り組みなどにより、農業の競争力強化を促進します。	担当課	農政課
目標	持続可能な農業生産や輸出拡大につながる国際水準GAPに取り組む農家数の増加を目指します。		

事業実施状況

・農畜産物の安全安心に係る普及啓発(啓発ポスター等の設置53か所)
・国際水準GAPオンライン研修の周知(受講農家数65名)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	433		
特定財源	289		
一般財源	144		

指標名	–				単位	
基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 R2年度は、農地等への立入禁止啓発活動を行ったほか、十勝型GAP普及支援により、生産者の安全・安心な農畜産物の生産に対する意識が向上したことなどから、国際水準GAPの研修を受講する農家数が増加するなど、目標達成に向け進捗しています。

施策 8	取組 2	番号 3	事務事業 **黒毛和牛生産振興事業**

目的	繁殖・素牛育成技術の普及など肉用牛の生産振興により、畜産経営の安定化や地域ブランド「十勝和牛素牛」の普及を図ります。	担当課	農政課
目標	繁殖雌牛の飼養頭数の増加を目指します。		

事業実施状況

・黒毛和牛の繁殖、育成技術の普及促進(生産技術巡回指導12回、黒毛和種繁殖用雌牛飼養頭数695頭)
・黒毛和牛の受精卵移植の促進(和牛受精卵移植75頭 八千代牧場)
・とかち帯広和牛生産改良組合への支援

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	117		
特定財源	0		
一般財源	117		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

R2年度は、和牛素牛生産の指導巡回や和牛改良組合の取り組みにより、飼養管理技術が向上し、和牛改良への機運が高まったことで、枝肉共励会での上位入賞や、黒毛和種繁殖用雌牛の飼養頭数の増加に結びついたものと考えており、目標達成に向け進捗しています。

施策 8	取組 2	番号 4	事務事業 **畜産物加工研修センター管理運営事業**

目的	畜産物加工研修センターの管理運営により、畜産物の付加価値の向上、農業理解の促進を図ります。	担当課	農政課
目標	-		

事業実施状況

・畜産物加工研修センターの管理運営
・加工研修機会の提供(研修参加人数(乳加工、肉加工)計485名)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	13,267		
特定財源	167		
一般財源	13,100		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

-

施策 8	取組 2	番号 再	事務事業 **フードバレーとかち推進事業<再掲9-2-3>**

目的	十勝管内の自治体や関係機関と連携し、地域の農林水産物の付加価値向上や情報発信などに取り組み、「フードバレーとかち」を推進します。	担当課	経済企画課
目標	-		

事業実施状況

・十勝産農畜産物、加工品の販路拡大(フェア等への協力3回)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	-		
特定財源	-		
一般財源	-		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

-

施策 8	取組 3	番号 1	事務事業 **食育推進事業(農業分野)**

目的	各種イベントの開催などを通して、地産地消の促進や市民の食や健康への意識の向上を図ります。	担当課	農政課
目標	食育に関心を持つ市民の割合の増加を目指します。		

事業実施状況

・食や農業に関するイベントの開催・支援(食育推進イベント(ブース出展)0件、食育推進サポーター活用11件)
・消費者と生産者との相互交流の促進
・地場農畜産物の消費拡大

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	4,602		
特定財源	3,522		
一般財源	1,080		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

R2年度は、「おびひろ市民学」と連携して「食育推進サポーター」による市内小学校への食育出前授業等の新たな取組みを実施しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により例年どおりの食育推進事業を実施できなかったため、目標達成に向けあまり進捗していません。今後も市民学と連携した出前授業等を通し市民の食育に対する関心を高めていくことが必要であると考えます。

施策 8	取組 3	番号 2	事務事業 **帯広の森市民農園管理運営事業**

目的	帯広の森市民農園の管理運営により、農業に対する理解促進や都市と農村の交流促進を図ります。	担当課	農政課
目標	-		

事業実施状況

・帯広の森市民農園の管理運営
・市民農園(156区画)、学童農園(市内18校)の運営

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	18,820		
特定財源	1,482		
一般財源	17,338		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

-

施策 8	取組 3	番号 3	事務事業 **とかち大平原交流センター管理運営事業**

目的	とかち大平原交流センターの管理運営により、農業・農村の歴史や魅力を発信し、農業・農村の理解促進、農業・農村文化の継承を図ります。	担当課	農政課
目標	-		

事業実施状況

・とかち大平原交流センターの管理運営
・とかち農機具歴史館の管理運営

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	10,861		
特定財源	61		
一般財源	10,800		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

-

施策	8	取組	3	番号	4	事務事業	**農村活性化促進事業**

目的	農村におけるコミュニティの維持・確保、景観形成などの取り組みを通じて、農村の活性化を図ります。	担当課	農村振興課
目標	–		

事業実施状況

・農業センターの維持管理
・耕地防風林の整備への支援(9戸)
・景観づくり活動への支援

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	14,770		
特定財源	3,559		
一般財源	11,211		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策	8	取組	3	番号	再	事務事業	**多面的機能支払推進事業<再掲8-1-5>**

目的	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進します。	担当課	農村振興課
目標	–		

事業実施状況

・農業・農村の有する多面的機能の維持、発揮を図るための地域の共同活動(水路の泥上げ、草刈、農道の補修など)に係る支援
(取組面積12,875.90ha)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策	8	取組	3	番号	再	事務事業	**配水管整備事業<再掲20-1-1>**

目的	配水管の計画的な更新による耐震性の向上などを進め、水道水の安定供給を図ります。	担当課	水道課
目標	–		

事業実施状況

・配水管整備事業　L=2074.8m
・管路近代化事業　L=7769.5m

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策	8	取組	3	番号	再	事務事業	**農村下水道施設整備事業<再掲20-1-10>**

目的	農村下水道の整備により、農村部における快適な生活環境づくりを進めます。	担当課	下水道課
目標	–		

事業実施状況

・個別排水処理施設の整備

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策	8	取組	3	番号	再	事務事業	**量水器整備事業<再掲20-2-2>**

目的	水道メーターや止水栓の更新などにより、漏水の防止など、利用者サービスの向上を図ります。	担当課	水道課
目標	–		

事業実施状況

・水道メーターの更新
・止水栓の更新
・作業時間の短縮が可能な「掘削しないメーターボックス」への更新

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策	8	取組	3	番号	再	事務事業	**水道施設維持管理事業<再掲20-2-7>**

目的	適切な水道施設の維持管理などにより、水道事業を安定的に運営します。	担当課	水道課
目標	–		

事業実施状況

・配水管、水道施設、量水器の維持管理

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 8	取組 3	番号 再	事務事業 下水道施設維持管理事業<再掲20-2-8>

目的	適切な下水道施設の維持管理などにより、下水道事業を安定的に運営します。	担当課	下水道課
目標	–		

事業実施状況

・下水道管の維持管理
・個別排水処理施設、農業集落排水施設の維持管理

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策 8	取組 3	番号 再	事務事業 下水道普及促進事業<再掲20-2-12>

目的	下水道の利用を促進し、生活環境の保全、公衆衛生の向上を図ります。	担当課	下水道課
目標	–		

事業実施状況

・下水道への接続の普及啓発
・排水設備改造資金の貸付

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策 8	取組 3	番号 再	事務事業 あいのりタクシー・バス運行事業<再掲21-6-1>

目的	農村地区において乗合方式のタクシー・バスを運行し、地域住民の交通手段を確保します。	担当課	都市政策課
目標	–		

事業実施状況

・大正地区乗合タクシーの運行(利用者数2,306人)
・川西地区乗合バスの運行(利用者数8,320人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策 8	取組 4	番号 1	事務事業 森林整備促進事業

目的	私有林等の森林整備を支援し、森林の適切な管理を促進します。	担当課	農村振興課
目標	森林経営計画の作成面積割合について64.9%を目指します。		

事業実施状況

・帯広市森林環境振興基金の管理(年度末残高37,529,065円)
・私有林の森林整備への支援
・森林整備に従事する人材の育成・確保

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	37,101		
特定財源	6,663		
一般財源	30,438		

指標名	森林経営計画作成面積割合	単位	%
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値
63.3	64.9 / 65.6	64.9	64.9

評価検証: R2年度の森林経営計画作成面積は65.6%であり、目標を達成しました。
現況調査のほか、所有者への施業に係る相談や提案などの取り組みが効果的であったと考えます。

施策 8	取組 4	番号 2	事務事業 林業振興事業

目的	民有林の造成や担い手の育成・確保等の支援を通じ、林業を振興します。	担当課	農村振興課
目標	林業事業体が雇用している現場作業員及び作業日数（森林作業員の延べ人日）の増加を目指します。		

事業実施状況

・民有林の造林などへの支援
・森林認証の継続
・林地台帳の運用
・森林作業員の就労の安定化支援(26人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	13,516		
特定財源	8,213		
一般財源	5,303		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: R2年度は、民有林における施業への補助や、森林認証制度への参画、森林作業員就労条件整備事業の実施により、森林所有者の施業意欲の向上が図られ、現場作業員及び作業日数の増加につながっており、目標達成に向け進捗しています。

施策 8	取組 4	番号 3	事務事業 林道等整備事業

目的	林道・作業道を整備し、森林を適切に管理します。	担当課	農村振興課
目標	–		

事業実施状況

・林道、作業道の整備
・台風により被災した林道の復旧(L＝800m)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	41,239		
特定財源	39,132		
一般財源	2,107		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策 8	取組 4	番号 4	事務事業 **市有林造成事業**

目的	水源かん養や環境保全など、森林が持つ公益的機能を積極的に発揮させるため、造林や間伐などの森林整備を進め、市有林を適切に管理します。	担当課	農村振興課
目標	–		

事業実施状況

・森林施業計画に基づく造成事業の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	41,693		
特定財源	38,484		
一般財源	3,209		

指標名	–				単位	
基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 8	取組 4	番号 5	事務事業 **市有林収穫事業**

目的	間伐や皆伐の適切な実施により、市有林の維持・管理を進めるとともに、森林資源の活用を図ります。	担当課	農村振興課
目標	–		

事業実施状況

・森林施業計画に基づく収穫事業の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	5,725		
特定財源	17,666		
一般財源	△11,941		

指標名	–				単位	
基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 8	取組 4	番号 6	事務事業 **市有林・林道等管理事業**

目的	林業関係情報の収集・提供や市有林・林道の適切な管理などに取り組み、森林・林業行政施策を総合的に推進します。	担当課	農村振興課
目標	–		

事業実施状況

・市有林の適正管理
・市有林野管理経営審議会の開催
・林道の管理
・林業行政に関する事務
・森林が持つ機能等の理解の促進

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	4,250		
特定財源	252		
一般財源	3,998		

指標名	–				単位	
基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 8	取組 5	番号 1	事務事業 **ばん系馬生産振興事業**

目的	ばん馬生産者の生産意欲を高め、ばん馬の生産を振興します。	担当課	ばんえい振興課
目標	ばんえい競馬の新馬能力検査申込頭数について291頭を目指します。		

事業実施状況

・生産者への生産奨励金支給(135件49,760千円)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	56,964		
特定財源	54,852		
一般財源	2,112		

指標名	新馬能力検査申込頭数				単位	頭
基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
256		291		291		291
		329				

評価検証 R2年度の新馬能力検査申込頭数は329頭であり、目標を達成しました。
安定的な競馬運営を背景とした、生産奨励金の支給が効果的であったと考えます。

施策 8	取組 5	番号 2	事務事業 **馬文化承継事業**

目的	ばん馬とふれあう機会の提供などにより、人と馬との文化を継承します。	担当課	ばんえい振興課
目標	ばんえい十勝PR馬のイベント等への派遣回数について76回を目指します。		

事業実施状況

・馬とふれあう機会の提供 0件
・馬耕技術伝承プロジェクトの実施への支援
・草競馬等における生産者への表彰への支援

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	9,738		
特定財源	3,064		
一般財源	6,674		

指標名	ばんえい十勝PR馬のイベント等派遣回数				単位	回
基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
37		76		76		76
		0				

評価検証 R2年度のばんえい十勝PR馬のイベント等派遣回数は0回であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症の拡大によりイベント等派遣を自粛したことが要因であると考えます。今後、ホームページなどを活用しながら、コロナ禍においても馬文化に接することが出来る機会を提供していくことが必要と考えます。

施策 8	取組 5	番号 3	事務事業 **競馬開催事業**

目的	世界で唯一の地域資源であるばんえい競馬を開催します。	担当課	ばんえい振興課
目標	売上増加やコスト削減を通じ、ばんえい競馬の安定運営を目指します。		

事業実施状況

・ばんえい競馬の開催(開催日数150日、発売額483億5,278万7,900円)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	49,252,681		
特定財源	49,223,192		
一般財源	29,489		

指標名	–				単位	
基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 R2年度は、売上額増加や公正確保の取り組みなどにより、収支は黒字となるなど、ばんえい競馬の安定的な開催が図られ、目標達成に向け進捗しています。

施策 9	取組 1	番号 1	事務事業 **市場開拓・販路拡大事業**

目的	関係機関等と連携した地場産品の付加価値向上などの取り組みを通じ、市場開拓・販路拡大を促進します。	担当課	経済企画課
目標	海外との取引に必要となる原産地証明の発行件数について476件を目指します。		

事業実施状況

・国内・海外販路拡大に向けた支援
(JETRO北海道による輸出セミナーの実施(1回))
・工場等の衛生水準の向上支援
(HACCP認証企業数3社)
・関係機関との連携による地域内外へのとかちブランドのPR促進
・地場産品ブランド化の総合的な支援

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	352		
特定財源	0		
一般財源	352		

指標名	原産地証明発行件数	単位	件

基準値	R2	R3	R4
	目標値	目標値	目標値
	実績値	実績値	実績値
406	476	476	476
	103		

評価検証

R2年度の原産地証明発行件数は103件であり、目標を達成しませんでした。
シンガポールの規制緩和により当証明の発行が不要になった商品があることや、新型コロナウイルス感染拡大による物流の停滞が要因であると考えます。ポストコロナにおいて、一早く輸出に向けた動きを活性化できるよう、十勝産品のブランド化支援や、海外展開支援セミナーの実施などの継続的な支援が必要と考えます。

施策 9	取組 1	番号 2	事務事業 **知的財産保護・活用促進事業**

目的	特許や実用新案の登録など、地域の知的財産活動を支援し、地元企業の製品開発等を促進します。	担当課	経済企画課
目標	地元企業の製品開発の促進や知的財産の活用に関する発明相談件数について32件を目指します。		

事業実施状況

・弁理士等による発明相談会の実施(11回)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	4		
特定財源	0		
一般財源	4		

指標名	発明相談件数	単位	件

基準値	R2	R3	R4
	目標値	目標値	目標値
	実績値	実績値	実績値
28	32	32	32
	31		

評価検証

R2年度の発明相談件数は31件であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染拡大をきっかけにリモートで相談会を行うなど体制の維持に努めましたが、相談会を中止したことが目標未達の要因であると考えます。今後、リモートでの開催について関係機関に広く周知することが必要と考えます。

施策 9	取組 1	番号 3	事務事業 **経営相談事業**

目的	中小企業に対する経営相談などにより、経営改善を促進し、経営基盤の強化を図ります。	担当課	商業労働課
目標	中小企業の経営に係る相談体制を維持します。		

事業実施状況

・経営相談の実施(相談件数1,772件)
・中小企業相談所による経営、講習会などの実施(37件)
・経済動向の把握と情報提供
・北海道中小企業総合支援センターとの連携
・新規創業者持続化給付金の支給(42件)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	26,191		
特定財源	12,588		
一般財源	13,603		

指標名	経営相談件数	単位	件

基準値	R2	R3	R4
	目標値	目標値	目標値
	実績値	実績値	実績値
1,329	1,329	1,329	1,329
	1,772		

評価検証

R2年度の経営相談件数は1,772件であり、目標を達成しました。
新型コロナウイルス感染症の影響も含めた中小企業の経営に係る相談に応じたことにより、地元企業の経営基盤の強化につながっているものと考えます。

施策 9	取組 1	番号 4	事務事業 **商店街活性化事業**

目的	商店街のにぎわい創出や環境整備などを支援し、商店街の活性化を図ります。	担当課	商業労働課
目標	商店街空き店舗率について8.6%を目指します。		

事業実施状況

・商店街が新たに取り組む事業等への支援(6件)
・演出、催事事業への支援(9件)
・商店街ロードヒーティング設備維持への支援(7件)
・中心街における感染症拡大防止対策等に対する支援

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	35,161		
特定財源	22,579		
一般財源	12,582		

指標名	商店街空き店舗率	単位	%

基準値	R2	R3	R4
	目標値	目標値	目標値
	実績値	実績値	実績値
8.6	8.6	8.6	8.6
	9.6		

評価検証

R2年度の商店街空き店舗率は9.6%であり、目標を達成しませんでした。
空き店舗数が増加したことと、営業店舗の住宅化が進んだことで総店舗数が減少したことが影響したと考えます。今後、商店街における空き店舗情報の周知や、事業者等の中心市街地活性化への取り組みを促進していく必要があると考えます。

施策 9	取組 1	番号 5	事務事業 **制度融資事業（商業労働課）**

目的	長期・低利な資金の貸付や信用保証料の補給により、中小企業の経営基盤の強化を図ります。	担当課	商業労働課
目標	市内融資に占める市の制度融資の割合について現状の水準を維持します。		

事業実施状況

・制度融資のあっせん（あっせん数202件）
・信用保証料の補給（補給件数171件）

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	4,953,933		
特定財源	4,953,932		
一般財源	1		

指標名	制度融資実行割合	単位	%

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値
24.48	24.48	3.70	24.48		24.48	

評価検証

R2年度の制度融資実行割合は3.7%であり、目標を達成しませんでした。
国の新型コロナウイルス施策に伴う北海道の実質無利子無担保融資が多く利用されたことが大きく影響したことが要因であると考えます。一方で、当該融資を利用する際に必要な市のセーフティネット保証認定を2,620件（前年度比約52倍）行ったことや、市制度融資においても、セーフティネット資金の臨時措置の実施などを通し、中小企業のニーズに一定程度応えることができたものと考えます。今後も、中小企業にとって円滑で有利な資金調達が可能となるよう制度融資等に関する効果的な情報提供を行うことが必要であると考えます。

施策 9	取組 1	番号 6	事務事業 **人材育成事業**

目的	関係機関の連携により多様な研修機会を提供し、総合的な人材育成を進めます。	担当課	経済企画課
目標	地域の経済発展に貢献する人材を育成するフードバレーとかち人材育成事業の修了者数の増加を目指します。		

事業実施状況

・フードバレーとかち人材育成事業の実施（修了者数51名）

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	5,513		
特定財源	2,756		
一般財源	2,757		

指標名	–	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

R2年度は、新たに農業経営者コースを実施したことにより、修了者数が51名と例年を上回ったほか、受講者数についても200名を超えており、目標達成に向け進捗しています。

施策 9	取組 1	番号 7	事務事業 **産業支援機能提供事業**

目的	新製品の研究開発や産学官連携の支援、相談体制の充実などを通じ、地場工業の活性化を図ります。	担当課	経済企画課
目標	新製品・新技術の開発等に向けた技術相談件数の増加を目指します。		

事業実施状況

・とかち財団への支援(とかち財団による技術指導相談件数1,062件)
・十勝産業振興センター建設費償還への支援(設備機器利用件数77件)
・商工観光振興基金の管理(商工観光基金への寄付者数14,731名、寄付額232,878,000円)
・製品開発、販路開拓等への支援(ものづくり補助金採択件数4件、補助額10,135,200円)
・関係機関に配置されたコーディネーター等との連携による支援相談体制の充実
・北海道中小企業総合支援センター等との連携

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	176,722		
特定財源	7,697		
一般財源	169,025		

指標名	–	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

R2年度は、関係機関とともに、企業等の技術的課題の解決や新製品開発等の相談に対応し、必要に応じて生産現場等に赴き指導及び助言を実施するなど連携を強化してきたことにより、相談件数は増加しており、目標達成に向け進捗しています。

施策 9	取組 1	番号 8	事務事業 **産業振興ビジョン推進事業**

目的	中小企業者等と連携しながら、帯広市産業振興ビジョンを推進し、中小企業の活性化を図ります。	担当課	経済企画課
目標	–		

事業実施状況

・帯広市産業振興会議の開催
・産業振興ビジョンの推進

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	0		
特定財源	0		
一般財源	0		

指標名	–	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

–

施策 9	取組 1	番号 9	事務事業 **企業支援事業**

目的	地元企業との意見交換や事業成果の確認・指導等を通じ、企業の経営力強化を図ります。	担当課	経済企画課
目標	–		

事業実施状況

・地元企業との意見交換や事業成果の確認、指導等

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	233		
特定財源	0		
一般財源	233		

指標名	–	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

–

施策 9	取組 1	番号 10	事務事業 **職業能力開発・向上推進事業**
目的	関係機関の連携により、職業能力開発を促進し、高度な技能を有する人材の育成・確保を図ります。	担当課	商業労働課
目標	–		

事業実施状況

・職業能力開発事業への支援
・職業能力開発センターへの運営支援
・北海道職業能力開発促進大会への支援

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	34,055		
特定財源	200		
一般財源	33,855		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策 9	取組 1	番号 11	事務事業 **商業活性化事業**
目的	商業・商店街の活性化のための情報収集・提供や中小企業団体の組織強化支援などを通し、商業の振興を図ります。	担当課	商業労働課・経済企画課
目標	–		

事業実施状況

・商業・商店街の活性化に関する情報収集・提供
・大規模小売店舗立地法に関する事務
・商業行政に関する事務
・中小企業団体の組織強化への支援
・プレミアム付商品券による地域消費喚起
・休業協力支援の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	786,676		
特定財源	783,133		
一般財源	3,543		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策 9	取組 1	番号 12	事務事業 **組織設立認可等関連事業**
目的	中小企業協同組合などの設立認可等に関する事務を進めます。	担当課	商業労働課
目標	–		

事業実施状況

・組合設立認可等に関する事務

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	0		
特定財源	0		
一般財源	0		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策 9	取組 2	番号 1	事務事業 **十勝・イノベーション・エコシステム推進事業**
目的	産学官金が連携した支援体制により、持続的な事業創出を促進します。	担当課	経済企画課
目標	産学官金の連携による支援を通じた事業化件数の増加を目指します。		

事業実施状況

・域内外の異分野人材との触発等による事業創発の推進
・起業候補者の発掘から事業構想の創発、事業計画の磨き上げ、事業化までを一貫してサポートする支援システムの構築(とかちイノベーションプログラム2020参加者数39名(うち新規参加者数24名)、事業構想発表件数7件)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	80,264		
特定財源	76,113		
一般財源	4,151		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: R2年度は、とかち・イノベーション・プログラムにおいて、ウェブミーティングを導入した結果、子育て世帯からの参加をはじめ、新規参加者が半数を超えるなど、参加者の裾野も着実に広がり、支援を通じた事業化件数の増加につながってきており、目標達成に向け進捗しています。

施策 9	取組 2	番号 2	事務事業 **産学官連携促進事業**
目的	産学官連携を促進し、大学等の研究成果を活用した新たな事業の創出を図ります。	担当課	経済企画課
目標	産学官連携による新商品開発件数の増加を目指します。		

事業実施状況

・新商品の開発支援(十勝ブランド認証商品数137品)
・商談会への出展支援

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	430		
特定財源	0		
一般財源	430		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: R2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、首都圏等で開催される展示会、商談会等には参加できなかったものの、代替として帯広市内で域外企業との商談会を行い地域発の商品、技術等のPR及び販路拡大等の取組みを行ったことにより、十勝ブランド認証機構による認証商品数やとかち財団への商品開発に関する相談件数、新商品開発の事例も増加しており、目標達成に向け進捗しています。

施策 9	取組 2	番号 3	事務事業 **フードバレーとかち推進事業**

目的	十勝管内の自治体や関係機関と連携し、地域の農林水産物の付加価値向上や情報発信などに取り組み、「フードバレーとかち」を推進します。	担当課	経済企画課
目標	事業者間の連携促進等による6次産業化件数の増加を目指します。		

事業実施状況

・十勝の企業や食・農林漁業に関する情報発信、試験研究段階からの生産者や企業等への情報提供(講演等7件、メルマガ発行31回)
・生産・加工・流通業者の連携機会の提供など、コーディネート機能の発揮及び域内外企業等との連携促進(域外企業訪問延べ件数36件)
・十勝産農畜産物、加工品の販路拡大(フェア等への協力3回)
・フードバレーを通した交流の推進(くまもと県南フードバレー協力1回)
・バイオマス産業都市構想の推進(域内バイオマス状況調査1回、実証事業1回)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	15,834		
特定財源	0		
一般財源	15,834		

指標名	-			単位	
基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証

R2年度は、ワイン生産をはじめ、地元の農産物を活かした加工品製造の普及啓発や大都市圏の百貨店等と連携した販路拡大、顧客ニーズの把握や地域事業者へのフィードバックなどにより、ワイナリーや農産物加工施設などの食料品製造施設の増加に繋がったほか、各農協の特産品を活用した新商品の開発が進むなど、6次産業化事例が増加しており、目標達成に向け進捗しています。

施策 9	取組 3	番号 1	事務事業 **企業立地促進事業**

目的	企業の設備投資に対する支援などにより、企業立地を促進します。	担当課	経済企画課
目標	立地企業件数について8件を目指します。		

事業実施状況

・企業訪問活動による情報収集
・立地企業の設備投資への支援(4件)
・新たな工業団地の造成

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	67,888		
特定財源	4,505		
一般財源	63,383		

指標名	立地企業件数			単位	件
基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値
5	8 / 4		8		8	

評価検証

R2年度の立地企業件数は4件であり、目標を達成しませんでした。
西20条北工業団地は完売し、西19条北工業団地の分譲は順調に進んでいるものの実際の立地には一定の時間を要することが考えられます。企業の需要はあるものと考えられるので、今後も企業訪問などを通し情報収集に努め、企業立地の促進につなげていくことが必要と考えます。

施策 9	取組 4	番号 1	事務事業 **雇用拡大・機会確保促進事業**

目的	高齢者、移住者、女性等を含む多様な人材と企業のマッチング事業等の実施により、求職者の状況に応じた多様な就業機会の確保を図ります。	担当課	商業労働課
目標	UIJターン情報の提供登録者について108人を目指します。		

事業実施状況

・季節労働者の通年雇用化促進(通年雇用化人数72人)
・UIJターン、人材マッチングの促進(情報提供登録者139人)
・高齢者の就業機会の拡大(37人)
・シルバー人材センターへの運営支援(会員数528人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	47,769		
特定財源	13,150		
一般財源	34,619		

指標名	UIJターン情報提供先の登録数			単位	人
基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値
63	83 / 139		95		108	

評価検証

R2年度のUIJターン情報の提供登録者は139人であり、目標を達成しました。
移住相談会の定期的な開催や移住イベントの実施など、移住希望者との接点を増やしたことが効果的であったと考えます。

施策 9	取組 4	番号 2	事務事業 **労働環境整備促進事業**

目的	労働相談の実施や子どもを生み育てやすい職場環境づくりなど、勤労者が安心して働くことができる環境整備を促進します。	担当課	商業労働課
目標	とかち勤労共済センター会員数について8,538人を目指します。		

事業実施状況

・労働相談の実施(21人)
・子育て応援事業所促進事業の実施(子育応援事業所促進奨励金交付50人)
・とかち勤労者共済センターへの運営支援(会員数8,264人)
・事業所雇用実態調査の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	13,053		
特定財源	0		
一般財源	13,053		

指標名	とかち勤労共済センター会員数			単位	人
基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値
7,613	8,075 / 8,264		8,306		8,538	

評価検証

R2年度のとかち勤労者共済センター会員数は8,264人であり、目標を達成しました。
十勝管内市町村における広報や商工会を通じたパンフレットの送付や、ホームページでの周知が効果的であったと考えます。

施策 9	取組 4	番号 再	事務事業 **子育て支援事業<再掲2-1-3>**

目的	子育て世代包括支援センターにおいて、子育て相談など多様な子育て支援事業を実施します。	担当課	子育て支援課
目標	-		

事業実施状況

・ファミリーサポートセンター事業の実施(会員数695人、援助活動件数1,195件)
・子育て応援事業所登録事業の実施(登録事業所数296事業所)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	-		
特定財源	-		
一般財源	-		

指標名	-			単位	
基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証

-

施策	9	取組	4	番号	再	事務事業	**障害者就労促進事業<再掲5-3-1>**

目的	障害のある人の一般就労や、就労後の職場定着の支援などにより、障害のある人の自立や就労を促進します。	担当課	障害福祉課
目標	–		

事業実施状況

・障害者施設からの物品優先調達
・障害者就労・生活支援事業
・障害者の職場体験実習の実施
・障害者の就労環境づくり
・農福連携の推進等による障害者の就労機会の拡大

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策	9	取組	4	番号	再	事務事業	**移住推進事業<再掲22-2-1>**

目的	移住に関する相談活動や情報提供などにより、移住等を促進します。	担当課	観光交流課
目標	–		

事業実施状況

・移住に関する情報収集(随時)、提供(随時・メルマガ28回)
・移住に関する相談の実施(134人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策	9	取組	4	番号	再	事務事業	**女性活躍推進事業<再掲22-3-1>**

目的	育児・介護休業制度等の周知や意識啓発などにより、男女がともに仕事と家庭生活が両立できる環境づくりを進めます。	担当課	市民活動課
目標	–		

事業実施状況

・各種審議会等への女性の登用促進(33.8%)
・女性活躍に関する講座の開催(2回36人)
・ワーク・ライフ・バランス啓発資料等の作成・配布(2,106事業所)
・帯広市役所版イクボス宣言の試行実施
・男女共同参画専門員の配置

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策	10	取組	1	番号	1	事務事業	**体験・滞在型観光推進事業**

目的	管内町村などと連携し、自然や農業、食を活かした体験・滞在型観光を進めます。	担当課	観光交流課
目標	十勝のアウトドア観光消費額について861百万円を目指します。		

事業実施状況

・自然体験観光推進事業の実施(ヤマメ・ニジマス放流1回)
・地域資源を活かした体験メニューの充実(サイクルイベント1回)
・十勝アウトドアDMOの運営支援
・アウトドア観光情報の提供

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	36,597		
特定財源	17,754		
一般財源	18,843		

指標名	十勝のアウトドア観光消費額	単位	百万円

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
775.7		811.5		835.9		861.0
		299.9				

評価検証 R2年度の十勝のアウトドア観光消費額は299.9百万円であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症の拡大により、観光需要が大きく低減したことなどが要因であると考えます。

施策	10	取組	1	番号	2	事務事業	**三大まつり等開催事業**

目的	各種イベントにおいて十勝の魅力を発信することにより、にぎわいの創出や交流人口の拡大を図ります。	担当課	観光交流課
目標	帯広三大まつりの来場者数の増加を目指します。		

事業実施状況

・三大まつり(平原まつり中止、菊まつり規模縮小・来場者3,432人、氷まつり規模縮小・来場者5,200人)への支援
・地域イベントへの協力、支援

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	29,311		
特定財源	875		
一般財源	28,436		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 R2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、三大まつりをはじめ各種イベントが中止・縮小開催となったことから、来場者数は大きく減少しており、目標達成に向けあまり進捗していません。今後、感染対策を考慮した開催方法やまつり全体のあり方について関係機関と連携しながら検討していく必要があると考えます。

施策	10	取組	1	番号	3	事務事業	**地域観光圏連携推進事業**

目的	地域観光圏と連携し、広域観光ルートの形成を図ります。	担当課	観光交流課
目標	全道外国人観光客宿泊客延べ数道東シェアの向上を目指します。		

事業実施状況

・道内他地域との連携による広域観光の推進
・個人旅行等をターゲットとした都市間周遊を促すスマホスタンプラリーの実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	2,322		
特定財源	0		
一般財源	2,322		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 R2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、北海道全体の外国人観光客宿泊客延べ数の減少とともに、道東地区における宿泊客延べ数も減少しています。一方で、道内中核都市連携による道内の周遊を促すスタンプラリーの実施などにより、道東シェアは増加（R1：6.0%、R2：11.4%）しており、目標達成に向け進捗しています。

施策 10	取組 2	番号 1	事務事業 **アンテナショップ運営事業**

目的	とかち物産センターの運営を支援し、地域の特産品等の宣伝、販売を促進します。	担当課	経済企画課
目標	とかち物産センターの売上額について3.2億円を目指します。		

事業実施状況

・とかち物産センターへの運営支援

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	16,700		
特定財源	0		
一般財源	16,700		

指標名	とかち物産センター売上額	単位	億円

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値
3.2	3.2	0.2	3.2		3.2	

評価検証

R2年度のとかち物産センター売上額は0.2億円であり、目標を達成しませんでした。
ギフト商品の拡充によりインターネット受注高は増加傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染症の拡大により駅利用者数、観光客数が大きく減少したことが要因であると考えます。今後、帯広物産協会および会員企業による商品開発の促進をはかることはもとより、ネット販売用の商品ラインナップをさらに拡充するなど、多様な販売チャネルを活かした販売戦略を展開していく必要があると考えます。

施策 10	取組 2	番号 2	事務事業 **物産販路拡大推進事業**

目的	物産展への特産品出展などにより、特産品の販路拡大や地域のイメージアップを図ります。	担当課	経済企画課
目標	物産展等の取扱額について3.3億円を目指します。		

事業実施状況

・道内外での物産展の開催
・北海道の物産と観光展等への出展支援(20店)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	3,550		
特定財源	0		
一般財源	3,550		

指標名	物産展等取扱額	単位	億円

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値
3.0	3.3	1.4	3.3		3.3	

評価検証

R2年度の物産展等取扱額は1.4億円であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全国の物産展が相次いで中止・縮小となったことが要因であると考えます。今年度は28店の出展を予定しており、新たな商材の出品はもとより、オンライン北海道物産展への出展など、コロナ禍でも対応可能な物産展への関わり方を検討していく必要があります。

施策 10	取組 2	番号 3	事務事業 **観光プロモーション事業**

目的	国内外において、地域の魅力を活かした誘致宣伝活動を進め、観光客の誘致を図ります。	担当課	観光交流課
目標	市内観光入込客数について332万人を目指します。		

事業実施状況

・観光ポスター、パンフレットなどによる観光情報の発信
・地域おこし協力隊制度の活用による地域の魅力発信(フリーペーパー12回、スタンプラリー1回)
・観光客の誘致に向けたプロモーション活動の実施(現地プロモーション4件、メディアプロモーション8件)
・観光資源魅力向上事業の実施
・テレビドラマを活用した十勝のエリアプロモーション
・観光客誘致推進割引事業の実施(21,743泊)
・旅行商品造成・販売支援業務の実施(宿泊3,117泊、体験19件)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	100,340		
特定財源	78,434		
一般財源	21,906		

指標名	市内観光入込客数	単位	万人

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値
292.5	311.6	140.6	321.7		332.0	

評価検証

R2年度の市内観光入込客数は140.6万人であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外からの入込客数が減少したことが要因であると考えます。コロナ禍においては即効性のある取り組みを講じることが難しい状況であり、感染症の収束後に向けたプロモーション活動の継続的な取り組みが必要と考えます。

施策 10	取組 2	番号 4	事務事業 **コンベンション誘致推進事業**

目的	関係機関と連携した情報発信や開催支援により、コンベンションの誘致を進めます。	担当課	観光交流課
目標	コンベンション誘致件数の増加を目指します。		

事業実施状況

・コンベンションの誘致活動(商談会参加3回)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	3,830		
特定財源	0		
一般財源	3,830		

指標名	-	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

R2年度は、関係機関と連携した情報発信や開催支援によるコンベンションの誘致を進めてきたものの、新型コロナウイルス感染症の影響によるコンベンションの中止等により、コンベンション誘致件数の増加には至っておらず、目標達成に向けあまり進捗していません。今後もこの地域の特色を活かした継続的な誘致活動を展開していくことが必要と考えます。

施策	10	取組	2	番号	再	事務事業	**空港利用促進事業<再掲11-2-1>**

目的	関係機関と連携した航空会社等への要請活動やプロモーション活動等に取り組み、とかち帯広空港の利用促進を図ります。	担当課	観光交流課
目標	–		

事業実施状況

・航空路線の充実に向けた関係機関への要請活動の実施(4回)
・利用促進に向けたプロモーション活動の実施(2件)
・新たな路線就航のための調査・検討
・通訳の配置など受入体制の充実

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証: –

施策	10	取組	2	番号	再	事務事業	**スポーツ大会・合宿等誘致事業 <再掲15-3-1>**

目的	情報発信や関係団体と連携し、スポーツ大会・合宿等の誘致を進めるほか、プロスポーツの選手と触れ合う機会を創出します。	担当課	スポーツ課
目標	–		

事業実施状況

・各種全国・全道大会等の誘致、開催支援(16大会への支援)
・合宿の誘致(宿泊団体数216団体、宿泊者数3,897人)
・プロスポーツ等の誘致

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証: –

施策	10	取組	3	番号	1	事務事業	**観光インフォメーション推進事業**

目的	駅や空港等における観光や物産情報の提供などにより、観光客の利便性向上を図ります。	担当課	観光交流課
目標	観光情報センター利用者数について50,000人を目指します。		

事業実施状況

・とかち観光情報センターの運営(入場者数23,773人)
・空港観光案内所への運営支援
・馬の資料館を活用した情報発信

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	30,959		
特定財源	0		
一般財源	30,959		

指標名	観光情報センター利用者数	単位	人

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
49,517		50,000		50,000		50,000
		23,773				

評価検証: R2年度の観光情報センター利用者数は23,773人であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症の拡大により、観光入込客数が大きく減少したことが要因であると考えます。今後、SNSやホームページの活用といった非接触型の情報案内を強化するなど、社会環境等の変化に対応した情報発信の見直しが必要と考えます。

施策	10	取組	3	番号	2	事務事業	**観光景観等整備事業**

目的	景観等の整備を通し、観光客等に対する地域のイメージアップを図ります。	担当課	観光交流課
目標	地域の観光景観等を維持します。		

事業実施状況

・中心市街地へのWi-Fiスポットの維持管理への支援(利用件数12,741件)
・シーニックバイウェイ北海道「トカプチ雄大空間ルート」運営への支援
・観光振興に係る新たな財源の検討(会議開催4回)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,677		
特定財源	0		
一般財源	1,677		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証: R2年度は、中心市街地におけるWi-Fi環境の維持管理への支援やライトアップイベントなどに取り組み、観光受入環境、景観の維持を図っており、目標達成に向け進捗しています。

施策	10	取組	3	番号	3	事務事業	**観光推進団体支援事業**

目的	観光推進団体の育成、支援や連携を進め、観光客の受入環境の充実を図ります。	担当課	観光交流課
目標	観光スポットやモデルルートなどの情報を提供する帯広観光コンベンション協会HPのアクセス数の増加を目指します。		

事業実施状況

・帯広観光コンベンション協会への支援(HPアクセス数371,131回)
・十勝観光連盟など各種団体との連携

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	57,561		
特定財源	0		
一般財源	57,561		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証: R2年度は、観光推進団体の育成、支援や連携を通じ観光案内を実施したものの、新型コロナウイルス感染症の拡大による観光需要の減少に伴い、帯広観光コンベンション協会HPのアクセス数は減少しており、目標達成に向けあまり進捗していません。今後、SNSを活用した観光スポット紹介を試みるなど、ポストコロナも見据えた取り組みが必要と考えます。

施策	10	取組	3	番号	4	事務事業	**観光施設管理運営事業**

目的	観光施設を適正に維持管理し、観光客受入環境の充実を図ります。	担当課	観光交流課
目標	–		

事業実施状況

・観光施設の維持管理

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	33,403		
特定財源	236		
一般財源	33,167		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証: –

施策 10	取組 3	番号 5	事務事業 **北愛国交流広場管理運営事業**

目的	北愛国交流広場の適切な管理運営により、各種イベントの開催を促進します。	担当課	観光交流課
目標	–		

事業実施状況

・北愛国交流広場の管理運営

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	6,779		
特定財源	1,203		
一般財源	5,576		

指標名	–				単位	
基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 11	取組 1	番号 1	事務事業 **十勝港利活用促進事業**

目的	管内自治体と連携し十勝港の整備などを進め、十勝港の利活用を促進します。	担当課	企画課
目標	–		

事業実施状況

・港湾利活用促進に関する要望活動の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	0		
特定財源	0		
一般財源	0		

指標名	–				単位	
基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 11	取組 1	番号 2	事務事業 **主要幹線・広域道路整備促進事業**

目的	主要な幹線道路や高規格幹線道路の整備を促進し、広域的な交通ネットワークの形成を図ります。	担当課	都市政策課
目標	–		

事業実施状況

・高規格幹線道路の整備に関する要望活動の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	948		
特定財源	0		
一般財源	948		

指標名	–				単位	
基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 11	取組 1	番号 3	事務事業 **鉄道高速化等促進事業**

目的	石勝線・根室線の高速化等の促進のほか、維持充実に向けた要望活動などにより、鉄道輸送の利便性の向上を図ります。	担当課	都市政策課
目標	–		

事業実施状況

・石勝線・根室線の高速化の促進や、維持充実に向けた要望活動の実施
・JR北海道の線区見直し等に係る情報収集
・北海道新幹線の札幌延伸を見据えた圏域への波及効果などに係る情報収集

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	0		
特定財源	0		
一般財源	0		

指標名	–				単位	
基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 11	取組 1	番号 再	事務事業 地域公共交通活性化事業<再掲21-6-2>

目的	地域公共交通網形成計画に基づき、事業者等との連携によるバス交通の利便性の向上や活性化を図ります。	担当課	都市政策課
目標	–		

事業実施状況

・公共交通の利用促進

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 11	取組 2	番号 1	事務事業 空港利用促進事業

目的	関係機関と連携した航空会社等への要請活動やプロモーション活動等に取り組み、とかち帯広空港の利用促進を図ります。	担当課	観光交流課
目標	とかち帯広空港におけるチャーター便の増加を目指します。		

事業実施状況

・航空路線の充実に向けた関係機関への要請活動の実施(4回)
・利用促進に向けたプロモーション活動の実施(2件)
・新たな路線就航のための調査・検討
・通訳の配置など受入体制の充実

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	5,200		
特定財源	0		
一般財源	5,200		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 R2年度は、関係機関と連携し、航空会社等への要請活動やプロモーション活動等に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により航空需要が低下しており、目標達成に向けあまり進捗していません。今後感染症の収束を見据え、チャーター便増加に向けた取り組みを続けていくことが必要と考えます。

施策 11	取組 2	番号 2	事務事業 空港整備事業

目的	滑走路の改良など空港施設の整備により、空港機能の維持向上を図り、航空機の安全で安定的な運航を確保します。	担当課	観光交流課
目標	–		

事業実施状況

・空港施設整備に関する関係機関との調整協議
・滑走路等の改良工事

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,556,232		
特定財源	1,538,307		
一般財源	17,925		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 11	取組 2	番号 3	事務事業 空港施設維持補修事業

目的	滑走路などの空港施設を維持補修し、航空機の安全で安定的な運航を確保します。	担当課	観光交流課
目標	–		

事業実施状況

・滑走路、航空灯火等の維持補修

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	37,781		
特定財源	0		
一般財源	37,781		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 11	取組 2	番号 4	事務事業 空港管理運営事業

目的	とかち帯広空港を適切に管理運営し、航空機の安全で安定的な運航を確保します。	担当課	観光交流課
目標	–		

事業実施状況

・車両購入費の償還
・滑走路、航空灯火等の維持管理
・空港の警備、消防業務
・除排雪、消防車両の維持管理
・航空保安業務への支援
・北海道内7空港の一括運営委託に係る業務(空港運営事業の承継など)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	451,250		
特定財源	43,752		
一般財源	407,498		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 12	取組 1	番号 1	事務事業 **食育推進事業（小・中学校）（給食センター）**

目的	学校給食における地元産食材の活用や教科を通して食育を進め、食に関する正しい理解を促進します。	担当課	給食センター
目標	学校給食が好きだと思う児童生徒の割合について71.3%を目指します。		

事業実施状況

・食育・給食のPR
・学校給食における地元産食材導入の推進(地場産野菜の使用率65.4%)
・ふるさと給食（ふるさとの日、学校給食週間）の提供(5回)
・食育アンケートの実施
・姉妹都市交流給食の提供(2回)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,927		
特定財源	0		
一般財源	1,927		

指標名	学校給食が好きだと思う児童生徒の割合	単位	%

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値
69.8	70.3	65.1	70.8		71.3	

評価検証

R2年度の学校給食が好きだと思う児童生徒の割合は65.1%であり、目標を達成しませんでした。
学校給食を通じた食や地域産業に対する正しい理解を促進するため、ふるさと給食の提供や、栄養教諭による食育指導などを実施しましたが、新型コロナウイルス感染症対策により対面給食の禁止や、黙食などの各種制限が少なからず影響したものと考えます。今後、新メニューの開発などを通し学校給食の魅力向上を図っていく必要があると考えます。

施策 12	取組 1	番号 2	事務事業 **体験活動機会提供事業（学校地域連携課）**

目的	体験機会の提供などにより、青少年の社会性を育みます。	担当課	学校地域連携課
目標	子どもたちの豊かな人間性や社会性を養う体験活動の参加者数を維持します。		

事業実施状況

・中学生からのメッセージ事業の実施(発表者12人、来場者107人)
・十勝子ども雪合戦(中止)
・おびひろキッズタウン(中止)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	119		
特定財源	0		
一般財源	119		

指標名	-	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

R2年度は、中学生からのメッセージを実施しましたが、新型コロナウイルス感染症対策により、十勝子ども雪合戦やおびひろキッズタウンを中止したため、目標達成に向けあまり進捗していません。今後、事業実施方法や代替イベントについて、検討が必要であると考えます。

施策 12	取組 1	番号 3	事務事業 **青少年活動支援事業（学校地域連携課）**

目的	青少年育成団体などと連携し、体験活動や宿泊研修を通して、積極的に地域や学校での活動に取り組む青少年のリーダー養成を進めます。	担当課	学校地域連携課
目標	地域活動等に積極的に取り組むジュニアリーダーの養成事業への参加者数を維持します。		

事業実施状況

・ジュニアリーダーの養成(北海道地域子ども会リーダー研修会への派遣(中止)、ジュニアリーダーの育成支援)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	5		
特定財源	0		
一般財源	5		

指標名	-	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

R2年度は、中高校生を対象とした「あるふあの会」の部会と、ジュニアリーダーコースへの派遣は行いましたが、新型コロナウイルス感染症対策により、その他のジュニアリーダー養成事業を中止としたため、目標達成に向けあまり進捗していません。今後、事業実施手法の検討やこれまでの周知方法の見直しが必要であると考えます。

施策 12	取組 1	番号 4	事務事業 **おびひろ市民学推進事業**

目的	学校・家庭・地域が連携し、子どもの学びや育ちを支援することにより、地域への誇りや愛着を持つ子どもたちの育成を図ります。	担当課	学校教育指導課
目標	おびひろ市民学を通じて地域のことが好きになったと回答した子どもの割合の増加を目指します。		

事業実施状況

・全小中学校の児童生徒を対象とした「おびひろ市民学」の実施(市内40校で実施)
・各学校が独自に取り組む特色ある教育活動への支援
・総合的な学習の時間の取り組み等への支援

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	10,159		
特定財源	0		
一般財源	10,159		

指標名	-	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

R2年度は、市内全校において、帯広市の豊かな自然環境や歴史、伝統、文化、地域住民との関わりを通した「おびひろ市民学」を実施したことにより、市内全児童生徒に行った「帯広に関するアンケート」において、「帯広のことが好き」と肯定的な回答をした児童生徒の割合が、増加しており、目標達成に向け進捗しています。

施策 12	取組 1	番号 5	事務事業 **外国語指導講師派遣事業**

目的	外国人講師を派遣し、諸外国の言語・文化等への理解やコミュニケーション能力の育成を図ります。	担当課	学校教育指導課
目標	英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合おうとする子どもの割合の増加を目指します。		

事業実施状況

・小・中学校への外国語指導講師の派遣(3,630回)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	29,582		
特定財源	0		
一般財源	29,582		

指標名	-	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

R2年度は、市内全校へ外国人講師を派遣したことにより、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合おうとする子どもの割合が増加しており、目標達成に向け進捗しています。

施策 12	取組 1	番号 6	事務事業 **動画教材作成事業**

目的	地域素材を生かした動画教材を作成し、授業で活用することにより、地域理解、学習意欲や学力の向上を図ります。	担当課	教育研究所
目標	児童生徒の学習に対する意欲向上を促す動画教材の利用回数の増加を目指します。		

事業実施状況

・地域素材を生かした動画教材の作成(97本、利用回数33,851)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	502		
特定財源	0		
一般財源	502		

指標名	-	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

R2年度は、地域素材を生かした動画教材の作成や、副読本「おびひろ」に関連動画の情報を公開したほか、学校からのみであった閲覧環境を学校外の端末からも閲覧可能にしたことにより、利用回数が増加しており、目標達成に向け進捗しています。

施策 12	取組 2	番号 1	事務事業 **地域連携推進事業**

目的	学校施設や人材の活用により、地域住民に学習機会を提供し、地域との結びつきを深めます。	担当課	南商業高校
目標	地域と学校とのつながりを促進する学校開放事業の参加者数の増加を目指します。		

事業実施状況

・学校開放講座(中止)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	0		
特定財源	0		
一般財源	0		

指標名	-	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証

R2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため講座の実施を取りやめたため、目標達成に向けあまり進捗していません。
新型コロナウイルスの感染症の拡大状況によっては、学校に集まり学習する方式では実施が難しいことから、今後、オンラインでの開催などを検討する必要があると考えます。

施策 12	取組 2	番号 2	事務事業 **国際理解教育推進事業**

目的	個々の生徒の実力に応じた英語教育や外国の実社会に触れる機会の提供などにより、英語能力の向上や外国の生活文化の理解促進を図ります。	担当課	南商業高校
目標	-		

事業実施状況

・インターネットを活用した英語学習の推進
・マディソン市への生徒派遣(中止)
・外国語指導講師の配置(1人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	5,043		
特定財源	0		
一般財源	5,043		

指標名	-	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証

-

施策 12	取組 2	番号 3	事務事業 **キャリア教育推進事業**

目的	外部講師を活用した専門教育などにより、社会人・職業人として必要とされる能力の育成を図ります。	担当課	南商業高校
目標	-		

事業実施状況

・外部講師を活用した専門教育の推進
・情報機器の整備
・北海道高等学校商業教育フェアへの参加(中止)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	8,644		
特定財源	0		
一般財源	8,644		

指標名	-	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証

-

施策 12	取組 2	番号 4	事務事業 **社会人教育推進事業**

目的	ボランティア活動の推進など、課外活動を充実し、生徒の社会性の育成を図ります。	担当課	南商業高校
目標	-		

事業実施状況

・ボランティア活動の推進
・宿泊研修(中止)、見学旅行(延期)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	10		
特定財源	0		
一般財源	10		

指標名	-	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証

-

施策 12	取組 2	番号 5	事務事業 **学校運営事業**

目的	学校運営を適切に進め、良好な学習環境を提供します。	担当課	南商業高校
目標	-		

事業実施状況

・学校保健の推進
・学校運営に関する事務
・スクールカウンセラーの配置(1人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	22,320		
特定財源	79,128		
一般財源	△56,808		

指標名	-	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証

-

施策 12	取組 2	番号 6	事務事業 **学校施設維持管理事業（南商）**

目的	学校施設を適切に維持管理し、良好な学習環境を提供する。	担当課	南商業高校
目標	-		

事業実施状況

・学校施設の維持管理
・設備の改修等

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	49,741		
特定財源	15,425		
一般財源	34,316		

指標名	-	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証

-

施策 12	取組 2	番号 7	事務事業 **学習環境整備事業（南商）**

目的	学校図書や備品の整備等により、良好な学習環境を提供する。	担当課	南商業高校
目標	–		

事業実施状況

・学校図書の整備
・備品等の整備

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	6,741		
特定財源	34		
一般財源	6,707		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

–

施策 12	取組 3	番号 1	事務事業 **教員リーダー育成事業**

目的	人間力に裏打ちされたリーダーシップのある教師を育成し、教師全体の指導力向上を図ります。	担当課	教育研究所
目標	教員リーダー研修の参加者数について192人を目指します。		

事業実施状況

・研修会の開催(1回)
・参加者同士の交流、協議

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	188		
特定財源	0		
一般財源	188		

指標名	教員リーダー研修参加人数	単位	人

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
172		192		192		192
		24				

評価検証

R2年度の教員リーダー研修参加者数は24名であり、目標を達成しませんでした。
研修会を3講座開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策により2講座を中止したことが要因であると考えます。今後は、開催周知の徹底を図るとともに、対面実施に加えオンラインでの実施等の代替方法についても検討することが必要であると考えます。

施策 12	取組 3	番号 2	事務事業 **教育研究事業**

目的	教育に関する調査研究の成果を各学校に提供し、教師の指導力向上を図ります。	担当課	教育研究所
目標	教師の指導力を向上する研修講座（教育研究所主催）の参加者数について801人を目指します。		

事業実施状況

・教育研究所の運営
・調査研究紀要の発刊
・研修講座の開催(4回948人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	11,865		
特定財源	0		
一般財源	11,865		

指標名	研修講座への参加人数	単位	人

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
726		801		801		801
		948				

評価検証

R2年度の研修講座参加者数は948名であり、目標を達成しました。
教員のニーズに合った講座選定や、ZOOMを用いたオンライン研修などの工夫が効果的であったと考えます。

施策 12	取組 3	番号 3	事務事業 **学校図書館運営事業**

目的	図書資料の整備や学校図書館活性化事業の推進により、児童生徒の読書活動の充実を図ります。	担当課	学校教育課
目標	子どもの読書機会の増加及び興味関心の向上を目指します。		

事業実施状況

・学校図書館の運営・支援
・学校図書館図書資料の整備・拡充
・学校図書館活性化事業に対する支援(小学校26校、中学校14校)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	52,791		
特定財源	31,669		
一般財源	21,122		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

R2年度は、臨時休業期間があったため児童・生徒1人当たり貸出冊数は減少していますが、継続的に図書資料の整備拡充に努めていることにより蔵書率が増加していることに加え、図書館活性化事業の取り組みにより子どもたちの興味を引く展示の工夫等が行われていることなどから、目標に向け進捗しています。
本を読むのが好きな子供の割合は、小学校では増加しているものの、中学校では低下しています。中学校では子どもの活動が多様化することにより、相対的に本への興味が低下しているものと推測しており、今後はスマートフォンなどからも閲覧が可能な電子書籍の活用促進など多様な読書機会の確保が必要と考えます。

施策 12	取組 3	番号 4	事務事業 **学校保健事業**

目的	健康診断の実施や、関係団体と連携した学校保健推進体制を整備し、児童生徒の健康保持を促進します。	担当課	学校教育課
目標	–		

事業実施状況

・健康診断の実施
・学校内の衛生環境の確保
・スポーツ振興センター災害共済給付
・学校保健委員会設置の推進

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	65,389		
特定財源	6,570		
一般財源	58,819		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

–

施策 12	取組 3	番号 5	事務事業 **データベース教材作成事業**

目的	データベース教材を活用し、一人ひとりの学習達成状況に応じた指導を行い、学習意欲や学力の向上を図ります。	担当課	教育研究所
目標	児童生徒の学習に対する意欲向上を促すデータベース教材の利用回数の増加を目指します。		

事業実施状況

・データベース教材の作成(1本、利用回数47,395回)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	700		
特定財源	0		
一般財源	700		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

R2年度は、教職員のニーズに応じたデータベース教材の作成を行ったほか、学校からのみであった閲覧環境を学校外の端末からも閲覧可能にしたことにより、利用回数が増加しており、目標達成に向け進捗しています。

施策 12	取組 3	番号 6	事務事業 **学校施設維持管理事業（職員室CMI）**

目的	学校施設を適切に維持管理し良好な学習環境を提供します。	担当課	企画総務課
目標	-		

事業実施状況

・職員室用パソコンの維持管理

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	54,983		
特定財源	0		
一般財源	54,983		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

-

施策 12	取組 3	番号 7	事務事業 **文化系大会派遣支援事業**

目的	全国・全道大会への参加を支援し、文化系クラブの活動を促進します。	担当課	学校教育課
目標	-		

事業実施状況

・文化系クラブの全道・全国大会派遣への支援(0件)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	0		
特定財源	0		
一般財源	0		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

-

施策 12	取組 3	番号 8	事務事業 **体育系大会派遣支援事業**

目的	全国・全道大会への参加を支援し、体育系クラブの活動を促進します。	担当課	学校教育課
目標	-		

事業実施状況

・体育会系クラブの全道・全国大会派遣への支援(0件)
・帯広市中学校体育連盟への支援
・全道大会開催への支援

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,524		
特定財源	0		
一般財源	1,524		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

-

施策 12	取組 3	番号 9	事務事業 **教職員管理事業**

目的	教職員の人事管理や福利厚生などを適切に行い、教職員が能力を十分に発揮することができる環境を整備します。	担当課	学校教育課
目標	-		

事業実施状況

・教職員の人事、服務管理、福利厚生等
・教職員住宅の整備、維持管理等
・教職員の働き方改革の推進

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	9,643		
特定財源	2,342		
一般財源	7,301		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

-

施策 12	取組 3	番号 10	事務事業 **教育指導推進事業**

目的	教育理論等に関する調査・研究や普及を進め、教師の指導力向上を図ります。	担当課	学校教育指導課
目標	-		

事業実施状況

・各教科、部門の研究
・地域特性を活かした教材の研究
・各種講座等への参加

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	2,375		
特定財源	331		
一般財源	2,044		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

-

施策 12	取組 3	番号 11	事務事業 **学力検査事業**

目的	児童生徒の学力を調査・分析し、学習指導に活用することにより、学習意欲や学力の向上を図ります。	担当課	教育研究所
目標	–		

事業実施状況

・CRT学力検査の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	6,071		
特定財源	0		
一般財源	6,071		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 12	取組 3	番号 12	事務事業 **教育研修センター事業**

目的	十勝教育研修センターの活用により、職員研修を効果的・効率的に実施し、教師の指導力向上を図ります。	担当課	教育研究所
目標	–		

事業実施状況

・十勝教育研修センターの運営〈実施主体:十勝圏複合事務組合〉

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	8,366		
特定財源	0		
一般財源	8,366		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 12	取組 3	番号 13	事務事業 **学校給食事業**

目的	安全・安心な学校給食の提供により、健全な心と体の育成を図ります。	担当課	給食センター
目標	–		

事業実施状況

・学校給食の提供
・食物アレルギーへの対応

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	637,169		
特定財源	615,315		
一般財源	21,854		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 12	取組 3	番号 14	事務事業 **学校給食センター管理運営事業**

目的	学校給食センターを管理運営し、安全・安心な学校給食を提供します。	担当課	給食センター
目標	–		

事業実施状況

・学校給食センターの管理運営
・衛生管理・危機管理の徹底
・施設・設備の更新
・学校給食センターの運営手法の調査・研究

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	537,199		
特定財源	26,555		
一般財源	510,644		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 12	取組 3	番号 15	事務事業 **食育推進事業（小・中学校）（学校教育指導課）**

目的	学校給食や教科を通して食育を進め、食に関する正しい理解を促進します。	担当課	学校教育指導課
目標	朝食を毎日食べている子どもの割合の増加を目指します。		

事業実施状況

・栄養教諭、食育指導専門員等による食育指導(432回)
・食育、給食のPR

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	5,313		
特定財源	0		
一般財源	5,313		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証 R2年度は、市内全校に栄養教諭及び食育指導専門員による食育指導を実施しましたが、朝食を毎日食べている子どもの割合が減少し、目標達成に向けあまり進捗していません。新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休校により、生活習慣に乱れが生じたことなどが要因であると考えます。今後も「おびひろ市民学」における「つながる食育」の取り組みを通し生活習慣を含めた食育指導の充実をはかる必要があると考えます。

施策 12	取組 4	番号 1	事務事業 **学校・家庭・地域連携事業（学校支援地域本部）**

目的	地域全体で子どもを応援する仕組みにより、各学校単位の取り組みの充実やボランティア等の支援、各取り組みのつながり強化を図ります。	担当課	学校地域連携課
目標	学校地域ボランティア参加者数の増加を目指します。		

事業実施状況

・学校支援地域本部の活動支援
・学校支援ボランティアの育成
・帯広市学校・家庭・地域協働会議の運営
・こども学校応援地域基金の管理
・登下校時の交通事故や不審者から児童を守る安全対策の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	28,542		
特定財源	25,373		
一般財源	3,169		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証 R2年度は、学校と地域とをつなぐ人材を育成するため、地域コーディネーター向けの研修会を開催しましたが、新型コロナウイルス感染症対策により、学校と地域との連携した活動が縮小・中止されたことから、目標達成に向けあまり進捗していません。今後、感染防止策を実施しつつ活動することが必要であると考えます。

施策 12	取組 4	番号 2	事務事業 **学校・家庭・地域連携事業（子どもの居場所づくり）**

目的	放課後等に児童が安心して安全に過ごせる場を設け、地域の人との交流を通して、豊かな人間性や社会性を養います。	担当課	学校地域連携課
目標	放課後の居場所づくり活動に関わるボランティア登録者数を維持します。		

事業実施状況

・放課後子ども広場の開催(参加ボランティア数延べ838名、実施回数169回)
・居場所づくりに関わるボランティアの養成(参加者29名)
・放課後子ども広場運営委員会の開催

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	3,077		
特定財源	3,077		
一般財源	0		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証

R2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、ボランティアを辞退した人やPR活動の中止、ボランティア養成講座で一般参加者を募集しなかったことにより、ボランティア登録者数が減少しています。また、放課後子ども広場の実施についても、1学期の開催を中止したことから開催回数が減少しており、目標達成に向けあまり進捗していません。今後、コロナ禍における実施手法やPR活動を検討していく必要があると考えます。

施策 12	取組 4	番号 3	事務事業 **コミュニティ・スクール等推進事業**

目的	学校運営協議会の活用により、学校と家庭・地域住民との協働による特色ある学校づくりを進めます。	担当課	学校地域連携課
目標	地域と一体となって特色ある学校づくりを進めるコミュニティ・スクールの導入校の増加を目指します。		

事業実施状況

・コミュニティ・スクールの普及啓発(CS通信の発行 年3回)
・コミュニティ・スクールの導入(4校)、運営
・学校運営に関する協議
・学校評議員制度の活用

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,513		
特定財源	0		
一般財源	1,513		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証

R2年度は、コミュニティ・スクール通信を発行し周知啓発を行ったほか、地域との協議により新たに4校で導入が進むなど、目標達成に向け進捗しています。

施策 12	取組 4	番号 4	事務事業 **通学路安全確保事業**

目的	通学路の点検などを行い、児童生徒の登下校における安全の確保を図ります。	担当課	学校地域連携課
目標	-		

事業実施状況

・通学路の安全点検
・通学路安全対策連絡協議会の運営

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	0		
特定財源	0		
一般財源	0		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証

-

施策 12	取組 4	番号 5	事務事業 **子ども安全ネットワーク運用事業**

目的	不審者情報や災害情報の保護者への迅速な提供により、適切な対応を促し、児童生徒の安全確保を図ります。	担当課	学校教育指導課
目標	保護者の子ども安全ネットワークへの登録率の増加を目指します。		

事業実施状況

・情報通信機器による連絡網「子ども安全ネットワーク」の運用(9709人、99.1%)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,891		
特定財源	0		
一般財源	1,891		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証

R2年度は、各学校が新型コロナウイルス感染症に係る緊急連絡の方法として学校便り等を通じ、情報通信機器による連絡網「子ども安全ネットワーク」の周知及び登録の徹底を行ったことにより、登録率が増加しており、目標達成に向け進捗しています。

施策 12	取組 4	番号 6	事務事業 **幼保小中連携推進事業**

目的	幼稚園・保育所と小学校、小学校と中学校の連携を推進し、教育活動の円滑な接続を図ります。	担当課	学校教育指導課
目標	エリア・ファミリー構想をもとに、エリア内における幼保小及び小中の連携を推進し、小中学校９年間を見通した授業を行っている学校の割合を増加します。		

事業実施状況

・異校種連携の啓発
・地区レベルにおける協議の場の開催
・幼稚園・保育所と小学校、小学校と中学校のなめらかな接続をはかるスタートカリキュラムや、教育課程に位置付けた教育の推進
・小中一貫教育の推進

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	750		
特定財源	0		
一般財源	750		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証

R2年度は、全学校が新型コロナウイルス感染症対策により教育活動が制限されたため、帯広市小中一貫教育推進基本方針及びエリア・ファミリー構想に基づく取り組みが十分にできず、目標達成に向けあまり進捗していません。今後、ICTの活用等によりコロナ禍でも持続可能な授業参観や授業交流を行うことが必要であると考えます。

施策 12	取組 4	番号 7	事務事業 **通学区域管理事業**

目的	地域の実情等を踏まえ通学区域を設定し、適切な就学環境を整備します。	担当課	学校地域連携課
目標	-		

事業実施状況

・通学区域の設定、見直し

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	0		
特定財源	0		
一般財源	0		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証

-

事務事業評価表

施策	12	取組	5	番号	1	事務事業	**就学資金貸付事業**

目的	経済的理由により、高等学校、専門学校、大学への就学が困難な人に修学資金を貸付し、進学機会の確保を図ります。	担当課	学校教育課
目標	–		

事業実施状況

・帯広市奨学資金の貸与(新規13件、継続23件)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	22,486		
特定財源	32,574		
一般財源	△10,088		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策	12	取組	5	番号	2	事務事業	**特別支援教育推進事業**

目的	インクルーシブ教育の考え方に基づき、多様な学びの場を整備し、児童生徒一人ひとりの特性や状況にあった教育を受けられる環境を整備します。	担当課	学校教育課
目標	–		

事業実施状況

・特別支援学級の開設
・特別支援学級の環境整備
・通級指導教室開設に向けた検討
・特別な配慮を要する児童生徒に対応した環境整備

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	978		
特定財源	0		
一般財源	978		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策	12	取組	5	番号	3	事務事業	**特別支援教育支援員配置事業**

目的	障害や学習において困り感を抱えた児童生徒が、一人ひとりの特性や状況にあった教育を受けられる環境を整備します。	担当課	学校教育課
目標	–		

事業実施状況

・助手(1人)特別支援教育補助員の配置(61人)
・生活介助員の配置(31人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	140,833		
特定財源	6,287		
一般財源	134,546		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策	12	取組	5	番号	4	事務事業	**教育支援委員会運営事業**

目的	障害や学習において困り感を抱えた児童生徒が、一人ひとりの特性や状況にあった環境で教育を受けられるよう、適切な就学先を勧奨します。	担当課	学校教育課
目標	–		

事業実施状況

・教育支援委員会による教育相談及び就学先の勧奨の実施(教育相談件数495件)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,603		
特定財源	0		
一般財源	1,603		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策	12	取組	5	番号	5	事務事業	**小規模特認校推進事業**

目的	農村地域の小規模校の特色を活かした教育の機会を提供します。	担当課	学校教育課
目標	–		

事業実施状況

・小規模特認校制度利用の推進

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	0		
特定財源	0		
一般財源	0		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策	12	取組	5	番号	6	事務事業	**児童生徒支援事業**

目的	相談員等を学校に配置し、児童生徒の心の問題への対応を図るほか、いじめや不登校、非行の相談・指導を行い、未然防止や早期解決を図ります。	担当課	学校教育指導課
目標	不登校児童生徒の減少を目指します。		

事業実施状況

・こころの教室相談員の配置(6人)
・家庭訪問相談員の配置(5人)
・スクールソーシャルワーカーの配置(2人)
・教育相談員の配置(1人)
・適応指導教室の運営
・いじめ、不登校、非行等に関する対策委員会の運営

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	19,895		
特定財源	366		
一般財源	19,529		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: R2年度は、教育相談員等の配置や適応指導教室の運営等の様々な支援に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症への不安により欠席が増加したため、目標達成に向けあまり進捗していません。今後、ICTを活用した学習活動の実施によりコロナ不安で登校できない児童生徒の出席の取扱いができる環境づくりを進めることが必要であると考えます。

施策 12	取組 5	番号 7	事務事業 **高等学校間口対策事業**

目的	PTAや中学校などと連携した高等学校の間口確保に向けた要望活動などにより、希望する地元の高等学校などへ進学できる機会の確保を図ります。	担当課	企画総務課
目標	–		

事業実施状況

・帯広市高等学校間口対策協議会の開催
・北海道教育委員会への要請活動

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	0		
特定財源	0		
一般財源	0		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 12	取組 5	番号 8	事務事業 **学校施設地域開放推進事業**

目的	体育館などの学校施設を地域に開放し、施設を有効に活用するとともに、学校と地域の結びつきを深めます。	担当課	企画総務課、学校教育課
目標	–		

事業実施状況

・スポーツ、文化、地域活動等への施設開放
・学校図書館の土曜開放

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	127,836		
特定財源	0		
一般財源	127,836		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 12	取組 5	番号 9	事務事業 **学校施設維持管理事業（小・中学校）**

目的	学校施設を適切に維持管理し良好な学習環境を提供します。	担当課	企画総務課、学校地域連携課
目標	–		

事業実施状況

・学校施設の保守点検
・日常警備
・学校プールの維持管理
・リンクの造成委託
・日常経費支出
・学校内ネットワークの維持管理
・セキュリティ対策
・学習機会保障のための物品、機材等の整備

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	653,996		
特定財源	114,610		
一般財源	539,386		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 12	取組 5	番号 10	事務事業 **学習環境整備事業（小・中学校）**

目的	学校の備品等の維持・整備を進め、良好な学習環境を提供します。	担当課	企画総務課
目標	–		

事業実施状況

・小中学校児童生徒用机、椅子の賃貸借及び維持管理
・消耗品及び備品等による学習環境の維持、整備

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	20,775		
特定財源	0		
一般財源	20,775		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 12	取組 5	番号 11	事務事業 **義務教育施設整備事業**

目的	校舎、体育館の改築や長寿命化等を進め、安全で安心して学ぶことができる環境を整備します。	担当課	企画総務課、学校地域連携課
目標	–		

事業実施状況

・学校トイレの改修及び洋式化(6校)
・防災機能強化
・煙突用断熱材の除去
・学校施設の長寿命化計画に基づく施設の維持管理
・大空地区義務教育学校の整備

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,527,104		
特定財源	1,380,502		
一般財源	146,602		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 12	取組 5	番号 12	事務事業 **学校環境整備事業**

目的	学校施設の修繕、学校の備品等の整備・管理など、維持を進め、良好な学習環境を提供します。	担当課	企画総務課、学校地域連携課
目標	–		

事業実施状況

・学校施設の修繕
・設備・機器類の修繕
・屋外教育環境の整備

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	70,290		
特定財源	500		
一般財源	69,790		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 12	取組 5	番号 13	事務事業 **小・中学校適正配置推進事業**

目的	小・中学校の適正配置を進め、適正な学校規模の維持を図り、良好な教育環境を確保します。	担当課	学校地域連携課
目標	–		

事業実施状況

・大空中学校適正規模の確保等に関する実施計画に基づく取り組み
・市民への説明
・帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画の推進

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	71		
特定財源	0		
一般財源	71		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 12	取組 5	番号 14	事務事業 **就学援助費等支給事業**

目的	経済的な困難を抱える世帯や、特別支援学級に通う児童生徒の保護者への支援により、誰もが等しく教育を受けることができる機会を確保します。	担当課	学校教育課
目標	–		

事業実施状況

・就学援助費の支給
・特別支援教育就学奨励費の支給

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	190,327		
特定財源	3,985		
一般財源	186,342		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 12	取組 5	番号 15	事務事業 **障害者高等学校等就学支援事業**

目的	特別支援学校高等部等に在学している生徒の保護者に対する経済的支援により、高等教育機関等への進学を促進します。	担当課	学校教育課
目標	–		

事業実施状況

・障害者高等教育補助金の交付(交付実績90名)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	2,700		
特定財源	0		
一般財源	2,700		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 12	取組 5	番号 16	事務事業 **私立高等学校支援事業**

目的	私立高等学校の教材教具の整備を支援し、教育環境の充実をはかります。	担当課	企画総務課
目標	–		

事業実施状況

・私立学校教材教具整備費補助金の交付

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	3,873		
特定財源	0		
一般財源	3,873		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 12	取組 5	番号 17	事務事業 **スクールバス運行事業**

目的	遠距離通学や校外活動における交通手段を確保し、安心して通学・活動できる環境を整備します。	担当課	学校教育課
目標	–		

事業実施状況

・農村地区におけるスクールバスの運行
・肢体不自由児学級在籍児童、生徒に係るタクシーの運行
・プール学習、校外活動等におけるバス送迎

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	125,441		
特定財源	0		
一般財源	125,441		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 12	取組 5	番号 18	事務事業 **教材教具整備事業**

目的	教材教具の整備により、児童生徒が充実した教育を受けることができる教育環境の整備を進めます。	担当課	学校教育課
目標	–		

事業実施状況

・教材用消耗品、備品の整備、維持管理
・副読本の作成
・ピアノ等の維持管理
・大型提示装置(116台)、実物投影機の整備(95台)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	189,085		
特定財源	25,912		
一般財源	163,173		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 12	取組 5	番号 19	事務事業 **ICT教育環境整備事業**

目的	ICT機器の整備により、児童生徒が充実した教育を受けることができる教育環境の整備を進めます。	担当課	学校教育課
目標	–		

事業実施状況

・教育用パソコン・タブレット端末の整備、維持管理(児童生徒用タブレット端末12,002台、教職員用端末733台)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	753,715		
特定財源	382,344		
一般財源	371,371		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 12	取組 0	番号 1	事務事業 **教育委員会運営事業**

目的	教育委員会運営に関する事務を進め、地域の実情に応じた教育行政を推進します。	担当課	企画総務課、学校地域連携課、学校教育課
目標	–		

事業実施状況

・教育委員会会議の開催、運営
・教育委員会事務局の運営
・学生支援交付金の実施(1人1万円 1,455人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	60,912		
特定財源	14,963		
一般財源	45,949		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 12	取組 0	番号 2	事務事業 **教育基本計画推進事業**

目的	教育基本計画に基づき、教育に関する施策を総合的に推進します。	担当課	企画総務課
目標	–		

事業実施状況

・教育基本計画の策定及び進捗管理
・教育に関する点検、評価報告
・教育行政執行方針の策定
・教育懇談会の開催

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	18		
特定財源	0		
一般財源	18		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 13	取組 1	番号 1	事務事業 **学習機会提供事業（生涯学習文化課）**

目的	学習情報のほか、生涯にわたって学ぶ様々な機会を提供します。	担当課	生涯学習文化課
目標	市民に学びの機会を提供する市民大学講座での学習の満足度について94.0%を目指します。		

事業実施状況

・市民大学講座の実施(20講座612人)
・生涯学習情報誌「まなびや」の発行(年4回)
・高齢者学級の中止
・プラザエンジョイスクールの実施(前期中止、後期481人)
・放送大学の実施(学習室9人利用)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	843		
特定財源	18		
一般財源	825		

指標名	市民大学講座での学習の満足度	単位	%
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値
94.0	94.0 / 96.6	94.0	94.0

評価検証 R2年度の市民大学講座での学習の満足度（「満足」「やや満足」と答えた人の割合）は96.6%であり、目標を達成しました。
アンケートで頂いた意見等を参考に、より魅力的な講座を企画したことが効果的であったと考えます。

施策 13	取組 1	番号 2	事務事業 **子ども向けプログラム推進事業（図書館）**

目的	おはなし会や、子ども向け図書の紹介などにより、子どもが幼児期から読書に親しむことができる環境づくりを進めます。	担当課	図書館
目標	子ども向けおはなし会の参加者数について1,964人を目指します。		

事業実施状況

・図書館等での子どもを対象としたおはなし会の実施(43回963人)
・子育て応援バッグ(絵本セット)の貸出(962セット)
・ブックリスト作成(0-1歳児童向け8,000部)、健診時に随時配布

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	297		
特定財源	0		
一般財源	297		

指標名	おはなし会(子ども向け)の参加者数	単位	人
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値
1,964	1,964 / 963	1,964	1,964

評価検証 R2年度のおはなし会の参加者数は963人であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症対策のため、4～8月の開催中止や市民の外出自粛が影響したものと考えます。コロナ禍の状況では多くの参加者を見込むことが難しいことから、今後も定期的におはなし会の動画を配信する等、読書を身近に感じ親しめる機会を作っていくことが必要と考えます。

施策 13	取組 1	番号 3	事務事業 **図書館・学校連携事業**

目的	学校及び児童保育センターへの貸出や、図書館司書による学校図書館への支援を進め、児童生徒の読書活動を推進します。	担当課	図書館
目標	学校・児童保育センターへの図書のセット貸出件数について595件を目指します。		

事業実施状況

・学校及び児童保育センターへの図書のセット貸出(838セット(ぶっくーる便667、貸出セット171))
・調べ学習へのサポート
・学校図書館クリニック(1校5名)、リユース会(1回17団体28名)の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	605		
特定財源	0		
一般財源	605		

指標名	学校・児童保育センターへの図書のセット貸出件数	単位	件
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値
595	595 / 838	595	595

評価検証 R2年度の学校・児童保育センターへの図書のセット貸出件数は838件であり、目標を達成しました。
新型コロナウイルス感染症拡大の影響から学校の夏休みと冬休みの期間が短縮となり、7月、12月のぶっくーる便の貸出件数が前年度より166件増となったことが要因であると考えます。

施策 13	取組 1	番号 4	事務事業 **学習機会提供事業（図書館）**

目的	各種講座や講演会などを開催し、市民が図書や各種資料を学習活動等に利用することができる機会を提供します。	担当課	図書館
目標	市民の読書活動の推進や図書資料等の学習活動への活用につなげる講座の参加者数について438人を目指します。		

事業実施状況

・映画会や講座・講演会等による学習機会の提供(図書館主催6回130人参加)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	0		
特定財源	0		
一般財源	0		

指標名	市民向け講座の参加者数	単位	人

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
438	438		438		438	
	130					

評価検証

R2年度の市民向け講座の参加者数は130人であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症対策のため、市民の外出自粛やこどもの読書週間や読書週間時期の臨時閉館により、事業が中止となったことが大きな要因であると考えます。今後も、コロナ禍では多くの参加者を見込むことが難しいことから、オンラインを活用した講座を実施する等、新たな手法を検討していくことが必要と考えます。

施策 13	取組 1	番号 5	事務事業 **図書館地域サービス運営事業**

目的	移動図書館バスの運行やコミュニティセンター図書室等への配本により、地域における図書館サービスの提供を図ります。	担当課	図書館
目標	移動図書館やコミュニティセンター図書室への配本など地域における図書館サービス体制を維持します。		

事業実施状況

・移動図書館バスの運行
・市民文庫マスターの運営
・コミュニティセンター図書室等への配本

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	3,136		
特定財源	0		
一般財源	3,136		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

R2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、移動図書館バスの運休や、コミュニティセンター図書室の蔵書の入替が延期となりましたが、年間を通じて利用者のニーズに合った図書の選書の充実に力を入れることで、利用促進をはかっており、目標達成に向け進捗しています。

施策 13	取組 1	番号 6	事務事業 **体験活動機会提供事業（児童会館）**

目的	児童会館において、科学教室など幼少期から科学や文化に親しむ機会を提供します。	担当課	児童会館
目標	児童会館利用者数について150,012人を目指します。		

事業実施状況

○児童会館の利活用50,476人
・科学関連事業の開催16,039人(展示室11,000人、プラネタリウム4,085人、科学教室・工作教室等46回954人)
・文化関連事業の開催1,159人(人形劇、将棋、囲碁等)
・わくわくこどもまつり等964人(4回)
・宿泊学習等の実施2,520人(64校3団体)
・子育て支援の施設利活用5,551人(もっくん教室8回85人、もっくん広場入場者5,466人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	3,105		
特定財源	212		
一般財源	2,893		

指標名	児童会館利用者数	単位	人

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
144,874	150,012		150,012		150,012	
	50,476					

評価検証

R2年度の児童会館利用者数は50,476人であり、目標を達成しませんでした。
プラネタリウムの新番組導入などに取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症対策に伴う臨時休館やイベントの中止、事前予約制や定員制限の導入、市民の外出自粛などが要因であると考えます。今後はプラネタリウムの更新等による機能の充実や少人数制行事の拡充などを通し、利用の促進を図っていくことが必要と考えます。

施策 13	取組 1	番号 7	事務事業 **学習機会提供事業（百年記念館）**

目的	博物館活動・創造活動に関する各種の展示・講座等を開催し、市民の学習活動を支援します。	担当課	百年記念館
目標	百年記念館における事業参加者数（講座、企画展等の入室者数）について13,090人を目指します。		

事業実施状況

・博物館講座(10回開催 3件中止 269名)
企画展(1件開催 1件中止 1,945名)等
の実施
・美術分野の展示(2件2,099名)
・創造活動講座の実施(24回574名)
・その他講座等の開催(298名)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	4,085		
特定財源	404		
一般財源	3,681		

指標名	事業参加者数(講座、企画展等の入室者数)	単位	人

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
9,844	13,090		13,090		13,090	
	5,185					

評価検証

R2年度の事業参加者数は5,185人であり、目標を達成しませんでした。
多種多様な講座や企画展等を実施し、市民の学習活動を支援しましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、講座の開催中止や参加者の人数制限を行ったことや、市民の利用自粛により参加者数が減少したことが要因であると考えます。今後は、講座参加者等への感染予防を徹底するとともに、講座に参加できなかった方向けに資料や講座情報をwebサイトで提供するなど、新たな学習機会の提供に取り組むことが必要と考えます。

施策 13	取組 1	番号 8	事務事業 **学習機会提供事業（動物園）**

目的	飼育体験など動物や自然環境について学ぶ機会を提供し、市民の学習活動を支援します。	担当課	動物園
目標	動物園における教育講座、体験講座の参加者数について407人にします。		

事業実施状況

・体験事業(1日飼育係・裏側探検等10回201人
・教育事業(スポットガイド・おびZoo寺子屋等 6回113人、web動物園塾 2回448人)
・人材育成(実習受入等)4回9人
・帯広畜産大学連携事業(サテライトブース設置・共同研究等)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	3,004		
特定財源	0		
一般財源	3,004		

指標名	教育講座、体験講座の参加者数	単位	人

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
402		407		407		407
		335				

評価検証：R2年度の教育講座、体験講座の参加者数は335人であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症対策に伴い、予定していた講座を開催中止としたことや人数制限などを行ったことが要因であると考えます。定員に対して応募者数が多い現状を踏まえ、今後は、オンラインを活用した講座の開催など、参加機会の工夫を行うことが必要と考えます。

施策 13	取組 1	番号 9	事務事業 **図書館間ネットワーク事業**

目的	図書館間の資料の相互貸借や、十勝管内在住者への広域貸出しにより、利用者サービスの向上を図ります。	担当課	図書館
目標	蔵書にない図書の貸出を可能にする他図書館との相互貸借体制を維持します。		

事業実施状況

・相互貸借業務の実施
・十勝管内在住者への広域貸出しの実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	308		
特定財源	0		
一般財源	308		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証：R2年度は、新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館に伴い、サービスの提供ができない期間がありましたが、再開後は蔵書をしていない図書の相互貸借（貸出1,295冊、借受957冊）による図書の貸出・借受も着実に進めることで、利用者のサービス向上に努めており、目標達成に向け進捗しています。

施策 13	取組 1	番号 10	事務事業 **とかちプラザ管理運営事業**

目的	とかちプラザの管理運営により、市民の生涯学習活動等の場を提供します。	担当課	生涯学習文化課
目標	-		

事業実施状況

・とかちプラザの管理運営

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	217,090		
特定財源	23,437		
一般財源	193,653		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証：-

施策 13	取組 1	番号 11	事務事業 **とかちプラザ施設整備事業**

目的	とかちプラザの適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。	担当課	生涯学習文化課
目標	-		

事業実施状況

・とかちプラザの改修、修繕

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	21,980		
特定財源	17,000		
一般財源	4,980		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証：-

施策 13	取組 1	番号 12	事務事業 **郷土資料収集・保存整備事業**

目的	帯広・十勝等に関する各種資料の収集・整理・保存を進め、郷土の歴史や文化について市民の学習・調査研究に提供します。	担当課	図書館
目標	-		

事業実施状況

・郷土資料の収集・整理・保存

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	102		
特定財源	0		
一般財源	102		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証：-

施策 13	取組 1	番号 13	事務事業 **図書資料・刊行物等整備事業**

目的	蔵書等の整備や新聞・雑誌等の収集により、社会動向等の情報を市民へ提供します。	担当課	図書館
目標	-		

事業実施状況

・蔵書等の整備
・図書館図書整備基金の管理
・新聞、雑誌、広報、官報等の収集
・資料の整備及び製本
・図書館雑誌スポンサー制度の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	64,414		
特定財源	14,250		
一般財源	50,164		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証：-

施策 13	取組 1	番号 14	事務事業 **図書館管理運営事業**
目的	図書館の管理運営により、市民が図書や各種資料を学習活動等に利用することができる環境を提供します。	担当課	図書館
目標	–		

事業実施状況

・図書館の管理運営
・図書館情報システムの運営管理

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	165,882		
特定財源	822		
一般財源	165,060		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 13	取組 1	番号 15	事務事業 **図書館施設整備事業**
目的	図書館の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。	担当課	図書館
目標	–		

事業実施状況

・施設の改修、修繕

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	10,101		
特定財源	8,900		
一般財源	1,201		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 13	取組 1	番号 16	事務事業 **児童会館施設整備事業**
目的	児童会館の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。	担当課	児童会館
目標	–		

事業実施状況

・施設の改修、修繕
・科学展示室、プラネタリウムの更新

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	16,710		
特定財源	2,200		
一般財源	14,510		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 13	取組 1	番号 17	事務事業 **児童会館管理運営事業**
目的	児童会館の管理運営により、幼少期から科学に親しむことができる環境など多様な体験活動の機会を提供します。	担当課	児童会館
目標	–		

事業実施状況

・児童会館の管理運営

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	51,649		
特定財源	1,122		
一般財源	50,527		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 13	取組 1	番号 18	事務事業 **野草園管理運営事業**
目的	野草園の管理運営により、自然観察や環境学習など体験活動の場を提供します。	担当課	児童会館
目標	–		

事業実施状況

・野草園の管理運営

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	2,391		
特定財源	0		
一般財源	2,391		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 13	取組 1	番号 19	事務事業 **農業体験実習館管理運営事業**
目的	岩内自然の村の管理運営により、自然体験活動の場を提供します。	担当課	児童会館
目標	–		

事業実施状況

・岩内自然の村の管理運営

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	7,770		
特定財源	103		
一般財源	7,667		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策	13	取組	1	番号	20	事務事業	**百年記念館管理運営事業**

目的	百年記念館の管理運営により、市民が郷土の自然・歴史等を学び、創造活動ができる環境を提供します。	担当課	百年記念館
目標	–		

事業実施状況

・百年記念館の管理運営
・帯広百年記念館運営審議会の開催

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	46,596		
特定財源	3,162		
一般財源	43,434		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策	13	取組	1	番号	21	事務事業	**百年記念館施設整備事業**

目的	百年記念館の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。	担当課	百年記念館
目標	–		

事業実施状況

・施設の改修、修繕

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	14,596		
特定財源	9,800		
一般財源	4,796		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策	13	取組	1	番号	22	事務事業	**動物園管理運営事業**

目的	動物園の管理運営により、市民が動物や自然等について学ぶための環境を提供します。	担当課	動物園
目標	–		

事業実施状況

・動物園の管理運営
・動物園のプロモーション動画の制作

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	129,538		
特定財源	59,111		
一般財源	70,427		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策	13	取組	1	番号	23	事務事業	**動物園施設整備事業**

目的	動物園の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。	担当課	動物園
目標	–		

事業実施状況

・施設及び遊具の改修、修繕

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	29,032		
特定財源	27,933		
一般財源	1,099		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策	13	取組	2	番号	1	事務事業	**学習を通じたまちづくり支援事業**

目的	社会教育関係団体等による学習活動を支援し、学習を通じたまちづくりを促進します。	担当課	生涯学習文化課
目標	生涯学習推進委員会が企画・運営するコミュニティ講座の参加者数について24,400人を目指します。		

事業実施状況

・生涯学習推進委員会への支援(講座回数75回、参加者数4,155人)
・社会教育団体等への支援(市P連補助金850,000円)
・学生の社会参加(9日実施、参加者数2年生18人)※1年生未実施
・指導者登録(登録者数195人)
・成人の集い(延期)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	8,691		
特定財源	134		
一般財源	8,557		

指標名	コミュニティ講座の参加者数	単位	人
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値
23,423	24,400 / 4,155	24,400	24,400

評価検証: R2年度のコミュニティ講座の参加者数は4,155人であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症対策に伴い講座の開催中止や開催規模を縮小したことが要因であると考えます。今後もコロナ禍では多くの参加者を見込むことが難しいことから、事業の実施にあたっては屋外での講座を増やす等様々な手法を検討していくことが必要と考えます。

施策	13	取組	2	番号	2	事務事業	**図書館ボランティア活動推進事業**

目的	図書館におけるボランティア活動を推進し、施設の取り組みに活かします。	担当課	図書館
目標	図書館に関わるボランティア団体数について5団体を目指します。		

事業実施状況

・ボランティア活動への支援
5団体によるおはなし会の開催(40回924人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	97		
特定財源	0		
一般財源	97		

指標名	ボランティア団体数	単位	団体
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値
5	5 / 5	5	5

評価検証: R2年度の図書館のボランティア団体数は5団体であり、目標を達成しました。
新型コロナウイルス感染症対策に伴い、おはなし会の中止や感染対策を講じながらの事業実施となりましたが、ボランティア団体の意見を踏まえ、従来の事業に工夫を加え、新たな事業に転換するなど、活動の場づくりなどを行ったことが要因であると考えます。

施策 13	取組 2	番号 3	事務事業 **百年記念館ボランティア活動推進事業**

目的	博物館の活性化及び地域住民と博物館とをつなぐ役割を担うボランティア活動を推進し、施設の取り組みに活かします。	担当課	百年記念館
目標	百年記念館に関わるボランティア会員数について27人を目指します。		

事業実施状況

・収蔵資料の整理と活用(16回)
・独自事業の開催(3回)
・常設展示室解説

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	13		
特定財源	0		
一般財源	13		

指標名	ボランティア会員数	単位	人

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値
27	27	28	27		27	

評価検証

R2年度の博物館のボランティア会員数は28名であり、目標を達成しました。
ボランティア養成の取り組みを通じて、広くボランティアの意義を周知したことにより、会員の確保につながったことが要因であると考えます。

施策 13	取組 2	番号 4	事務事業 **博物館活動推進事業**

目的	自らが学び、その成果を活かすことができる環境づくりを進めます。	担当課	百年記念館
目標	郷土の歴史・文化に関わる展示をしている百年記念館常設展示室の入場者数について16,059人にします。		

事業実施状況

・学芸班の調査研究や研修参加(2回9名)
・博物館資料、美術品の収集、保管
・常設展示室の充実(AVコーナー)
・帯広百年記念館紀要発刊(第39号)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	6,354		
特定財源	4		
一般財源	6,350		

指標名	常設展示室入場者数	単位	人

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値
15,496	16,059	9,695	16,059		16,059	

評価検証

R2年度の常設展示室入場者数は9,695人であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症対策に伴う臨時休館や市民の外出自粛などが要因であると考えます。今後は、入場者等への感染予防を徹底するとともに、入場者やホームページ閲覧者が活用するデジタルモバイルガイドによる学びの素材の提供などを通し、新たな学習機会の提供を進めます。

施策 13	取組 2	番号 5	事務事業 **動物園ボランティア活動推進事業**

目的	動物園におけるボランティア活動を推進し、施設の取り組みに活かします。	担当課	動物園
目標	動物園に関わるボランティア団体数について8団体を目指します。		

事業実施状況

・施設整備ボランティア(各奉仕活動)
・事業協力ボランティア(ZooFul等)
・運営推進ボランティア(動物園協会)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	0		
特定財源	0		
一般財源	0		

指標名	ボランティア団体数	単位	団体

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値
8	8	9	8		8	

評価検証

R2年度の動物園ボランティア団体数は9団体であり、目標を達成しました。
毎年実施している開園前のボランティア活動等について、ホームページやSNS等で周知したことにより、新たな活動団体の参画につながったものと考えます。

施策 13	取組 3	番号 1	事務事業 **高等教育推進事業**

目的	帯広畜産大学や関係団体などと連携し、高等教育機関の整備・充実や、大学の研究・教育機能の活用を通じて、高等教育の推進を図ります。	担当課	企画課
目標	学生のまちづくりへの参画促進などを図る帯広畜産大学の学生によるまちづくり活動の件数について15件を目指します。		

事業実施状況

・とかち高等教育推進まちづくり会議の運営
・高等教育機関の整備充実に対する情報収集(3大学経営統合等)
・帯広畜産大学の整備・拡充に向けた情報収集や要望活動の実施
・帯広畜産大学との包括連携協定に基づく各種事業の推進(学生と地域がつながるまちづくり支援事業実施)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	3,769		
特定財源	1,160		
一般財源	2,609		

指標名	帯広畜産大学の学生によるまちづくり活動の件数	単位	件

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値
14	15	0	15		15	

評価検証

R2年度の帯広畜産大学の学生によるまちづくり活動の件数は0件であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、予定していた学生主体の活動が中止したことが要因であると考えます。コロナ禍における学生の現状を踏まえ、大学と連携しながら、学生が地域の課題解決に向けた取り組みを進めることで、まちづくりへの参画につなげていく必要があります。

施策 13	取組 3	番号 再	事務事業 **人材育成事業<再掲9-1-6>**

目的	関係機関の連携により多様な研修機会を提供し、総合的な人材育成を進めます。	担当課	経済企画課
目標	–		

事業実施状況

・フードバレーとかち人材育成事業の実施(修了者数51名)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

–

施策 13	取組 3	番号 再	事務事業 **学習機会提供事業（動物園）<再掲13-1-8>**

目的	飼育体験など動物や自然環境について学ぶ機会を提供し、市民の学習活動を支援します。	担当課	動物園
目標	–		

事業実施状況

・帯広畜産大学連携事業(サテライトブース設置・共同研究等)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

–

事務事業評価表

施策 13	取組 0	番号 1	事務事業 **社会教育委員会議運営事業**

目的	社会教育施策のあり方や課題などについて議論するための会議や研究大会への出席などを通し、社会教育委員活動の充実を図ります。	担当課	生涯学習文化課
目標	–		

事業実施状況

・社会教育委員会議の開催(書面開催3回)
・研修大会等への参加中止

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	193		
特定財源	0		
一般財源	193		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

–

施策 14	取組 1	番号 1	事務事業 **文化活動団体・指導者育成事業**

目的	市民の主体的な文化活動の促進や優秀な活動を表彰し、文化芸術活動を支える人材や団体を育成します。	担当課	生涯学習文化課
目標	市ホームページの文化団体紹介ページのアクセス数について1,921回を目指します。		

事業実施状況

・文化団体等の情報提供(HP掲載団体255団体)
・文化賞・文化奨励賞・文化活動功労賞の実施(受賞者2個人、3団体)
・文化団体への活動支援(事業補助2団体、大会派遣補助0件)
・十勝馬唄全国大会への支援(大会中止により0件)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,285		
特定財源	50		
一般財源	1,235		

指標名	市ホームページの文化団体紹介ページの年間総アクセス数	単位	回

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
1,777		1,848		1,884		1,921
		792				

評価検証

R2年度の文化団体紹介ページのアクセス数は792件であり、目標を達成しませんでした。
コロナ禍において文化的活動が自粛傾向にあり、文化団体紹介ページの活用機会が減少したことが要因であると考えます。今後も文化活動促進のツールのひとつとして、様々な周知の手法を検討しながら、文化団体等の活動情報の発信を行っていくことが必要と考えます。

施策 14	取組 1	番号 2	事務事業 **市民文化活動促進事業**

目的	市民主体の文化芸術活動を推進します。	担当課	生涯学習文化課
目標	市民芸術祭の出演者・出品者数について640人を目指します。		

事業実施状況

・市民主体の文化活動への支援(文化事業の後援件数39件)
・市民芸術祭の開催中止
・文化芸術活動発表会の開催(1事業)
・活動成果発表機会の提供(2事業)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	646		
特定財源	146		
一般財源	500		

指標名	市民芸術祭出演者・出品者数	単位	人

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
1,330		640		640		640
		0				

評価検証

R2年度の市民芸術祭は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止したことから、目標を達成しませんでした。
参加希望者が多い事業であることから、今後も基本的な感染予防策の徹底のほか、感染状況を踏まえた実施方法の検討を行いながら、市民に発表の場を提供していくことが必要と考えます。

施策 14	取組 1	番号 3	事務事業 **市民文芸誌発刊事業**

目的	文芸作品の表彰、文芸誌への掲載により、市民の主体的な文化活動を促進します。	担当課	図書館
目標	市民文藝・とかちジュニア文芸の応募者数について386人を目指します。		

事業実施状況

・文芸作品の募集、表彰
・「市民文藝」の発刊(応募者数113人)
・「とかちジュニア文芸」の発刊(応募者数244人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	2,038		
特定財源	190		
一般財源	1,848		

指標名	市民文藝ととかちジュニア文芸の応募者数	単位	人

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
340		386		386		386
		357				

評価検証

R2年度の市民文藝・とかちジュニア文芸の応募者数は357人であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症対策に伴う、学校の夏休みの短縮などにより、応募数が減少したことが要因であると考えます。今後は、従来の手法に加え、図書館公式TwitterなどSNSを活用しながら、広く周知を図ります。

施策 14	取組 1	番号 4	事務事業 **文化施設整備事業**
目的	文化施設の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。	担当課	生涯学習文化課
目標	–		

事業実施状況

・市民文化ホールの改修、修繕

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	50,787		
特定財源	37,700		
一般財源	13,087		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策 14	取組 1	番号 5	事務事業 **文化施設管理運営事業**
目的	文化施設の管理運営により、市民の文化芸術活動を支援するとともに、文化芸術にふれることができる機会を提供します。	担当課	生涯学習文化課、百年記念館
目標	–		

事業実施状況

・グリーンステージの管理
・市民文化ホールの管理運営
・市民ギャラリーの管理

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	196,607		
特定財源	25,190		
一般財源	171,417		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策 14	取組 2	番号 1	事務事業 **文化芸術鑑賞事業**
目的	市民に良質な文化芸術にふれる機会を提供し、文化芸術への関心を高めます。	担当課	生涯学習文化課、百年記念館
目標	文化芸術の鑑賞機会を提供する鑑賞事業の満足度について77.4%を目指します。		

事業実施状況

・優れた文化芸術鑑賞機会の提供(3事業29,587人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,700		
特定財源	0		
一般財源	1,700		

指標名	鑑賞者の満足度	単位	%
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値
76.3	76.7 / 82.0	77.0	77.4

評価検証: R2年度の文化芸術鑑賞事業の鑑賞者の満足度は82.0%であり、目標を達成しました。
新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、多くの事業で開催中止を余儀なくされましたが、鑑賞者アンケート等を踏まえニーズを捉えた事業を実施したことが要因であると考えます。

施策 14	取組 2	番号 2	事務事業 **子ども向け鑑賞機会提供事業（生涯学習文化課）**
目的	子どもたちに良質な文化芸術にふれる機会を提供し、子どもたちの感性や創造力の育成を図ります。	担当課	生涯学習文化課
目標	親子で参加できるコンサートの満足度を維持します。		

事業実施状況

・子ども向けの文化芸術鑑賞機会の提供(1事業147人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	0		
特定財源	0		
一般財源	0		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: R2年度は、新型コロナウイルス感染症対策に伴い、多くの事業で開催中止となったことから、鑑賞者の満足度を測るアンケートを実施できず、目標達成に向けた進捗を確認できませんでした。今後も基本的な感染予防策の徹底のほか、感染状況を踏まえた実施手法を検討しながら、子どもたちが直に文化芸術に触れる機会を継続的に提供していくことが必要と考えます。

施策 14	取組 3	番号 1	事務事業 **文化財調査・保存事業**
目的	文化財等を保存・活用し、郷土の歴史や文化への理解を促進します。	担当課	百年記念館
目標	一般公開を含めた文化財の活用件数の増加を目指します。		

事業実施状況

・文化財の保存、利活用(管理業務委託、一般公開事業2回)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	616		
特定財源	0		
一般財源	616		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: R2年度は、文化財を活用した公開事業（2回）の実施において、242人の参加があり、R元年度と比較し109人増加しており、目標達成に向け進捗しています。今後も事業内容を工夫しながら、文化財を通じた郷土の歴史や文化への理解促進を進めます。

施策 14	取組 3	番号 2	事務事業 **おびひろ・まちの歴史調査・収集普及事業**
目的	帯広の歴史に関する史料の収集・調査を実施し、体系にまとめることで今後のまちづくり、人づくりに活用します。	担当課	百年記念館
目標	歴史に関する講座の受講者数について123人を目指します。		

事業実施状況

・史料収集調査と成果の公表(博物館講座2件連続講座1件うち博物館講座1件中止)
・帯広市史専門委員会の開催(4回)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	3,040		
特定財源	0		
一般財源	3,040		

指標名	歴史関係の博物館講座、連続講座の受講者数。	単位	人
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値
116	123 / 93	123	123

評価検証: R2年度の帯広の歴史に関する講座等の受講者数は93名であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症対策に伴い、講座を開催中止としたことや市民の外出自粛の影響により、受講者数が減少したことが要因であると考えます。今後は開催手法の改善をはかりなあら、調査・収集した史料の公表後の周知・普及活動を進めるなど、より多くの市民に情報提供していくことが必要です。

施策 14	取組 3	番号 3	事務事業 **埋蔵文化財調査・保存・活用事業**

目的	埋蔵文化財の調査・保護・保存活用により、郷土の歴史への関心を深めます。	担当課	百年記念館
目標	埋蔵文化財センター来館者数について243人を目指します。		

事業実施状況

・八千代A遺跡出土品の活用
・埋蔵文化財の保護、保存
・埋蔵文化財の調査研究、活用
・埋蔵文化財センターの管理運営

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	2,317		
特定財源	0		
一般財源	2,317		

指標名	埋蔵文化財センター来館者数	単位	人

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値
190	243	114	243		243	

評価検証

R2年度の埋蔵文化財センター来館者数は114人であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症対策のため、施設を臨時休館したことや市民の外出自粛の影響が要因であると考えます。市民がより郷土の歴史への関心を深める機会となるよう、国の重要文化財である八千代A遺跡の特設コーナーの周知の強化や、学芸員の来館者需要を踏まえたよりわかりやすい説明対応などに取り組んでいきます。

施策 14	取組 3	番号 再	事務事業 **アイヌ民族文化調査・普及事業<再掲22-4-4>**

目的	アイヌ民族文化情報センター「リウカ」において学ぶ機会を提供し、アイヌ民族の歴史・文化への理解を促進します。	担当課	百年記念館
目標	–		

事業実施状況

・アイヌ民族文化に関する情報提供、普及活動(情報提供81件 普及活動講座1件18名、展示1件1536名、館所管外の講座2件、事業1件に協力)
・アイヌ民族文化に関する情報収集、調査(アイヌ民族文化ネットワーク協議会(白老)1回、アイヌ文化財専門職員等研修会(札幌)1回
、アイヌ文化に関する資料調査(美幌)1回、アイヌ文化に関する聞き取り調査2回)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

–

施策 14	取組 3	番号 再	事務事業 **アイヌ伝統文化保存・伝承事業<再掲22-4-5>**

目的	アイヌ古式舞踊保護団体や、アイヌの伝統文化の保存・伝承活動を支援し、十勝に伝わるアイヌ文化の保存伝承、発展を図ります。	担当課	百年記念館
目標	–		

事業実施状況

・帯広カムイトウウポポ保存会への補助
・空間活用事業(普及啓発)(アイヌ古式舞踊の披露2回)
・体験交流事業(植物観察会21名、クチャ(仮小屋づくり体験)14名、キナ(ゴザ)製作体験2名、アイヌ料理体験16名 合計53名)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

–

施策 14	取組 0	番号 1	事務事業 **文化振興事業**

目的	情報収集などを通して、文化芸術振興に関する施策を総合的に推進します。	担当課	生涯学習文化課
目標	–		

事業実施状況

・文化振興に関する事務
・ふるさと文化基金の管理

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	4,410		
特定財源	4,265		
一般財源	145		

指標名	–	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

–

施策 15	取組 1	番号 1	事務事業 **学校開放事業**

目的	小・中学校の体育館等を開放し、市民にスポーツ活動の場を提供します。	担当課	スポーツ課
目標	市民の主体的なスポーツ活動を促進する学校開放事業の利用者数について165,289人を目指します。		

事業実施状況

・小中学校の体育館等の地域への開放(324団体 延べ72,828人利用)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	2,116		
特定財源	972		
一般財源	1,144		

指標名	学校開放事業利用者数	単位	人

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値
165,289	165,289	72,828	165,289		165,289	

評価検証

R2年度の学校開放事業利用者数は72,828人であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症対策のため、少年団の一時使用中止や一般団体を通年で使用中止にしたことが要因であると考えます。今後は学校現場への感染の影響を配慮しつつ、利用者等に利用時期や感染予防等の情報を周知しながら、活動の場の提供を行っていきます。

施策 15	取組 1	番号 2	事務事業 **地域スポーツ振興事業**

目的	総合型地域スポーツクラブの支援やスポーツ教室、大会の開催などにより、市民が気軽にスポーツに親しむ機会を提供します。	担当課	スポーツ課
目標	スポーツ教室開催数について114回を目指します。		

事業実施状況

・総合型地域スポーツクラブへの支援
・地域ごとのスポーツ推進委員の配置(推進委員数48人)
・各種スポーツ教室の開催(18回 延べ1,126人参加)
・スポーツ大会の開催
・パークゴルフ場の環境維持
・フードバレーとかちマラソンの開催(オンライン参加人数990人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	16,237		
特定財源	7,969		
一般財源	8,268		

指標名	スポーツ教室開催数	単位	回

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値
98	114	18	114		114	

評価検証

R2年度のスポーツ教室開催数は18回であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症対策に伴い、地域スポーツ振興事業の中止や、小学校のスケートリンクの完成が暖冬により遅れたことが主な要因であると考えます。スポーツ推進員が実施する教室の開催状況に地域差があることから、今後は他地域の活動事例の紹介など、各地域の活動が活発化していくような工夫を進めていく必要があります。

施策 15	取組 1	番号 3	事務事業 **社会体育施設管理運営事業**

目的	社会体育施設の管理運営により、市民のスポーツ活動やスポーツ交流の場を提供します。	担当課	スポーツ課
目標	–		

事業実施状況

・社会体育施設の管理運営

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,397,224		
特定財源	80,392		
一般財源	1,316,832		

指標名	–	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

–

施策 15	取組 1	番号 4	事務事業 **社会体育施設整備事業**

目的	社会体育施設の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。	担当課	スポーツ課
目標	–		

事業実施状況

・施設の改修、修繕

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	37,884		
特定財源	34,600		
一般財源	3,284		

指標名	–	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

–

施策 15	取組 1	番号 再	事務事業 **健康づくり推進事業<再掲1-1-1>**

目的	健康意識の向上に関する取り組みや、生活習慣病予防に関する知識を普及する人材の育成などを通し、市民の健康づくりを推進します。	担当課	健康推進課
目標	–		

事業実施状況

・健康マイレージの推進(参加者2,230人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

–

施策 15	取組 1	番号 再	事務事業 **学校施設地域開放推進事業<再掲12-5-8>**

目的	体育館などの学校施設を地域に開放し、施設を有効に活用するとともに、学校と地域の結びつきを深めます。	担当課	企画総務課
目標	–		

事業実施状況

・スポーツ、文化、地域活動等への施設開放

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

–

施策 15	取組 2	番号 1	事務事業 **スケート競技振興事業**

目的	子どもたちに年齢に応じたスケートの専門的指導を行い、競技力の向上を図ります。	担当課	スポーツ課
目標	地域に根ざしたスポーツであるスケートの子どもたちの競技力向上を図るほっとドリームプロジェクト事業の参加者数について4,974人を目指します。		

事業実施状況

・スケート競技の裾野拡大や競技力向上をはかる「ほっとドリームプロジェクト」の推進(延べ1,331人参加)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,974		
特定財源	449		
一般財源	1,525		

指標名	ほっとドリームプロジェクト事業参加者数	単位	人

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
3,320		4,974		4,974		4,974
		1,331				

評価検証

R2年度のほっとドリームプロジェクト事業参加者数は1,331人であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症対策に伴い対象者を十勝管内に限定したことや、各学校のスケートリンクの完成が暖冬により遅れ、教室への講師派遣回数が減少したこと、市民の集団活動への自粛などが要因であると考えます。スケート教室に対する地域の需要は高いことから、リンク開設や事業の開催について周知を行うとともに、参加者への感染予防を徹底した上で、子ども達の一層の参加促進を図っていく必要があります。

施策 15	取組 2	番号 2	事務事業 **団体・人材育成事業**

目的	専門性を備えたスポーツ指導者の育成やスポーツ少年団・スポーツ団体への支援を通し、人材の育成を図ります。	担当課	スポーツ課
目標	スポーツ少年団加入割合の上昇を目指します。		

事業実施状況

・スポーツ少年団本部への支援(少年団数74団体 登録者数1,513人)
・スポーツ少年団指導者育成の支援(366人)
・各種交流大会等の開催
・スポーツ推進委員の育成
・帯広市スポーツ協会への支援
・全国・全道大会等への派遣支援(80件346人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	10,717		
特定財源	0		
一般財源	10,717		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

R2年度は、各団体への支援を通じて指導者の育成を図ったほか、全国全道大会等への派遣支援など競技スポーツの普及・振興に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大によりスポーツ活動の規模が縮小したため、スポーツ少年団の加入割合は18.1%（前年比3.0ポイント減少）となり、目標達成に向けあまり進捗していません。今後、コロナ禍における活動時の安全確保に関する指導者への研修などを通し、スポーツ少年団へ安心して加入できる環境づくりに取り組むことが必要です。

施策 15	取組 2	番号 3	事務事業 **スポーツ振興推進事業**

目的	健康スポーツ都市宣言の理念に基づき、スポーツ振興に関する施策を総合的に進めます。	担当課	スポーツ課
目標	-		

事業実施状況

・スポーツ賞、スポーツ奨励賞の実施(スポーツ賞1名受賞)
・スポーツ振興に関する事務
・スポーツ推進審議会の開催
・スポーツ振興基金の管理

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	9,747		
特定財源	3,466		
一般財源	6,281		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

-

施策 15	取組 3	番号 1	事務事業 **スポーツ大会・合宿等誘致事業**

目的	情報発信や関係団体と連携し、スポーツ大会・合宿等の誘致を進めるほか、プロスポーツの選手と触れ合う機会を創出します。	担当課	スポーツ課
目標	スポーツに関連した大会や合宿で本市を訪れる人数について24,411人を目指します。		

事業実施状況

・各種全国・全道大会等の誘致、開催支援(16大会への支援)
・合宿の誘致(宿泊団体数216団体、宿泊者数3,897人)
・プロスポーツ等の誘致

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	6,713		
特定財源	0		
一般財源	6,713		

指標名	大会・合宿で訪れた人数	単位	人

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
16,986		24,411		24,411		24,411
		3,897				

評価検証

R2年度の大会・合宿により帯広市を訪れた人数は3,897人であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症の拡大により、予定されていた各大会・合宿が中止となったことが要因であると考えます。今後、各競技団体と協力の上、感染症対策を講じながら、地域の安全を確保し、合宿の受入体制を整えていくことが必要であると考えます。

施策	16	取組	1	番号	1	事務事業	**再生可能エネルギー導入促進事業**

目的	太陽光やバイオマスなどの再生可能エネルギーの導入を促進し、エネルギーの有効活用を図ります。	担当課	環境課
目標	新エネルギー機器の導入数の増加を目指します。		

事業実施状況

・新エネルギー導入への支援(太陽光発電システム、蓄電池71件、木質ペレットストーブ5件、エコジョーズ(潜熱回収型ガス給湯暖房機)、ガスエンジンコージェネレーションシステム(ガスによる発電電発熱利用システム)176件、エコキュート(CO2冷媒ヒートポンプ給湯器)64件、太陽光発電システム貸付2件)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	195,814		
特定財源	175,870		
一般財源	19,944		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

R2年度は、市の補助事業をホームページや広報にて周知し新エネルギー機器の導入が進み温室効果ガスの削減につながっており、目標達成に向け進捗しています。

施策	16	取組	1	番号	2	事務事業	**環境意識向上対策事業**

目的	学校などと連携した環境教育などを進め、市民の環境に対する意識の向上を図ります。	担当課	環境課
目標	環境に対する市民の意識向上を図る出前環境教室の参加者数の増加を目指します。		

事業実施状況

・帯広市環境白書の作成、公表
・ホームページ等による環境情報の提供
・環境にやさしい活動実践校の取り組み支援(活動実践校:市内26小学校、14中学校、1高校)
・出前環境教室の実施(実施回数17回1,344名受講)
・省エネ啓発チラシの全戸配布(77,000部配布)
・COOL CHOICEの推進(地元ラジオと連携した取り組みの普及など)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	703		
特定財源	400		
一般財源	303		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

R2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、環境保全等の啓発イベントを中止しましたが、出前環境教室の参加人数が増加したほか、HP・広報おびひろでの啓発や市内全戸への啓発チラシの配布、地元ラジオ局２社との連携したCOOLCHOICE普及の取り組みにより市民の環境意識の向上につながっており、目標達成に向け進捗しています。

施策	16	取組	1	番号	3	事務事業	**省エネルギー活動推進事業**

目的	行政における省エネルギーへの率先した取り組みや市民、企業への普及啓発などにより、エネルギーの有効活用を図ります。	担当課	環境課
目標	廃食用油の家庭からの回収量について69,946ℓを目指します。		

事業実施状況

・公共施設の省エネ化(LED照明への転換:小学校11校 中学校7校など、高圧ナトリウム灯への転換:道路照明灯、天然ガスボイラーへの転換:市民活動プラザ六中、第五中、緑園中)
・廃食用油のリサイクル推進(廃食用油の回収、バイオディーゼル燃料の公用車等での利用　公用車でのBDF使用量　B5:75,448ℓ、B100:75ℓ)
・電気自動車などエコカーの普及啓発
・ノーカーデーの実施(延参加人数6,882人、距離数36,292km、CO2削減量5,305kg)
・家庭における省エネの促進

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	416		
特定財源	0		
一般財源	416		

指標名	家庭用廃食用油の回収量	単位	ℓ

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
66,591		69,946		69,946		69,946
		78,917				

評価検証

家庭用廃食用油の回収量は78,917ℓであり、目標を達成しました。
ホームページや広報を活用した周知により、市民に取り組みが更に浸透した結果であると考えます。

施策	16	取組	1	番号	4	事務事業	**エコタウン構想推進事業**

目的	リサイクル関連施設等の集積など、エコタウン構想を推進し、環境負荷低減・温室効果ガス削減を図ります。	担当課	中島地区振興課
目標	-		

事業実施状況

・土地利用に向けた地域、関係機関等との調整
・環境関連企業の立地促進

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	24		
特定財源	0		
一般財源	24		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

-

施策	16	取組	1	番号	再	事務事業	**フードバレーとかち推進事業<再掲9-2-3>**

目的	十勝管内の自治体や関係機関と連携し、地域の農林水産物の付加価値向上や情報発信などに取り組み、「フードバレーとかち」を推進します。	担当課	経済企画課
目標	-		

事業実施状況

・バイオマス産業都市構想の推進(域内バイオマス状況調査1回、実証事業1回)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	-		
特定財源	-		
一般財源	-		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

-

施策	16	取組	2	番号	1	事務事業	**排出指導事業**

目的	排出マナーの周知や指導などにより、ごみの適正排出を促進します。	担当課	清掃事業課
目標	ごみの適正排出に関する問い合わせ・苦情件数について27,370件以下を目指します。		

事業実施状況

・清掃指導員の巡回パトロールの実施
・排出マナーの周知・適正排出指導
・ごみの減量化・資源化の周知・指導
・ごみステーションのごみ飛散防止(カラス等への対策)
・身体の障害などによりごみ排出が困難な世帯への戸別収集(サポート収集事業)の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	8,104		
特定財源	0		
一般財源	8,104		

指標名	問い合わせ・苦情件数	単位	件

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
27,831	27,600		27,485		27,370	
	24,079					

評価検証

R2年度のごみに関する問い合わせ・苦情件数（指導件数）は24,079件であり、目標を達成しました。
新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、使用済マスク等の適正排出に関するビラ配布などの対応数は増加したものの、カラスよけサークルの普及等により、ごみの飛散に対する苦情が減少したことが要因であると考えます。

施策	16	取組	2	番号	2	事務事業	**不法投棄対策事業**

目的	夜間パトロールなどの実施により、ごみの不法投棄を防止します。	担当課	清掃事業課
目標	ごみの不法投棄件数について39件以下を目指します。		

事業実施状況

・不法投棄防止の意識啓発
・夜間パトロールの実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	4,415		
特定財源	0		
一般財源	4,415		

指標名	不法投棄件数	単位	件

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
61	39		39		39	
	48					

評価検証

R2年度の不法投棄件数は48件であり、目標を達成しませんでした。
看板設置や夜間パトロールを実施していますが、処理時にリサイクル料金を負担しなければならない特定廃家電の不法投棄が増加したことが要因であると考えます。今後も、特定廃家電の適正処理について更なる周知が必要と考えます。

施策	16	取組	2	番号	3	事務事業	**資源回収推進事業**

目的	町内会等の資源集団回収・資源回収事業者への支援により、地域の自主的なリサイクル活動を進め、再資源化やごみの減量化を促進します。	担当課	清掃事業課
目標	町内会等における資源集団回収量について7,551tを目指します。		

事業実施状況

・資源集団回収の奨励
・資源回収事業者への支援

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	48,418		
特定財源	0		
一般財源	48,418		

指標名	資源集団回収量	単位	t

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
6,961	7,551		7,551		7,551	
	5,954					

評価検証

R2年度の資源集団回収量は5,954tであり、目標を達成しませんでした。
事業の周知に努めましたが、重量のある新聞・雑誌の流通量が減少していることも要因であると考えます。今後も効果的な周知を図りながら地域の自主的なリサイクル活動を支援していくことが必要と考えます。

施策	16	取組	2	番号	4	事務事業	**リサイクル推進事業**

目的	ごみの分別収集を進め、再資源化を促進します。	担当課	清掃事業課
目標	資源 ごみの排出量について7,325t以下を目指します。		

事業実施状況

・廃棄物減量等推進審議会の開催
・資源ごみの収集・運搬
・資源の収集車両の維持管理
・小型家電リサイクル事業の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	190,486		
特定財源	24		
一般財源	190,462		

指標名	資源ごみ排出量	単位	t

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
7,360	7,325		7,325		7,325	
	7,865					

評価検証

R2年度の資源ごみ排出量は7,865tであり、目標を達成しませんでした。
適切な分別や排出の住民啓発を実施したものの、燃やすごみや燃やさないごみへの混入が依然としてあることが要因であると考えます。今後も広報紙やごみ懇談会等を活用し、適切な分別についての効果的な周知に努める必要があると考えます。

施策	16	取組	2	番号	5	事務事業	**ごみ発生抑制・再使用促進事業**

目的	市民への意識啓発などにより、ごみの発生抑制及び再使用を促進します。	担当課	清掃事業課
目標	ごみの発生抑制や資源の再使用に対する意識向上を図る出前講座の参加者数について1,465人を目指します。		

事業実施状況

・生ごみ減量の促進(ディスポーザーの周知、生ごみ堆肥化容器の購入支援(69件)、電動生ごみ処理機の購入支援(31件)、ダンボール製生ごみ堆肥化容器のPR)
・ごみ発生抑制の周知(ごみュニティメールの発行(2回)、環境学習支援事業(31回)、環境見学会(1回)、ごみ懇談会の開催(2回)、エコエコ紙芝居の開催(0回)、簡易包装のPR、マイバッグ持参運動の推進)
・リサイクルイベント(リサイクルまつり、フリマ(中止に伴い代替パネル展「秋のリサイクル広場」の実施))の開催
・収集曜日区域図の作成

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	3,015		
特定財源	300		
一般財源	2,715		

指標名	出前講座参加者人数	単位	人

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
1,414	1,439		1,452		1,465	
	1,166					

評価検証

R2年度の出前講座参加者人数は1,166人であり、目標を達成しませんでした。
ごみ懇談会やエコエコ紙芝居などの開催減少によるもので、新型コロナウイルス感染症による市民の外出自粛などの影響があったものと考えます。今後は、より効果的な周知をはかるとともに、感染症対策を徹底した実施手法の検討が必要と考えます。

施策	16	取組	2	番号	6	事務事業	**災害廃棄物処理事業**

目的	大規模災害発生時に、災害廃棄物を適切かつ迅速に処理を進めます。	担当課	清掃事業課
目標	–		

事業実施状況

・災害廃棄物の処理方法に関する市民周知
・災害廃棄物を迅速に処理するための準備
・災害発生時の適正かつ迅速な災害廃棄物の処理

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	0		
特定財源	0		
一般財源	0		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

–

施策 16	取組 2	番号 7	事務事業 **清掃施設管理運営事業**
目的	清掃施設を管理運営し、業務を円滑に進めます。	担当課	清掃事業課
目標	–		

事業実施状況

・清掃センターの管理運営

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	12,108		
特定財源	824		
一般財源	11,284		

指標名	–				単位	
基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 16	取組 2	番号 8	事務事業 **旧ごみ埋立処分場管理事業**
目的	旧ごみ埋立処分場を適切に維持管理し、施設周辺の環境保全を図ります。	担当課	清掃事業課
目標	–		

事業実施状況

・旧ごみ埋立処分場の管理

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,522		
特定財源	0		
一般財源	1,522		

指標名	–				単位	
基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 16	取組 2	番号 9	事務事業 **ごみ処理施設管理運営事業**
目的	一般廃棄物の処理を行う処理施設を管理運営し、廃棄物の効率的な処理を進めます。	担当課	清掃事業課
目標	–		

事業実施状況

・ごみ処理施設の管理運営〈実施主体:十勝圏複合事務組合〉
(くりりんセンター、一般廃棄物最終処分場、リサイクルプラザ)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	812,656		
特定財源	0		
一般財源	812,656		

指標名	–				単位	
基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 16	取組 2	番号 10	事務事業 **し尿処理施設管理運営事業**
目的	し尿処理施設を管理運営し、し尿等の効率的な処理を進めます。	担当課	清掃事業課
目標	–		

事業実施状況

・し尿処理施設の管理運営〈実施主体:十勝圏複合事務組合〉

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	24,964		
特定財源	309		
一般財源	24,655		

指標名	–				単位	
基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 16	取組 2	番号 11	事務事業 **ごみ収集・運搬事業**
目的	ごみの収集・運搬を円滑に行い、ごみの適正処理を進めます。	担当課	清掃事業課
目標	–		

事業実施状況

・ごみの収集、運搬業務
・ごみの収集車両の維持管理

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	323,885		
特定財源	257,425		
一般財源	66,460		

指標名	–				単位	
基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 16	取組 2	番号 12	事務事業 **ごみ処理手数料収納管理事業**
目的	指定ごみ袋・処理券の管理、ごみ処理手数料の収納業務を適切に進めます。	担当課	清掃事業課
目標	–		

事業実施状況

・指定ごみ袋、ごみ処理券の作成、保管、配送、販売業務
・ごみ処理手数料の収納管理事務

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	115,533		
特定財源	117,505		
一般財源	△1,972		

指標名	–				単位	
基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策	16	取組	2	番号	13	事務事業	し尿収集・運搬事業

目的	し尿等の収集・運搬を円滑に行い、し尿等の適正処理を進めます。	担当課	清掃事業課
目標	–		

事業実施状況

・し尿、汚水の収集、運搬業務

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	68,373		
特定財源	20,251		
一般財源	48,122		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策	16	取組	2	番号	14	事務事業	し尿処理手数料収納管理事業

目的	し尿処理券の管理、し尿処理手数料の収納業務を適切に進めます。	担当課	清掃事業課
目標	–		

事業実施状況

・し尿処理券の作成、販売業務
・し尿処理手数料の収納管理業務

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,560		
特定財源	0		
一般財源	1,560		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策	16	取組	2	番号	15	事務事業	一般廃棄物処理業関連事業

目的	一般廃棄物処理業の許可等に関する事務を進めます。	担当課	清掃事業課
目標	–		

事業実施状況

・一般廃棄物処理業許可事務
・浄化槽清掃業許可事務

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	314		
特定財源	825		
一般財源	△511		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策	16	取組	3	番号	1	事務事業	環境監視・測定事業

目的	環境(大気、河川、騒音、振動、悪臭)の監視・測定や対策に取り組み、生活環境の保全を図ります。	担当課	環境課
目標	河川水質等の環境基準の達成を維持します。		

事業実施状況

・大気の測定調査の実施(各項目市内1箇所、窒素酸化物、微小粒子状物質)
・河川の水質測定調査実施(市内8河川11地点、生活環境項目・健康項目調査)
・地下水の水位観測実施(市内4箇所)
・航空機騒音の測定調査の実施(固定局2箇所、移動局5箇所)
・道路交通騒音常時監視測定(12路線13区間)
・悪臭測定調査(市内4事業所)
・公害苦情対応(47件)
・PCB廃棄物の処分の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	61,529		
特定財源	45		
一般財源	61,484		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: R2年度は、環境基準類型指定河川におけるすべての測定地点で環境基準（BOD75％値）を達成しており、良好な河川環境が維持され、目標達成に向け進捗しています。

施策	16	取組	3	番号	2	事務事業	自然環境保全対策事業

目的	自然環境保全地区の監視などにより、自然林や生物生息環境など自然環境の保全を図ります。	担当課	環境課
目標	自然環境保全地区をはじめとした市内森林面積の減少を抑制します。		

事業実施状況

・自然環境保全地区の監視(監視員3名 月2回)
・移入動物問題等に関する情報提供(HP、広報おびひろへ記事掲載)
・公共工事環境配慮ガイドラインに基づく取り組みの推進
・日高山脈襟裳国定公園の国立公園化に向けた取り組みの推進(期成会要望、実行委員会のよる写真コンテストの実施)
・アライグマ防除対策の実施(47頭捕獲)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,486		
特定財源	479		
一般財源	1,007		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: R2年度は、市内の森林面積はわずかに減少していますが、保全地区等市内の自然環境は保全されており、目標達成に向け進捗しています。

施策	16	取組	3	番号	3	事務事業	環境保全連携促進事業

目的	市民・事業者・行政の連携により、環境負荷低減の取り組みを進めます。	担当課	環境課
目標	個人で清掃活動を行うエコフレンズの登録者数の増加を目指します。		

事業実施状況

・帯広市町内会連合会と連携したまち美化の推進(活動広報1回、花苗共同購入事業実施1回:31連合町内会参加)
・清掃ボランティア「エコフレンズ」の推進(登録者数3,958名)
・清掃ボランティア「クリーン・キャンパス・21」への協力、支援(活動広報1回)
・空き地の草刈り指導(苦情受付件数:68件)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	251		
特定財源	0		
一般財源	251		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: R2年度は、エコフレンズの登録者数が増加し、市民によるまち美化の取り組み等により地域の環境が保全されており、目標達成に向け進捗しています。

施策 16	取組 3	番号 4	事務事業 **犬等管理事業**

目的	犬等の適正な管理や飼育指導により、狂犬病の発生防止と生活環境の保全を図ります。	担当課	環境課
目標	–		

事業実施状況

・畜犬の登録及び狂犬病予防注射の接種促進(新規登録607頭、注射接種4,513頭)
・犬の適正飼育等の啓発、指導(飼い主へのチラシの送付、町内会回覧による啓発、苦情による等による指導件数27件)、
・野犬及び浮浪犬の掃とう(浮浪犬8頭)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	10,292		
特定財源	4,304		
一般財源	5,988		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 16	取組 0	番号 1	事務事業 **環境関連計画推進事業**

目的	環境基本計画などの環境関連計画に基づき、環境保全に関する施策を総合的に推進します。	担当課	環境課
目標	–		

事業実施状況

・帯広市環境基本計画の推進
・帯広市環境審議会の開催(書面開催1回)
・エネルギーの使用の合理化等に関する法律(省エネ法)に基づく事務
・帯広市環境モデル都市行動計画の推進
・帯広市環境基金の管理
・帯広市エコオフィスプランの推進

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	18,766		
特定財源	12,089		
一般財源	6,677		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 17	取組 1	番号 1	事務事業 **防災意識普及啓発事業**

目的	防災に関する情報提供や教育、実践的な防災訓練などを通して、防災意識の向上を図ります。	担当課	危機対策課
目標	防災訓練・講座の参加者数について8,235人を目指します。		

事業実施状況

・地域防災訓練、冬季防災訓練は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止し、代替措置として避難所運営職員の訓練の実施(196人参加)
・防災講座の実施(62回4,286人参加)
・地域防災マネージャーの配置(1名)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	4,201		
特定財源	0		
一般財源	4,201		

指標名	防災活動への参加者数	単位	人

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
7,744		8,235		8,235		8,235
		4,286				

評価検証 R2年度の防災活動への参加者数は4,286人であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症拡大により、地域防災訓練と冬季防災訓練を中止したことや、対面での出前講座の開催が制約され、事業全体が縮小されたことが要因であると考えます。今後は、コロナ禍における効果的な開催手法を検討し、地域の防災意識の向上につなげていく必要があります。

施策 17	取組 2	番号 1	事務事業 **要援護者避難支援体制整備事業**

目的	要援護者の把握を進めるとともに、地域などと協力し、避難支援体制を整備します。	担当課	危機対策課
目標	災害時に自力で避難することが困難な災害時要援護者の避難支援等を定める個別計画の策定完了件数について454件を目指します。		

事業実施状況

・おびひろ避難支援プランの推進(登録要援護者1,935人、計画策定353件、個別計画作成協議会28組織)
・避難支援プラン推進員の配置(1名)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	3,341		
特定財源	0		
一般財源	3,341		

指標名	災害時要援護者の個別計画策定完了件数	単位	件

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
334		394		424		454
		353				

評価検証 R2年度の災害時要援護者の個別計画策定完了件数は353件であり、目標を達成しませんでした。
制度が複雑なことや個人情報の取扱いなどにより、地域が支援体制を構築するハードルが高く、個別計画作成協議会の立ち上げが進まないことなどが要因であると考えます。今後は地域支援者の支援内容の検討など、地域が取り組みやすい制度への見直しが必要であると考えます。

施策 17	取組 2	番号 2	事務事業 **自主防災組織育成事業**

目的	自主防災組織の育成や指導的役割を担う人材の育成を進め、地域防災力の向上を図ります。	担当課	危機対策課
目標	自主防災組織への防災出前講座の実施率について77.5%を目指します。		

事業実施状況

・帯広市町内会連合会への支援
・自主防災組織の育成(出前講座3件)
・地域防災マネージャーの配置(1名)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	4,372		
特定財源	0		
一般財源	4,372		

指標名	自主防災組織への防災出前講座実施率	単位	%

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
64.7		71.1		74.3		77.5
		0.9				

評価検証 R2年度の自主防災組織への防災出前講座実施率は0.9%であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症拡大により、活動を自粛する団体が多かったことなどが要因であると考えます。今後は感染症対策に留意するなど、コロナ禍を踏まえた事業内容になるよう工夫しながら、地域の取り組みを支援していく必要があります。

事務事業評価表

施策	17	取組	3	番号	1	事務事業	**建築物耐震化推進事業**

目的	地震による建築物の倒壊の被害や、これに起因する市民の生命及び財産に対する被害を未然に防止するため、建築物の耐震化を推進します。	担当課	建築開発課
目標	無料耐震簡易診断（市実施）の実施件数について81件を目指します。		

事業実施状況

・耐震診断・改修・建替えへの支援(診断0件、改修0件、建替え0件)
・相談体制の整備
・パンレット等による情報提供
・無料耐震簡易診断の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,875		
特定財源	1,870		
一般財源	5		

指標名	無料耐震簡易診断件数	単位	件

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値
34	81	66	81	－	81	－

評価検証

R2年度の無料耐震簡易診断件数は66件であり、目標を達成しませんでした。
無料耐震簡易診断は、住宅耐震化への理解と実践につなげていくものですが、耐震改修費用の負担や不透明さが要因で耐震化が進んでいないと考えます。引き続き、住宅相談等において、耐震化の重要性等を説明し、地震防災対策に対する理解の促進を図っていく必要があります。

施策	17	取組	3	番号	2	事務事業	**地域防災推進事業**

目的	災害・緊急時の通信体制の確保や避難経路の明示など、避難所や防災拠点施設の維持管理に取り組みます。	担当課	危機対策課
目標	災害時における市民の適切な避難行動につなげる体制を確保します。		

事業実施状況

・災害時の情報発信、連絡体制の整備及び維持管理
・避難所機能の整備及び維持管理
・防災資機材等整備基準に基づく備蓄品の更新、整備
・緊急情報一斉伝達システムの導入
・被害想定、防災資機材等整備基準(備蓄基準)の見直し
・感染症対策資機材の整備

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	89,855		
特定財源	78,382		
一般財源	11,473		

指標名	－	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

R2年度は、市が発信する災害情報を希望者が入手できるよう、緊急情報一斉伝達システムを導入したほか、感染症対策資機材の整備、被害想定及び備蓄基準の見直しなどを実施しており、目標達成に向け進捗しています。

施策	17	取組	3	番号	3	事務事業	**防災事業**

目的	防災関係機関との連携による防災体制の整備のための事務を行います。	担当課	危機対策課
目標	民間企業等との防災協定の締結数の増加を目指します。		

事業実施状況

・防災会議の開催(1回)
・帯広市強靭化計画の策定
・民間企業等との防災協定の締結(9件 延79件)
・自衛官募集事務の実施
・山岳遭難防止協議会に係る事務対応

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	660		
特定財源	0		
一般財源	660		

指標名	－	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

R2年度の民間企業等との防災協定締結数は9件で、R2年度末時点の協定締結総数は79件となっており、目標達成に向け進捗しています。
引き続き、防災力の強化に有効な協定の締結に取り組みます。

施策	17	取組	3	番号	4	事務事業	**国民保護計画推進事業**

目的	国及び道の計画を踏まえ、市の国民保護に関する計画に基づき、関係機関と連携協力し実施する国民保護措置を総合的に推進します。	担当課	危機対策課
目標	－		

事業実施状況

・国民保護協議会の開催(1回)
・帯広市国民保護計画の推進

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	0		
特定財源	0		
一般財源	0		

指標名	－	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

－

施策	17	取組	3	番号	5	事務事業	**河川管理事業**

目的	河川を適切に管理し、洪水などの被害を防止します。	担当課	管理課、道路維持課
目標	河川敷地の管理や支障木処理、河川パトロールなどを通じ河川を適切に管理します。		

事業実施状況

・樋門樋管の点検管理
・河川敷地の管理(河川草刈り44,839㎡)
・河川敷地の支障木処理(大成川)
・河川のパトロール

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	7,863		
特定財源	1,495		
一般財源	6,368		

指標名	－	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

R2年度は、洪水時の被害防止のため、樋門樋管の点検管理や河川敷地の草刈りを行ったほか、河川敷地の支障木の伐採等を実施し、河川の適正管理に取り組んでおり、目標達成に向け進捗しています。

施策	17	取組	3	番号	6	事務事業	**治水対策事業**

目的	国や道に対する十勝川流域水系の整備や適正な管理の要望などを通し、治水対策を促進します。	担当課	管理課
目標	－		

事業実施状況

・十勝川治水促進期成会を通した要望活動の実施(要望活動2回、意見交換会2回)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	140		
特定財源	0		
一般財源	140		

指標名	－	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

－

施策 17	取組 3	番号 再	事務事業 **配水管整備事業<再掲20-1-1>**

目的	配水管の計画的な更新による耐震性の向上などを進め、水道水の安定供給を図ります。	担当課	水道課
目標	–		

事業実施状況					
・配水管整備事業 L=2074.8m ・管路近代化事業 L=7769.5m	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費	–			
	特定財源	–			
	一般財源	–			
	指標名	–		単位	
	基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値	

評価検証	–

施策 17	取組 3	番号 再	事務事業 **浄水場等耐震化事業<再掲20-1-2>**

目的	浄水場等の計画的な耐震化により、水道水の安定供給を図ります。	担当課	水道課
目標	–		

事業実施状況					
・中島配水場の耐震診断 ・川西及び大正配水池耐震診断等	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費	–			
	特定財源	–			
	一般財源	–			
	指標名	–		単位	
	基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値	

評価検証	–

施策 17	取組 3	番号 再	事務事業 **浸水対策下水道事業<再掲20-1-3>**

目的	雨水管の整備などにより、浸水地域の解消を図り、安全で快適な生活環境づくりを進めます。	担当課	下水道課
目標	–		

事業実施状況					
・公共下水道雨水管整備事業	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費	–			
	特定財源	–			
	一般財源	–			
	指標名	–		単位	
	基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値	

評価検証	–

施策 17	取組 3	番号 再	事務事業 **災害時体制強化事業<再掲20-1-4>**

目的	自然災害等による被害を最小限にとどめ、被害を受けた場合であっても迅速に復旧できる上下水道の体制強化を図ります。	担当課	水道総務課ほか
目標	–		

事業実施状況					
・災害対策備蓄資器材の購入 ・応急給水体制などの整備	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費	–			
	特定財源	–			
	一般財源	–			
	指標名	–		単位	
	基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値	

評価検証	–

施策 18	取組 1	番号 1	事務事業 **広域消防管理運営事業**

目的	管内自治体と連携し、消防に関する事務の共同処理を進め、効率的な消防体制の充実を図ります。	担当課	消防課
目標	管内町村との連携により、市町村の枠を越えた消防・救急体制の確保を目指します。		

事業実施状況

・とかち広域消防事務組合を通した消防に関する事務の共同処理の推進〈実施主体:とかち広域消防事務組合〉
(柏林台出張所の整備7月1日運用開始、水槽付消防ポンプ自動車の更新1台、梯子付消防ポンプ自動車の更新1台)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,860,449		
特定財源	16,230		
一般財源	1,844,219		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

R2年度は、管内19市町村で構成するとかち広域消防事務組合が主体となり、庁舎・車両整備、組合ネットワークの構築など消防に関する事務の共同処理を進めており、目標達成に向け進捗しています。

施策 18	取組 1	番号 2	事務事業 **消防水利整備事業**

目的	消火栓、防火水槽の新設、維持管理を行い、消防水利を充実します。	担当課	消防課
目標	-		

事業実施状況

・消火栓の更新(24基)、移設(5基)、修繕(3基)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	30,966		
特定財源	25,100		
一般財源	5,866		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

-

施策 18	取組 1	番号 3	事務事業 **消防行政事業**

目的	消防庁舎の適切な維持管理などにより、消防体制を維持します。	担当課	消防課
目標	-		

事業実施状況

・消防庁舎の維持管理

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	4,441		
特定財源	2,901		
一般財源	1,540		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

-

施策 18	取組 2	番号 1	事務事業 **消防団活動促進事業**

目的	消防団員の確保、教育訓練などにより、地域防災力の強化を図ります。	担当課	消防課
目標	消防団協力事業所の累計数について14事業所を目指します。		

事業実施状況

・消防団員確保に向けた普及啓発の実施(消防団員350人、消防団協力事業所新規認定2事業所)
・教育訓練、研修会の充実(教育訓練3回、研修会1回 計337人)
・安全装備品等の整備(保安帽4個、救助用半長靴8足)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	41,978		
特定財源	5,198		
一般財源	36,780		

指標名	消防団協力事業所累計数	単位	事業所

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
11		12		13		14
		13				

評価検証

R2年度の消防団協力事業所累計数は13事業所であり、目標を達成しました。
ホームページや広報おびひろでのPRを実施したほか、興味を示す企業の情報収集を図り、説明の機会を設けることで消防団協力事業所表示制度の理解や関心を得られたことが効果的であったと考えます。

施策 18	取組 2	番号 2	事務事業 **消防団詰所管理事業**

目的	消防団詰所の適切な維持管理などにより、消防体制を維持します。	担当課	消防課
目標	-		

事業実施状況

・消防団詰所の維持管理

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,617		
特定財源	0		
一般財源	1,617		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

-

施策 18	取組 2	番号 3	事務事業 **消防団詰所整備事業**

目的	消防団詰所の整備を進め、災害に強い消防体制を整備します。	担当課	消防課
目標	-		

事業実施状況

-

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	0		
特定財源	0		
一般財源	0		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

-

施策 18	取組 2	番号 4	事務事業 **消防団車両整備事業**
目的	消防団車両を更新し、消防力を充実します。	担当課	消防課
目標	–		

事業実施状況

–

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	0		
特定財源	0		
一般財源	0		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証

–

施策 18	取組 2	番号 5	事務事業 **消防機器更新事業**
目的	消防機器を更新し、消防力を充実します。	担当課	消防課
目標	–		

事業実施状況

・消防団車両用消防ホース(65㎜30本)更新

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,254		
特定財源	0		
一般財源	1,254		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証

–

施策 18	取組 2	番号 6	事務事業 **消防団車両・装備管理事業**
目的	消防団車両や装備を適切に管理し、消防体制を維持します。	担当課	消防課
目標	–		

事業実施状況

・消防団に係る消防車両・装備の維持管理

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	2,409		
特定財源	0		
一般財源	2,409		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証

–

施策 19	取組 1	番号 1	事務事業 **交通安全教育推進事業**
目的	児童や高齢者等への交通安全教育を進め、市民の交通安全意識の向上を図ります。	担当課	危機対策課
目標	交通安全教室の参加者数について38,204人を目指します。		

事業実施状況

・交通安全教室の開催(273回23,207人)
・交通安全誘導の実施(1,297回)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	6,567		
特定財源	0		
一般財源	6,567		

指標名	交通安全教室の参加者数	単位	人
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値
37,013	38,204	38,204	38,204
	23,207		

評価検証

R2年度の交通安全教室の参加者数は23,207人であり、目標を達成しませんでした。
保育所や小中学校を中心に開催している交通安全教室が、新型コロナウイルス感染症拡大により減少したことが要因であると考えます。市民の交通安全意識の向上をはかるため、コロナ禍における開催手法を検討していく必要があります。

施策 19	取組 1	番号 2	事務事業 **交通安全運動推進事業**
目的	関係機関・団体と連携し、交通事故防止の啓発活動などを進め、市民の交通安全意識の向上を図ります。	担当課	危機対策課
目標	高齢者向けドライビング体験会の参加者数について270人を目指します。		

事業実施状況

・交通安全街頭啓発の実施(1回)
・高齢者向け体験会(0回)、研修会の開催(0回)
・交通安全市民会議の開催(4回)
・交通安全に関する広報活動の実施
・交通安全関係団体の活動への支援
・次期交通安全計画の策定

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	15,821		
特定財源	0		
一般財源	15,821		

指標名	高齢者向け体験会の参加者数	単位	人
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値
249	264	267	270
	0		

評価検証

R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大により高齢者向け体験会を開催することができませんでした。
市民の交通安全意識の向上をはかるため、コロナ禍における開催手法を検討していく必要があります。

施策 19	取組 1	番号 3	事務事業 **防犯意識啓発事業**
目的	防犯に関する情報提供や街頭啓発、自主的な学習活動の促進により、市民の防犯意識の向上を図ります。	担当課	危機対策課
目標	防犯・不審者にかかる安心安全ニュース1件あたりのリーチ数について3,465件を目指します。		

事業実施状況

・防犯グッズ展の開催(1回)
・公用車防犯パトロールの実施(1,884回)
・街頭啓発活動の実施(2回)
・防犯に関する広報活動の実施(安心安全ニュース61件発信)
・防犯関係団体の活動への支援

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	7,504		
特定財源	0		
一般財源	7,504		

指標名	防犯・不審者にかかる安心安全ニュース1件当たりリーチ数	単位	件
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値
3,051	3,253	3,357	3,465
	3,365		

評価検証

R2年度の防犯・不審者にかかる安心安全ニュース1件当たりリーチ数は3,365件であり、目標を達成しました。
警察署との連携による不審者情報などの迅速な発信が効果的であったと考えます。引き続き、防犯意識の向上をはかるため、効果的な情報発信や啓発を行っていきます。

施策	19	取組	1	番号	4	事務事業	**交通安全施設整備事業（危機対策課）**

目的	学校周辺や危険箇所における、交通安全に関する標識の設置や歩道の整備により、安全な交通環境の整備を進めます。	担当課	危機対策課
目標	–		

事業実施状況

・信号機設置等の要望活動の実施
・交通安全注意喚起看板の設置

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	869		
特定財源	0		
一般財源	869		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策	19	取組	1	番号	5	事務事業	**交通安全施設整備事業（土木課）**

目的	学校周辺や危険個所における歩道の整備を進め、安全な交通環境を確保します。	担当課	土木課
目標	–		

事業実施状況

・幹線道路や生活道路における歩道の整備
・通学路などの歩道の再整備(南26丁目西線)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	9,559		
特定財源	8,600		
一般財源	959		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策	19	取組	1	番号	6	事務事業	**交通安全対策特別交付金対象事業**

目的	視線誘導標や区画線など、交付金を活用した交通安全施設の設置により、安全な交通環境を確保します。	担当課	道路維持課
目標	–		

事業実施状況

・視線誘導標の設置(15本)
・照明灯設置工事(添架式2基)
・区画線の設置(延長L=70.4km)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	24,310		
特定財源	6,300		
一般財源	18,010		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策	19	取組	1	番号	7	事務事業	**防犯灯整備支援事業**

目的	防犯灯の新設や更新、維持管理を支援し、安全な生活環境の整備を促進します。	担当課	市民活動課
目標	–		

事業実施状況

・町内会の防犯灯新設、更新の支援(80灯)
・町内会の防犯灯維持費用の支援(16,193灯)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	60,098		
特定財源	0		
一般財源	60,098		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策	19	取組	2	番号	1	事務事業	**消費者活動促進事業**

目的	消費生活に関する講座や講演会の開催などにより、消費者被害の未然防止や合理的な消費生活を促進します。	担当課	商業労働課
目標	消費生活に関する講座等の参加者数について2,943人を目指します。		

事業実施状況

・消費生活に関する講座、講演会の開催(消費者講座・地域出前講座・高校被害予防講座)
・消費生活展中止
・消費生活審議会の開催
・消費者団体の活動支援

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,435		
特定財源	0		
一般財源	1,435		

指標名	消費生活に関する講座等の参加者数	単位	人
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値
2,575	2,943	2,943	2,943
	879		

評価検証 R2年度の消費生活に関する講座等の参加者数は879人であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年どおりの講座や生活展が開催できなかったことや、出前講座申込等の自粛に係る参加者の減少が要因であると考えます。今後、ポストコロナも見据えて、講座参加者数を増やすためのより一層の周知が必要と考えます。

施策	19	取組	2	番号	2	事務事業	**消費者情報提供活動事業**

目的	消費生活に関する情報の収集・提供などにより、市民の安全で合理的な消費生活を支援します。	担当課	商業労働課
目標	食料品・雑貨・燃料の小売価格を掲載したホームページの閲覧数について4,252件を目指します。		

事業実施状況

・消費生活に関する情報提供(ホームページ、安心安全ニュース(フェイスブック)による消費生活トラブルの注意喚起など)
・小売価格調査の実施(毎月1回、年末1回　計13回)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	5,404		
特定財源	0		
一般財源	5,404		

指標名	小売価格調査HP閲覧数	単位	件
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値
3,039	4,252	4,252	4,252
	3,489		

評価検証 R2年度の小売価格調査HP閲覧数は3,489件であり、目標を達成しませんでした。
トピックスに掲載した記事の減少に伴い、閲覧数が減少したものと考えます。今後も引き続き一般消費者に対し、消費生活に関する情報発信や小売価格調査の実施などを通じて安全で合理的な消費生活の支援を行います。

施策 19	取組 2	番号 3	事務事業 **消費生活相談支援事業**

目的	消費生活相談や消費者講座の実施などにより、消費者被害の未然防止や消費生活の向上を図ります。	担当課	商業労働課
目標	消費生活に関する相談機能を維持します。		

事業実施状況

・消費生活アドバイスセンターの運営(相談件数1,374件)
・地域消費者講座の開催
・消費生活相談員の資質向上(相談員研修)
・専門家による相談の実施(無料弁護士相談会)
・消費者被害防止啓発資料の作成・配布

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	23,521		
特定財源	5,630		
一般財源	17,891		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

R2年度は、相談員の研修派遣や、弁護士相談の実施などの適切な消費生活相談などを通し、相談機能の維持につながっており、目標達成に向けて進捗しています。

施策 19	取組 2	番号 4	事務事業 **計量適正化推進事業**

目的	計量器や商品表示などの検査・指導により、適正な取引を促進します。	担当課	商業労働課
目標	-		

事業実施状況

・検査、指導の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	4,237		
特定財源	0		
一般財源	4,237		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

-

施策 20	取組 1	番号 1	事務事業 **配水管整備事業**

目的	配水管の計画的な更新による耐震性の向上などを進め、水道水の安定供給を図ります。	担当課	水道課
目標	-		

事業実施状況

・配水管整備事業 L=2074.8m
・管路近代化事業 L=7769.5m

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	755,304		
特定財源	755,304		
一般財源	0		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

-

施策 20	取組 1	番号 2	事務事業 **浄水場等耐震化事業**

目的	浄水場等の計画的な耐震化により、水道水の安定供給を図ります。	担当課	水道課
目標	-		

事業実施状況

・中島配水場の耐震診断
・川西及び大正配水池耐震診断等

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	26,081		
特定財源	26,081		
一般財源	0		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

-

施策 20	取組 1	番号 3	事務事業 **浸水対策下水道事業**

目的	雨水管の整備などにより、浸水地域の解消を図り、安全で快適な生活環境づくりを進めます。	担当課	下水道課
目標	-		

事業実施状況

・公共下水道雨水管整備事業
・下水道マンホール蓋取替
・汚水桝取替

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	485,670		
特定財源	477,441		
一般財源	8,229		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

-

施策 20	取組 1	番号 4	事務事業 **災害時体制強化事業**
目的	自然災害等による被害を最小限にとどめ、被害を受けた場合であっても迅速に復旧できる上下水道の体制強化を図ります。	担当課	水道総務課ほか
目標	–		
事業実施状況	・災害対策備蓄資器材の購入 ・応急給水体制などの整備		

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	80,135		
特定財源	80,135		
一般財源	0		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証	–

施策 20	取組 1	番号 5	事務事業 **浄水場等施設整備事業**
目的	浄水場等の計画的かつ効率的な更新などにより、水道機能を保全し、水道水の安定供給を図ります。	担当課	水道課
目標	–		
事業実施状況	・稲田浄水場などの改修・設備更新 ・川西地区受水施設送水管実施設計		

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	239,333		
特定財源	239,333		
一般財源	0		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証	–

施策 20	取組 1	番号 6	事務事業 **未普及解消下水道事業**
目的	汚水管の整備により、未整備地区の解消を図り、快適な生活環境づくりを進めます。	担当課	下水道課
目標	–		
事業実施状況	・公共下水道汚水管整備事業		

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	68,166		
特定財源	68,166		
一般財源	0		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証	–

施策 20	取組 1	番号 7	事務事業 **管渠長寿命化更新事業**
目的	下水道管の長寿命化を進め、下水道機能を適切に維持します。	担当課	下水道課
目標	–		
事業実施状況	・管渠長寿命化更新事業		

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	22,605		
特定財源	22,605		
一般財源	0		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証	–

施策 20	取組 1	番号 8	事務事業 **流域下水道事業**
目的	北海道が所管する十勝川流域下水道浄化センターの改修や耐震化等により、施設の機能維持と災害に強い施設づくりを進めます。	担当課	下水道課
目標	–		
事業実施状況	・浄化センターの施設整備(実施主体:北海道)		

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	16,950		
特定財源	15,232		
一般財源	1,718		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証	–

施策 20	取組 1	番号 9	事務事業 **汚水処理施設統合事業**
目的	汚水の一括処理などを進め、適正な施設規模による下水道サービスの安定供給を図ります。	担当課	下水道課
目標	–		
事業実施状況	・終末処理場などの改修、設備更新		

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	60,973		
特定財源	60,872		
一般財源	101		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証	–

施策 20	取組 1	番号 10	事務事業 **農村下水道施設整備事業**

目的	農村下水道の整備により、農村部における快適な生活環境づくりを進めます。	担当課	下水道課
目標	–		

事業実施状況

・個別排水処理施設の整備

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	36,828		
特定財源	36,828		
一般財源	0		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証: –

施策 20	取組 2	番号 1	事務事業 **情報提供事業**

目的	イベントなどを通したPRや積極的な情報発信により、上下水道に関する理解を促進し、市民との協働により事業を進めます。	担当課	水道総務課、下水道課
目標	水道水ができるまでの仕組みや水の大切さを伝える水を見る週間の来場者数について861人を目指します。		

事業実施状況

・イベントによるPRや学習機会の提供
・広報紙やホームページなどによる情報提供
・ペットボトル水の製造・販売・PR
・マンホール蓋のカラー化
・マンホールカードの制作

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	4,789		
特定財源	4,152		
一般財源	637		

指標名	水を見る週間来場者数	単位	人

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
687		861		861		861

評価検証: R2年度の水を見る週間は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、展示のみとしたことから来場者数の把握を行いませんでした。
今後は、感染対策に考慮しながら、ホームページやSNS等の活用など、より多くの市民に関心を持ってもらえるPRの方法を検討する必要があると考えます。

施策 20	取組 2	番号 2	事務事業 **量水器整備事業**

目的	水道メーターや止水栓の更新などにより、漏水の防止など、利用者サービスの向上を図ります。	担当課	水道課
目標	–		

事業実施状況

・水道メーターの更新
・止水栓の更新
・作業時間の短縮が可能な「掘削しないメーターボックス」への更新

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	374,870		
特定財源	374,870		
一般財源	0		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証: –

施策 20	取組 2	番号 3	事務事業 **利用者サービス推進事業**

目的	上下水道に関する利用者の負担軽減や利便性向上などにより、利用者サービスの向上を図ります。	担当課	水道総務課、水道課、料金課
目標	水道料金・下水道使用料の納付の利便性を高める手法の導入を目指します。		

事業実施状況

・水道料金・下水道使用料体系の検証
・新たな技術やサービスの調査研究
・水道凍結注意チラシの作成・配布

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	2,279		
特定財源	2,279		
一般財源	0		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証: R2年度は、料金体系を検証し水道料金改定を実施して利用者の負担軽減を図ったほか、利便性の向上のため、R4年度に向けたQRｺｰﾄﾞ決済導入準備を進めており、目標達成に向け進捗しています。

施策 20	取組 2	番号 4	事務事業 **組織力向上対策事業**

目的	上下水道の知識や技術の継承などを進め、質の高い上下水道サービスの提供を図ります。	担当課	水道総務課ほか
目標	質の高い上下水道サービスの提供につながる先進地等研修の参加数について8人を目指します。		

事業実施状況

・研修会、講習会などへの参加

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	358		
特定財源	358		
一般財源	0		

指標名	先進地等研修参加数	単位	人

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
–		8		8		8
		7				

評価検証: R2年度の先進地等研修の参加者数は延べ7人であり、目標を達成しませんでした。
質の高い上下水道サービスの提供に向けて、職員の専門的な知識や技術の習得を推進したものの、新型コロナウイルス感染症により、研修や講習が中止となったことによる影響があったことから、オンライン受講の検討が必要と考えます。

施策 20	取組 2	番号 5	事務事業 **水道料金・下水道使用料収納事業**

目的	料金・使用料の適正な調定・収納や収入の確保に向けた取り組みを進め、上下水道事業を健全に経営します。	担当課	料金課
目標	–		

事業実施状況

・水道メーターの検針
・水道料金、下水道使用料の調定、収納事務
・収納率向上対策の推進(水道料金収納率92.83%、下水道使用料収納率92.81%)
・【簡水・農下】収納率向上対策の推進(簡易水道料金収納率99.33%、農村下水道使用料金収納率98.56%)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	296,409		
特定財源	296,409		
一般財源	0		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証: –

施策	20	取組	2	番号	6	事務事業	**財政基盤強化対策事業**

目的	業務の効率化などにより、持続可能な財政基盤を確保し、上下水道事業を健全に経営します。	担当課	水道総務課ほか
目標	上下水道事業の健全で安定的な経営を維持します。		

事業実施状況

・GISや各種業務システムの活用
・残留塩素計の設置
・終末処理場の包括民間委託の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	201,955		
特定財源	201,955		
一般財源	0		

指標名	-	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証

R2年度は、GISや各種システムを活用し、水道・下水道の膨大な施設情報を一元管理したことで、中長期的な施設の更新計画への活用のほか、適切な維持管理や業務の効率化を進めており、目標達成に向け進捗しています。

施策	20	取組	2	番号	7	事務事業	**水道施設維持管理事業**

目的	適切な水道施設の維持管理などにより、水道事業を安定的に運営します。	担当課	水道課
目標	-		

事業実施状況

・配水管、水道施設、量水器の維持管理

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	345,467		
特定財源	317,536		
一般財源	27,931		

指標名	-	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証

-

施策	20	取組	2	番号	8	事務事業	**下水道施設維持管理事業**

目的	適切な下水道施設の維持管理などにより、下水道事業を安定的に運営します。	担当課	下水道課
目標	-		

事業実施状況

・下水道管の維持管理
・終末処理場の維持管理
・個別排水処理施設、農業集落排水施設の維持管理

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	369,515		
特定財源	369,515		
一般財源	0		

指標名	-	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証

-

施策	20	取組	2	番号	9	事務事業	**水道事業経営管理事業**

目的	水道事業の適切な管理運営により、水道水の安定供給を図ります。	担当課	水道総務課
目標	-		

事業実施状況

・上下水道ビジョンの推進
・帯広市公営企業経営審議会の開催
・企業債の償還及び資金運用
・資産の管理
・十勝中部広域水道企業団支出金

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	4,216,777		
特定財源	4,186,205		
一般財源	30,572		

指標名	-	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証

-

施策	20	取組	2	番号	10	事務事業	**下水道事業経営管理事業**

目的	下水道事業の適切な管理運営により、生活環境の保全や公衆衛生の向上を図ります。	担当課	水道総務課
目標	-		

事業実施状況

・上下水道ビジョンの推進
・帯広市公営企業経営審議会の開催
・企業債の償還及び資金運用
・資産の管理

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	5,553,677		
特定財源	4,304,973		
一般財源	1,248,704		

指標名	-	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証

-

施策	20	取組	2	番号	11	事務事業	**上下水道資源有効利用事業**

目的	浄水・下水処理の過程で発生する資源の有効利用により、環境負荷の軽減を図ります。	担当課	下水道課
目標	-		

事業実施状況

・十勝川流域下水道浄化センターとの共同乾燥処理
・下水汚泥の耕地への還元

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	30,332		
特定財源	30,332		
一般財源	0		

指標名	-	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証

-

施策 20	取組 2	番号 12	事務事業 **下水道普及促進事業**

目的	下水道の利用を促進し、生活環境の保全、公衆衛生の向上を図ります。	担当課	下水道課
目標	下水道未接続家屋の減少を目指します。		

事業実施状況

・下水道への接続の普及啓発
・排水設備改造資金の貸付

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	8,580		
特定財源	8,580		
一般財源	0		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

R2年度は、トイレの水洗化などを図るため、戸別訪問や文書指導を行ったほか、自己資金のみで工事費を負担することが困難な場合には、排水設備改造資金貸付金制度を周知したことで、下水道未接続家屋は減少しており、目標達成に向け進捗しています。

施策 20	取組 2	番号 13	事務事業 **水道水源水質保全事業**

目的	札内川の水質調査などにより、水源の水質を保全し、安全な水道水の供給を図ります。	担当課	水道課
目標	-		

事業実施状況

・札内川上流域の河川表流水調査
・水源水質調査
・水質検査
・水質検査機器の更新

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	55,260		
特定財源	55,260		
一般財源	0		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

-

施策 21	取組 1	番号 1	事務事業 **にぎわいづくり支援事業**

目的	歩行者天国などの取り組みを支援し、中心市街地のにぎわいを創出します。	担当課	商業労働課
目標	中心市街地におけるイベント実施時の歩行者通行量（6地点）について14,504人を目指します。		

事業実施状況

・歩行者天国、イルミネーションなどの取り組みへの支援(歩行者通行量(6地点)1,804人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,070		
特定財源	500		
一般財源	570		

指標名	イベント実施時の歩行者通行量(6地点)	単位	人

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
14,121		14,105		14,239		14,504
		1,804				

評価検証

R2年度のイベント実施時の歩行者通行量（6地点）は1,804人であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出自粛要請やイベント中止が要因であると考えます。今後、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じたイベントの開催や規模縮小などの対応が必要であると考えます。

施策 21	取組 1	番号 2	事務事業 **市民活動交流センター管理運営事業**

目的	市民活動交流センターの管理運営により、市民の活動・交流などを通した中心市街地のにぎわいの創出を図ります。	担当課	商業労働課
目標	-		

事業実施状況

・市民活動交流センターの管理運営

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	31,506		
特定財源	79		
一般財源	31,427		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

-

施策 21	取組 1	番号 3	事務事業 **駅北多目的広場管理事業**

目的	駅北多目的広場の管理により、イベントなどへの活用の促進を通した中心市街地のにぎわいの創出を図ります。	担当課	商業労働課
目標	-		

事業実施状況

・駅北多目的広場の管理、整備

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,302		
特定財源	194		
一般財源	1,108		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

-

施策 21	取組 1	番号 4	事務事業 **市営駐車場管理運営事業**
目的	市営駐車場の管理運営により、中心市街地を訪れる人の利便性の確保を図ります。	担当課	商業労働課
目標	–		

事業実施状況

・市営駐車場の管理運営

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	84,531		
特定財源	0		
一般財源	84,531		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策 21	取組 1	番号 5	事務事業 **中心市街地整備事業**
目的	市街地再開発事業などにより、街なか居住の促進や交流人口の拡大を図ります。	担当課	商業労働課
目標	–		

事業実施状況

・市街地再開発事業等の促進

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	846,877		
特定財源	846,877		
一般財源	0		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策 21	取組 1	番号 6	事務事業 **中心市街地活性化基本計画推進事業**
目的	関係機関と連携しながら中心市街地活性化基本計画を推進し、にぎわいのある中心市街地の形成を図ります。	担当課	商業労働課
目標	–		

事業実施状況

・中心市街地活性化基本計画の策定、進捗管理
・中心市街地活性化協議会への運営支援
・中心市街地活性化事業の推進
・まちなか居住及び開業の相談対応、情報提供
・中心市街地活性化に向けた人材の発掘、育成

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	7,437		
特定財源	0		
一般財源	7,437		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策 21	取組 2	番号 1	事務事業 **帯広の森づくり活動促進事業**
目的	帯広の森における市民の自主的な森づくり活動を促進するとともに、その活動を支援します。	担当課	みどりの課
目標	帯広の森の育成に関わる活動者数の増加を目指します。		

事業実施状況

・帯広の森づくり協議会の運営
・帯広の森づくり活動団体の承認
・帯広の森利活用事業の実施(活動者数2,289人)
・植生、小動物等調査の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	816		
特定財源	809		
一般財源	7		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: R2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大で帯広の森の利活用事業が中止や縮小になったことにより、帯広の森の育成に関わる活動が減少し、目標達成に向けあまり進捗していません。今後も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を徹底した上での事業実施が必要と考えます。

施策 21	取組 2	番号 2	事務事業 **花いっぱい推進事業**
目的	市民協働による花とみどりの環境づくりなどにより、市民の緑化意識の向上を図ります。	担当課	みどりの課
目標	市民協働による花とみどりの環境づくりの機会の提供等により、市民の緑化意識の醸成を図ります。		

事業実施状況

・花苗の提供(花壇コンクール73団体、フラワー通り整備15団体)
・花による緑化活動団体への支援(とかちオープンガーデン)
・市民協働のモデルガーデン事業などによる庭づくりなどの推進

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	3,796		
特定財源	3,746		
一般財源	50		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: R2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大で各種事業が中止となり、目標達成に向けあまり進捗していません。高齢化や人口減少による参加団体の減少、及び財源の枯渇が想定されることから、事業のあり方について検討を進めて行く必要があります。

施策 21	取組 2	番号 3	事務事業 **緑化推進事業**

目的	緑の基本計画に基づく緑地の保全や緑化の推進に総合的に取り組みます。	担当課	みどりの課
目標	市民の緑化に対する意識を高めながら、適切な緑地の保全や緑化の推進に取り組みます。		

事業実施状況

・緑化審議会の開催
・緑の基本計画の推進
・緑の募金活動の実施
・おびひろﾏｻﾞｰﾌｫﾚｽﾄ事業による苗木の配布（実績なし）
・緑の保全地区（1地区）及び保存樹木（10本）の管理・周知
・緑化協議
・緑化の啓発（イベント開催など）
・緑化重点地区の支援
・みどり資源利活用の推進
・緑化活動団体との連携・支援
・慶事記念樹の贈呈（引換数：415本）
・桜並木の整備・管理

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	13,871		
特定財源	3,046		
一般財源	10,825		

指標名	－	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証	R2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で一部の事業が中止となりましたが、緑化協議や慶事記念樹の贈呈、緑化活動団体との連携・支援等に取り組んでおり、目標達成に向けて進捗しています。

施策 21	取組 2	番号 4	事務事業 **公園整備事業**

目的	公園緑地の整備により、市民のレクリエーションや憩いの場等を提供します。	担当課	みどりの課
目標	－		

事業実施状況

・公園、緑地の整備

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	150,711		
特定財源	136,536		
一般財源	14,175		

指標名	－	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証	－

施策 21	取組 2	番号 5	事務事業 **公園管理運営事業**

目的	草刈や樹木の剪定・遊具の安全点検など公園を適切に維持管理し、安全で快適な利用環境の確保や多様な利活用を促進します。	担当課	みどりの課
目標	－		

事業実施状況

・公園・緑地の維持管理
・みどりと花のセンターの管理運営
・公園の多様な利活用の促進

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	235,833		
特定財源	2,127		
一般財源	233,706		

指標名	－	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証	－

施策 21	取組 2	番号 6	事務事業 **帯広の森管理運営事業**

目的	帯広の森を適切に管理し、帯広の森の育成や利活用の促進を図ります。	担当課	みどりの課
目標	－		

事業実施状況

・帯広の森維持管理、育成管理
・帯広の森・はぐくーむの管理運営
・十勝飛行場周辺伐採跡地の維持管理・育成管理

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	55,733		
特定財源	3,552		
一般財源	52,181		

指標名	－	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証	－

施策 21	取組 2	番号 7	事務事業 **既存公園整備事業**

目的	公園施設の改修・更新などにより、安全で快適な利用環境を維持します。	担当課	みどりの課
目標	－		

事業実施状況

・公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の更新
・既存公園施設のバリアフリー化
・既存公園遊水路の施設更新

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	71,137		
特定財源	64,970		
一般財源	6,167		

指標名	－	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証	－

施策 21	取組 2	番号 8	事務事業 **帯広の森整備事業**

目的	運動施設等と連絡する園路などの整備を進め、散歩や森林浴など市民の多様な利活用を促進します。	担当課	みどりの課
目標	－		

事業実施状況

・園路整備

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	22,297		
特定財源	21,148		
一般財源	1,149		

指標名	－	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証	－

施策 21	取組 3	番号 1	事務事業 **住宅サポートシステム事業**

目的	住まいに関する情報の提供や相談業務、住宅建設費への支援などにより、良質な住宅取得を促進します。	担当課	建築開発課
目標	相続や売却をはじめ住宅に関する様々な相談に応じる住まいのワンストップ相談窓口の利用件数の増加を目指します。		

事業実施状況

・市HP、リーフレットなどによる住情報の提供
・住まいの総合相談窓口対応
・住まいのワンストップ相談窓口の実施
・良質な住宅の新築への支援(相談窓口15回 相談37件 48名の専門家対応)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	10,213		
特定財源	4,689		
一般財源	5,524		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証: R2年度は、広報おびひろや、OCTV、ラジオなどで相談窓口の周知をしたことで、住まいのワンストップ相談窓口の利用件数は増加し、市民のニーズに合わせた相談対応を行っており、目標達成に向け進捗しています。

施策 21	取組 3	番号 2	事務事業 **住まいの改修助成事業**

目的	住宅改修を促進し、住宅環境の向上を図ります。	担当課	建築開発課
目標	市の支援による住宅の長寿命化や省エネ化の実施件数の増加を目指します。		

事業実施状況

・住宅改修への助成の実施(申請件数436件、交付決定403件、助成件数393件(10件取りやめ))

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	21,112		
特定財源	9,000		
一般財源	12,112		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証: R2年度は、随時申請を可能としたことや、申請方法の周知啓発を行ったことで、前年より申込が多く、長寿命化などの住宅改修につながったものと考えており、目標達成に向け進捗しています。

施策 21	取組 3	番号 3	事務事業 **ユニバーサルデザイン住宅普及促進事業**

目的	ユニバーサルデザイン住宅に関する相談や支援により、住宅環境の向上を図ります。	担当課	建築開発課
目標	誰もが暮らしやすい住宅についてのアドバイスを行うユニバーサルアドバイザーへの相談件数の増加を目指します。		

事業実施状況

・福祉、保健医療及び建築の専門知識を有するアドバイザーによるユニバーサルデザイン住宅相談会の実施
・ユニバーサルデザイン住宅補助金の実施(相談会19回実施、相談件数31件
、補助件数 新築1件 改造20件)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	7,929		
特定財源	4,002		
一般財源	3,927		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証: R2年度は、アドバイザーによる相談会を24回実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により計3回中止し、相談件数も減少したことから、目標達成に向けあまり進捗していません。今後も、ユニバーサルデザイン住宅の普及に向け、感染状況を考慮した相談会の開催や、個別に相談対応などに努めます。

施策 21	取組 3	番号 4	事務事業 **空家等対策事業**

目的	空家等の発生の抑制や、危険な空家等(特定空家等)の解消の促進を図ります。	担当課	建築開発課
目標	放置すると倒壊等のおそれがある特定空家等の減少を目指します。		

事業実施状況

・水道データに基づく実態調査の実施
・特定空家等の調査、認定及び措置
・リーフレットなどによる情報発信
・ワンストップ相談窓口などによる相談対応
・改修補助、特定空家解体補助金などの実施
(相談件数69件、補助件数 改修2件 解体6件)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	3,561		
特定財源	2,500		
一般財源	1,061		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証: R2年度は、空家所有者等へのリーフレット送付や、空家に関する相談対応などにより、空家の除却件数の増加や空家の利活用が進んできており、目標達成に向け進捗しています。

施策 21	取組 4	番号 1	事務事業 **地域優良賃貸住宅整備事業**

目的	民間事業者等による公的賃貸住宅の供給により、子育て世帯等への良好な居住環境の提供を図ります。	担当課	住宅営繕課
目標	-		

事業実施状況

・地域優良賃貸住宅の供給(子育て世帯向け住宅19戸整備)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	25,467		
特定財源	25,433		
一般財源	34		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証: -

施策 21	取組 4	番号 2	事務事業 **ストック総合改善事業**

目的	公営住宅の個別改善を進め、良好な居住環境を提供します。	担当課	住宅営繕課
目標	-		

事業実施状況

・福祉対応や長寿命化等の個別改善

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	73,143		
特定財源	70,986		
一般財源	2,157		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証: -

施策 21	取組 4	番号 3	事務事業 **公営住宅整備事業**

目的	老朽化した公営住宅を建替し、良好な居住環境を提供します。	担当課	住宅営繕課
目標	–		

事業実施状況

・公営住宅の建替(大空団地 空1・2号棟他)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	426,216		
特定財源	413,207		
一般財源	13,009		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 21	取組 4	番号 4	事務事業 **公営住宅維持修繕事業**

目的	公営住宅等の維持修繕を行い、住宅の機能維持を図ります。	担当課	住宅営繕課
目標	–		

事業実施状況

・公営住宅の設備、駐車場等の維持修繕

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	147,086		
特定財源	639,483		
一般財源	△492,397		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 21	取組 4	番号 5	事務事業 **公営住宅管理運営事業**

目的	公営住宅を適切に管理し、良好な居住環境を提供します。	担当課	住宅営繕課
目標	–		

事業実施状況

・公営住宅の管理
・借上公営住宅の管理
・入居事務
・公営住宅審議会の開催
・公営住宅使用料の賦課、徴収事務
・公営住宅使用料の収納率向上対策の推進

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	191,609		
特定財源	91,159		
一般財源	100,450		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 21	取組 4	番号 6	事務事業 **高齢者向け等優良賃貸住宅供給促進事業**

目的	地域優良賃貸住宅等への家賃補助を行い、高齢者、子育て世帯への居住の安定確保を進めます。	担当課	住宅営繕課
目標	–		

事業実施状況

・高齢者向け等優良賃貸住宅の家賃支援

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	47,236		
特定財源	21,372		
一般財源	25,864		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 21	取組 5	番号 1	事務事業 **市道除雪事業**

目的	除雪作業の実施による安全な道路通行の確保や除雪方法等の情報発信を進めます。	担当課	道路維持課
目標	除雪に関する問い合わせ件数について1,200件以下を目指します。		

事業実施状況

・道路除雪業務(市街地:幹線道路6回 歩道7回 生活道路5回、郊外地:全線9回)
・砂散布などの凍結路面対策の実施
・雪捨場の管理(3か所)
・町内会が主体となり除排雪を行う「パートナーシップ除排雪」の促進
・除雪方法等の情報発信

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,000,756		
特定財源	5,008		
一般財源	995,748		

指標名	除雪に関する問い合わせ件数	単位	件
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値
1,941	1,200	1,200	1,200
	876		

評価検証 R2年度の除雪に関する問い合わせ件数は876件であり、目標を達成しました。
生活道路や歩道などの柔軟な除雪対応を行ったことが効果的であったと考えます。

施策 21	取組 5	番号 2	事務事業 **自転車駐車対策事業**

目的	巡回・指導などにより、自転車の放置や迷惑駐車を防止します。	担当課	管理課
目標	放置自転車および長期間駐車自転車等の減少を目指します。		

事業実施状況

・放置禁止区域、駐輪場の巡回、指導
・長期放置自転車の処理

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,903		
特定財源	13		
一般財源	1,890		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 R2年度は、対象区域の放置自転車等の確認に伴う指導・警告および撤去により、放置自転車および長期間駐車自転車等が0台となり、目標達成に向けて進捗しています。

施策 21	取組 5	番号 3	事務事業 **自転車・歩行者利用環境整備事業**

目的	自転車道等の利用環境の整備を進め、自転車の利用を促進します。	担当課	都市政策課
目標	–		

事業実施状況

・自転車・歩行者の通行空間の整備(路面標示2箇所 啓発サイン2箇所)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,216		
特定財源	606		
一般財源	610		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 21	取組 5	番号 4	事務事業 **都市計画道路整備事業**

目的	都市計画道路の整備を進め、道路交通の円滑化を図ります。	担当課	土木課
目標	–		

事業実施状況

・都市計画道路の整備(青柳通、学園通、18条通、大和通線、川西・稲田西2線線)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	396,963		
特定財源	375,096		
一般財源	21,867		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 21	取組 5	番号 5	事務事業 **生活道路整備事業**

目的	市民に身近な生活道路の整備を進め、生活基盤の充実を図ります。	担当課	土木課
目標	–		

事業実施状況

・生活道路の整備(西11条南乙線、大空町・14号線、八千代・29号西線外、以平・西7線線外、以平5号・幸福28号線、泉・西8線線、西17条北2・2号線、競馬場南・西郊線、昭和・21号西線、(仮称)昭和・20号西線、白樺通西甲線)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	282,962		
特定財源	260,721		
一般財源	22,241		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 21	取組 5	番号 6	事務事業 **橋梁長寿命化事業**

目的	橋梁の点検や修繕などにより、道路網の安全性向上を図ります。	担当課	土木課
目標	–		

事業実施状況

・橋梁や横断歩道橋の計画的な点検及び修繕(南1線橋、緑園橋、柏西台橋、三線橋、空南橋、西4条橋、工機橋、南橋、開広橋、養鯉橋、西13条橋、愛国大橋、橋梁点検143橋)
・長寿命化修繕計画の策定(弥生通アンダーパス、西5条横断歩道橋)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	345,026		
特定財源	329,781		
一般財源	15,245		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 21	取組 5	番号 7	事務事業 **道路ストック修繕事業**

目的	道路施設の点検や修繕により、道路網の安全性向上を図ります。	担当課	土木課、道路維持課
目標	–		

事業実施状況

・道路舗装、道路施設の計画的な点検及び修繕(白樺通西甲線)
・道路付属物点検(門型標識9基)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	44,017		
特定財源	43,309		
一般財源	708		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 21	取組 5	番号 8	事務事業 **道路案内標識整備事業**

目的	道路案内標識の設置等により、運転者の円滑な通行と交通の安全の確保を図ります。	担当課	管理課
目標	–		

事業実施状況

・道路案内標識の修正
・信号機地点名標示板の設置

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	116		
特定財源	0		
一般財源	116		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 21	取組 5	番号 9	事務事業 **市道管理事業**
目的	市道を適切に管理し、安全で快適な道路環境を確保します。	担当課	管理課
目標	–		

事業実施状況

・不法占用物件の撤去、道路美化
・市道認定
・法定外公共物等管理システムの運用
・駅南北広場等の管理
・長期放置自転車の処理

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	6,953		
特定財源	45,645		
一般財源	△38,692		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 21	取組 5	番号 10	事務事業 **道路台帳整備事業**
目的	道路法に基づき道路台帳を整備し、適切に市道を管理します。	担当課	管理課
目標	–		

事業実施状況

・道路台帳の補正
・道路台帳図の作成

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	4,338		
特定財源	0		
一般財源	4,338		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 21	取組 5	番号 11	事務事業 **特殊舗装整備事業**
目的	特殊舗装により整備された道路を改良し、道路機能の維持・向上を図ります。	担当課	道路維持課
目標	–		

事業実施状況

・特殊舗装道路の改良(西16南6・4号線他21路線)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	198,913		
特定財源	179,000		
一般財源	19,913		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 21	取組 5	番号 12	事務事業 **街路樹維持管理事業**
目的	街路樹の剪定や更新などにより、道路の安全な利用環境や良好なみどりの環境を維持します。	担当課	道路維持課
目標	–		

事業実施状況

・街路樹の維持管理(剪定・伐採)
・植樹帯の草刈(道路附帯、工業団地幹線、白樺通他)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	120,951		
特定財源	0		
一般財源	120,951		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 21	取組 5	番号 13	事務事業 **道路照明管理事業**
目的	道路照明を適切に管理し、夜間における安全な通行の確保を図ります。	担当課	道路維持課
目標	–		

事業実施状況

・道路照明灯の維持管理(照明灯交換66ランプ、安定器交換37箇所)
・道路照明灯の省エネルギー化(66灯)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	94,923		
特定財源	0		
一般財源	94,923		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 21	取組 5	番号 14	事務事業 **橋梁維持補修事業**
目的	橋梁の維持補修により、安全な通行の確保を図ります。	担当課	道路維持課
目標	–		

事業実施状況

・橋梁の高欄などの簡易的修繕(春日橋、養鯉橋、高欄2箇所)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	400		
特定財源	0		
一般財源	400		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 21	取組 5	番号 15	事務事業 **道路車両センター管理運営事業**

目的	道路車両センターを適切に管理運営し、道路管理体制を保持します。	担当課	道路維持課
目標	–		

事業実施状況

・道路車両センターの管理運営

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	4,376		
特定財源	0		
一般財源	4,376		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 21	取組 5	番号 16	事務事業 **オーバーレイ事業**

目的	高級舗装道路のひび割れやわだちの補修を行い、道路機能の改善を図ります。	担当課	道路維持課
目標	–		

事業実施状況

・オーバーレイの実施(富士25号線、桜木14号・大正12号線)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	25,289		
特定財源	22,700		
一般財源	2,589		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 21	取組 5	番号 17	事務事業 **道路側溝整備事業**

目的	道路冠水を防止するため、雨水管や雨水桝を設置し、排水施設の整備を進めます。	担当課	道路維持課
目標	–		

事業実施状況

・道路側溝の整備(緑ヶ丘公園南7号線、緑ヶ丘公園南35号線)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	32,483		
特定財源	29,200		
一般財源	3,283		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 21	取組 5	番号 18	事務事業 **道路維持車両整備事業**

目的	除雪機械などの道路維持車両を計画的に配備し、道路の維持補修や除雪の体制強化を図ります。	担当課	道路維持課
目標	–		

事業実施状況

・道路維持車両の整備

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	0		
特定財源	0		
一般財源	0		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 21	取組 5	番号 19	事務事業 **市道維持補修事業**

目的	パトロールによる道路の補修、路面清掃や草刈りを行い、安全で快適な道路環境を保ちます。	担当課	道路維持課
目標	–		

事業実施状況

・道路パトロールの実施
・道路の維持補修(路面・雨水桝清掃他)
・道路維持車両の管理
・ロードヒーティング、凍結防止設備の管理

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	204,720		
特定財源	2,750		
一般財源	201,970		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 21	取組 6	番号 1	事務事業 **あいのりタクシー・バス運行事業**

目的	農村地区において乗合方式のタクシー・バスを運行し、地域住民の交通手段を確保します。	担当課	都市政策課
目標	あいのりタクシー及びあいのりバスの利用者数の増加を目指します。		

事業実施状況

・大正地区乗合タクシーの運行(利用者数2,306人)
・川西地区乗合バスの運行(利用者数8,320人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	27,072		
特定財源	5,014		
一般財源	22,058		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 R2年度は、新型コロナウイルスによる外出自粛の影響を大きく受けたことにより、利用者が大幅に減少しており、目標達成に向けあまり進捗していません。今後、感染症対策を徹底しながら、利用者の多くを占める高齢者を中心に利便性向上に向けた意見交換・ニーズ調査等を行い、地域の住民にとってより利用しやすい運行形態を検討していく必要があります。

施策 21	取組 6	番号 2	事務事業 **地域公共交通活性化事業**

目的	地域公共交通網形成計画に基づき、事業者等との連携によるバス交通の利便性の向上や活性化を図ります。	担当課	都市政策課
目標	市内完結路線における路線バス年間利用者数の増加を目指します。		

事業実施状況

・公共交通の利用促進
・小学生等への交通環境学習の実施(5回336名参加)
・バス停留所除雪対策の実施(対象停留所714箇所)
・バス運行維持に対する支援(2社 152,602千円)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	159,963		
特定財源	2,056		
一般財源	157,907		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

R2年度は、バス事業者と連携しながら、交通環境学習やバス利用啓発小冊子の配布などの利用促進策を継続して実施しましたが、新型コロナウイルスの影響を大きく受けたことにより路線バス利用者は大幅に減少しており、目標達成に向けあまり進捗していません。今後、事業者等と連携し、感染症対策を徹底しながら、バスの利便性向上及び利用促進に向けて取り組んでいく必要があります。

施策 21	取組 6	番号 再	事務事業 **高齢者おでかけサポートバス事業<再掲4-2-1>**

目的	バスの無料乗車証の交付により、高齢者の外出・移動を支援し、社会参加の促進や健康の維持増進などを図ります。	担当課	介護高齢福祉課
目標	-		

事業実施状況

・高齢者バス無料乗車証の交付(交付人数23,759人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	-		
特定財源	-		
一般財源	-		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

-

施策 21	取組 0	番号 1	事務事業 **中島霊園管理運営事業**

目的	中島霊園を適切に管理運営し、快適な利用環境を提供します。	担当課	戸籍住民課
目標	-		

事業実施状況

・中島霊園の維持管理
・墓地区画貸出業務
・中島霊園基金の管理

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	11,288		
特定財源	2,870		
一般財源	8,418		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

-

施策 21	取組 0	番号 2	事務事業 **既存墓地管理運営事業**

目的	既存墓地を適切に管理運営し、快適な利用環境を提供します。	担当課	戸籍住民課
目標	-		

事業実施状況

・既存墓地の維持管理
・墓地区画貸出業務

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	14,580		
特定財源	506		
一般財源	14,074		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

-

施策 21	取組 0	番号 3	事務事業 **火葬場管理運営事業**

目的	火葬場を適切に管理運営します。	担当課	戸籍住民課
目標	-		

事業実施状況

・火葬場の維持管理
・火葬業務
・施設の長寿命化

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	129,179		
特定財源	83,442		
一般財源	45,737		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

-

施策 21	取組 0	番号 4	事務事業 **鉄道高架レリーフ維持管理事業**

目的	鉄道により分断された市街地南北の一体的・効率的な土地利用を促進し、魅力ある都市空間を形成します。	担当課	商業労働課
目標	-		

事業実施状況

・鉄道高架レリーフの点検

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	0		
特定財源	0		
一般財源	0		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

-

施策 21	取組 0	番号 5	事務事業 **都市景観形成促進事業**

目的	地区計画制度の推進や景観形成に資する建築物の表彰などを通じ、良好な居住環境や景観の形成を促進します。	担当課	都市政策課
目標	まちづくりに貢献している建築物を表彰する帯広市まちづくりデザイン賞の応募件数について6件を目指します。		

事業実施状況

・まちづくりデザイン賞の実施
・帯広市都市環境デザイン委員会の開催
・地区計画の決定、変更

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	225		
特定財源	225		
一般財源	0		

指標名	帯広市まちづくりデザイン賞の応募申込数	単位	件

基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値
5	6 / 0	6	6

評価検証

R2年度の帯広市まちづくりデザイン賞の応募を取りやめたことから、目標を達成しませんでした。
受賞により市民やマスコミ等の関心・注目が高まり、受賞建築物への見学が予想されることから、受賞者および見学者への感染拡大防止の対応が困難であると判断し、開催を中止したものです。今後は、新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえた実施方法を検討していきます。

施策 21	取組 0	番号 6	事務事業 **都市計画制度推進事業**

目的	都市計画に関する調査等に基づき、都市計画制度を適切に運用します。	担当課	都市政策課
目標	–		

事業実施状況

・都市計画に関する調査、情報収集等
・帯広圏広域都市計画協議会の運営
・帯広市都市計画審議会の開催
・第2次帯広市都市計画マスタープランの推進
・都市開発基金の管理
・帯広圏都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の推進

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	6,807		
特定財源	1,189		
一般財源	5,618		

指標名	–	単位	

基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証

–

施策 21	取組 0	番号 7	事務事業 **開発行為等審査・指導事業**

目的	民間事業者による開発行為等を審査・指導し、秩序ある市街地の形成、良質な宅地の供給を促進します。	担当課	建築開発課
目標	–		

事業実施状況

・開発行為等許可申請審査、指導

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	102		
特定財源	1,105		
一般財源	△1,003		

指標名	–	単位	

基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証

–

施策 21	取組 0	番号 8	事務事業 **民間土地区画整理指導事業**

目的	民間の土地区画整理事業に対する指導により、秩序ある市街地の形成、良質な宅地の供給を促進します。	担当課	建築開発課
目標	–		

事業実施状況

・民間土地区画整理事業への指導

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,076		
特定財源	424		
一般財源	652		

指標名	–	単位	

基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証

–

施策 21	取組 0	番号 9	事務事業 **土地取引届出事業**

目的	国土利用計画法等に基づき、土地取引に関する事務を進めます。	担当課	建築開発課
目標	–		

事業実施状況

・土地取引届出に対する審査等

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	106		
特定財源	101		
一般財源	5		

指標名	–	単位	

基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証

–

施策 21	取組 0	番号 10	事務事業 **建築物確認事業**

目的	建築基準法に基づき、建築物の確認事務などを進めます。	担当課	建築開発課
目標	–		

事業実施状況

・建築物の確認、検査、許可等
・既存建築物の適正な維持、保全に係る指導等
・建築相談の実施
・建築行政に関する事務

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	8,575		
特定財源	21,571		
一般財源	△12,996		

指標名	–	単位	

基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証

–

事務事業評価表

施策 21	取組 0	番号 11	事務事業 **住宅改修等貸付金事業**

目的	過去に貸し付けた住宅建設資金・UD住宅新築等貸付金を管理します。	担当課	建築開発課
目標	–		

事業実施状況

・貸付金の管理

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	260,448		
特定財源	257,310		
一般財源	3,138		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

–

施策 22	取組 1	番号 1	事務事業 **市民提案型協働のまちづくり支援事業**

目的	市民グループやNPO、ボランティア団体等が提案するまちづくり活動を支援し、市民の主体的なまちづくり活動を促進します。	担当課	市民活動課
目標	市民提案型協働のまちづくり支援事業の応募団体数について13団体を目指します。		

事業実施状況

・市民からの提案事業への支援(応募10件、採択9件)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,454		
特定財源	0		
一般財源	1,454		

指標名	支援事業の応募団体数	単位	団体

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
12		13		13		13
		10				

評価検証

R2年度の応募団体数は10団体であり、目標を達成しませんでした。
様々な団体から事前の相談がありましたが、団体内で予算の具体化ができなかったことや、今後の事業展開の方向性が定まらなかったことなどが応募に至らなかった背景にあると考えます。新規応募の団体は全体の半数となっており、市民団体等によるまちづくりの促進に一定の効果がある一方で、制度創設から十数年が経過し、応募数の少ない部門が生じているほか、意欲やアイデアはあるものの応募に至らない団体、活動実績はあるものの事業の広がりや持続性に課題を抱える団体もあることなどから、各団体の実情を踏まえた支援の見直しに取り組む必要があります。

施策 22	取組 1	番号 2	事務事業 **町内会活動等支援事業**

目的	町内会等の活動を支援し、地域コミュニティの形成を促進します。	担当課	市民活動課
目標	身近な地域における絆づくりや課題解決などに向けた町内会の自主的な活動の継続を目指します。		

事業実施状況

・町内会活動の周知、加入促進
・帯広市町内会連合会への支援(各種研修会の実施、自主防災活動の実施28件など)
・町内会自治活動への支援(単位町内会766件、地区連合町内会47件)
・コミュニティ活動の促進

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	34,838		
特定財源	0		
一般財源	34,838		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

ライフスタイルや人々の価値観の多様化などを背景に、町内会加入率は減少傾向にあり、役員の負担感や活動の継続性など、様々な面で課題が生じています。R2年度は新型コロナウイルス感染症により、様々な町内会活動の自粛や中止が相次ぎましたが、それぞれの町内会活動の実情に合わせた対応方法の周知、町内会への文書発送の削減、転入時期における市役所窓口での町内会加入案内や、市職員への啓発の強化など、目標達成に向け進捗していますが、担い手の不足やコロナ禍に伴う活動停滞など様々な課題があることから、引き続き、支援を進めていくことが必要です。

施策	22	取組	1	番号	3	事務事業	**市民協働推進事業**

目的	活動相談や情報提供などにより、NPO、ボランティア団体等の活動を支援し、市民参加の取り組みを促進します。	担当課	市民活動課
目標	若者、女性、企業など、多様な主体がまちづくりに参加しやすい環境づくりを目指します。		

事業実施状況

・市民グループやNPO、ボランティア団体等への支援
・市民活動ポータルサイトの運用
・市民活動交流センター市民活動情報室の運営(相談件数374件)
・企業等との包括連携協定の締結

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	4,350		
特定財源	0		
一般財源	4,350		

指標名	-	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証

少子高齢化の進展や人々の価値観の変化などを背景に、地域課題が複雑多様化する中で、NPOやボランティア団体、地縁組織はもとより、若者、女性、企業など、これまで以上に多様な主体がまちづくりに関わることが必要となっています。R2年度はコミュニティの活性化などを柱とした包括連携協定の締結や、SNSを活用した活動情報の発信、市民団体の組織体制の強化に向けた相談対応などを通し、女性活躍の推進や障害者への理解促進、身近な地域における相談体制づくりなど、幅広い分野で協働の取り組みが広がりつつあり、目標達成に向け進捗しています。

施策	22	取組	1	番号	4	事務事業	**コミュニティ施設維持管理事業**

目的	市民相互が交流・連携する場を提供します。	担当課	市民活動課
目標	-		

事業実施状況

・コミュニティ施設の整備、維持管理(利用者数351,630人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	162,802		
特定財源	8,049		
一般財源	154,753		

指標名	-	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証

-

施策	22	取組	1	番号	再	事務事業	**健康教育事業<再掲1-2-2>**

目的	健康教育の実施により、生活習慣病の予防やこころの健康づくりの普及・啓発を図ります。	担当課	健康推進課
目標	-		

事業実施状況

・集団健康教育の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	-		
特定財源	-		
一般財源	-		

指標名	-	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証

-

施策	22	取組	1	番号	再	事務事業	**地域福祉推進事業<再掲3-1-2>**

目的	市民や関係団体等との連携により、高齢者や障害者等をともに支え合う地域福祉の環境づくりを進めます。	担当課	地域福祉課
目標	-		

事業実施状況

・地域交流サロンの活動促進

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	-		
特定財源	-		
一般財源	-		

指標名	-	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証

-

施策	22	取組	1	番号	再	事務事業	**学校・家庭・地域連携事業（学校地域支援本部））<再掲12-4-1>**

目的	地域全体で子どもを応援する仕組みにより、各学校単位の取り組みの充実やボランティア等の支援、各取り組みのつながり強化を図ります。	担当課	学校地域連携課
目標	-		

事業実施状況

・学校支援地域本部の活動支援
・学校支援ボランティアの育成
・帯広市学校・家庭・地域協働会議の運営
・こども学校応援地域基金の管理
・登下校時の交通事故や不審者から児童を守る安全対策の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	-		
特定財源	-		
一般財源	-		

指標名	-	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証

-

施策	22	取組	1	番号	再	事務事業	**学校・家庭・地域連携事業（子どもの居場所づくり））<再掲12-4-2>**

目的	放課後等に児童が安心して安全に過ごせる場を設け、地域の人との交流を通して、豊かな人間性や社会性を養います。	担当課	学校地域連携課
目標	-		

事業実施状況

・放課後子ども広場の開催(参加ボランティア数延べ838名、実施回数169回)
・居場所づくりに関わるボランティアの養成(参加者29名)
・放課後子ども広場運営委員会の開催

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	-		
特定財源	-		
一般財源	-		

指標名	-	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証

-

施策 22	取組 1	番号 再	事務事業 学習機会提供事業（生涯学習文化課）<再掲13-1-1>
目的	学習情報のほか、生涯にわたって学ぶ様々な機会を提供します。	担当課	生涯学習文化課
目標	–		
事業実施状況	・市民大学講座の実施（20講座612人） ・高齢者学級の中止 ・プラザエンジョイスクールの実施（前期中止、後期481人）		

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証	–

施策 22	取組 1	番号 再	事務事業 学習を通じたまちづくり支援事業<再掲13-2-1>
目的	社会教育関係団体等による学習活動を支援し、学習を通じたまちづくりを促進します。	担当課	生涯学習文化課
目標	–		
事業実施状況	・生涯学習推進委員会への支援（講座回数75回、参加者数4,155人） ・社会教育団体等への支援（市P連補助金850,000円） ・学生の社会参加（9日実施、参加者数2年生18人）※1年生未実施 ・指導者登録（登録者数195人）		

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証	–

施策 22	取組 1	番号 再	事務事業 市民文化活動促進事業<再掲14-1-2>
目的	市民主体の文化芸術活動を推進します。	担当課	生涯学習文化課
目標	–		
事業実施状況	・市民主体の文化活動への支援（文化事業の後援件数39件） ・市民芸術祭の開催中止 ・文化芸術活動発表会の開催（1事業） ・活動成果発表機会の提供（2事業）		

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証	–

施策 22	取組 1	番号 再	事務事業 文化芸術鑑賞事業<再掲14-2-1>
目的	市民に良質な文化芸術にふれる機会を提供し、文化芸術への関心を高めます。	担当課	生涯学習文化課、百年記念館
目標	–		
事業実施状況	・優れた文化芸術鑑賞機会の提供（3事業29,587人）		

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証	–

施策 22	取組 1	番号 再	事務事業 市民活動交流センター管理運営事業<再掲21-1-2>
目的	市民活動交流センターの管理運営により、市民の活動・交流などを通した中心市街地のにぎわいの創出を図ります。	担当課	商業労働課
目標	–		
事業実施状況	・市民活動交流センターの管理運営		

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証	–

施策 22	取組 2	番号 1	事務事業 移住推進事業
目的	移住に関する相談活動や情報提供などにより、移住等を促進します。	担当課	観光交流課
目標	移住に関するホームページアクセス数について12,544件を目指します。		
事業実施状況	・移住に関する情報収集（随時）、提供（随時・メルマガ28回） ・移住に関する相談の実施（134人） ・ちょっと暮らしサポート事業の実施（4件58日間）		

単位：千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	380		
特定財源	0		
一般財源	380		

指標名	移住に関するホームページアクセス数	単位	件
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値
10,955	12,544	12,544	12,544
	13,324		

評価検証	R2年の移住に関するホームページアクセス数は13,324件であり、目標を達成しました。 コロナ禍で地方への関心が高まったことや、市公式サイトに移住特設ページを掲載したことにより、移住に興味を持つ方がアクセスしやすくなったことが要因であると考えます。

施策 22	取組 2	番号 2	事務事業 **国内地域間交流促進事業**

目的	東京帯広会や関西帯広会等との交流や支援を通して、多様な地域間交流を進めます。	担当課	観光交流課
目標	東京帯広会・関西帯広会への支援を通じ、帯広を応援する人材を確保するための運営体制を維持します。		

事業実施状況

・東京帯広会の活動への支援
・関西帯広会の活動への支援
・ふるさと訪問ツアーの受入の中止
・県人会、ふるさと会等の活動への対応

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,013		
特定財源	0		
一般財源	1,013		

指標名	-	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証

R2年度は、東京帯広会の創設50周年記念の郷土訪問ツアーが新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、各帯広会の新規会員の勧誘に努め、運営体制が維持できており、目標達成に向けて進捗しています。

施策 22	取組 2	番号 3	事務事業 **国際姉妹・友好都市交流事業**

目的	国際姉妹・友好都市との交流に関する業務を進め、幅広い分野での市民主体による交流を促進します。	担当課	観光交流課
目標	国際姉妹・友好都市間における市民主体の交流活動を維持します。		

事業実施状況

・国際姉妹・友好都市交流業務(日アラスカ友好ビデオキャンペーン参加1回)
・スワード市への高校生派遣、受入の中止
・朝陽市への高校生派遣、受入の中止
・市民主体の交流活動の支援
・姉妹都市展示コーナーなどによる情報提供(随時・図書館等展示2回)
・朝陽市との訪問団相互派遣交流の延期

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	142		
特定財源	142		
一般財源	0		

指標名	-	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証

R2年度は、新型コロナウイルス感染症対策による、アメリカ、中国及び本国の出入国管理の厳格化のため、高校生相互派遣事業及び周年事業が中止や延期となったことにより、目標達成に向けあまり進捗していません。今後、姉妹都市、友好都市とのつながりを保持するため、オンラインでのコミュニケーションや各地の物産を活用した新たな交流手法を検討していくことが必要と考えます。

施策 22	取組 2	番号 4	事務事業 **国内姉妹都市交流事業**

目的	国内姉妹都市への派遣等により、幅広い分野での市民主体による交流を促進します。	担当課	観光交流課
目標	国内姉妹都市間における市民主体の交流活動を維持します。		

事業実施状況

・国内姉妹都市交流業務(物産交流7回)
・市民主体の交流活動促進
・子ども親善訪問団派遣、受入の中止
・姉妹都市展示コーナーなどによる情報提供(随時・図書館等展示2回)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	7		
特定財源	7		
一般財源	0		

指標名	-	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証

R2年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、子ども親善訪問団の派遣、受入が中止となったことにより、目標達成に向けあまり進捗していません。今後も、各姉妹都市とのつながりを保持するため、オンラインでのコミュニケーションや各地の物産を活用した新たな交流手法を検討していくことが必要と考えます。

施策 22	取組 2	番号 5	事務事業 **国際交流活動促進事業**

目的	市民主体の国際交流活動を支援し、市民レベルの交流拡大を図ります。	担当課	観光交流課
目標	国際交流ボランティアの増加を目指します。		

事業実施状況

・市民主体の国際交流活動へ支援
・国際親善交流基金の管理
・留学生による地域活動への支援(4回)
・国際交流ボランティアの育成(育成セミナー2回)
・国際交流団体のネットワークづくり
・国際交流団体への支援

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	7,819		
特定財源	7,438		
一般財源	381		

指標名	-	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証

R2年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、市民団体の活動は縮小したものの、感染対策を行ったうえで実施したイベントなどでの周知に取り組んだことにより、国際交流ボランティア登録者数は増加しており、目標達成に向け進捗しています。

施策 22	取組 2	番号 6	事務事業 **国際理解推進事業**

目的	国際理解教育や在住外国人への日本文化紹介など、異なる文化・習慣等の相互理解を促進します。	担当課	観光交流課
目標	外国人講師の派遣回数や日本文化紹介機会の増加を目指します。		

事業実施状況

・外国人講師派遣(紹介)事業の募集
・国際交流員による小中学校訪問(76時間)
・諸外国の生活文化紹介(11回)
・日本文化紹介事業の実施
・国際交流員による事業の企画、実施(1回)
・通訳・翻訳業務(翻訳25回・通訳15回)
・在住外国人への情報提供・相談の実施
・多文化共生社会の推進

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	16,505		
特定財源	420		
一般財源	16,085		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

R2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、市民への外国人講師派遣の機会が減少したほか、JICA研修員などの外国人が来日できなかったことに伴い、日本文化を紹介する機会が持てなかったことから、目標達成に向けあまり進捗していません。今後は多様な文化への理解促進を図りながら、安全に交流できる適切な時期に市民主体の交流を継続していくことが必要です。

施策 22	取組 2	番号 7	事務事業 **国際協力事業**

目的	地域の技術や特性を活かした人材の育成など、JICA北海道センター(帯広)を核に関係機関と連携し、国際協力を進めます。	担当課	観光交流課
目標	JICA北海道センター（帯広）等との連携による研修事業などを通じ、国際協力が可能な体制を維持します。		

事業実施状況

・国際研修指導員による青年研修事業等の実施(13コース受託)
・国際協力関係機関との連絡調整

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	3,237		
特定財源	0		
一般財源	3,237		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

R2年度は、JICA帯広が実施する研修事業が、新型コロナウイルス感染症対策により中止となったものの、代替事業として遠隔研修事業等に取り組むなど、国際協力が可能な体制が維持できており、目標達成に向け進捗しています。

施策 22	取組 2	番号 8	事務事業 **森の交流館・十勝管理運営事業**

目的	国際交流の拠点施設である森の交流館・十勝の管理運営を通して、地域の国際化を総合的に進めます。	担当課	観光交流課
目標	-		

事業実施状況

・森の交流館・十勝の管理運営

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	21,406		
特定財源	1,647		
一般財源	19,759		

指標名	-	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証

-

施策 22	取組 3	番号 1	事務事業 **女性活躍推進事業**

目的	ライフステージに応じたワーク・ライフ・バランスの普及、浸透や、女性の政策過程への参画などにより、男女がともに暮らしやすい環境づくりを進めます。	担当課	市民活動課
目標	男女共同参画講座のうちワーク・ライフ・バランス、女性活躍に関する講座の参加者数について103人を目指します。		

事業実施状況

・各種審議会等への女性の登用促進(33.8%)
・女性活躍に関する講座の開催(2回36人)
・ワーク・ライフ・バランス啓発資料等の作成・配布(2,106事業所)
・帯広市役所版イクボス宣言の試行実施
・男女共同参画専門員の配置

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	2,717		
特定財源	0		
一般財源	2,717		

指標名	女性活躍等に関する講座の参加者数	単位	人

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
77		103		103		103
		36				

評価検証

R2年度の女性活躍に関する講座の参加者数は36人であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症対策のため、予定していた講座を開催できなかったことや、実施会場の定員制限のほか、人々の外出頻度の減少などが影響したものと考えます。こうした状況を踏まえ、オンラインでの講座を開催したところであり、引き続き、対象者のニーズに応えた講座づくりを進めていく必要があります。また、帯広市役所版イクボス宣言を試行実施し、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組みました。今後も、各種審議会等への女性の登用促進やワーク・ライフ・バランスの啓発に向けた取り組みを進めていく必要があります。

施策 22	取組 3	番号 2	事務事業 **女性に対する暴力根絶推進事業**

目的	女性への暴力に対する認識を促す啓発活動により、女性への暴力根絶意識の向上を図ります。	担当課	市民活動課
目標	男女共同参画講座のうちDVに関する講座の参加人数について45人を目指します。		

事業実施状況

・DV防止啓発パンフレットの作成・配布
・デートDV予防講座の開催(2校285人)
・DVに関する講座の開催(1回25人)
・セクシュアルハラスメント防止に向けた意識啓発
・女性相談員の配置
・女性のための人権なんでも相談所の開催
・民間シェルターへの支援

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	3,643		
特定財源	1,687		
一般財源	1,956		

指標名	DVに関する講座の参加者数	単位	人

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
32		45		45		45
		25				

評価検証

R2年度のDVに関する講座の参加者数は25人であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症対策のため、実施会場の定員を制限したことや、人々の外出頻度の減少などが影響したものと考えます。また、コロナ禍によりデートDV予防講座の開催にも影響があったことから、デートDVの予防に関する新たな取り組みも必要と考えます。引き続き、DV防止啓発パンフレットの作成・配布や、民間シェルターへの補助などを通じて、DVの根絶と被害者の自立支援に向けて取り組みを進める必要があります。

施策 22	取組 3	番号 3	事務事業 **男女共同参画推進事業**

目的	男女平等参画に関する講演会の開催などにより、男女平等意識の向上を図ります。	担当課	市民活動課
目標	男女共同参画セミナー、男女共同参画講座の参加者数について346人を目指します。		

事業実施状況

・女と男の一行詩の実施
(応募者数432人、作品数1,035作品)
・男女共同参画セミナーの開催
(161人)
・男女共同参画講座の開催(4回88人)
・男女共同参画情報誌「カスタネット」の発行(2回、各3,000部)
・とかちプラザ女性情報コーナーでの情報提供
・男女共同参画関係団体への支援活動
・多様な性に関する職員ガイドラインの策定

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	946		
特定財源	48		
一般財源	898		

指標名	男女共同参画講座参加者数	単位	人

基準値	R2	R3	R4
	目標値	目標値	目標値
	実績値	実績値	実績値
283	346	346	346
	249		

評価検証

R2年度の男女共同参画セミナー、男女共同参画講座の参加者数は249人であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症対策のため、予定していた講座が開催できなかったことや、実施会場の定員制限のほか、人々の外出頻度の減少などが影響したものと考えます。こうした中でも、男女共同参画セミナーについては、定員を超える申し込みがあったことから、引き続き、市民が関心を持ち、気軽に参加できるセミナーや講座づくりを進める必要があります。また、R2年度に多様な性に関する職員ガイドラインを策定しました。今後も、女と男の一行詩の実施や、男女共同参画情報誌の発行などの取り組みのほか、多様な性に関する理解促進を進める必要があります。

施策 22	取組 3	番号 再	事務事業 **子育て支援事業<再掲2-1-3>**

目的	子育て世代包括支援センターにおいて、子育て相談など多様な子育て支援事業を実施します。	担当課	子育て支援課
目標	–		

事業実施状況

・ファミリーサポートセンター事業の実施(会員数695人、援助活動件数1,195件)
・子育て応援事業所登録事業の実施(登録事業所数296事業所)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	

基準値	R2	R3	R4
	目標値	目標値	目標値
	実績値	実績値	実績値

評価検証

–

施策 22	取組 3	番号 再	事務事業 **労働環境整備促進事業<再掲9-4-2>**

目的	労働相談の実施や子どもを生み育てやすい職場環境づくりなど、勤労者が安心して働くことができる環境整備を促進します。	担当課	商業労働課
目標	–		

事業実施状況

・子育て応援事業所促進事業の実施(子育応援事業所促進奨励金交付50人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	

基準値	R2	R3	R4
	目標値	目標値	目標値
	実績値	実績値	実績値

評価検証

–

施策 22	取組 4	番号 1	事務事業 **アイヌ民族理解促進事業**

目的	アイヌ民族の歴史・文化に関する理解促進など、アイヌの人たちの施策を総合的に推進します。	担当課	地域福祉課
目標	アイヌ協会主催イベント等への参加のべ人数について1,269人を目指します。		

事業実施状況

・アイヌ生活文化展の開催(139人)
・アイヌ対策連絡会議の開催
・帯広アイヌ協会への支援

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	600		
特定財源	0		
一般財源	600		

指標名	生活文化展や講習会等の参加者数	単位	人

基準値	R2	R3	R4
	目標値	目標値	目標値
	実績値	実績値	実績値
1,190	1,269	1,269	1,269
	965		

評価検証

R2年度の生活文化展や文化交流会等の参加者数は965人であり、目標を達成しませんでした。
一部の事業が新型コロナウイルス感染症の拡大により中止になったことなどが要因であると考えます。
アイヌ民族の歴史・文化に関する理解促進を図るため、今後も感染症対策を徹底しながら、様々な手法を検討し、アイヌ民族の理解促進につなげていくことが必要と考えています。

施策 22	取組 4	番号 2	事務事業 **アイヌの人たちの生活相談事業**

目的	生活館の管理運営や、生活相談・指導により、アイヌの人たちの生活の向上を図ります。	担当課	地域福祉課
目標	アイヌ生活相談員による生活相談体制を維持します。		

事業実施状況

・生活相談員の配置(相談数930件)
・住宅新築資金等の貸付
・生活館の管理運営

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	9,502		
特定財源	3,240		
一般財源	6,262		

指標名	生活相談件数	単位	件

基準値	R2	R3	R4
	目標値	目標値	目標値
	実績値	実績値	実績値
516	516	516	516
	930		

評価検証

R2年度における生活相談件数は930件となりました。
相談窓口の周知に取り組みながら、アイヌの人たちへの生活相談に応じたことで、アイヌの人たちの生活向上につながってきているものと考えます。

施策 22	取組 4	番号 3	事務事業 **アイヌ子弟教育支援事業**

目的	遠隔地で就学するアイヌ子弟の教育費助成や教育相談・指導により、アイヌ子弟の教育環境の充実を図ります。	担当課	学校教育課、学校教育指導課
目標	–		

事業実施状況

・アイヌ子弟高等教育に係る教育扶助の支給(支給実績1件)
・教育相談員の配置(1人帯広市生活館常駐)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	2,239		
特定財源	0		
一般財源	2,239		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 22	取組 4	番号 4	事務事業 **アイヌ民族文化調査・普及事業**

目的	アイヌ民族文化情報センター「リウカ」において学ぶ機会を提供し、アイヌ民族の歴史・文化への理解を促進します。	担当課	百年記念館
目標	リウカ（アイヌ文化情報センター）の利用者数について22,326人を目指します。		

事業実施状況

・アイヌ民族文化に関する情報提供、普及活動(情報提供81件 普及活動講座1件18名、展示1件1536名、館所管外の講座2件、事業1件に協力)
・アイヌ民族文化に関する情報収集、調査(アイヌ民族文化ネットワーク協議会(白老)1回、アイヌ文化財専門職員等研修会(札幌)1回
、アイヌ文化に関する資料調査(美幌)1回、アイヌ文化に関する聞き取り調査2回)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,072		
特定財源	65		
一般財源	1,007		

指標名	リウカの利用者数	単位	人

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
21,233		22,326		22,326		22,326
		12,287				

評価検証 R2年度のリウカの利用者数は12,287人であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症対策に伴い施設を臨時休館したことや市民の外出自粛の影響が要因であると考えます。今後は学芸員が来館者の需要を踏まえた説明対応に努めるとともに、入場者やホームページ閲覧者が活用するデジタルモバイルガイドによる学びの素材の提供など、新たな学習機会の提供を進めていきます。

施策 22	取組 4	番号 5	事務事業 **アイヌ伝統文化保存・伝承事業**

目的	アイヌ古式舞踊保護団体や、アイヌの伝統文化の保存・伝承活動を支援し、十勝に伝わるアイヌ文化の保存伝承、発展を図ります。	担当課	百年記念館
目標	リウカ（アイヌ文化情報センター）の利用者数について22,326人を目指します。		

事業実施状況

・帯広カムイトウウポポ保存会への補助
・空間活用事業(普及啓発)(アイヌ古式舞踊の披露2回)
・体験交流事業(植物観察会21名、クチャ(仮小屋づくり体験)14名、キナ(ゴザ)製作体験2名、アイヌ料理体験16名 合計53名)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	4,762		
特定財源	1,624		
一般財源	3,138		

指標名	リウカの利用者数	単位	人

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
21,233		22,326		22,326		22,326
		12,287				

評価検証 R2年度のリウカの利用者数は12,287人であり、目標を達成しませんでした。
新型コロナウイルス感染症対策に伴い施設を臨時休館したことや市民の外出自粛の影響が要因であると考えます。今後は学芸員が来館者の需要を踏まえた説明対応に努めるとともに、入場者やホームページ閲覧者が活用するデジタルモバイルガイドによる学びの素材の提供など、新たな学習機会の提供を進めていきます。

施策 22	取組 5	番号 1	事務事業 **核兵器廃絶平和都市推進事業**

目的	核兵器廃絶平和都市宣言の理念に基づき、核兵器廃絶などの平和に関する意識の向上を図ります。	担当課	市民活動課
目標	各種平和事業の参加者数について4,084人を目指します。		

事業実施状況

・語り継ぐ核兵器廃絶、平和展の開催(1,313人)
・原爆パネル移動展の開催(100人)
・平和コンサートの開催(100人)
・平和の絵・詩の募集(210人、絵:115点、詩:96点)
・平和カレンダーの作成・配布(3,500部)
・語り部の会の開催(60人)
・平和首長会議、日本非核宣言自治体協議会への参画

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	439		
特定財源	0		
一般財源	439		

指標名	平和啓発事業参加者数	単位	人

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値
3,399		4,084		4,084		4,084
		1,783				

評価検証 R2年度の平和事業の参加者数は1,783人であり、目標を達成しませんでした。
開催会場を変更するなど、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ各種平和事業を実施し、語り部の会については、近年で最も多くの参加者となりましたが、原爆パネルの貸出、平和展への参加者数の減少が大きく、コロナ禍によるイベントの抑制や人々の外出頻度の減少が影響したものと考えます。引き続き、平和の絵・詩の募集、平和カレンダーの作成・配布などを通じ、平和に対する意識啓発を進めていくことが重要と考えます。

施策 22	取組 5	番号 2	事務事業 **人権擁護推進事業**

目的	一人ひとりの人権が尊重される社会や平和の実現をめざします。	担当課	市民活動課
目標	–		

事業実施状況

・人権擁護候補者の推薦(3人)
・人権啓発活動への支援

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	120		
特定財源	0		
一般財源	120		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 22	取組 5	番号 再	事務事業 **児童虐待予防・防止対策推進事業<再掲2-1-10>**

目的	虐待や育児に関する相談活動を行うとともに、関係機関との連携を進め、児童虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。	担当課	子育て支援課
目標	–		

事業実施状況

・家庭児童相談室の運営(相談件数 791件)
・帯広市要保護児童対策地域協議会の開催(代表者会議 1回、個別ケース検討会議 74回)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策	22	取組	5	番号	再	事務事業	高齢者虐待防止事業<再掲4-1-5>

目的	地域包括支援センターや関係機関との連携により、高齢者虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。	担当課	介護高齢福祉課
目標	–		

事業実施状況

・高齢者虐待防止ネットワーク会議の開催(書面開催)
・高齢者虐待防止研修会の開催中止
・被虐待高齢者の保護、支援(通報件数60件、認定件数11件)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策	22	取組	5	番号	再	事務事業	障害者虐待防止事業<再掲5-1-2>

目的	虐待に関する相談活動を行うとともに、関係機関との連携により、障害者虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。	担当課	障害福祉課
目標	–		

事業実施状況

・障害者虐待防止センターの運営(通報件数29件)
・虐待に関する啓発活動の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策	22	取組	5	番号	再	事務事業	女性に対する暴力根絶推進事業<再掲22-3-2>

目的	女性への暴力に対する認識を促す啓発活動により、女性への暴力根絶意識の向上を図ります。	担当課	市民活動課
目標	–		

事業実施状況

・DV防止啓発パンフレットの作成・配布
・デートDV予防講座の開催(2校285人)
・DVに関する講座の開催(1回25人)
・セクシュアルハラスメント防止に向けた意識啓発
・女性相談員の配置
・女性のための人権なんでも相談所の開催
・民間シェルターへの支援

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	–		
特定財源	–		
一般財源	–		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策	23	取組	1	番号	1	事務事業	広報活動事業

目的	広報紙等の発行や、ホームページ、テレビ、ラジオ等のメディアを活用し、市民に行政情報を分かりやすく提供します。	担当課	広報広聴課
目標	情報発信の満足度について55.0%を目指します。		

事業実施状況

・広報紙の発行、配布(月1回発行・924,000部/年・172頁/年)
・点字・声の広報の発行、配布(配布対象24人)
・ホームページ、テレビ、ラジオ、SNS等による情報発信(HPアクセス数16,211,520回)
・市長記者会見(24回)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	40,676		
特定財源	3,932		
一般財源	36,744		

指標名	情報発信の満足度	単位	%
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値
52.0	53.0 / 49.6	54.0	55.0

評価検証 R2年度の情報発信の満足度（情報発信の満足度を計る指標の市民まちづくりアンケートにおける「行政情報を分かりやすく知ることができる」と回答した割合）は49.6%であり、目標を達成しませんでした。行政情報の入手方法やニーズは各年代様々であることから、今後も引き続き、各ツールの特徴を活かし、適時・適切な情報発信に努めていく必要があると考えます。

施策	23	取組	1	番号	2	事務事業	広聴活動事業

目的	様々な機会を通した市民との対話や、市長への手紙やパブリックコメント制度の実施などにより、施策に関する市民意見を把握します。	担当課	広報広聴課
目標	市民対話推進事業参加者の満足度について83.6%を目指します。		

事業実施状況

・市民との対話事業の実施(1回23人参加)
・市政講座の実施(17件559人参加)
・市長への手紙の実施(285件)
・陳情・要望書等の受理(738件)
・パブリックコメントの実施(4計画26件の意見)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,173		
特定財源	0		
一般財源	1,173		

指標名	市民対話推進事業参加者の満足度	単位	%
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値
79.4	83.6 / 95.7	83.6	83.6

評価検証 R2年度の市民対話推進事業参加者の満足度（市民対話推進事業における参加者アンケートにて「参加して良かった」と回答した割合）は95.7%であり、目標を達成しました。
満足度は大きく上昇しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により対話事業は1回に留りました。今後も、市民の関心が高いテーマを取り上げ、場所や形式について対話しやすい環境を整えながら、事業を進めていく必要があると考えます。

施策	23	取組	1	番号	3	事務事業	まちづくり基本条例推進事業

目的	まちづくり基本条例の普及・啓発や条例に基づく取り組みを進め、市民協働による自主・自立のまちづくりを進めます。	担当課	企画課
目標	–		

事業実施状況

・市民への普及・啓発
・条例に基づく取り組みの推進

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	0		
特定財源	0		
一般財源	0		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 23	取組 1	番号 4	事務事業 **情報公開・提供推進事業**

目的	帯広市情報公開条例に基づき、適切に情報公開を進めるとともに、情報室などにおいて、市民に行政情報を幅広く提供します。	担当課	総務部総務課
目標	–		

事業実施状況

・情報室における情報提供
・公文書開示請求への対応(請求件数43件)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	34		
特定財源	5		
一般財源	29		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策 23	取組 2	番号 1	事務事業 **おびひろ応援寄附金推進事業**

目的	おびひろ応援寄附金に関し、返礼品の充実や地域の魅力発信を行うとともに、寄附金の受納に関する事務の適正な執行に努めます。	担当課	観光交流課、総務部総務課
目標	おびひろ応援寄附金額について322,428千円を目指します。		

事業実施状況

・おびひろ応援寄附金に関する返礼品の充実、情報発信
・おびひろ応援寄附金の受納に関する事務

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	264,609		
特定財源	244,843		
一般財源	19,766		

指標名	寄附金額	単位	千円
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値
57,382	164,504 / 591,150	230,306	322,428

評価検証: R2年度のおびひろ応援寄附金は591,150千円であり、目標を達成しました。
返礼品の充実やふるさと納税サイトの拡充に取り組んだことが効果的であったと考えます。

施策 23	取組 2	番号 2	事務事業 **自主財源確保対策事業**

目的	新たな自主財源を検討するとともに、自主財源の確保・拡大を図ります。	担当課	財政課
目標	自主財源の確保に向けた広告媒体の拡大などを目指します。		

事業実施状況

・新たな自主財源の検討及び実施
・自主財源の確保、拡大

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	0		
特定財源	0		
一般財源	0		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: R2年度は、新たに帯広市発達支援ガイドブックへの広告掲載を行ったほか、「新たな自主財源確保対策検討会議」を開催し、他市の事例等を参考にするなど、新たな項目の検討について共有しており、目標達成に向けて進捗しています。

施策 23	取組 2	番号 3	事務事業 **公有財産管理・運用事業**

目的	公有財産の取得・処分や土地・建物の管理など、公有財産の適切な管理・運用を進めます。	担当課	契約管財課
目標	未利用・低利用地の有効活用件数について4件を目指します。		

事業実施状況

・公有財産の取得、処分、貸付
・普通財産の管理、運用(土地等売払11件230,420千円、貸付39件11,584千円)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	14,145		
特定財源	3,372		
一般財源	10,773		

指標名	未利用・低利用地の有効活用件数	単位	件
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値
4	4 / 8	4	4

評価検証: R2年度の未利用・低利用地の有効活用件数は8件であり、目標を達成しました。
平成30年に市有地の有効活用推進要領を策定し、有効活用に向けた取組を進めてきたことが成果につながったものと考えます。

施策 23	取組 2	番号 4	事務事業 **ICT利活用推進事業**

目的	ICT等の活用により事務の改善を図り、行政サービスの向上や事務の効率化を進めます。	担当課	ICT推進課
目標	RPAなどのICTの業務活用範囲の拡大を目指します。		

事業実施状況

・情報システム関連業務のアウトソーシングの推進
・業務システムの運用管理
・情報セキュリティ対策の強化
・ICT等を活用した事務改善の推進(RPAやAI-OCRの試行実施13業務)
・社会保障、税番号制度の運用・周知
・ホームページの運用
・公共施設予約システムの運用
・電子申請システムの運用(18,873件利用)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	759,157		
特定財源	247,082		
一般財源	512,075		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: R2年度は、RPAやAI-OCRの試行導入や、テレワークやオンライン会議などICTの業務活用範囲の拡大などを進めており、目標達成に向け進捗しています。

施策 23	取組 2	番号 5	事務事業 **総合計画推進事業**

目的	地域の意志と責任に基づく自主・自立のまちづくりを進めるため、総合計画を計画的に推進します。	担当課	企画課
目標	–		

事業実施状況

・総合計画の推進(第六期総合計画の指標管理)
・総合計画策定審議会の開催(1回)
・推進計画の改訂

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	158		
特定財源	0		
一般財源	158		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証: –

施策 23	取組 2	番号 6	事務事業 **総合戦略推進事業**
目的	PDCAサイクルの考え方に基づき、総合戦略の施策立案、評価・検証、取り組みの見直しを行い、効果的に人口対策を推進します。	担当課	企画課
目標	–		
事業実施状況	・帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく取り組みの進捗管理 ・地域再生計画の認定申請(企業版ふるさと納税)		

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	0		
特定財源	0		
一般財源	0		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証	–

施策 23	取組 2	番号 7	事務事業 **財政運営事業**
目的	事業の選択と集中を進め、持続可能で健全な財政運営を図ります。	担当課	財政課
目標	–		
事業実施状況	・効果的な予算編成手法の検討 ・財政健全化判断比率の適正維持		

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	0		
特定財源	0		
一般財源	0		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証	–

施策 23	取組 2	番号 8	事務事業 **財務管理事業**
目的	予算編成・決算調製などを通して、適正な事務執行の徹底を図ります。	担当課	財政課
目標	–		
事業実施状況	・財務管理業務の実施 ・一部事務組合への負担金支出 ・財政調整基金の管理		

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	504,296		
特定財源	369		
一般財源	503,927		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証	–

施策 23	取組 2	番号 9	事務事業 **市債等管理事業**
目的	市債の発行・償還や資金運用を適切に進め、計画的な財政運営を図ります。	担当課	財政課
目標	–		
事業実施状況	・市債の発行、償還(普通会計) ・減債基金の管理 ・資金運用		

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	8,490,995		
特定財源	159,441		
一般財源	8,331,554		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証	–

施策 23	取組 2	番号 10	事務事業 **一般行政事業**
目的	総合案内や儀式、表彰など、一般行政事務を推進します。	担当課	総務部総務課
目標	–		
事業実施状況	・総合案内、電話交換業務 ・新年交礼会、褒章・表彰業務　ほか		

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	38,212		
特定財源	3,506		
一般財源	34,706		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証	–

施策 23	取組 2	番号 11	事務事業 **戸籍・住民基本台帳関連事業**
目的	戸籍・住民基本台帳関連事務を適切に管理するとともに、各種証明書等の発行や申請の受付を迅速かつ正確に行います。	担当課	戸籍住民課
目標	–		
事業実施状況	・戸籍・住民基本台帳に関する事務(246,030件) ・パスポートの申請交付に関する事務(323件) ・社会保障・税番号制度に係る個人番号カードの交付事務(13,916件) ・諸証明のコンビニ交付サービスの実施(5,219件)		

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	155,072		
特定財源	164,515		
一般財源	△9,443		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証	–

施策 23	取組 2	番号 12	事務事業 **川西支所管理運営事業**
目的	川西支所を管理運営し、地域における利便性と質の高い行政サービスを提供します。	担当課	川西支所
目標	–		
事業実施状況	・各種窓口業務 ・各種団体の運営に関する支援事務 ・川西支所の維持管理		

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	1,793		
特定財源	0		
一般財源	1,793		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証	–

施策 23	取組 2	番号 13	事務事業 **大正支所管理運営事業**
目的	大正支所を管理運営し、地域における利便性と質の高い行政サービスを提供します。	担当課	大正支所
目標	–		
事業実施状況	・各種窓口業務 ・各種団体の運営に関する支援事務 ・大正支所の維持管理		

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	430		
特定財源	0		
一般財源	430		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証	–

施策 23	取組 2	番号 14	事務事業 **効率的行政運営推進事業**
目的	継続的な行財政改革への取り組みや行政サービス改善など、市民満足度の高い効率的な行政運営を進めます。	担当課	人事課、契約管財課
目標	–		
事業実施状況	・民間委託等幅広い手法の検討・推進(他自治体の事例収集等) ・指定管理者制度の運用(301施設) ・事務権限の移譲への対応(関連情報の収集・庁内共有) ・行財政改革の推進(保育所の民間移管等に向けたスケジュールの整理、ごみ収集業務の民間委託拡充等)		

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	85		
特定財源	0		
一般財源	85		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証	–

施策 23	取組 2	番号 15	事務事業 **行政情報基盤運営事業**
目的	行政情報ネットワークを管理運営し、効率的で安全性の高い行政サービスを提供します。	担当課	ICT推進課
目標	–		
事業実施状況	・行政情報ネットワークの維持管理 ・情報セキュリティ対策の推進		

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	78,603		
特定財源	1,291		
一般財源	77,312		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証	–

施策 23	取組 3	番号 1	事務事業 **物品購入・工事契約事業**
目的	地域の経済や雇用環境などに配慮しながら、品質の優れた調達を行います。	担当課	契約管財課
目標	入札・契約事務の改善を進めます。		
事業実施状況	・工事の契約事務(121件うち入札116件)		

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	303		
特定財源	0		
一般財源	303		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証	R2年度は、設計等委託業務の一般競争入札の対象範囲の拡大や全ての建設業者の社会保険加入義務化などの実施により、公正性等の確保や雇用環境へ配慮した契約事務を進めており、目標達成に向け進捗しています。

施策 23	取組 3	番号 2	事務事業 **税収入払戻事業**
目的	市税の過誤納付金の還付を行い、公正かつ公平な収納事務を行います。	担当課	収納課
目標	–		
事業実施状況	・市税過誤納付金の還付		

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	64,690		
特定財源	0		
一般財源	64,690		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証	–

施策 23	取組 3	番号 3	事務事業 **収納率向上対策事業**

目的	市税等の収納率向上対策などを進め、自主財源の確保を図ります。	担当課	収納課
目標	–		

事業実施状況

・収納率向上対策の推進
・広域連携による市税等の滞納整理(実施主体:十勝圏複合事務組合)
・納税啓発の推進
・納付環境の整備
・納税相談の実施
・収納管理業務
・滞納処分の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	63,972		
特定財源	305,437		
一般財源	△241,465		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 23	取組 3	番号 4	事務事業 **諸税賦課事業**

目的	市たばこ税など、諸税の課税事務を適正に執行し、自主財源の確保を図ります。	担当課	市民税課
目標	–		

事業実施状況

・諸税の賦課

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	7,158		
特定財源	12		
一般財源	7,146		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 23	取組 3	番号 5	事務事業 **市民税賦課事業**

目的	市民税の課税事務を適正に執行し、自主財源の確保を図ります。	担当課	市民税課
目標	–		

事業実施状況

・市民税の賦課
・電子申告システムの運用

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	41,111		
特定財源	11		
一般財源	41,100		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 23	取組 3	番号 6	事務事業 **固定資産税・都市計画税賦課事業**

目的	固定資産税・都市計画税の賦課事務を適正に執行し、自主財源の確保を図ります。	担当課	資産税課
目標	–		

事業実施状況

・固定資産税の賦課
・都市計画税の賦課

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	50,768		
特定財源	11		
一般財源	50,757		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 23	取組 3	番号 7	事務事業 **固定資産評価審査委員会運営事業**

目的	固定資産評価審査委員会を運営し、固定資産評価に対する不服について審査します。	担当課	総務部総務課
目標	–		

事業実施状況

・固定資産評価審査委員会の運営

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	20		
特定財源	0		
一般財源	20		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 23	取組 3	番号 8	事務事業 **公平委員会運営事業**

目的	地方公務員法に基づき公平委員会を運営し、適正な人事管理を進めます。	担当課	総務部総務課
目標	–		

事業実施状況

・公平委員会の運営

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	89		
特定財源	0		
一般財源	89		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値 / 実績値	R3	目標値 / 実績値	R4	目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 23	取組 3	番号 9	事務事業 **法制事業**
目的	法令遵守の徹底など法制事務を実施し、行政事務を適正に執行します。	担当課	総務部総務課
目標	–		

事業実施状況

・法制事務
・行政不服審査会の運営
・個人情報保護制度の推進

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	5,862		
特定財源	254		
一般財源	5,608		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 23	取組 3	番号 10	事務事業 **文書管理事業**
目的	公文書の適正管理や印刷業務を効率的に行うなど、文書管理事務を進めます。	担当課	総務部総務課
目標	–		

事業実施状況

・公文書等の管理
・印刷業務
・郵便業務

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	9,282		
特定財源	10		
一般財源	9,272		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 23	取組 3	番号 11	事務事業 **統計調査事業**
目的	統計調査の実施や統計データの提供などの統計調査業務を進めます。	担当課	総務部総務課
目標	–		

事業実施状況

・各種統計調査の実施
・統計冊子の発行

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	64,746		
特定財源	55,999		
一般財源	8,747		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 23	取組 3	番号 12	事務事業 **会計事業**
目的	安全で有利な現金管理や正確な現金出納など、会計事務を適正に執行します。	担当課	会計課
目標	–		

事業実施状況

・公金保護対策の基本方針に基づく現金管理
・公金収納状況検査の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	15,173		
特定財源	0		
一般財源	15,173		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 23	取組 3	番号 13	事務事業 **議会議員活動事業**
目的	調査研究など議員活動の円滑な推進を支えます。	担当課	議会事務局
目標	–		

事業実施状況

・調査研究活動の推進に関する業務

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	5,251		
特定財源	0		
一般財源	5,251		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 23	取組 3	番号 14	事務事業 **本会議・委員会運営事業**
目的	議会活動に関する情報発信などを進め、市民にわかりやすい開かれた議会運営を支えます。	担当課	議会事務局
目標	–		

事業実施状況

・議会活動等の情報提供に関する業務

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	17,177		
特定財源	0		
一般財源	17,177		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 23	取組 3	番号 15	事務事業 **議会運営事業**

目的	議会がその役割を十分に発揮できるよう、円滑な議会運営を支えます。	担当課	議会事務局
目標	–		

事業実施状況

・議会運営に関する業務

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	5,937		
特定財源	0		
一般財源	5,937		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 23	取組 3	番号 16	事務事業 **監査事業**

目的	公正で合理的かつ効果的な行政運営の確保に資するため、監査等を実施します。	担当課	監査委員事務局
目標	–		

事業実施状況

・定期監査等の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	3,058		
特定財源	0		
一般財源	3,058		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 23	取組 3	番号 17	事務事業 **選挙管理委員会運営事業**

目的	有権者への情報提供など、選挙管理委員会に関する業務を進め、有権者の意識啓発を図ります。	担当課	選挙管理委員会事務局
目標	–		

事業実施状況

・有権者への情報提供
・選挙管理委員会の運営に関する業務

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	2,781		
特定財源	6		
一般財源	2,775		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 23	取組 3	番号 18	事務事業 **各選挙執行事業**

目的	各選挙を公正に執行し、まちづくりの参加意識の向上を図ります。	担当課	選挙管理委員会事務局
目標	–		

事業実施状況

・選挙執行なし

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	0		
特定財源	0		
一般財源	0		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 23	取組 4	番号 1	事務事業 **公共施設マネジメント推進事業**

目的	公共施設等の長寿命化や施設総量の適正化などを進めます。	担当課	企画課
目標	施設等の長寿命化や施設総量の適正化などを図る個別施設計画の策定を進めます。		

事業実施状況

・公共施設マネジメントの推進
・公共施設マネジメントに関する情報発信(広報おびひろ11月号)
・個別施設計画(市民文化・社会教育系施設、スポーツ系施設)の策定

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	0		
特定財源	0		
一般財源	0		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 R2年度は、市民文化・社会教育系施設、スポーツ系施設の個別計画を策定し、目標達成に向け進捗しています。今後も、他の個別施設計画（農業系施設など）策定に向け検討を進めていきます。

施策 23	取組 4	番号 2	事務事業 **公共施設営繕事業**

目的	公共施設の整備に関する事務や既存施設の改築、長寿命化等の適正な工事監理を進めます。	担当課	住宅営繕課
目標	–		

事業実施状況

・公共施設の整備に関する事務
・既存施設の改修等に関する事務
・市有施設建築保全システムの運用

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	3,283		
特定財源	0		
一般財源	3,283		

指標名	–	単位	
基準値	R2 目標値 / 実績値	R3 目標値 / 実績値	R4 目標値 / 実績値

評価検証 –

施策 23	取組 5	番号 1	事務事業 **人材育成・評価事業**

目的	職員の働く意欲と能力を高める視点から人事評価等を進め、自ら成長し能力を発揮できる職員を育成します。	担当課	人事課
目標	–		

事業実施状況

・職員研修の実施(21項目 参加者延2,551人)
・国等への職員の派遣・受入(派遣22人、受入2人)
・人材育成基本方針に基づく取り組みの推進(職員研修・職場環境整備・人事管理、方針の見直し検討)
・人材そだち評価制度の実施(管理職員への評価結果の処遇反映、評価対象範囲に会計年度任用職員を追加)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	17,509		
特定財源	5,141		
一般財源	12,368		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 23	取組 5	番号 2	事務事業 **職場環境整備事業**

目的	職員の健康管理や公務災害の未然防止など、職員が安心して働き、能力を発揮することができる職場環境づくりを進めます。	担当課	人事課
目標	–		

事業実施状況

・職員の健康管理(定期健康診断等受診者数1,560名、ストレスチェック1,424名)
・職員と職場の安全衛生管理(公務災害補償、施設職場における救急薬品の整備)
・福利厚生の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	116,944		
特定財源	17,965		
一般財源	98,979		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 23	取組 6	番号 1	事務事業 **十勝圏連携推進事業**

目的	管内自治体や関係機関と連携し、十勝圏の発展に向けた取り組みを進めます。	担当課	企画課
目標	–		

事業実施状況

・十勝圏複合事務組合の活動を通した広域事業の推進
・十勝圏活性化推進期成会を通した要請活動の実施
・帯広圏地方拠点都市地域協議会の運営
・国・道・管内自治体等との連携による十勝圏の振興

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	5,315		
特定財源	0		
一般財源	5,315		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 23	取組 6	番号 2	事務事業 **都市間連携推進事業**

目的	北海道内の広域的な行政課題の解決に向け、各都市と連携した取り組みを進めます。	担当課	企画課
目標	–		

事業実施状況

・北海道市長会等を通した情報収集や要請活動などの実施
・北海道基地協議会等を通した情報収集や要請活動などの実施
・道東六都市による情報交換などの実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	4,108		
特定財源	0		
一般財源	4,108		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 23	取組 6	番号 3	事務事業 **定住自立圏構想推進事業**

目的	帯広市と十勝管内18町村が連携・協力し、必要な生活機能を確保するとともに、圏域全体の魅力の向上や活性化を図ります。	担当課	企画課
目標	–		

事業実施状況

・第3期十勝定住自立圏共生ビジョンの改訂
・十勝定住自立圏共生ビジョン等に基づく各種取組の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	204		
特定財源	0		
一般財源	204		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 23	取組 6	番号 4	事務事業 **東京事務所運営事業**

目的	東京事務所を管理運営し、産業・経済、行政、観光・移住などの情報収集・提供などを進めます。	担当課	東京事務所
目標	–		

事業実施状況

・東京事務所の運営

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	9,551		
特定財源	0		
一般財源	9,551		

指標名	–	単位	

基準値	R2	目標値	R3	目標値	R4	目標値
		実績値		実績値		実績値

評価検証 –

施策 23	取組 0	番号 1	事務事業 **市民相談室運営事業**

目的	市民の日常生活に関する一般相談や法律相談を実施し、問題解決に向けた支援を行います。	担当課	地域福祉課
目標	市民の日常生活における様々な問題に対応する市民相談員による相談体制を維持します。		

事業実施状況

・市民相談の実施(相談数1,266件)
・弁護士無料法律相談の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	5,784		
特定財源	0		
一般財源	5,784		

指標名	相談件数	単位	件

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値
1,906	1,906	1,266	1,906		1,906	

評価検証

R2年度における市民相談件数は1,266件となりました。
市民相談員による相談体制を維持し、弁護士無料法律相談に取り組むなど、市民の日常生活への相談に応じることができたものと考えます。

施策 23	取組 0	番号 2	事務事業 **政策推進事業**

目的	幅広く情報収集などを進めるとともに、重要施策の総合的な企画調整を行います。	担当課	企画課
目標	–		

事業実施状況

・政策推進に関する情報収集等
・重要施策の企画調整
・国・道などへの要請活動の実施

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	5,833		
特定財源	0		
一般財源	5,833		

指標名	–	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

–

施策 23	取組 0	番号 3	事務事業 **秘書事業**

目的	市長・副市長の公務に関する秘書業務を行います。	担当課	秘書課
目標	–		

事業実施状況

・秘書業務

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	7,405		
特定財源	0		
一般財源	7,405		

指標名	–	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

–

施策 23	取組 0	番号 4	事務事業 **市役所庁舎管理事業**

目的	計画的な管理や有効活用を進めるなど、市役所庁舎を適切に維持管理します。	担当課	総務部総務課
目標	–		

事業実施状況

・市役所庁舎の設備等の維持管理
・光熱水費削減の取り組み(経済的な電力確保の継続等)
・広告事業の推進

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	165,052		
特定財源	23,546		
一般財源	141,506		

指標名	–	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

–

施策 23	取組 0	番号 5	事務事業 **公用車管理事業**

目的	公用車を効率的に管理・運行します。	担当課	総務部総務課
目標	–		

事業実施状況

・公用車の管理(バス稼働件数73件、共用車稼働率81%)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	24,744		
特定財源	53		
一般財源	24,691		

指標名	–	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

–

施策 23	取組 0	番号 6	事務事業 **職員任用管理事業**

目的	人材の確保と職員の適正配置により、施策を効果的に推進する組織体制づくりを進めます。	担当課	人事課
目標	–		

事業実施状況

・職員定数の管理(R2.4.1時点職員数1,348人)
・職員採用に関する事務(〔正職員〕試験回数3回 受験者数603人 合格者数42人、〔任期付〕試験回数3回 受験者数25人 合格者数16人)

単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額
事業費	3,519		
特定財源	0		
一般財源	3,519		

指標名	–	単位	

基準値	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値

評価検証

–

令和２年度

施策・事務事業評価表

編集　帯広市政策推進部企画室企画課
〒080-8670　帯広市西５条南７丁目１番地
TEL：0155-65-4105　FAX：0155-23-0151
E-mail：plan@city.obihiro.hokkaido.jp